WILLCOM

WX220J

取扱説明書

JRC 日本無線株式會社

はじめに

このたびは、「WX220J」を
お買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

ご利用の前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、WX220Jを正しく効果的にお使いくださいますようお願いいたします。

ご使用にあたって

●本電話機のご利用には、ウィルコムと契約する必要があります。契約申し込みをされるときには、契約事務手数料がかかります。また、契約申し込み後は、毎月の基本料金と通話料がかかります。詳しくは、巻末の「お問い合わせ窓口」に記載されているウィルコムサービスセンターへお問い合わせください。

●できるだけ電波の強いところでご使用ください。本電話機は無線を使用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かないところ、屋外でも電波の弱い所およびサービスエリア外ではご使用になれません。見晴らしの良い場所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強くアンテナマークが4本あるいは5本表示されている場合で、移動せずに使用している場合でも通話が切れる場合がありますので、ご了承ください。

●公共の場所、人の多い場所や静かな場所では、まわりの方の迷惑にならないようにご使用ください。

●繁華街など人通りの多いところでは、通行の妨げにならないところでご使用ください。

●オートバイや車などが近くを通ると、雑音が入ることがあります。

●一般の電話機、テレビ、ラジオなどをお使いになっている近くでご使用になると、雑音などの影響を与えることがあります。

●電気製品やOA機器などの近くでご使用になると、雑音が入ったり通話が途切れたりすることがあります。

●電子レンジをご使用のときは電磁波の影響を受けやすく、雑音が入ったり通話が途切れたりすることがあります。

●本電話機は電波を使用している関係上、第三者に傍受される場合がまったくないとはいえませんが、デジタル信号を使用した秘話機能をサポートしております。

●お客様自身で本電話機に登録された内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。万一、登録された内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

●本電話機は、インターネット機能として、株式会社ACCESSのCompact NetFrontを搭載しています。
Copyright© 1998-2006 ACCESS CO., LTD.
本電話機の一部分にIndependent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。

●本電話機は、TCP/IPプロトコルスタック技術として、株式会社ACCESSのAVE-TCPを搭載しています。
Copyright© 1986-2006 ACCESS CO., LTD.

●本電話機は、Red Bend Software社のソフトウェアを搭載しています。
Copyright© Red Bend Software, Inc. 1999-2006

red bend software

●お客様はSSLをご自身の判断と責任においてご利用いただくことをご承諾するものとします。
ご利用にあたり株式会社ウィルコム、日本無線株式会社および別に掲載した認証会社は、万一何らかの損害が発生したとしても責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
認証会社：Verisign, Inc. RSA Data Security, Inc. Entrust.net

不要となりました電話機本体、電池パック、および卓上充電器は、お近くのモバイル・リサイクル・ネットワークのマークのあるお店へお持ちください。

こんなことができます

本電話機の代表的機能や便利な機能の一部をご紹介します。仕事や生活のさまざまな場面で本電話機をご活用ください。

Web機能

ブラウザ機能でインターネットに接続し、いろいろなWebページを見ることができます。
(☞9-2ページ)

Eメール

ウィルコムのメールサーバーを介し、インターネット経由でEメールの送受信ができます。
(☞8-2ページ)

ライトメール

ライトメール機能をもった端末との間で、ウィルコムのメールサーバーを介さずに直接、全角45文字までの文字や絵文字をやりとりすることができます。
(☞8-3ページ)

文字切替表示

メールの本文やWebページ画面などを表示するときの文字サイズを、3段階に切り替えることができます。
(☞8-31ページ)(☞9-19ページ)

グループ通話機能

グループ通話機能に対応した、他の電話機との間で、トランシーバ通話することができます。
(☞13-8ページ)

電話帳転送

グループモード時にデータ転送機能をもった電話機との間で、電話帳に登録した内容や、ブックマークを転送することができます。
(☞13-11ページ)

データ通信

USBケーブルでパソコンと接続し、4xパケット方式や64kPIAFSなどの通信方式でデータ通信することができます。
(☞10-3ページ)

アンテナサーチ

より電波の強い基地局を探して接続することで、常に良好な状態で通話することができます。
(☞7-4ページ)

電話帳

よく電話をかける相手の電話番号や、メールアドレスを登録できます。それぞれにマークをつけてわかりやすくすることができます。
(☞7-29ページ)

オートサイレント

あらかじめ設定した時間帯だけ、着信音を鳴らないようにしたり、バイブレータでお知らせするように設定することができます。
(☞7-46ページ)

feelsound対応

PCM音源を搭載し、175音色32和音のリアルでクリアな着信音を再生できます。
(☞12-26ページ)

オフィスシステム対応

事業所用コードレスシステムの子機として利用できます。
(☞13-4ページ)

発番号非通知ガード

発信者番号を通知せずにかけてきた電話に対し、着信せずにメッセージで応答することができます。
（☞11-3ページ）

スケジュール

電子手帳のように、カレンダーを表示させたりスケジュールを入力することができます。指定した日時にメロディやバイブレータでお知らせすることができます。
（☞12-12ページ）

目覚まし

曜日ごとに、設定した時刻にアラーム音やメロディを鳴らすことができます。
（☞12-17ページ）

留守録、メモ録音、通話録音

「留守録」を設定しておくと、電話に出られないときにかかってきた電話にメッセージで応答し、相手の伝言を録音できます。また、待ち受け中にメモのかわりに自分の声を録音したり、通話中の相手の声を録音できます。
（☞7-55ページ）（☞7-52ページ）
（☞7-11ページ）

安全運転モード

自動車の運転中など電話に出られないとき、応答せずに、かけてきた相手にメッセージを流します。
（☞7-47ページ）

USB接続

パソコンとUSBケーブルで接続し、データ通信を行ったり、ファイルを転送したり、電話をかけたり、充電することができます。
（☞10-2ページ）

着信LED

電話の着信やメールの着信など、それぞれ違った色でお知らせすることができます。
（☞12-9ページ）

国際ローミング

別途、国際ローミングサービスをお申し込みになると、本電話機が台湾やタイ、ベトナムでも使えるようになります。
（☞12-33ページ）

マイメニュー

よく使う機能やブックマークを登録しておき、簡単な操作で機能を呼び出したり、Webページにアクセスすることができます。
（☞7-60ページ）

電卓

10桁までの四則演算ができます。
（☞12-18ページ）

目次

基本編

1　最初にお読みください

2　電話をかける／受ける

3　電話帳を使う

4　文字の入力について

5　メールを利用する

6　インターネットを利用する

機能解説編

7　基本機能

8　メール

9 インターネット

10 パソコンとの連携

11 セキュリティ（安全）

12　便利な使いかた

13　モードの活用

14　困ったときは

付　録

本書の見方

本書は、基本編と機能解説編の２編構成で説明しています。

▶ 基本編

PHSを初めてご使用になる方や、本電話機の基本的な使いかたを手軽にお知りになりたい方を対象に、基本的な機能だけをまとめて説明しています。

▶ 機能解説編

本電話機の基本的な使いかたを理解している方を対象に、すべての機能の使いかたを網羅しています。目次や索引を活用して、お知りになりたい情報を素早く検索していただけます。
本書の索引では、機能名をキーにした検索だけでなく、「入力する」、「削除する」のように、操作をキーにして記事を検索できるようになっています。

本書では、以下のように操作方法について説明しています。

安全上のご注意─必ずお守りください

●ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。また、お読みになった後は大切に保管してください。
●ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。

■次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危険や損害の程度を説明しています。

	危険	この表示は、取扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
	警告	この表示は、取扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
	注意	この表示は、取扱いを誤った場合、「傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

■次の表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

	禁止（してはいけないこと）を示します。

	分解してはいけないことを示す記号です。		水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。		触れてはいけないことを示す記号です。

	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。		電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

	注意を示します。

[免責事項について]
●火災、地震、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により生じた損害について、当社はその責任を負えない場合もございますのであらかじめご了承ください。
●本商品の使用または使用不能から生ずる付随的な損害（記録内容の変化・消失、通話・録音・通信などの機会を逃した為に生じた損害、事業利益の損失、事業の中断など）に関して、当社はその責任を負えない場合もございますのであらかじめご了承ください。
●接続機器（パソコンなど）との組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社はその責任を負えない場合もございますのであらかじめご了承ください。

電話機本体、電池パック、卓上充電器の取扱いについて（共通）

危険

指示

本電話機に使用する電池パックおよび卓上充電器は、指定のものをご使用ください。

下記指定以外のものを使用した場合は、電池パックの液漏れ、発熱、破裂、発火の原因となります。

・リチウムイオン電池パック　NBB-9320　　・卓上充電器　NBA-9320

警告

禁止

強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。

電池パックの液漏れ、発熱、破裂、発火や機器の故障、火災の原因となります。

禁止

ガソリンスタンドなど、引火、爆発の恐れがある場所では、使用しないでください。

プロパンガス、ガソリンなど引火性ガスや粉塵が発生する場所で使用すると、火災・爆発の原因となります。

禁止

電子レンジなどの加熱調理器に、電池パック、本電話機、卓上充電器を入れないでください。特に水没したときなど、濡れたときに電子レンジで加熱するようなことは絶対にやめてください。

電池パックの液漏れ、発熱、破裂、発火や、本電話機、卓上充電器の発熱、発煙、発火や故障の原因となります。

注意

指示

子供が使用する場合は、保護者が取扱いの内容を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご注意ください。

けがなどの原因となります。

禁止

湿気やほこりの多い場所や高温となる場所には保管しないでください。

火災や故障の原因となることがあります。

禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。

落下して、けがなどの原因となります。

指示

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。

誤って飲み込んだり、けがなどの原因になります。

禁止

直射日光の強い場所や、炎天下の車内、火のそば、ストーブのそばなどの高温の場所での使用、放置はしないでください。

電池パックの液漏れ、発熱、破裂、発火、機器の変形、故障の原因となります。

注意

本電話機は周囲の環境による電波障害や受信状態によって通話ができなくなる場合があります。

電話機本体の取扱いについて

警告

ハンズフリーモードやスピーカモードを使用して通話する際は、必ず本電話機を耳から離して使用してください。

難聴になる可能性があります。

本電話機より煙が出たり、異臭がするときは、直ちに電源を切ってください。

そのままご使用になると、火災の原因になります。ウィルコムサービスセンターにご連絡ください。

アンテナ、ストラップなどを持って本電話機を振り回さないでください。

本人や他の人などに当たり、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

航空機など、使用を禁止された区域では、本電話機の電源を切ってください。

電子機器に影響をおよぼす場合があります。

高精度な制御や微弱な信号を取扱う電子機器の近くでは、本電話機の電源を切ってください。

電子機器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。

＊ご注意いただきたい電子機器の例

補聴器、心臓ペースメーカ、その他医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。心臓ペースメーカ、その他医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

屋外で使用中に雷が発生した場合は、アンテナを収納し、すぐに電源を切って安全な場所に移動してください。

落雷、感電の原因となります。

心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。

医用電気機器（心臓ペースメーカ等）などを装着している場合は、胸ポケットや内ポケットへの装着はおやめください。

本電話機を医用電気機器などの近くで使用すると、電波の影響で医用電気機器などの誤動作や故障の原因となる恐れがあります。

満員電車の中など混雑した場所や近くに心臓ペースメーカを装着している方がいる場合は、本電話機の電源を切るようにしてください。

電波が心臓ペースメーカの作動に影響を与える場合があります。

自動車や自転車等を運転中に使用しないでください。

安全走行を損ない、事故の原因となります。車や自転車を安全なところに停車させてからご使用ください。

本電話機のすき間などに金属や異物を差し込まないでください。

感電や故障の原因になります。

分解、改造をしないでください。

火災、けがなどの事故または故障の原因になります。

病院内でのご利用にあたっては、必ず各医療機関の指示に従ってください。

医用電気機器に影響をおよぼす場合があります。

人の多い場所では、使用しないでください。

アンテナが人に当たり、けがの原因となります。

⚠ 注意

ズボンやスカートの後ろポケットに本電話機を入れたまま、椅子などに座らないでください。また、鞄の底など無理な力がかかるような場所には入れないでください。

破損や故障の原因となります。

自動車内で使用した場合、車種によっては、まれに車載電子機器に影響を与えることがあります。

安全走行を損なう原因となります。

本電話機を胸ポケットに入れたまま屈まないでください。

本電話機が落下して、故障あるいは人に当たりけがの原因となることがあります。

磁気カードなどを本電話機に近づけないでください。

キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。

本電話機に乗らないでください。特に小さいお子さまのいるご家庭では、ご注意ください。

ころんだり、こわしたりしてけがの原因となることがあります。

建築構造やアンテナの取付位置により、通話ができない場合や通話範囲が狭くなったり、雑音が入ったり通話が途切れる場合があります。また、設置後において電波状態の変化により使用できなくなることがあります。

本電話機を濡らさないでください。

水やペットの尿などの液体が本電話機の内部に入ると、発熱、感電、故障などの原因となります。使用場所、取扱いにご注意ください。

本電話機はオフィスシステムの主通信網と併用して使用されるように設計されています。電波障害や電池消耗の影響を受けますので、必ず補助的なものとしてご使用ください。

本電話機だけでは重要な連絡が取れなくなる場合があります。

外部からの電気雑音の影響を受けて、通話中に雑音が入ったり、通話ができなくなることがあります。このようなときはしばらく待つか、本電話機を雑音源から遠ざけてください。

雑音源としては、テレビ・ラジオ・パソコン・ファクシミリ・ワープロ・複写機などのAV・OA機器および自動車、オートバイなどがあります。

電池パックの取扱いについて

■ 電池パックのラベルに記載されている表示により、電池の種類をご確認ください。

表　示	電池の種類
Li-ion	リチウムイオン電池

危険

電池パックは火のそば、ストーブのそばなど、高温の場所での使用、放置はしないでください。

電池パックの液漏れや、発熱、破裂、発火の原因となります。

電池パックを本電話機に接続するときに、うまく接続できない場合は、無理に接続しないでください。また、電池パックのコネクタの向きを確かめてから接続してください。

電池パックの液漏れや、発熱、破裂、発火の原因となります。

絶対に火の中に投げ入れたり、加熱しないでください。

爆発の危険があります。

釘をさしたり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。

電池パックの液漏れや、発熱、破裂、発火の原因となります。

電池パックの内部の液が皮膚や衣服に付着した場合は、直ちにきれいな水で洗い流してください。

皮膚に障害を起す原因となります。

電池パックの内部の液が漏れだした場合は、絶対に素手で触れないでください。

素手でさわると、やけどをする場合があります。万一、目に入った場合は、失明の恐れがありますので、きれいな水で洗い落として、直ちに医師の治療を受けてください。

水やペットの尿などで電池パックを濡らさないでください。

電池パックの発熱や感電、故障の原因となります。使用場所、取扱いにご注意ください。

電池パックのコネクタのプラス（＋）とマイナス（－）を針金などの金属類などで接続しないでください。また、金属製ネックレスなどと一緒に持ち運んだり、保管しないでください。

電池パックの液漏れや、発熱、破裂、発火の原因となります。

分解、改造をしないでください。また、直接ハンダ付けしないでください。

電池パックの液漏れや、発熱、破裂、発火の原因となります。

警告

電池パックが液漏れしたり、異臭がするときは、直ちに火気から遠ざけてください。

液漏れした溶解液に引火し、発火、破裂の原因となります。

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電をやめてください。

電池パックの液漏れや、発熱、破裂、発火の原因となります。

電池パックの使用中、充電中、保管時に、本体からの異臭、本体の発熱、変色、変形など、いままでと異なるときは、本電話機から取りはずし、使用しないでください。

電池パックの液漏れや、発熱、破裂、発火の原因となります。

濡れた手で電池パックを交換しないでください。

発火や故障の原因となります。

注意

一般のゴミと一緒に捨てないでください。

発火、環境破壊の原因となることがあります。不要になった電池パックは、端子にテープなどを貼り、絶縁してから、お近くのモバイル・リサイクル・ネットワークのマークのあるお店にお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。

電池パックの充電温度範囲は10℃～40℃です。

この温度範囲以外で充電すると、液漏れや発熱の原因となったり、電池パックの性能や寿命を低下させることがあります。

卓上充電器の取扱いについて

警告

卓上充電器には必ずAC100Vを使用してください。

誤った電圧で使用すると火災、故障の原因となります。

電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。

火災の原因になります。

卓上充電器の電源プラグをコンセントに差し込むときは、金属製ストラップなどの金属類を触れさせないように注意し、確実に差し込んでください。

感電、ショート、火災の原因となります。

万一、卓上充電器を落としたり、破損したりしたときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。

そのまま使用されると、火災、感電の原因となりますので、ウィルコムサービスセンターにご連絡ください。

風呂場などの湿気の多い場所では、絶対に使用しないでください。

感電の原因となります。

充電中は卓上充電器を安定した場所に置いてください。また、卓上充電器を布や布団でおおったり、包んだりしないでください。

本機が外れたり、熱がこもり、火災、故障の原因となります。

コンセントにつながれた状態で電源端子を絶対にショートさせないでください。また、電源端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。

故障、けが、感電、火災の原因となります。

コードなどを持って卓上充電器を振り回さないでください。

本人や他の人などに当たり、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

コードが傷んだら使用しないでください。

感電、火災、故障の原因となります。

コードを、無理に曲げたり、束ねたりして傷つけないでください。

故障や感電、火災の原因となります。

卓上充電器のすき間などに金属や異物を差し込まないでください。

感電や故障の原因となります。

テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを使用した、たこ足配線はしないでください。

発熱、火災の原因になります。

万一、水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントから卓上充電器の電源プラグを抜いてください。

感電、発熱、火災の原因になります。

卓上充電器から煙が出たり、異臭がするときは、すぐに卓上充電器の電源プラグをコンセントから抜いて安全な場所に移動してください。

そのままご使用になると、火災や感電の原因となります。また、お客様による修理は危険です。絶対におやめください。ウィルコムサービスセンターにご連絡ください。

近くに雷が発生した場合は、安全のため、すぐにコンセントから卓上充電器の電源プラグを抜いてください。

火災、感電、故障の原因となります。

充電終了後は卓上充電器の電源プラグをコンセントから抜いてください。

火災、故障の原因となります。

分解、改造はしないでください。

感電、火災、故障の原因となります。

卓上充電器や卓上充電器の電源プラグを濡らさないでください。

電池パックの発熱や感電、故障の原因となります。使用場所、取扱いにご注意ください。

濡れた手で卓上充電器、卓上充電器の電源プラグやコンセントに触れないでください。

感電の原因となります。

注意

お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いて、行ってください。

感電の原因となります。

卓上充電器の電源プラグをコンセントから抜く場合は、コードを引っ張らず、ケース全体を持って抜いてください。

コードを引っ張るとコードが傷つき、感電や火災の原因となります。

濡れた電池パックを充電しないでください。

発熱、発火、破裂の原因となることがあります。

卓上充電器に乗らないでください。＜特に、小さいお子さまのいるご家庭では、ご注意ください＞

ころんだり、こわしたりしてけがの原因となることがあります。

卓上充電器のコードの上に重いものをのせたり、改造したりしないでください。

感電や火災の原因となります。

取扱い上のお願い

■はじめに

この製品は総務省の技術基準に適合しています。製品に貼り付けてある銘板をはがさないでください。

製品を分解して改造することは法律により禁止されています。不法に改造を加えてご使用になると、法律により罰せられることがあります。

■共通のお願い

本電話機に無理な力がかかるような場所に置かないでください。

多くの物がつまった荷物の中に入れたり、衣服のポケットに入れて座ると、液晶画面、内部基板などの破損、故障の原因となり、保証の対象外となります。

水につけたりしないでください。

おふろの中や水の中につけたりしないでください。また、できるだけ雨などの水滴がかからないようにしてください。故障の原因となり保証の対象外となります。

汗や水がついたときにはすぐに拭いてください。

汗をかいた手でさわったり、汗をかいた衣服のポケットに入れたりしないでください。汗が内部に侵入し故障の原因になります。汗や水がついたときにはすぐに乾いた布で拭いてください。

お手入れは乾いた柔らかい布で行ってください。

濡れたぞうきんなどで拭くと、故障の原因となります。また、アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。

端子は時々乾いた綿棒で清掃してください。

本電話機の充電端子や卓上充電器の電源端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れることがあります。また、充電不十分の原因となりますので、汚れたときは、端子を乾いた布、綿棒などで拭いてください。

エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。

急激な温度の変化により結露し、内部が腐蝕し故障の原因となります。

■電話機本体についてのお願い

極端な高温、低温はさけてください。

温度は0℃～40℃、湿度は35%～85%の範囲でお使いください。

一般の電話機やテレビ、ラジオなどからなるべく離れた場所でご使用ください。

一般の電話機やテレビ、ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、影響を与える場合があります。

電子レンジをご使用のときには…。

電磁波の影響で雑音が入ったり通話が途切れたりすることがあります。

電子機器から発生されるノイズ等により、本電話機の動作に影響を与える場合があります。

お手入れは乾いた柔らかい布で行ってください。

画面やケースを硬い布などで強くこすると、傷がつく場合があります。お取扱いには十分ご注意いただき、お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で行ってください。

また、画面に水滴や汚れが付着したまま放置すると、染みになったりしますので、すみやかに拭き取るようにしてください。

お客様ご自身で本電話機に登録された内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。

万一登録された内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■電池パックについてのお願い

充電は、適正な周囲温度（10℃～40℃）の場所で行ってください。

初めてお使いのときや、長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に必ず充電してください。

電池パックの使用時間は、使用環境や電池パックの劣化の具合により異なります。

直射日光があたらず、風通しのよい涼しい場所に保管してください。

長時間使用しないときは、使いきった状態で、本電話機から外して保管してください。

電池パックは消耗品です。

使用状態によっても異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは、電池パックの交換時期です。指定の新しい電池パックをお買い求めください。

不要になった電池パックは一般のゴミと一緒に捨てないでください。

不要になった電池パックは、端子にテープなどを貼り絶縁してから、お近くのモバイル・リサイクル・ネットワークのマークのあるお店にお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。

■卓上充電器についてのお願い

次のような場所では充電しないでください。

周囲の温度が10℃以下または40℃以上になるところ

湿気、ほこり、振動の多い場所（誤動作の原因となります。）

一般の電話機やテレビ、ラジオなどの近く（ラジオなどに雑音が入ることがあります。）

充電中、卓上充電器が温かくなることがありますが、異常ではありませんのでそのままご使用ください。

抜け防止機構のあるコンセントを使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。

基本編

1 最初にお読みください

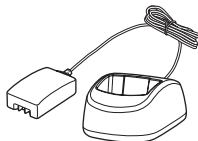
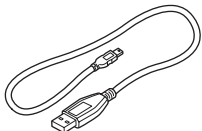
セットを確認する

次のものが揃っているかどうかをご確認ください。万が一、不足のもの、破損品、取扱説明書の乱丁・落丁がある場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。

●本体　WX220J（1台）

●電池カバー（1個）
・本体に装着されています。

●リチウムイオン電池パック NBB-9320（1個）

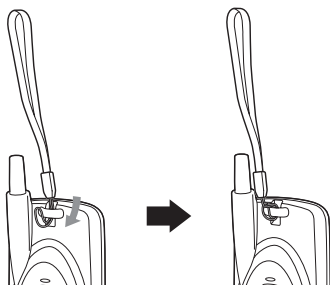
●卓上充電器 NBA-9320（1台）

●USBケーブル（A to Mini-B）（1本）

●取扱説明書（1部）（本書）
・裏表紙に保証書が付いています。

●CD-ROM（1枚）

ハンドストラップを取り付けるには

お手持ちのハンドストラップを取り付ける場合は、本体から外れないことを確認してから使用してください（図は取り付け例です）。

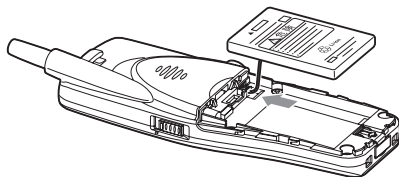
お知らせ

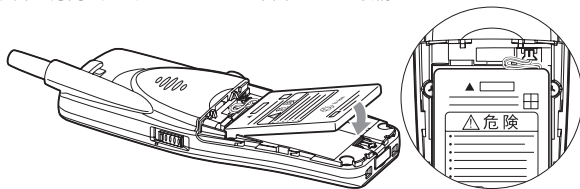
● ハンドストラップは同梱しておりません。

充電する

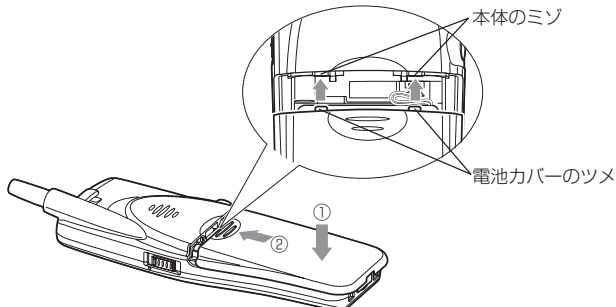
電池パックを取り付ける

本電話機を使用するには、電池パックを取り付ける必要があります。

1 電池パックのコネクタを接続する

コネクタの向きを合わせて、最後まで確実に差し込みます。

2 電池パックを収納する

電池パックを矢印の方向へ差し込み、コードを下図のように収納します。

3 電池カバーを取り付ける

電池カバーのツメを本体のミゾに合わせ、本体との間に隙間が生じないよう①の方向に押さえながら②の方向に「カチッ」と音がするまでスライドさせて取り付けます。

4 電池カバーと本体に大きな隙間がないことを確認する

ご注意

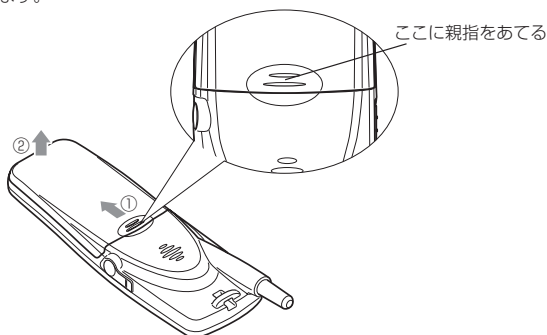
- 電池カバーを取り付ける際、電池パックのコードを、はさまないようにご注意ください。
- 電池カバーはゆるみのないようにしっかりと閉めてください。ゆるみがあると、振動で電池カバーが外れて電池パックが飛び出す恐れがあります。

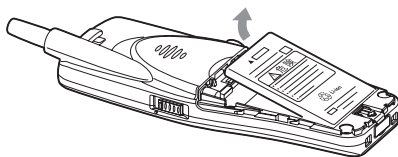
電池パックを交換するときは

電池パックの寿命の目安は使用頻度によりますが、約１年です。十分に充電しても使用時間が短くなったときは、新しい電池パックと交換してください。交換用の電池パック（NBB-9320）は、本電話機をお買い上げの販売店でお求めになれます。
電池パックは次の手順で交換してください。

1 電源が入っているときは、[PWR] を約２秒以上押して電源を切る

2 電池カバーを取り外す

親指で電池カバーを押さえながら①の方向にスライドさせて、本体と平行にゆっくりと②の方向に持ち上げて取り外します。

3 電池パックを取り外す

電池パックの先端を指で矢印方向に持ち上げ、コネクタ近くのコードを持って、本体と平行にゆっくりとコネクタを引き抜きます。

4 新しい電池パックを入れる

5 充電する

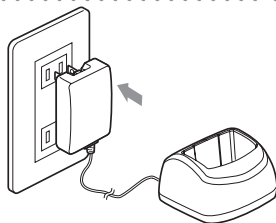
「卓上充電器で充電する」(☞同じページ内です。)

ご注意

- 電池パック交換の際は、必ず電源を切ってください。電源を切らずに交換すると、本電話機の故障の原因となります。
- 環境保護のため、使用済みの電池パックは、モバイル・リサイクル・ネットワークのマークのあるお店にお持ちください。その際、ショートによる液漏れ、発熱、発火の恐れがあるため、必ずコネクタ部にテープを貼るなどの絶縁処理を行ってください。

卓上充電器で充電する

初めてご利用になるときや電池パックを交換したときは、充電を行ってください。

1 卓上充電器の電源プラグをコンセント(AC100V)に差し込む

2 本電話機を卓上充電器に置く

充電が始まります。充電中は着信LEDが赤色に点灯し、画面に「 」が点灯します。

3 着信LEDが消灯したら充電完了

充電が完了すると着信LEDが消灯し、「 」の表示が「 」に変わります。
充電には約150分かかります。

お知らせ

- 充電時間は、本電話機の電源を切り、電池パックを空の状態から充電した場合の目安です。電源を入れたままの場合、充電時間は長くなります。
- 本電話機を卓上充電器に逆向きに置かないでください。充電できません。
- 充電端子が汚れていると、正しく充電を行うことができません。時々充電端子を乾いた布で拭いてきれいにしてください。
- 充電中に着信LEDが点滅した場合は、充電異常が発生しています。再度、本電話機を卓上充電器に置き直してください。それでも着信LEDが点滅する場合は、電池パックの寿命や故障が考えられます。
- 本電話機の電源の入／切に関係なく充電できます。
- 充電中は、本電話機と卓上充電器の一部が多少熱くなりますが、異常ではありません。
- 初めてご利用になるときや電池パックを交換したときは、着信LEDが消灯するまで充電してください。お買い上げ時の電池パックは十分に充電されていません。
- 充電完了後に本電話機を取り外したあと、すぐに卓上充電器に戻すと、いったん着信LEDが赤色に点灯することがありますが、異常ではありません。
- 本電話機と電源の入ったパソコンをUSBケーブルで接続して充電することもできます。「パソコンと接続する」（☞10-2ページ）
- 電池パックを長時間使用しなかったり、使い切った状態で充電せずに放置した場合、充電を開始しても着信LEDが点灯しないことがあります。この場合、電池パックの寿命や故障でなければ、数分後には着信LEDが点灯します。

電池残量を確認するには

電池残量は、画面に表示される電池マークで確認できます。ただし、表示は目安です。

- 十分にあります。
- まだあります。
- 少なくなりました。充電してください。

■電池がなくなったときは

「ピーピーピー」という警告音が鳴り、「電池がありません 充電してください」と表示されます。
通話中の場合は、警告音が鳴ってから約1分後に再度警告音が鳴り、通話が切れます。

満充電したときの使用可能時間の目安

充電のしかたや電池パックの劣化度、使用環境によって以下の表の時間は変動します。

待受／通話モード	連続通話時間	連続待受時間
公衆モード	約7.5時間	約700時間

オフィスモード、グループモード、電話帳転送モードおよびデュアルモードでの待受時間は、公衆モードでの待受時間より短くなります。

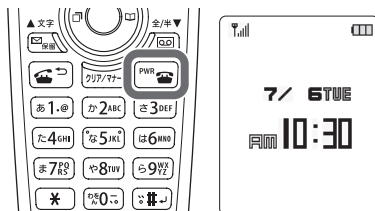
お知らせ

- 連続して通話だけを行った場合を連続通話時間、通話や操作を一切せずに、連続して待受状態を保った場合を連続待受時間と呼びます。
- 連続通話時間は、静止した状態で、かつ電波状態が安定した場所での時間です。
- 連続通話時間や連続待受時間は、使用場所の電波状態や機能の設定動作などにより短くなります。
- 電話帳、メールなどの文字入力や、インターネットのご利用が多い場合、電池パックの消耗が早くなります。

電源を入れる／切る

電源を入れる

1　[PWR] を約１秒以上押す

アニメーションが表示され、待ち受け画面が表示されます。

待ち受け画面

お知らせ

● 本電話機には、通常の電話機として使用できる公衆モードのほか、オフィスモード、グループモード、転送モード、公衆＋オフィスモード（デュアルモード）、公衆＋グループモード（デュアルモード）があります。お買い上げ時には「公衆モード」に設定されていますが、他のモードをご利用になる場合は、モード設定を変更してください。「利用するモードを選ぶ」（☞ 13-2ページ）

電源を切る

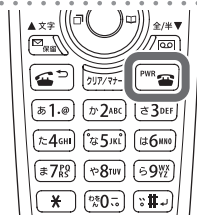
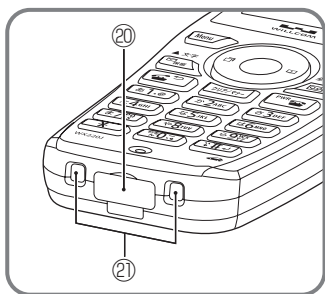
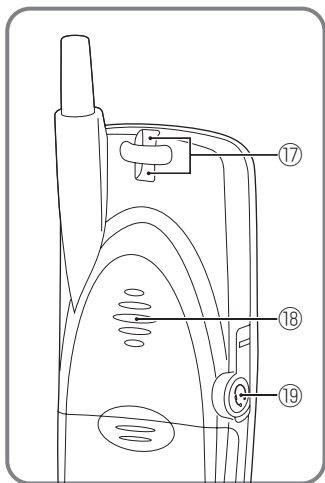
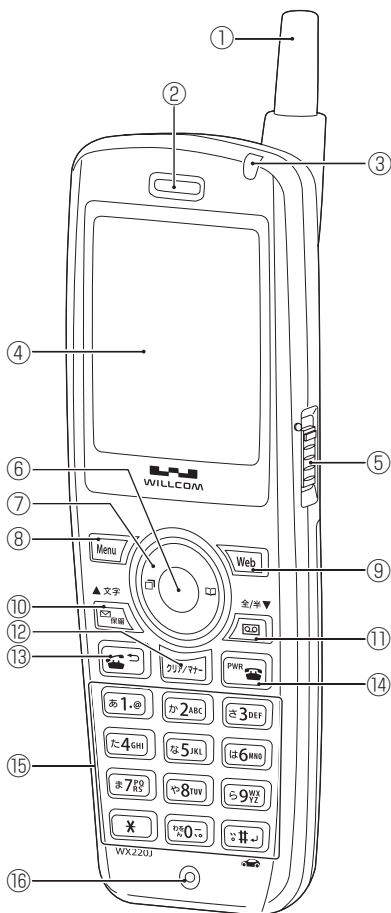
1　[PWR] を約２秒以上押す

アニメーションが表示され、電源が切れます。

各部の名前

①
②
③
④
⑤
⑥
⑦
⑧
⑨
⑩
⑪
⑫
⑬
⑭
⑮
⑯
WILLCOM
Menu
Web
▲文字
保留
全/半▼
クリア/マナー
PWR
WX220J

⑰
⑱
⑲

⑳
㉑

①アンテナ

「アンテナの使いかた」（☞ 1-10ページ）

②受話口（レシーバ）

③着信LED

着信があったときなどに点滅します。「着信LED」（☞ 12-9ページ）

④画面

「画面の見かた」（☞ 1-11ページ）

⑤キーロックスイッチ

キーロックの設定／解除を行います。「ボタン操作をロックする（キーロック）」（☞ 11-9ページ）

⑥ ◯ 決定ボタン

マイメニューを表示したり、画面に表示された項目を確定したりします。また、ソフトキーとして画面下部中央に表示された機能を実行します。「マイメニューを利用する」（☞ 7-60ページ）「ガイダンス表示について」（☞ 1-13ページ）「ボタンの使いかた」（☞ 1-14ページ）

⑦

画面に「⇕」や「✥」などが表示されているときは、矢印の方向に押すことで操作することができます。それぞれのボタンは、次のような機能を実行します。

◎ リダイヤル／着信履歴／ダイヤルメモを表示します。

◎ 電話帳を表示します。

◎ 文字入力で漢字やカタカナに変換します。また、受話音量や着信音量を調節します。

◎ 文字入力で漢字に変換します。また、受話音量や着信音量を調節します。

「ボタンの使いかた」（☞ 1-14ページ）

⑧ Menu Menuボタン

メニューを表示します。また、ソフトキーとして画面左下に表示された機能を実行します。「ガイダンス表示について」（☞ 1-13ページ）「ボタンの使いかた」（☞ 1-14ページ）

⑨ Web Webボタン

Webメニューを表示します。また、ソフトキーとして画面右下に表示された機能を実行します。「Webの利用を開始する」（☞ 9-5ページ）「ガイダンス表示について」（☞ 1-13ページ）「ボタンの使いかた」（☞ 1-14ページ）

⑩

メールメニューを表示します。また、入力する文字の種類を切り替えます。「メールメニューを表示する」（☞ 8-4ページ）「文字の種類を切り替える」（☞ 4-2ページ）

⑪

録音再生メニューを表示します。また、入力する文字の種類や全角と半角を切り替えます。「録音されたメッセージを再生する」（☞ 7-58ページ）「文字の種類を切り替える」（☞ 4-2ページ）

⑫ クリア/マナー

入力した番号や文字を消去します。また、操作中に前の画面に戻るときやマナーモードを設定／解除するときに押します。「文字を消去する」（☞ 7-25ページ）「マナーモードを設定する」（☞ 7-46ページ）

⑬

電話をかけたり受けたりするときに押します。また、ハンズフリー機能、スピーカ機能を利用するときに押します。「電話をかける」（☞ 2-2ページ）「手に持たずに通話する」（☞ 7-13ページ）

⑭ PWR

通話を終了します。また、電源の入／切、着信音の停止を行います。

⑮ダイヤルボタン（0 ～ 9、＊、#）

番号や文字を入力します。また、メニューの項目を番号で選択するときにも押します。「メニューについて」（☞ 1-15ページ）

⑯送話口（マイク）

⑰ストラップ取り付け穴

⑱スピーカ

⑲イヤホンマイク端子

市販のイヤホンマイクを接続します。「イヤホンマイク端子の使いかた」（☞ 12-25ページ）

⑳USB端子

USBケーブルでパソコンと接続できます。「パソコンと接続する」（☞ 10-2ページ）

㉑充電端子

「充電する」（☞ 1-3ページ）

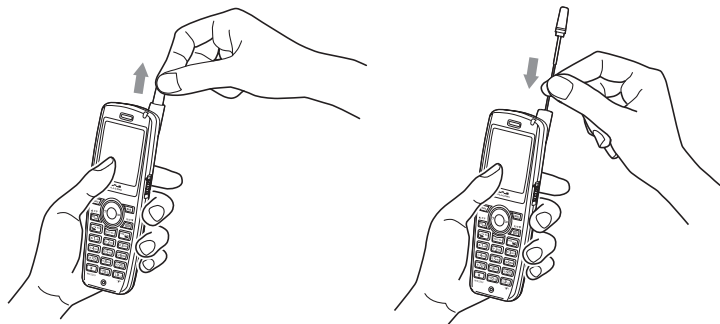
お知らせ

● ボタンについては代表的な機能だけを説明しています。

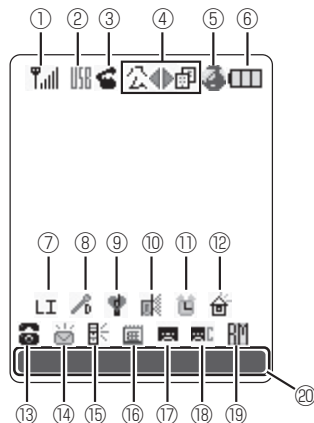
最初にお読みください・各部の名前

アンテナの使いかた

本電話機は、アンテナを収納していても電話をかけたり受けたりできますが、よりよい条件で電話するためにアンテナを十分伸ばしてお使いください。
●アンテナを伸ばすときは、「カチッ」と音がするまで十分に引き上げてください。
●アンテナを収納するときはアンテナの根本を持ってまっすぐに下ろしてください。

アンテナを曲げた状態で無理に収納しようとすると、変形や破損の原因になります。

お知らせ

- 携帯するときは、必ずアンテナを収納してください。
- アンテナに無理な力を加えないでください。アンテナが破損する原因となります。

画面の見かた

① 圏外、 ～ （公衆モード）

受信している電波の強度が表示されます。電波が強いほど通話に適しています。 や のときは電波が弱く、通話できないことがあります。圏外のときは通話できません。電波が弱く通話できないときは、電波の強い場所に移動してご使用ください。

弱い ←→ 強い

待受モードを公衆＋オフィスのデュアルモードに設定しているときは、公衆基地局と事業所用コードレスシステムに設置されたアンテナからの電波の受信状態が のように表示されます。上が公衆、下がオフィスの状態を示します。 や の表示は、「OUT」側が圏外の状態を示します。

②

USBケーブルでパソコンと接続中に表示されます。「パソコンと接続する」（☞10-2ページ）

③

呼び出し中、通話中に表示されます。「電話をかける」（☞2-2ページ）

PT

4 x パケット、2 x パケット、または1 x パケット通信中に表示されます。「データ通信を行う」（☞10-3ページ）

64K FC

フレックスチェンジ方式で通信中に表示されます。「データ通信を行う」（☞10-3ページ）

64K BE

64kPIAFSのベストエフォート通信中に表示されます。「データ通信を行う」（☞10-3ページ）

64K GR

64kPIAFSのギャランティ通信中に表示されます。「データ通信を行う」（☞10-3ページ）

32K PIAF

32kPIAFS通信中に表示されます。「データ通信を行う」（☞10-3ページ）

④

オフィスモード時に表示されます。「利用するモードを選ぶ」（☞13-2ページ）

グループモード時または電話帳転送モード時に表示されます。「利用するモードを選ぶ」（☞13-2ページ）

公衆＋オフィスモード（デュアルモード）時に表示されます。 や は、優先発信側に表示されます。「利用するモードを選ぶ」（☞13-2ページ）

公衆＋グループモード（デュアルモード）時に表示されます。◀や▶は、優先発信側に表示されます。「利用するモードを選ぶ」（☞13-2ページ）

⑤
Webページの取得中やEメールの送受信中に表示されます。「Webページの基本的な操作」（☞6-3ページ）「Eメールを送る」（☞5-3ページ）「Eメールを受け取る」（☞5-5ページ）

SSL通信中に表示されます。「SSL証明書の有効／無効を設定する」（☞9-26ページ）

⑥ ～
電池残量が表示されます。「充電する」（☞1-3ページ）

充電中に表示されます。「充電する」（☞1-3ページ）「USB充電」（☞12-4ページ）

USB充電中に表示されます。「USB充電」（☞12-4ページ）

⑦ LI
着信型位置情報機能の設定時に表示されます。「着信型機能を利用する」（☞12-24ページ）

⑧
ダイヤルロックの設定時に表示されます。「ダイヤルをロックする」（☞11-10ページ）

⑨
マナーモードの設定時に表示されます。「マナーモードを設定する」（☞7-46ページ）

着信音量が「OFF」に設定されているときに表示されます。「着信音量を設定する」（☞7-44ページ）

⑩
バイブレータの設定時に表示されます。「バイブレータを設定する」（☞7-45ページ）

⑪
目覚ましの設定時に表示されます。「目覚ましを利用する」（☞12-17ページ）

⑫
留守録の設定時に表示されます。「留守録を設定／解除する」（☞7-57ページ）

録音件数がいっぱいのときに表示されます。

安全運転モードの設定時に表示されます。「安全運転モードを設定する」（☞7-47ページ）

⑬
不在着信があったときに表示されます。「電話に出ないとき」（☞7-9ページ）

データ通信の不在着信があったときに表示されます。「パソコン接続中に着信する」（☞10-18ページ）

⑭
新着メールがあるときに表示されます。「自動でEメールを受信する」（☞8-13ページ）「ライトメールを受信する」（☞8-46ページ）

未読メールがあるときに表示されます。「自動でEメールを受信する」（☞8-13ページ）「ライトメールを受信する」（☞8-46ページ）

⑮
ウィルコムのメールサーバーにEメールがあるときに表示されます。「Eメールを受信する」（☞8-13ページ）

本電話機のメモリがいっぱいでEメールを受信できなかったときに表示されます。「Eメールを受信する」（☞8-13ページ）

⑯
未確認のスケジュールがあるときに表示されます。「スケジュールを登録する」（☞12-12ページ）

⑰
未再生の録音データがあるときに表示されます。「通話録音を再生する」（☞7-12ページ）「メモ録音を再生する」（☞7-53ページ）「録音されたメッセージを再生する」（☞7-58ページ）

⑱
留守番電話センターにメッセージがあるときに表示されます。「留守番電話サービスを利用する（有料）」（☞12-39ページ）

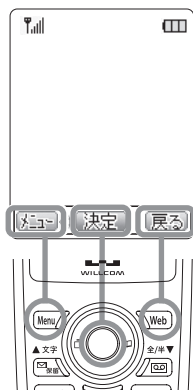
⑲ RM
ローミングモードの設定時に表示されます。「ローミングモードに切り替える」（☞12-33ページ）

⑳ キーロック

キーロックの設定時に表示されます。「ボタン操作をロックする（キーロック）」（☞11-9ページ）

メニュー ◈ 決定　戻る
「ガイダンス表示について」（☞同じページ内です。）

ガイダンス表示について

画面の下端には、Menu（Menuボタン）、◯（決定ボタン）、Web（Webボタン）のその時点の機能が表示されます。

本書では、ボタンのあとに、対応するガイダンスを（メニュー）（決定）（戻る）のように表記しています。
画面に「◈」や「⇕」などが表示されているときに、矢印の方向へ◈ボタンを操作することができます。
本書ではボタンを、操作する方向に合わせ◈、◈のように表記しています。

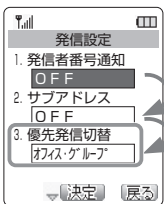
ボタンの使いかた

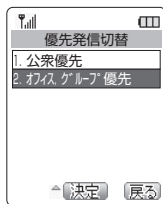
項目の選択と決定のしかた

本電話機では、画面に表示された項目を選択して「決定」という操作を行うことで、さまざまな機能を実行します。項目の選択と決定の操作には、◎ボタンを使う方法とダイヤルボタンを使う方法とがあります。

◎ボタンで選択するには

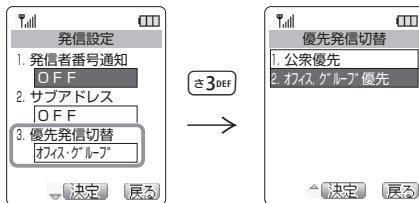
1　◎ボタンで項目を選択する

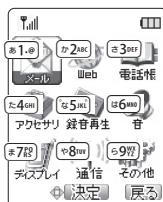
この画面のように選択肢が上下に並んでいる場合は、◎で項目を選択します。例えば「1.発信者番号通知」が選択された状態から「3.優先発信切替」を選択する場合は、◎を2回押します。

2　○（決定）を押す

「優先発信切替」の画面が表示されます。

ダイヤルボタンで選択するには

選択肢に「1.」、「2.」、「3.」…と番号が振られている場合は、その番号のボタンを押すことで項目が選択されます。

1　ダイヤルボタンを押す

例えば「3.優先発信切替」を選択する場合は さ3DEF を押します。

メニューについて

待ち受け画面で Menu（Menuボタン）を押すとメニューが表示されます。メニューから本電話機の各機能を使用することができます。
メニューの項目は ◎ で選択して ◯（決定）を押す方法で実行できるほか、図で示したダイヤルボタンで実行することもできます。

例えば、「着信音量・バイブ」を実行する場合は、次のように操作します。

1 待ち受け画面で Menu（Menuボタン）を押す

メニューが表示されます。

2 ◎ を押して「音」を選択する

▶ ダイヤルボタン（は6MNO）を押したときは

手順3の◯（決定）を押す操作が省略されて、手順3の画面が表示されます。

3 ◯（決定）を押す

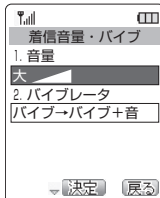
「音」のメニューが表示されます。

4 ◎ を押して「着信音量・バイブ」を選択する

▶ ダイヤルボタン（か2ABC）を押したときは

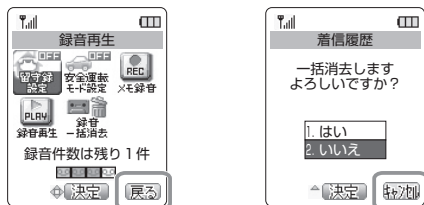
手順5の◯（決定）を押す操作が省略されて、手順5の画面が表示されます。

5 ◯（決定）を押す

「着信音量・バイブ」のメニューが表示されます。

共通のボタン操作

以下は、本電話機の機能全体に共通するボタン操作です。

前の画面に戻る

画面の下端に「戻る」または「キャンセル」が表示されているときは、1つ前の画面に戻ることができます。

■画面に「戻る」が表示されているときは

1　Web（戻る）または クリア/マナー を押す

1つ前の画面に戻ります。

■画面に「キャンセル」が表示されているときは

1　Web（キャンセル）を押す

操作が取り消されて、1つ前の画面に戻ります。

待ち受け画面に戻る

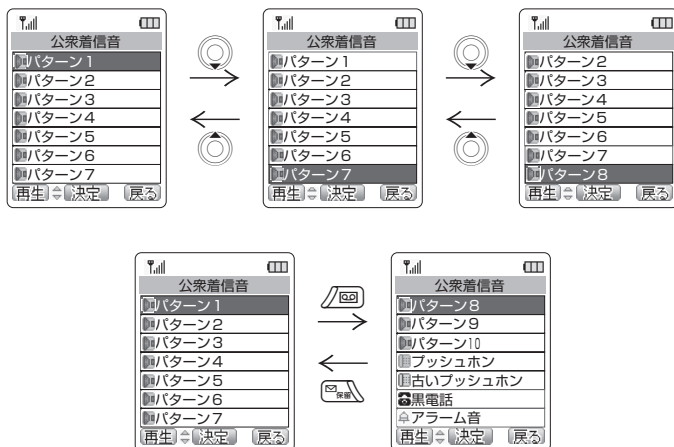
1　PWR を押す

登録や設定が取り消されて、待ち受け画面に戻ります。

お知らせ

- 通話中に操作を行う場合は、PWR を押すと通話が切れてしまうため、操作を終了するときは Web（戻る）または クリア/マナー を押してください。

スクロールする

一覧表示の画面では、◎を押して、画面を上下にスクロールすることができます。◎を約1秒以上押し続けると高速スクロールとなります。
✉保留 または ✎ を押して、次のページにスクロールしたり元のページに戻ったりすることもできます。

日時を設定する

本電話機の使用開始前に、画面に表示する日時を設定してください。日時が正しくないと、着信履歴やメールなどの日時も正しく表示されません。
ネットワーク側から時刻情報を受信し、自動的に時刻を補正することもできます。
設定できる範囲は、2002年1月1日0時0分から2099年12月31日23時59分までです。

1 待ち受け画面で Menu（Menuボタン）を押す

メニューが表示されます。

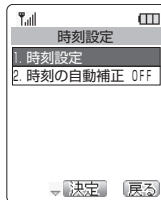
2 で「その他」を選択する

3 ◯（決定）を押す

「その他」のメニューが表示されます。

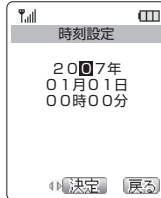
4 で「時刻設定」を選択する

5 ◯（決定）を押す

「時刻設定」のメニューが表示されます。

6 ◯（決定）を押す

年月日を入力する画面に、現在の設定内容が表示されます。

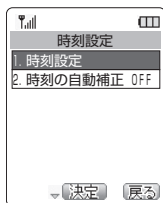
▶**「1.時刻設定」が選択されていないときは**

で「1.時刻設定」を選択してから◯（決定）を押してください。

7 で年月日または時刻の直したい箇所にカーソルを移動し、0 〜 9 で正しい年月日と時刻を入力する

年は、西暦の下2桁を入力します。
1桁の数字を入力するときは、先頭に0をつけて、「01」のように入力してください。

8 ◯（決定）を押す

日時が設定され、「設定しました」と表示されます。

9 PWR を押す

待ち受け画面に戻ります。

お知らせ

- お買い上げ時は「2007年01月01日00時00分」に設定されています。
- 設定した時刻は、電池パックを交換する際にも保持されますが、故障、修理、その他取扱いの不注意によってリセットされることがあります。その場合は、再度日時を設定してください。
- 時計の精度は、1か月に±60秒程度です(25℃常温の条件時)。
- 時刻はパケット通信時に自動的に補正されるように設定されています。「時刻の自動補正」(☞12-6ページ)

2
電話をかける／受ける

電話をかける

電話をかける前に

画面が、次のようになっていることを確認してください。

・「圏外」が表示されていない。
「圏外」が表示されているときは、電波が届いていないためご利用になれません。電波状態が良好な場所に移動してください。「画面の見かた」(☞1-11ページ)
・電池残量がある。「電池残量を確認するには」(☞1-6ページ)

電話をかける

電話をかけるときは次のようにします。

1　アンテナを伸ばす

2　0 ～ 9 でダイヤルする

0701234XXXX
メニュー　ライト

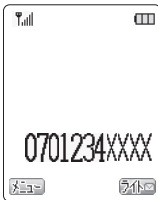
▶ 一般電話にかけるには

市外局番からダイヤルしてください。電話番号は32桁までダイヤルできます。

▶ 番号を間違えたら

クリア/マナー を押すごとに最後の1桁が削除されるので、間違っている番号を削除し、正しい番号を入力しなおしてください。また、クリア/マナー を約1秒以上押すと、入力したすべての桁が削除されます。

3　発信キー を押す

0701234XXXX

「☎」が点灯し、電話がかかります。
電話帳に登録されている番号のときは、相手の名前が表示されます。

4　相手が出たら通話を始める

相手が電話に出ると画面左上に「通話中」、通話時間が表示されます。

▶ 回線が混んでいてつながらないときは

「ツーツーツー」という話中音が聞こえます。(画面に「おかけなおしください」と表示されることや、「電波の届かない場所におられるか、電源が入っていないためかかりません」などのアナウンスが流れることもあります。)そのようなときは、PWR を押していったん電話を切り、しばらくしてからかけなおしてください。

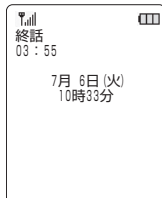
▶ 通話中に音量を変えるには

◎を押すと、受話音量の調節画面が表示され、続けて ◎ を押すごとに音量が変わります。

5 通話が終了したら [PWR☎] を押す

「☎」が消灯します。

終話
03：55

7月 6日(火)
10時33分

お知らせ

- 電話番号入力中に ◎ または ◎ を押すと、カーソルが表示され、選択した番号を修正することができます。
- ☎ を押してからダイヤルしても電話をかけることができます。このとき、ダイヤルしてから約５秒後に発信が行われるので、相手とつながるまでに多少の時間がかかります。

電話を受ける

電話がかかってきたときは次のようにします。

1　着信音が鳴る

相手の発信者番号が通知されてきたときは、画面に電話番号が表示されます。
着信LEDの設定に従い、着信LEDが点滅します。「着信LED」（☞12-9ページ）

電話帳に登録されている番号からの着信のときは、相手の名前が表示されます。

▶ **着信音を止めるには**

着信音を止めたいときは、[PWR]を押します。

2　アンテナを伸ばす

3　[通話]を押して通話する

「[通話中アイコン]」が点灯します。
画面左上に「通話中」、通話時間が表示されます。

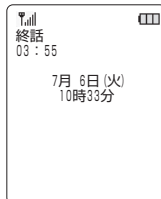
▶ **電話に出ないと**

待ち受け画面に電話があったことを表す「[不在着信アイコン]」が表示されます。この表示は着信履歴を確認すると消灯します。「記録されている電話番号にかける（リダイヤル／着信履歴／ダイヤルメモ）」（☞7-5ページ）

▶ **通話中に音量を変えるには**

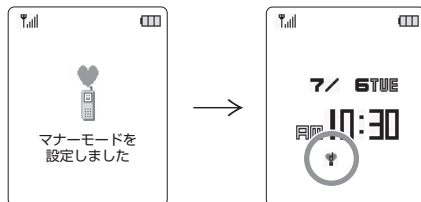
[上下キー]を押すと、受話音量の調節画面が表示され、続けて[上下キー]を押すごとに音量が変わります。

4　通話が終わったら[PWR]を押す

「[通話中アイコン]」が消灯します。

マナーモードにする

電車の中や映画館など、着信音を鳴らしたくない場所では本電話機をマナーモードにしましょう。マナーモードにすると、電話がかかってきても着信音は鳴らず、バイブレータで着信を知らせます。

1 待ち受け画面で クリア/マナー を約 1 秒以上押す

「マナーモードを設定しました」と表示され、待ち受け画面に戻ります。本機能を設定すると、待ち受け画面に「 」が点灯します。

▶ マナーモードを解除するには

待ち受け画面で クリア/マナー を約 1 秒以上押すと、完了音が鳴り、マナーモードが解除され、「マナーモードを解除しました」と表示されます。

記録された電話番号にかける

電話をかけた相手や、発信者番号を通知してかけてきた相手の電話番号は、本電話機に自動的に記録されるので、その電話番号に簡単な操作で電話をかけることができます。

リダイヤルする

かけた電話の記録を表示して、その相手に電話をかけます。

1 待ち受け画面で ◎ を押す

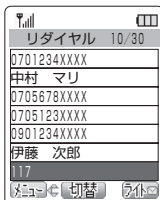
相手の電話番号（電話帳に登録されている場合は登録名）

リダイヤル 1/30
安藤　太郎
田中　花子
渡辺　明男
0701234XXXX
中村　マリ
0705678XXXX
0705123XXXX
メニュー　切替　ライト

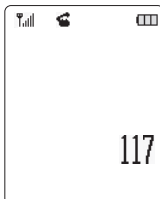
発信記録の一覧表示画面が表示され、最後にかけた電話番号が「リダイヤル 1」として表示されます。
電話帳に登録されている相手の記録は、名前が表示されます。

▶ リダイヤルの内容の詳細を知りたいときは

発信日時

◯（切替）を押します。詳細表示画面が表示されます。その後、◯（切替）を押すと、一覧表示画面に戻ります。

2 ◎ で、相手を選択する

3 ☎ を押す

表示されている相手に電話がかかります。

着信履歴の電話番号にかける

かかってきた電話の記録（着信履歴）を表示して、その相手に電話をかけます。

1　待ち受け画面で ◎ を２回押す

相手の電話番号
（電話帳に登録されている場合は登録名）

着信履歴の一覧表示画面が表示されます。
電話帳に登録されている相手の記録は、名前が表示されます。

▶ **着信履歴の内容の詳細を知りたいときは**

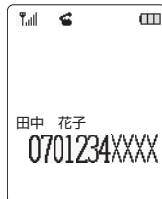
発信日時

◯（切替）を押します。詳細表示画面が表示されます。その後、◯（切替）を押すと、一覧表示画面に戻ります。

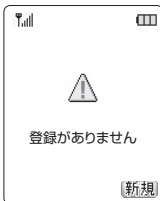
2　◎ で、相手を選択する

3　☎ を押す

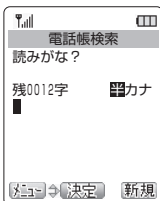
表示されている相手に電話がかかります。

3
電話帳を使う

電話帳に登録する

よく電話をかける相手の電話番号は電話帳に登録しておくと便利です。登録した電話番号には簡単な操作で電話をかけられます。また、登録した電話番号から電話がかかってきたときには相手の名前が画面に表示されるので、誰からの電話かが出る前にわかります。
電話帳にはメールアドレスなどさまざまな情報を登録できますが、ここでは名前と電話番号だけを登録してみましょう。「電話帳を利用する」（☞7-29ページ）

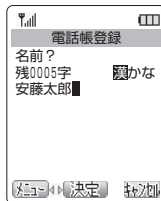
1 待ち受け画面で ◎ を押す

▶ **すでに電話帳に登録したときは**

すでに、電話番号などを電話帳に登録したことがあるときは、次の画面が表示されます。

2 Web（新規）を押す

電話帳登録画面が表示されます。

3 「名前＆グループ？」が選択されていることを確認し、◯（決定）を押す

4 名前を入力する

名前は次の手順で入力します。苗字だけでも下の名だけでもかまいません。文字の入力方法は次の章で説明します。「文字を入力する」（☞4-5ページ）

①ダイヤルボタンで名前の読みを入力する
（例　あんどうたろう）

押すボタン	表示される文字
あ1.@	あ
わを0ん わを0ん わを0ん	ん
た4GHI た4GHI た4GHI た4GHI た4GHI ﾞ#↵	ど
あ1.@ あ1.@ あ1.@	う
た4GHI	た
ら9WXYZ ら9WXYZ ら9WXYZ ら9WXYZ ら9WXYZ	ろ
あ1.@ あ1.@ あ1.@	う

② ◎ で漢字に変換する
（例　あんどうたろう　→　安藤太郎）

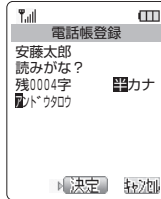
③ ◯（決定）で変換結果を確定する
間違って入力した文字は クリア/マナー で消去することができます。

5 ◯（決定）を押す

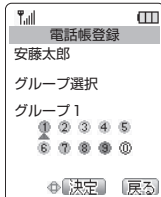
入力した名前の読みがな（フリガナ）が表示されます。

電話帳登録
安藤太郎
読みがな？
残0004字　半カナ
ｱﾝﾄﾞｳﾀﾛｳ
決定　キャンセル

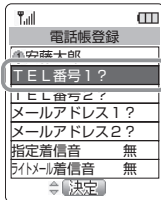
▶ **名前の読みがなを修正するには**

◎ で直したい箇所にカーソルを移動し、クリア/マナー で消去してから、ダイヤルボタンで正しい読みがなを入力します。

6 ◯（決定）を押す

グループを選択する画面が表示されます。

7 で登録したいグループを選択する

8 ◯（決定）を押す

入力した名前やグループが、電話帳登録画面に表示されます。

9 で「TEL番号1？」を選択する

10 ◯（決定）を押す

11 ダイヤルボタンで電話番号を入力する

▶ 電話番号を修正するには

で直したい箇所にカーソルを移動し、で消去してから、ダイヤルボタンで正しい番号を入力します。

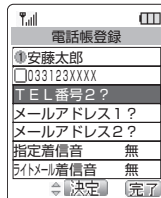
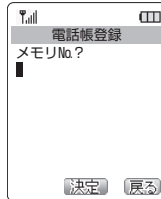
12 ◯（決定）を押す

電話番号の分類マークを登録する画面が表示されます。

13 で登録したいマークを選択する

14 ◯（決定）を押す

入力した電話番号や選択した分類マークが電話帳登録画面に表示されます。

15 Web（完了）を押す

メモリNo.の登録画面が表示されます。これはデータの検索などに使う番号です。自分で指定することもできますが、指定しなければ自動的に設定されます。

16 ◯（決定）を押す

入力したデータが電話帳に登録され、「No.XXXに登録しました」と表示されます。

記録された電話番号を登録する

リダイヤル（発信記録）や着信履歴に残っている電話番号は、次の手順で電話帳に登録することができます。「リダイヤルや着信履歴の電話番号を登録する」（☞7-34ページ）

1　待ち受け画面で ◎ を押す

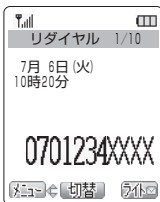
リダイヤル（発信記録）の一覧表示画面が表示されます。

▶ **着信履歴を表示するには**

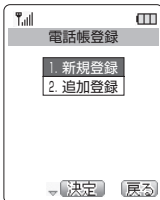
待ち受け画面で ◎ を２回押します。

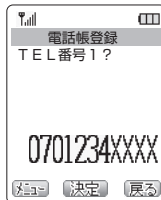
▶ **一覧表示画面と詳細表示画面を切り替えるには**

◯（切替）を押します。

2　◎ で登録したい電話番号を選択する

3　Menu（メニュー）を押す

4　◎ で「1.電話帳登録」を選択する

5　◯（決定）を押す

6　「1.新規登録」が選択されていることを確認し、◯（決定）を押す

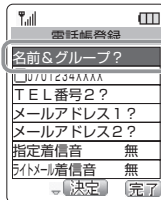
電話帳登録画面が表示されます。手順２で選択した電話番号が表示されます。

7　◯（決定）を押す

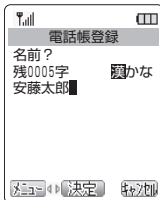
分類マークを登録する画面が表示されます。

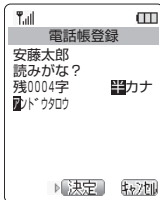
8　◎ で分類マークを選択する

9　◯（決定）を押す

電話番号や分類マークが電話帳登録画面に表示されます。

10　◎ で「名前＆グループ？」を選択する

11　◯（決定）を押す

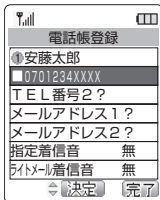
12 名前を入力する

13 ◯（決定）を押す

入力した名前の読みがな（フリガナ）が表示されます。

14 ◯（決定）を押す

グループを登録する画面が表示されます。

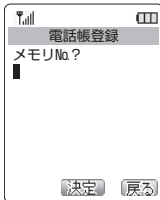
15 でグループを選択する

16 ◯（決定）を押す

入力した名前やグループが電話帳登録画面に表示されます。

17 Web（完了）を押す

メモリNo.の登録画面が表示されます。これはデータの検索などに使う番号です。「000」～「999」の3桁の数字を入力します。

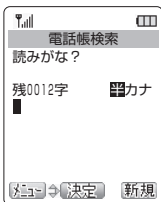
▶ 自動でメモリNo.を登録するとき

メモリNo.を入力せずに、手順18へ進みます。メモリNo. 010以降の空いている一番小さいメモリNo.に登録されます。

18 ◯（決定）を押す

入力したデータが電話帳に登録され、「No.XXXに登録しました」と表示されます。

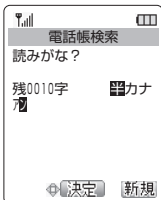
電話帳から電話をかける

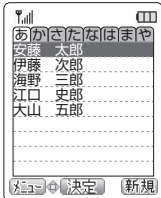
電話帳に登録した電話番号を表示し、電話をかけることができます。電話帳の表示のしかたには、「名前一覧」「グループ一覧」「マーク一覧」「メモリNo.一覧」があります。ここでは、「名前一覧」を表示してから電話をかけてみましょう。「電話帳を使って電話をかける」(☞7-36ページ)

1 待ち受け画面で ◎ を押す

▶ **本画面が表示されないときは**

電話帳に登録した内容は、「名前検索」「グループ検索」「マーク検索」「メモリNo.検索」の4つの方法で検索できます。待ち受け画面で ◎ を押したときに表示される画面は、前回使用した検索機能の画面です。詳細は「電話帳を使って電話をかける」(☞7-36ページ)を参照してください。

2 電話をかけたい相手の名前の読みがなを入力する

入力する読みがなは、すべてを入力しなくてもかまいません。「文字を入力する」(☞4-5ページ)

3 ◯（決定）を押す

電話帳の登録データが50音順に一覧表示されます。入力した読みがなに一致した名前が選択されています。

4 ◎ で相手の名前を選択する

◎ でカーソルが上下に移動します。
◎ で行（あ行、か行、さ行、…）が切り替わります。

5 ◯（決定）を押す

6 ◎ で電話番号を選択する

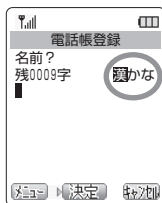
7 ☎ を押す

相手先に電話がかかります。

4
文字の入力について

文字の種類を切り替える

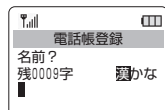
入力モードについて

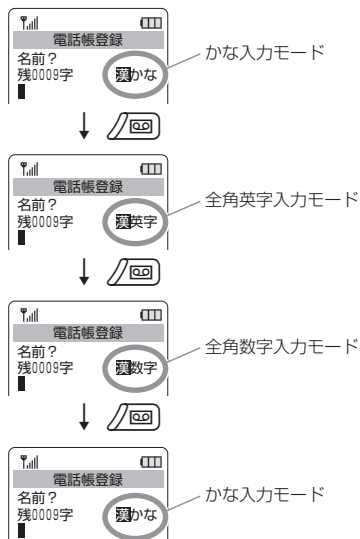
電話帳に名前を入力するときやメールを書くときなど、文字を入力するときにはまず「入力モード」を選びます。ひらがな、カタカナ、英字（アルファベット）、数字といった文字の種類のうち、どの文字を入力するかを決めるのが入力モードです。
本電話機では、文字の入力方式が２つあります。１つは「かな漢字変換入力」です。これは、ひらがな・英字・数字を入力して、変換してから文字を確定する方式です。もう１つは「直接入力」です。これは、カタカナ・英字・数字を直接入力して文字を確定する方式です。この２つにはそれぞれ、入力モードがあります。文字入力中は、画面の右上に入力モードが表示されます。

入力方式	入力モード	画面での表示
かな漢字変換入力	かな入力	「漢かな」
	全角英字入力	「漢英字」
	全角数字入力	「漢数字」
直接入力	全角カタカナ入力	「全カナ」
	半角カタカナ入力	「半カナ」
	全角英字入力	「全英字」
	半角英字入力	「半英字」
	全角数字入力	「全数字」
	半角数字入力	「半数字」

入力モードを切り替える

入力する文字の種類を切り替える方法を説明します。ここでは電話帳登録画面を例にしますが、他の文字入力画面でも操作は同じです。詳細については、「文字を入力する」（☞7-15ページ）を参照してください。

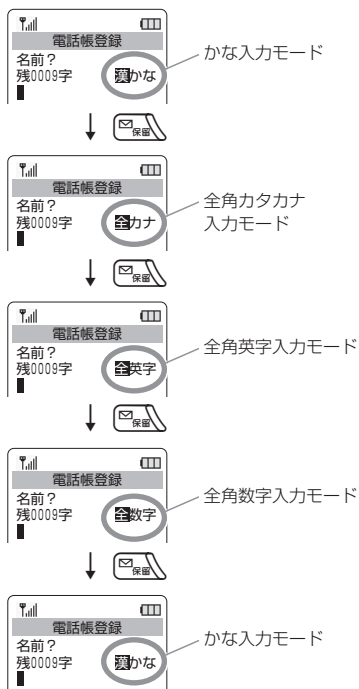
1 文字を入力する画面を表示する

右上に入力モードが表示されます。

■かな漢字変換入力の場合

2 [キー] を繰り返し押して、入力モードを選択する

■かな入力モード・直接入力の場合

2 [メール/保留キー]を繰り返し押して、入力モードを選択する

▶ **全角入力/半角入力を切り替えるには**

直接入力のときに、[留守キー]を押します。半角入力モードで[メール/保留キー]を押したときは、「半カナ」→「半英字」→「半数字」→「半カナ」のように切り替わります。

文字を入力する

入力モードを選択したら、実際に文字を入力します。文字を入力するには わ0 ～ ら9 ＊ ＃ のダイヤルボタンを使用します。ここでは例としてライトメールの本文を作成するときに「あおぞら町123　コーポAbc」と入力してみます。

ひらがなや漢字を入力する

ひらがなや漢字はかな入力モードで入力します。ダイヤルボタンに「あ行」から「わ行」までのひらがなが割り振られており、ボタンを押す回数により入力される文字が切り替わります。漢字は、まずその読みをひらがなで入力し、それから漢字に変換します。漢字変換前のひらがなは、一度に最大32文字まで入力できます。

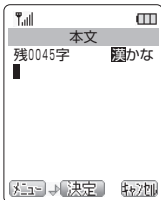
かな漢字変換入力の「かな入力」モード

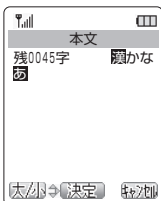
ボタン	ボタンを押したときに入力される文字									
	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	6回目	7回目	8回目	9回目	10回目
あ1	あ	い	う	え	お	ぁ	ぃ	ぅ	ぇ	ぉ
か2	か	き	く	け	こ					
さ3	さ	し	す	せ	そ					
た4	た	ち	つ	て	と	っ				
な5	な	に	ぬ	ね	の					
は6	は	ひ	ふ	へ	ほ					
ま7	ま	み	む	め	も					
や8	や	ゆ	よ	ゃ	ゅ	ょ				
ら9	ら	り	る	れ	ろ					
わ0	わ	を	ん	ー	、	。				
＃	゛	゜	改行（約1秒以上）							
＊	記号入力モードへの切り替え									

お知らせ

- ＃ を約1秒以上押すと、改行が入力できます。
- ＃ で「゛」が入力できるのは、濁点の付く文字（か行、さ行、た行、は行）を入力しているときだけです。
- ＃ で「゜」が入力できるのは、半濁点の付く文字（は行）を入力しているときだけです。
- 表に示された回数を超えてボタンを押すと、最初の文字に戻ります。例えば か2 を6回押すと、1回目を押したときと同じく「か」が入力されます。

1 **文字入力中に、[キー]または[キー]を押して、かな入力モードにする「入力する文字の種類を切り替える」(☞7-15ページ)**

「漢かな」が表示されているときはすでにかな入力モードになっているので、入力モードを切り替える必要はありません。

2 **[あ1.@]を押して「あ」を入力する**

「あ」が表示されます。

3 **[カーソルキー]でカーソルを右に移動する**

カーソルが1文字分だけ右に移動します。次に入力する「お」も[あ1.@]を使いますが、このように同じボタンで入力する文字が続くときは、[カーソルキー]でカーソルを移動します。

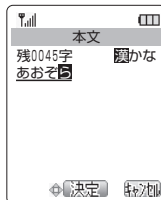
4 **[あ1.@]を5回押して「お」を入力する**

▶ **ボタンを押しすぎたときは**

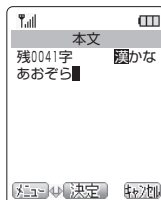
誤ってボタンを6回以上押してしまったときは、そのままボタンを繰り返し押していってください。11回目で最初の文字に戻り、さらに繰り返し押すことで「お」が表示されます。

5 **[さ3DEF]を5回押して「そ」を入力する**

6 **[#]を押して「そ」に濁点を付ける**

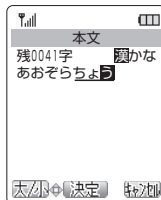
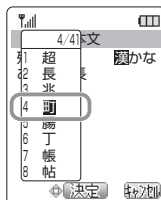
「ぞ」が入力されます。このように、濁点・半濁点を付けるときは、まず濁点・半濁点なしの文字を入力し、次に[#]を1回（濁点）または2回（半濁点）押します。

7 **[ら9WXYZ]を押して「ら」を入力する**

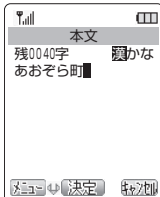
8 **◯（決定）を押す**

入力された「あおぞら」が確定されます。

9 **[た4GHI]を2回押して「ち」を入力する**

10 **[や8TUV]を6回押して「ょ」を入力する**

11 **[あ1.@]を3回押して「う」を入力する**

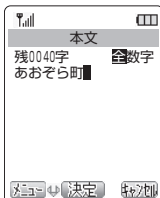
12 **[カーソルキー]を押して、「町」を選択する**

[カーソルキー]で変換候補にカーソルが移動し、[カーソルキー]を行うごとにカーソルが次の候補へ移動します。[カーソルキー]でカーソルを前の候補に戻すこともできます。

13 ◯（決定）を押す

「町」が入力されます。

お知らせ

● 入力を終えるときは◯（決定）を押しますが、ここでは「あおぞら町123　コーポAbc」と入力するので、引き続き入力操作を行います。

数字を入力する

数字を入力するときは、かな漢字変換入力の「全角数字入力」モードか、直接入力の「全角数字入力」モードまたは「半角数字入力」モードに切り替えます。
ここでは前項の続きとして「あおぞら町123　コーポAbc」の「123」の部分を半角の数字で入力します。

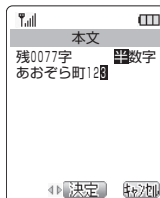
1 「かな入力」モードのときに、［保留］を3回押して、直接入力の「全角数字入力」モードにする

2 ［メモ］を押す

「半角数字入力」モードになります。

3 ［あ1.@］［か2ABC］［さ3DEF］を押す

「123」が入力されます。

▶ **「-」（ハイフン）を入力するには**

住所や郵便番号で使われる「-」を入力するときは、直接入力の「半角英字入力」モードで［あ1.@］を4回押します。「入力する文字の種類を切り替える」（☞7-15ページ）

▶ **文字を削除するには**

間違って入力した文字を削除するには、［クリア/マナー］を押します。カーソル位置の文字が削除されます。［◎］でカーソルを移動してから［クリア/マナー］を押して削除することもできます。

お知らせ

● 入力を終えるときは◯（決定）を押しますが、ここでは「あおぞら町123　コーポAbc」と入力するので、引き続き入力操作を行います。

カタカナを入力する

カタカナを入力するときは、直接入力の「全角カタカナ入力」モードまたは「半角カタカナ入力」モードに切り替えます。

直接入力の「全角カタカナ入力」モード・「半角カタカナ入力」モード

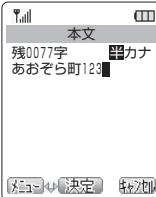
ボタン	ボタンを押したときに入力される文字									
	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	6回目	7回目	8回目	9回目	10回目
あ1.@	ア	イ	ウ	エ	オ	ァ	ィ	ゥ	ェ	ォ
か2ABC	カ	キ	ク	ケ	コ					
さ3DEF	サ	シ	ス	セ	ソ					
た4GHI	タ	チ	ツ	テ	ト	ッ				
な5JKL	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ					
は6MNO	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ					
ま7PQRS	マ	ミ	ム	メ	モ					
や8TUV	ヤ	ユ	ヨ	ャ	ュ	ョ				
ら9WXYZ	ラ	リ	ル	レ	ロ					
わ0	ワ	ヲ	ン	ー	、	。	スペース			
#	゛	゜	改行（約1秒以上）							
*	記号入力モードへの切り替え									

お知らせ

- #を約1秒以上押すと、改行が入力できます。
- #で「゛」が入力できるのは、濁点の付く文字（カ行、サ行、タ行、ハ行）を入力しているときだけです。
- #で「゜」が入力できるのは、半濁点の付く文字（ハ行）を入力しているときだけです。
- 表に示された回数を超えてボタンを押すと、最初の文字に戻ります。例えば か2ABC を6回押すと、1回目を押したときと同じく「カ」が入力されます。

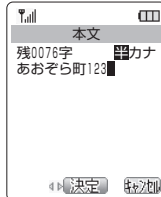
ここでは前項の続きとして「あおぞら町123　コーポAbc」の「コーポ」の部分を半角のカタカナで入力します。

1 「半角数字入力」モードのときに、 保留 を押して「半角カタカナ入力」モードにする

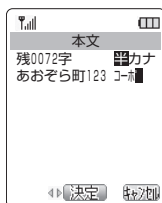
留守 を押して「全角数字入力」モードにしてから、保留 を2回押した後に 留守 を押しても、「半角カタカナ入力」モードになります。

2 わ0 を7回押して、スペースを入力する

「あおぞら町123」と「コーポAbc」の間を空けるため、スペース（空白文字）を入力します。

3 か2ABC を5回押して「コ」を入力する

4 わ0 を4回押して「ー」を入力する

5 [は6MNO] を5回押して「ホ」を入力する

6 [#] を2回押して「ホ」に半濁点を付ける

「ポ」が入力されます。

お知らせ

- この例はライトメールなので半角のカタカナが入力できますが、Eメールでは半角カタカナは入力できません。

英字を入力する

英字（アルファベット）を入力するときは、かな漢字変換入力の「全角英字入力」モードか、直接入力の「全角英字入力」モードまたは「半角英字入力」モードに切り替えます。

かな漢字変換入力の「全角英字入力」モード

ボタン	ボタンを押したときに入力される文字							
	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	6回目	7回目	8回目
[あ1]	無効							
[か2ABC]	a	b	c	A	B	C		
[さ3DEF]	d	e	f	D	E	F		
[た4GHI]	g	h	i	G	H	I		
[な5JKL]	j	k	l	J	K	L		
[は6MNO]	m	n	o	M	N	O		
[ま7PQRS]	p	q	r	s	P	Q	R	S
[や8TUV]	t	u	v	T	U	V		
[ら9WXYZ]	w	x	y	z	W	X	Y	Z
[わ0]	無効							
[#]	改行（約1秒以上）							
[*]	記号入力モードへの切り替え							

直接入力の「全角英字入力」モード・「半角英字入力」モード

ボタン	ボタンを押したときに入力される文字							
	1 回目	2 回目	3 回目	4 回目	5 回目	6 回目	7 回目	8 回目
[あ1.@]	.	@	/	-	_	:	~	
[か2ABC]	a	b	c	A	B	C		
[さ3DEF]	d	e	f	D	E	F		
[た4GHI]	g	h	i	G	H	I		
[な5JKL]	j	k	l	J	K	L		
[は6MNO]	m	n	o	M	N	O		
[ま7PQRS]	p	q	r	s	P	Q	R	S
[や8TUV]	t	u	v	T	U	V		
[ら9WXYZ]	w	x	y	z	W	X	Y	Z
[わ0]	スペース							
[#]	改行（約 1 秒以上）							
[*]	記号入力モードへの切り替え							

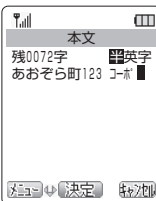
お知らせ

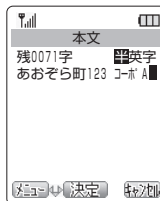
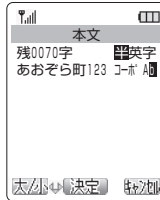
- 直接入力の [あ1.@] で入力ができるのは、半角入力のみ。全角入力時は無効です。
- 表に示された回数を超えてボタンを押すと、最初の文字に戻ります。例えば [か2ABC] を7回押すと、1 回目を押したときと同じく「a」が入力されます。
- 直接入力の [わ0] は、スペースの入力が有効な機能のときのみ使用できます。

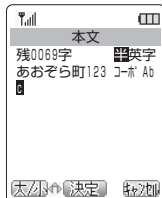
ここでは前項の続きとして「あおぞら町 123　コーポ Abc」の「Abc」の部分を半角の英字で入力します。

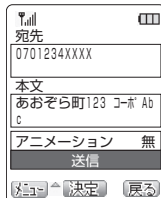
1 「半角カタカナ入力」モードのときに、[保留] を押して、「半角英字入力」モードにする

[留守] を押して「全角カタカナ入力」モードにしてから、[保留] を押した後に [留守] を押しても、「半角英字入力」モードになります。

2 [か2ABC] を4回押して「A」を入力する

3 [◎] でカーソルを右に移動する

次に入力する「b」も [か2ABC] を使うので、カーソルを1文字分だけ右に移動しておきます。

4 [か2ABC] を2回押して「b」を入力する

5 [◎] でカーソルを右に移動する

6 [か2ABC]を3回押して「c」を入力する

7 ◯（決定）を押す

入力した情報が登録されます。

お知らせ

- 文字入力については7章でさらに詳しく解説します。「文字を入力する」（☞7-15ページ）

5
メールを利用する

自分のメールアドレスを設定する

Eメールを利用するには、「オンラインサインアップ」という手続きで自分のメールアドレスを取得する必要があります。オンラインサインアップ後は、すぐにEメールが利用できます。

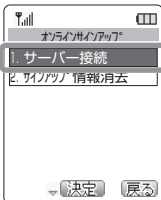
1 待ち受け画面で ✉ を押す

メールメニューが表示されます。

2 ◎で「オンラインサインアップ」を選択する

3 ○（決定）を押す

オンラインサインアップ画面が表示されます。

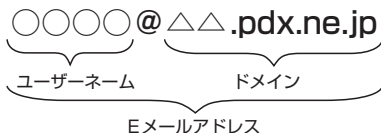
4 ◎で「1.サーバー接続」を選択する

5 ○（決定）を押す

オンラインサインアップサーバーへの接続が開始されます。

6 画面の指示に従って、操作を行う

「Webページの基本的な操作」（☞6-3ページ）の要領で操作を行い、ユーザーネームを登録します。オンラインサインアップが完了すると、すぐにEメールが使用できます。

▶ **ユーザーネームについて**

オンラインサインアップでは、Eメールアドレスの「@（アットマーク）」の左側の部分を設定します。この部分を「ユーザーネーム」といいます。残りの部分は、センターによって自動的に設定されます。

ユーザーネームは、次の規則に従って設定してください。

- 使用できる文字は、半角英数字、「-」（ハイフン）、「_」（アンダーバー）のみ
- 文字数は4～20文字
- 先頭は英字にする
- 英字は大文字で入力しても小文字で登録される

お知らせ

● Eメールのほかに、本電話機ではライトメールというメール機能も使用できます。「ライトメールを使用する」（☞8-43ページ）

Eメールを送る

新規にEメールを作成して送信します。

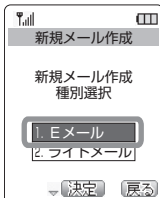
1 待ち受け画面で ✉ を押す

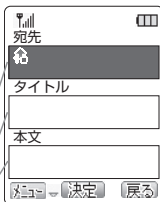
メールメニューが表示されます。

2 ◎で「新規作成」を選択する

3 ◯（決定）を押す

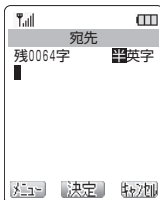
新規メール作成画面が表示されます。

4 ◎で「1.Eメール」を選択する

5 ◯（決定）を押す

メール作成画面が表示されます。入力が必要なのは宛先、タイトル、本文の3箇所です。

6 「宛先」が選択されていることを確認し、◯（決定）を押す

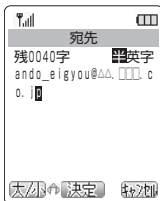
宛先表示画面が表示されます。

「宛先」が選択されていないときは、◎で「宛先」を選択してから◯（決定）を押します。

7 宛先表示画面で「宛先」が選択されていることを確認し、◯（決定）を押す

8 ダイヤルボタンで宛先のEメールアドレスを入力する

宛先
残0040字 半英字
ando_eigyou@△△.□□□.co.jp
大/小 決定 キャンセル

Eメールアドレスは半角で64文字まで入力できます。

「文字を入力する」（☞4-5ページ）

▶ Eメールアドレスの便利な入力方法

電話帳からEメールアドレスを検索して入力することができます。「電話帳を使って電話をかける」（☞7-36ページ）

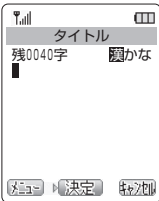
9 ◯を押す

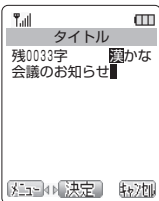
宛先表示画面に戻ります。

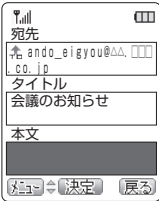
10「編集終了」が選択されていることを確認し、◯（決定）を押す

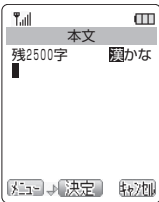
メール作成画面に戻ります。

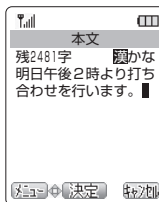
11「タイトル」が選択されていることを確認し、◯（決定）を押す

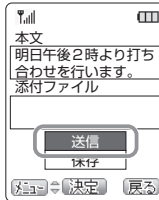
「タイトル」が選択されていないときは、◎で「タイトル」を選択してから◯（決定）を押します。

12ダイヤルボタンで、タイトルを入力する

全角40文字(半角80文字)まで入力できます。ただし、半角カタカナは使用できません。「文字を入力する」(☞4-5ページ)

13◯（決定）を押す

メール作成画面に戻ります。

14「本文」が選択されていることを確認し、◯（決定）を押す

「本文」が選択されていないときは、◎で「本文」を選択してから◯（決定）を押します。

15ダイヤルボタンで、本文を入力する

全角2500文字（半角5000文字）まで入力できます。ただし、半角カタカナは使用できません。「文字を入力する」(☞4-5ページ)

16◯（決定）を押す

17◎で「送信」を選択する

18◯（決定）を押す

Eメールが送信されます。

お知らせ

- 画像やメロディデータなどをメールに添付して送信することができます。「ファイルを添付して送信する」(☞8-10ページ)
- 一度に複数の相手にメールを送信することができます。「複数の宛先にメールを送信する」(☞8-10ページ)

Eメールを受け取る

オンラインサインアップで取得したメールアドレスの場合は、Eメールは自動的に受信することができます。

1 Eメールを自動的に受信する

受信が終わると、待ち受け画面に「」が点灯します。
「受信メールを表示する」(☞8-15ページ)

お知らせ

- 自動で受信するには、Eメール自動受信機能が「ON」に設定されている必要があります。お買い上げ時の設定は「ON」です。「Eメール自動受信機能を設定する」(☞8-33ページ)

メールを読む

受信したEメールとライトメールは、「受信メール」に保存されます。受信メールは、Eメールが最大500件まで、ライトメールが50件まで保存されます。

1 待ち受け画面で ［メール］ を押す

メールメニューが表示されます。

▶ 受信メールアイコンの表示

：新着メール

：未読メール

2 ［方向キー］ で「受信メール」を選択する

3 ◯（決定）を押す

受信トレイ内のメール一覧（差出人表示）画面が表示されます。

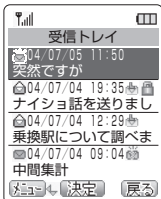
▶ メール一覧（タイトル表示）画面を表示するには

［方向キー］ を押すと、差出人表示とタイトル表示を切り替えることができます。

4 ［方向キー］ で読みたいメールを選択する

5 ◯（決定）を押す

受信メールの詳細画面が表示されます。

メールの本文が画面に表示しきれていないときは、［方向キー］ で本文の続きを表示します。［方向キー］ で元に戻すこともできます。また、［メール］ または ［キー］ を押すと、1画面分スクロールすることもできます。

▶ メールを消去するには

［Menu］（メニュー）を押し、「9.個別消去」を選択します。確認のメッセージが表示されるので、［方向キー］ で「1.はい」を選択し、◯（決定）を押します。

6 インターネットを利用する

インターネットの利用を開始する／終了する

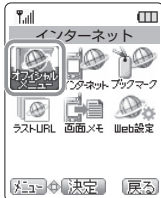
本電話機は、Compact HTMLに対応したWebブラウザ（Webページ閲覧ソフト）を搭載しています。お買い上げ後はすぐにインターネットに接続し、携帯電話向けにつくられたWebページを見ることができます。
また、お客様が現在契約しているプロバイダを利用してインターネットにアクセスすることもできます。

公式サイトを表示する

ウィルコムでは、さまざまな情報を集めた公式サイト「CLUB AIR-EDGE」をご提供しています。
最初はこの「CLUB AIR-EDGE」のサイトにアクセスし、そこから他のWebページに接続してみましょう。

1 待ち受け画面で Web（Webボタン）を押す

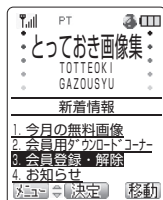
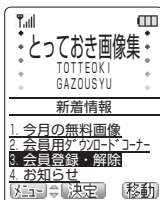
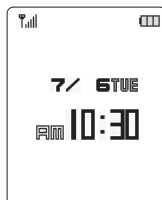
Webメニューが表示されます。

2 ◎で「オフィシャルメニュー」を選択する

3 ○（決定）を押す

「CLUB AIR-EDGE」への接続が開始されます。

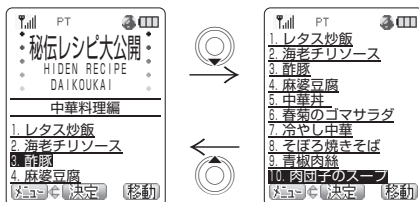
インターネットの利用を終了する

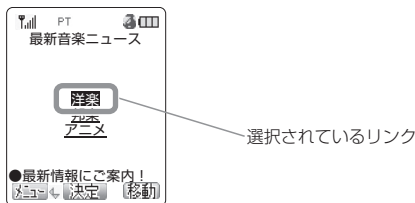
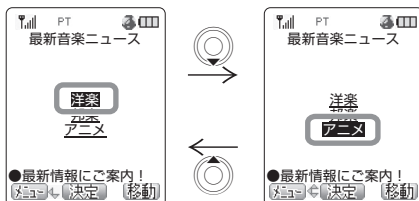
1 Webページの表示中に PWR を2回押す

PWR を押すと、回線が切断され、通信種別アイコン（「PT」）などが消灯します。その後、もう一度 PWR を押すと、インターネットの利用が終了し、待ち受け画面に戻ります。

Webページの基本的な操作

他のWebページに移動することや、Webページ内で項目を選択するなど、インターネットを使いこなすための基本的な操作を覚えましょう。

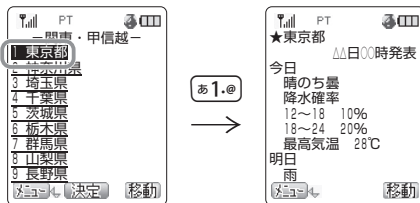
表示範囲を移動する

Webページが縦に長く、1画面に収まらないときは、◎で表示範囲を上下に移動（スクロール）すると続きを表示することができます。
または を押して、1画面ごとにスクロールすることもできます。

リンク先のWebページを表示する

リンクとは、Webページ内に表示されている、他のWebページへのジャンプ先のことです。リンクが設定されている箇所には下線が表示されています。このリンクを選択して、他のWebページを表示することができます。
Webページ内で選択されているリンクは、反転して表示（フォーカス）されます。この反転部分は、◎で移動することができます。

1 ◎で目的のリンクに反転部分を移動する

2 ◯（決定）を押す

リンク先のWebページが表示されます。

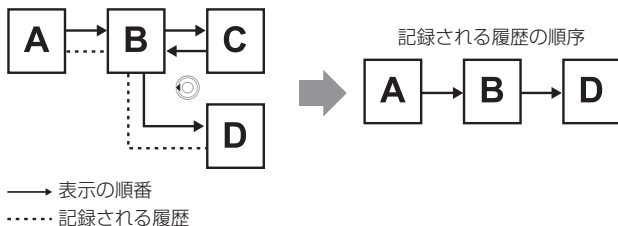
アクセスキーで移動する

リンク先を表す項目の先頭に番号が表示されているときは、その数字のダイヤルボタンを押すと、そのリンク先のWebページを表示することができます。
一部ご利用になれないWebページがあります。

前のページに戻る／次のページに進む

Webページをどのような順序で表示したかは、最後に表示したWebページから10件分までを、履歴として自動的に記録されています。この履歴を利用して、前後のページに移動することができます。

▶ **履歴の記録順序**

図のように、A→B→Cの順番にWebページを表示させ、◎を押してBに戻ったあとDを表示させたときは、Cの履歴は消去されてA→B→Dの経路が履歴として記録されます。

—— 表示の順番
…… 記録される履歴

■ひとつ前のページに戻る

1 Webページの表示中に◎を押す

履歴として記録されている、ひとつ前のWebページに戻ります。

インターネットを利用する
Webページの基本的な操作

■ 次のページに進む

1 **Webページの表示中に ◎ を押す**

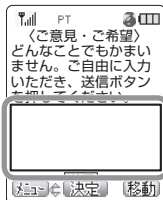
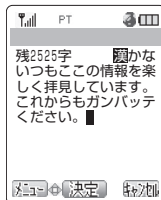
履歴として記録されている、次のWebページに進みます。

Webページでの入力と選択

Webページの中には、Webサーバに情報を送信するためのボックスやボタンが表示されているものがあります。このボックスやボタンを選択して、テキストを入力したり、項目を選択したりすることができます。
Webページ内で選択されているボックスやボタンは、枠で囲まれて表示（フォーカス）されます。この枠は ◎ で移動できます。

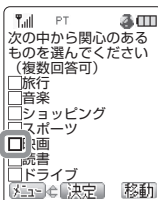
■テキストボックス

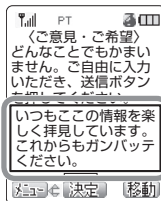
テキストボックスは、任意の文字の入力が必要な場合に使用します。

1 **◎ で目的のテキストボックスに枠を移動する**

2 **○（決定）を押す**

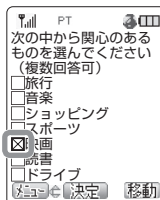
文字入力のための画面が表示されます。

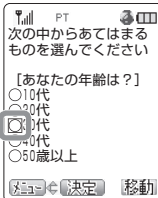
3 **文字を入力する**

「文字を入力する」（☞4-5ページ）

4 **○（決定）を押す**

テキストボックスに文字が入力されます。
パスワードなどを入力したときは「＊＊＊＊」と表示されることもあります。

■チェックボックス

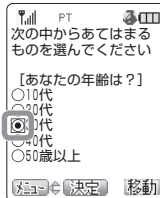
チェックボックスは、選択肢の中から複数の項目を選択する場合に使用します。

1 で目的のチェックボックスに枠を移動する

2 ○（決定）を押す

チェックボックスの表示が「☒」となり、設定がONになります。
OFFにするには、もう一度同じ操作を繰り返します。

3 他のチェックボックスをONにするときは、手順1～2を繰り返す

■ラジオボタン

ラジオボタンは、選択肢の中から1つだけを選択する場合に使用します。

1 で目的のラジオボタンに枠を移動する

2 ○（決定）を押す

ラジオボタンの表示が「○」から「◉」となり、設定がONになります。

インターネットを利用する

Webページの基本的な操作

■プルダウンメニュー

プルダウンメニューは、引き下げ形式の項目一覧から１つを選択する場合に使用します。

1 ◎で目的のプルダウンメニューに枠を移動する

2 ◯（決定）を押す

プルダウンメニューが開きます。

3 ◎で項目を選択する

一度にすべての項目が表示されないときは、◎で項目一覧をスクロールしてから選択します。
選択した項目は反転表示されます。

4 ◯（決定）を押す

選択した項目の内容が、枠内に表示されます。

> **お知らせ**
> ● 複数の項目を選択できるプルダウンメニューでは、◯（決定）を押すごとに項目の選択／選択解除を繰り返します。

■ボタン

ボタンは、データの送信などの機能を実行する場合に使用します。

1 ◎で目的のボタンに枠を移動する

2 ◯（決定）を押す

ボタンに割り当てられた機能が実行されます。

アドレスを指定して接続する

アドレスとは、インターネット上に存在するWebページの場所を示すもので、Webサーバと呼ばれるコンピュータの名前にあたるものです。URLとも呼ばれます。
このアドレスを入力して、インターネット上のWebページに接続することができます。

1 待ち受け画面で Web（Webボタン）を押す

Webメニューが表示されます。

2 ◎で「インターネット」を選択する

3 ○（決定）を押す

URL選択画面が表示されます。
Webページに接続したことがある場合には、URLの履歴が10件まで表示されます。お買い上げ時にはURLの履歴がないため表示されません。「URLの入力履歴からWebページに接続する」（☞9-8ページ）

4 ○（決定）を押す

URL入力画面が表示されます。

5 ○（決定）を押す

URLを編集する画面が表示されます。

6 URLを入力する

URLは「http://」を含めて半角で200文字まで入力できます。
「文字を入力する」（☞4-5ページ）

7 ○（決定）を押す

入力ボックスに入力したURLが表示されます。

8 ◎で「OK」を選択する

9 ○（決定）を押す

入力したURLのWebページに接続が開始されます。

ブックマークを利用する

ブックマークとは、本の「しおり」のような機能です。何度もアクセスするWebページをブックマークとして登録しておくと、簡単な操作で目的のWebページにアクセスできるので、URLの入力やリンクをたどっていく手間を省くことができます。ブックマークは、Webページの内容によって、５つのフォルダに分類して登録しておくことができます。１つのフォルダにつき各20件、合計100件まで登録できます。

ブックマークに登録する

1 Webページ表示中に Menu（メニュー）を押す

2 で「6.ブックマーク登録」を選択する

3 ◯（決定）を押す

4 で登録先のフォルダを選択する

5 ◯（決定）を押す

表示中のWebページがブックマークとして登録され、「ブックマークを登録しました」と表示されます。

ブックマークから接続する

1 **待ち受け画面で Web（Webボタン）を押す**

Webメニューが表示されます。

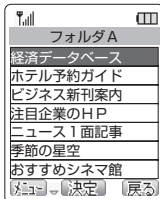
2 **で「ブックマーク」を選択する**

3 **◯（決定）を押す**

ブックマークフォルダ一覧画面が表示されます。

4 **で目的のブックマークが登録されているフォルダを選択する**

5 **◯（決定）を押す**

ブックマーク一覧画面が表示されます。

6 **で目的のブックマークを選択する**

7 **◯（決定）を押す**

選択したブックマークのWebページに接続します。

機能解説編

7

基本機能

電話をかける（発信）

利用できるサービス

電波の届く場所であれば、以下の相手に電話をすることができます。

・警察……………………………………110
・消防・救急……………………………119
・海上保安庁……………………………118
・NTT災害伝言ダイヤル……………171 ※1
・時報……………………………………117
・天気予報………………………………177
・番号案内………………………………104 ※2
・国際電話（ウィルコム国際電話サービス）※3
・ポケットベル呼び出し
・フリーダイヤル ※4

※1　詳しくはNTT東日本／NTT西日本にお問い合わせください。
※2　PHS電話番号はご案内できません。
※3　手続きなしで、本電話機から国際電話をかけることができます。「国際電話をかける」（ウィルコム国際電話サービス）（☞12-37ページ）
※4　「携帯・PHS OK」または「PHS OK」が表示されている番号が対象です。

■警察、消防・救急、海上保安庁にかけるには

・移動しながらでは通話中に電話が切れてしまうことがあるので、いったん止まったうえで通報してください。
・PHSからの通報であることを伝えてください。
・通報後、警察、消防、海上保安庁から問い合わせの電話がくることがあるので、電源を切ったり移動したりしないでください。

利用できないサービス

・電報……………………………………115
・NTTテレホンセンター……………116 ※5
・コレクトコール………………………106
・ダイヤルQ²
・ナビダイヤル
・衛星船舶電話

※5　ウィルコムの電話から116へかけた場合、ウィルコムサービスセンターへつながります。

電話をかける

一般電話に電話をかけるときは、必ず市外局番からダイヤルしてください。電話番号は32桁までダイヤルできます。

1 アンテナをのばす

2 ダイヤルボタンで相手の電話番号を入力する

入力した電話番号が表示されます。

▶ 電話番号を修正するには

① を押して、修正したい番号にカーソルを移動する
② で番号を消去し、ダイヤルボタンで正しい番号を入力する

3 を押す

「 」が点灯し、電話帳に登録されている番号のときは、相手の名前が表示されます。相手が電話に出ると通話ができます。
通話時間が表示されます。

▶ 回線が混んでいてつながらないとき

“ツーツーツー”という話中音が聞こえます。(画面に「おかけなおしください」と表示されることや、「電波の届かない場所におられるか、電源が入っていないためかかりません」などのアナウンスが流れることもあります。)

4 通話が終了したら、 を押す

「 」が消灯し、通話が終了します。

お知らせ

- を押してからダイヤルしても電話をかけることができます。このとき、ダイヤルしてから約5秒後に発信を行いますので、相手とつながるまでに多少時間がかかります。
- 通話時間の表示は目安です。通話料金の請求とは一致しないことがあります。
- サービスエリア内でも、屋内や車の中、ビルの谷間、地下街やトンネルの中などでは電波が弱くなりますので、聞き取りにくくなったり、途切れたりする場合があります。
- 移動しながら通話していると、一時的に通話が途切れることがあります。これは通話中の公衆基地局より電波の強い公衆基地局へ回線が自動的に切り替わる(ハンドオーバ)のときに起こります。故障ではありません。
- 移動中にサービスエリア外に出てしまうと通話が切れます。切れる寸前に“ピッピッ･･･”という圏外警告音でお知らせするように設定することもできます。「圏外警告音を設定する」(☞7-51ページ)

より強い電波を探す（アンテナサーチ）

公衆モードの待ち受け中や通話中に、より電波の強い公衆基地局を選択して利用することができます。このアンテナサーチを行うことによって、さらに安定したクリアな通話ができます。

1 待ち受け画面で [保留] を約1秒以上押す

より強い公衆基地局を自動的に探しだします。完了すると完了音が鳴り、「サーチ終了」と表示されます。

お知らせ

- キータッチ音を「OFF」に設定しているときは、完了音は鳴りません。
- アンテナサーチを行っても、状態が変わらないことがあります。
- アンテナサーチを行っても、電波の状態が弱い場所など、周囲の環境によっては、うまくサーチできずに圏外になることがあります。
- アンテナサーチは、公衆モードでのみご利用いただけます。
- ハンズフリー／スピーカ機能の利用中はアンテナサーチは利用できません。

基本機能

通話ごとに発信者番号の通知／非通知を設定する

電話をかけるときに、簡単な操作で発信者番号の通知、非通知を変更することができます。

1 ダイヤルボタンで相手の電話番号を入力する

入力した電話番号が表示されます。

▶ **リダイヤル／着信履歴／ダイヤルメモから電話番号を表示させるには**

「記録されている電話番号にかける（リダイヤル／着信履歴／ダイヤルメモ）」（☞7-5ページ）

2 [Menu]（メニュー）を押す

3 [◎] を押して「2.184」または「3.186」を選択し、◯（決定）を押す

発信者番号を通知しないで電話をかけるときは「2.184」を、発信者番号を通知して電話をかけるときは「3.186」を選択します。
電話番号の前に、「184」または「186」が入力されます。

4 [発信] を押す

相手に電話がかかります。

お知らせ

- 本電話機の発信者番号通知設定が「ON」に設定されていても、電話番号の先頭に「184」を入力して電話をかけると、相手には発信者番号を通知しないで電話をかけることができます。
  また、発信者番号通知設定が「OFF」に設定されていても、電話番号の先頭に「186」を入力して電話をかけると、相手に発信者番号を通知して電話をかけることができます。「発信者番号通知を設定する（発信者番号通知）」（☞11-2ページ）

記録されている電話番号にかける（リダイヤル／着信履歴／ダイヤルメモ）

電話をかけた相手や、発信者番号を通知して電話をかけてきた相手の電話番号は、自動的に記録されます。記録されている内容を表示させて確認したり、電話をかけたりすることができます。また、ダイヤルメモを使用して電話をかけることもできます。

記録される内容

リダイヤル（発信記録）

以前かけた電話番号を日付、時刻とともに記録しています。32桁までの電話番号を最新のものから30件まで記録しています。記録されている電話番号と同じ番号に電話をかけた場合、記録されているデータが新たに電話をかけたときの日付と時刻に更新され、最新のデータとして記録されます。

着信履歴

応答記録

発信者番号通知を設定している相手からの電話に応答したとき、日付、時刻とともに相手の電話番号を32桁まで記録しています。相手から発信者番号が通知されない場合は、電話番号のかわりに非通知理由が記録されます。不在着信記録と合計して最新のものから30件まで記録しています。「電話を受ける（着信）」（☞7-9ページ）

不在着信記録

発信者番号通知を設定している相手からの電話に応答しなかったときには、日付、時刻とともに相手の電話番号を32桁まで記録しています。相手から発信者番号が通知されない場合は、電話番号のかわりに非通知理由が記録されます。
応答記録と合計して最新のものから30件まで記録しています。「電話を受ける（着信）」（☞7-9ページ）
電話に応答しなかったときは、待ち受け画面や着信履歴に「☎」が表示されます。

ダイヤルメモ

通話中に32桁までの電話番号や数字のメモを取ることができます。記録できる件数は2件までです。
「通話中に電話番号や数字をメモする（ダイヤルメモ）」（☞7-14ページ）

お知らせ

- リダイヤル、着信履歴、ダイヤルメモの内容は、電池パックを交換する際にも保持されますが、故障、修理、その他取扱いの不注意によって消失する場合があります。
  万一、登録した内容が消失した場合、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- リダイヤル、着信履歴のデータがそれぞれ30件を超えた場合は、最も古いデータから削除されます。
- 記録されているリダイヤル、着信履歴、ダイヤルメモの電話番号は、電話帳に登録することができます。
  「リダイヤルや着信履歴の電話番号を登録する」（☞7-34ページ）

リダイヤル／着信履歴／ダイヤルメモで電話をかける

1 待ち受け画面で ◎ を押す

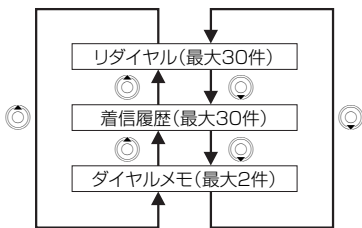
最後にかけた電話番号が「リダイヤル1」として表示されます。

▶ **着信履歴を表示させるには**

リダイヤルの表示中に ◎ を押す

▶ **一覧表示と詳細表示を切り替えるには**

◯（切替）を押す

2 ◎ を押して、相手の名前や電話番号を選択する

3 ☎ を押す

相手に電話がかかります。

お知らせ

- 電話帳に登録されている相手の記録は、名前が表示されます。
- リダイヤル、ダイヤルメモ表示中に ◎ を押すと「着信履歴1」を表示します。
- 通話中に手順1～2の操作を行うと、リダイヤル、着信履歴、ダイヤルメモの内容を表示できます。

リダイヤル／着信履歴／ダイヤルメモの内容を消去する

リダイヤル、着信履歴、ダイヤルメモの内容を1件ずつ、または一括で消去することができます。一括消去では、リダイヤルの表示中はリダイヤルを、着信履歴の表示中は着信履歴を、ダイヤルメモの表示中はダイヤルメモをそれぞれ一括消去します。

1 待ち受け画面で ◎ を押す

もっとも最近にかけた電話番号が「リダイヤル1」として表示されます。

▶ **着信履歴を表示するには**

待ち受け画面から ◎ を2回押す

▶ **一覧表示と詳細表示を切り替えるには**

◯（切替）を押す

2 ◎ を押して、消去したいリダイヤル、着信履歴またはダイヤルメモを選択する

▶ **リダイヤルを一括消去するとき**

リダイヤルのいずれか1つを選択する

▶ **着信履歴を一括消去するとき**

着信履歴のいずれか1つを選択する

▶ **ダイヤルメモを一括消去するとき**

ダイヤルメモのいずれか1つを選択する

3 Menu（メニュー）を押す

4 ◎ を押して、「8.個別消去」または「9.一括消去」を選択する

5 ◯（決定）を押す

消去を行うかどうかを確認する画面が表示されます。

6 を押して、「1.はい」を選択する

▶ **消去を中止するとき**

「2.いいえ」を選択し、○（決定）を押す

7 ○（決定）を押す

選択した内容が消去され、「消去しました」と表示されます。

ポーズダイヤルを利用する

自宅の留守番電話を操作する際の暗証番号や、プッシュホンサービスで利用する番号を「P」以降に入力すると、簡単に操作ができます。また、ポーズダイヤルを利用した電話番号をあらかじめ電話帳に登録しておくこともできます。

ポーズダイヤルを登録する

1 待ち受け画面で を押す

電話帳検索画面が表示されます。

2 （新規）を押す

電話帳登録画面が表示されます。

3 を押して「TEL番号1 ？」を選択し、○（決定）を押す

4 ダイヤルボタンで利用先の電話番号を入力する

一般電話の電話番号を登録するときには、必ず市外局番から入力してください。

▶ **電話番号を修正するには**

最後の1桁を消す： を押す
すべての桁を消す： を約1秒以上押す

5 （メニュー）を押す

6 を押して「5.ポーズ」を選択し、○（決定）を押す

画面に「P」が表示されます。

7 ダイヤルボタンで暗証番号などを入力する

8 ○（決定）を押す

9 「TEL番号1」の分類マークを設定する

「電話番号を入力する」（☞7-32ページ）の手順3以降

10 必要に応じて、第2電話番号、名前、メールアドレス、着信音を設定する

「電話帳に登録する」（☞7-31ページ）の手順3～6

11 設定した項目を登録する

「電話帳に登録する」（☞7-31ページ）の手順7以降

ポーズダイヤルを利用する

1　電話帳から利用先の電話番号を検索する

「電話帳を使って電話をかける」（☞7-36ページ）

2　[通話]を押す

3　利用先とつながったら、もう一度[通話]を押す

「P」以降の番号が、トーン信号で送信されます。

お知らせ

● 電話番号をダイヤルして電話をかけるときでも、電話番号を入力中に[Menu]（メニュー）を押し、「5.ポーズ」を選択することで、ポーズダイヤルが利用できます。

電話を受ける（着信）

かかってきた電話を受けます。

1 着信音が鳴る

相手の発信者番号が通知されてきたときは、画面に電話番号が表示されます。
着信LEDの設定に従い、着信LEDが点滅します。「着信LED」（☞ 12-9ページ）

▶ **相手の電話番号を電話帳に登録しているとき**

名前が表示されます。

2 アンテナをのばす

3 [通話ボタン] を押す

「[通話中アイコン]」が点灯し、相手と通話できます。
通話時間が表示されます。

4 通話が終わったら、[PWRボタン] を押す

「[通話中アイコン]」が消灯し、通話が終了します。

お知らせ

- 画面に「[アンテナアイコン]」（アンテナマーク）が点灯しているときのみ、電話を受けられます。
- 着信の通知方法をバイブレータに設定している場合は、振動によって電話がかかってきたことをお知らせします。
- 着信音が鳴っても、すぐに電話に出られないときには、[PWRボタン] を押して着信音を止めることができます。また、バイブレータの振動も同様に止めることができます。
- エニーキーアンサーを「ON」に設定すると、[PWRボタン]、[録音ボタン] 以外であればどのボタンを押しても電話に出ることができます。「エニーキーアンサー」（☞ 12-11ページ）

相手の発信者番号が通知されないとき

相手から発信者番号が通知されてこないときは、非通知理由が画面に表示されます。

- **相手が発信者番号非通知に設定しているとき**

  「ユーザ非通知」と表示されます。

- **公衆電話からの発信のとき**

  「公衆電話発信」と表示されます。

- **国際電話などで発信者番号が通知できないとき**

  「通知不可能」と表示されます。

電話に出ないとき

電話に出なかったときは、待ち受け画面に「[不在着信アイコン]」が表示されます。（USBケーブルでパソコンと接続されていない状態でデータ着信があった場合は「[データ着信アイコン]」が表示されます。）
「[不在着信アイコン]」は、着信履歴を確認すると消灯します。
リマインダーを「ON」に設定しているときは、着信LEDが点滅します。いずれかのボタンを押すと点滅は停止します。「リマインダーを設定する」（☞ 12-10ページ）

お知らせ

- 待ち受け画面に表示される「[不在着信アイコン]」や「[データ着信アイコン]」は、電池パックを外すと消灯する場合があります。

通話中の操作

受話／スピーカ音量を調節する

通話中に受話音量やスピーカ音量を変えることができます。

1 通話中に ◎ を押す

受話音量の調節画面が表示されます。
◎ を押すごとに、音量が１段階ずつ変更されます。
約３秒以上操作をしないと、自動的に通話画面に戻ります。

お知らせ

- 通話を終了しても、設定した受話音量は次に変更するまで変わりません。
- 通話録音中は、受話音量やスピーカ音量を変えることはできません。「通話を録音する（通話録音）」（☞ 7-11 ページ）

通話を保留にする

通話を一時的に中断したいときに保留にします。保留中は、相手に保留音が流れ、こちらの音声は聞こえません。

1 通話中に ［保留］ を押す

設定している保留音が相手に流れます。

2 保留を解除するときは、［保留］ または ［通話］ を押す

保留が解除され、通話に戻ります。

お知らせ

- 保留音はプリセットメロディとダウンロードメロディから選択できます。「保留音を設定する」（☞ 7-51 ページ）
- オフィスモードでは、オフィスシステム（PBX）の保留音が流れます。
- 保留は、グループモードではご利用いただけません。

通話を録音する（通話録音）

通話相手の声を録音できます。録音できるのは最大で４件、１件につき16秒までです。

1 通話中に [メモ] を押す

“ピピッ”という音が鳴り、相手の声を録音し始めます。16秒たつと“ピピッ”と音が鳴り、自動的に録音が終了します。

▶ 録音を途中で完了させるには

◯（決定）を押す

▶ 録音を中止するには

[Web]（キャンセル）を押す

■すでに録音件数が４件あった場合

「録音件数がいっぱいです」と表示されたあと、録音の一括消去確認画面が表示されます。

▶ 通話録音をするとき

[◎]を押して「1.はい」を選択し、◯（決定）を押す
録音件数が空になりますので、このあと通話録音の操作をやり直してください。

▶ 通話録音を中止するとき

[◎]を押して「2.いいえ」を選択し、◯（決定）を押す
通話中画面に戻ります。

お知らせ

- 録音の開始や終了の完了音は、相手には聞こえません。
- キータッチ音が「OFF」のときは、録音の開始や終了の完了音は鳴りません。「キータッチ音を設定する」（☞7-50ページ）
- 通話録音できる件数は、メモ録音、自作応答メッセージ、および留守録音と合計して４件までです。「メモ録音をする」（☞7-52ページ）「留守録応答メッセージを録音する」（☞7-55ページ）「留守録を設定／解除する」（☞7-57ページ）
- 目覚まし音や電池残量警報音は、通話録音終了後に作動します。
- 録音中に電池パックが外されたときは、それまでの録音内容は消去されます。すでに録音されている内容は消去されません。

通話録音を再生する

1 待ち受け画面で ［録音ボタン］ を押す

録音再生メニュー画面が表示されます。

● **録音件数表示**

- ［アイコン］（青）　：自作応答メッセージ
- ［アイコン］（黄）　：録音あり
- ［アイコン］（色なし）：録音なし

2 ［方向キー］ を押して「録音再生」を選択し、◯（決定）を押す

録音再生一覧画面が表示されます。
未再生の録音データには「［アイコン］」が表示されます。

3 ［方向キー］ を押して、再生したい通話録音を選択する

4 ◯（決定）を押す

“ピー”という音が鳴り、録音が再生されます。
また、再生が終了すると、“ピー”という音が鳴ります。

▶ **音量を調節するには**

［方向キー］ を押す

▶ **再生を終了するには**

［Web］（スキップ）を押す

▶ **最初から再生するには**

［Menu］（巻戻し）を押す

▶ **スピーカモードに切り替えるには**

再生中に ◯（スピーカ）を押す
元に戻すには ◯（レシーバ）を押す

お知らせ

- ● 録音再生一覧画面では、登録されている通話録音、メモ録音、および留守録音が、新しく録音された順に表示されます。「メモ録音を利用する」（☞7-52ページ）「留守録を設定／解除する」（☞7-57ページ）
- ● 目覚まし音やスケジュールアラーム音、または電池残量警報音は、通話録音の再生終了後に作動します。

通話録音を消去する

1 録音再生一覧画面で、［方向キー］ を押して消去したい通話録音を選択する

「通話録音を再生する」（☞同じページ内です。）の手順1～2

2 ［Menu］（メニュー）を押す

3 ［方向キー］ を押して「1.個別消去」を選択し、◯（決定）を押す

4 ［方向キー］ を押して、「1.はい」を選択する

▶ **消去を中止するとき**

「2.いいえ」を選択し、◯（決定）を押す

5 ◯（決定）を押す

選択した通話録音が消去され、「消去しました」と表示されます。

お知らせ

- ● 通話録音のほかに、メモ録音や留守録音も消去できます。
- ● 電源を切っても録音内容は消去されません。

録音した内容を一括消去する

通話録音の他に、メモ録音や留守録音があるときは、すべての録音内容が消去されます。

1 待ち受け画面で を押す

● 録音件数表示

（青）　：自作応答メッセージ
（黄）　：録音あり
（色なし）：録音なし

2 を押して「録音一括消去」を選択し、◯（決定）を押す

3 を押して、「1.はい」を選択する

▶ 一括消去を中止するとき

「2.いいえ」を選択し、◯（決定）を押す

4 ◯（決定）を押す

通話録音やメモ録音、および留守録音がすべて消去されます。

お知らせ

- 自作応答メッセージが録音されている状態で、録音内容の一括消去を行っても、自作応答メッセージは消去されません。
- 録音件数が0件のときは、一括消去を行うことはできません。

手に持たずに通話する

ハンズフリー機能を利用すると、本電話機を手に持たずに通話ができます。
また、スピーカ機能を利用すると通話相手の音声をスピーカで聞くことができます。

1 通話中に を約1秒以上押す

ハンズフリーモードになります。

▶ スピーカモードにするには

ハンズフリーモードのときに を押す
このあと、 を押すごとに、ハンズフリーモードとスピーカモードが切り替わります。

▶ 音量を調節するには

を押す

▶ 通常の通話に戻るには

を約1秒以上押す

お知らせ

- 通常の通話からハンズフリーモードに切り替わると、受話音量の設定が「小」になります。
- ハンズフリーモードとスピーカモードを切り替えても、音量の設定は変更されません。
- ハンズフリー／スピーカ機能の利用中にも、通話を保留にできます。「通話を保留にする」(☞7-10ページ)

通話中に電話番号や数字をメモする（ダイヤルメモ）

通話中に32桁までの電話番号や数字のメモを取ることができます。記録できる件数は2件までです。

1 通話中に Menu（メニュー）を押す

通話中メニューが表示されます。

2 ◎を押して「ダイヤルメモ」を選択し、◯（決定）を押す

3 ダイヤルボタンで電話番号などを入力する

▶ **番号を修正するには**

最後の1桁を消す：クリア/マナー を押す
すべての桁を消す：クリア/マナー を約1秒以上押す

4 ◯（決定）を押す

完了音が鳴り、ダイヤルメモが登録され、「登録しました」と表示されます。

お知らせ

- ダイヤルメモが2件登録されている状態で新しいメモを入力すると、古い方のメモが削除されます。

文字を入力する

電話帳やメールの文章作成などで文字を入力します。全角の漢字･ひらがな･カタカナ･英字･数字、半角のカタカナ･英字･数字などを入力できます。

入力する文字の種類を切り替える

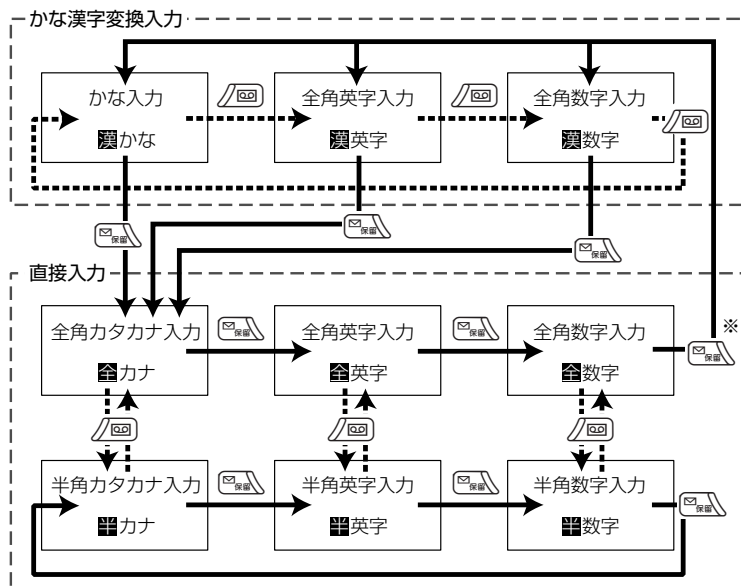
本電話機の文字入力方式には、ひらがな･英字･数字を入力して、変換してから文字を確定する「かな漢字変換入力」と、カタカナ･英字･数字を直接入力する「直接入力」があります。文字入力中は、画面に入力モードが表示されます。

◎ **入力する文字の種類を切り替えるには**

かな入力モード・直接入力で文字入力中に [保留] を押す
または
かな漢字変換入力で文字入力中に [留守] を押す

文字入力モードは下図のように切り替わります。
機能により、選択できる文字入力モードは異なります。

◎ **全角入力／半角入力を切り替えるには**

直接入力で文字入力中に [留守] を押す
文字の全角／半角が切り替わります。

※かな入力中（「漢かな」表示中）に [保留] を押したときは､「全カナ」→「全英字」→「全数字」→「漢かな」のように切り替わります。全角英字入力中（「漢英字」表示中）に [保留] を押したときは、「全カナ」→「全英字」→「全数字」→「漢英字」のように切り替わります。

お知らせ

- 文字の入力中は、入力可能な残りの文字数が「残0009字」のように表示されます。残り文字数の表示は、現在の入力モードが全角か半角かによって変化します。
- Eメールの作成時は、半角のカタカナは入力できません。文字の変換や貼り付け、定型文からの入力などで半角カタカナを入力した場合は、全角のカタカナに置き換えられます。

■入力ボタン一覧表

かな漢字変換入力

ボタン	かな入力（全角）	英字入力（全角）	数字入力（全角）
あ1.@	あいうえおぁぃぅぇぉ	無効	1
か2ABC	かきくけこ	a b c A B C	2
さ3DEF	さしすせそ	d e f D E F	3
た4GHI	たちつてとっ	g h i G H I	4
な5JKL	なにぬねの	j k l J K L	5
は6MNO	はひふへほ	m n o M N O	6
ま7PQRS	まみむめも	p q r s P Q R S	7
や8TUV	やゆよゃゅょ	t u v T U V	8
ら9WXYZ	らりるれろ	w x y z W X Y Z	9
わをん0	わをんー、。	無効	0
*	記号入力モードへの切り替え		＊
#	゛ ゜ ※1 改行（約 1 秒以上）	改行（約 1 秒以上）	＃ 改行（約 1 秒以上）
メール（保留）	入力モードの切り替え、変換候補一覧表示中のページ切り替え（前候補） 全角カタカナ変換（文字入力直後、または変換中）		
留守録	入力モードの切り替え、変換候補一覧表示中のページ切り替え（次候補） 漢字変換中のひらがな変換		
クリア/マナー	文字の削除		
Menu	大文字／小文字の切り替え※2		
通話/戻る	入力文字の逆順切替え		無効
上	カーソルの上移動、前候補（漢字変換中） 全カタカナ変換（文字入力直後、または半カナ変換中）		
下	カーソルの下移動、改行（文末にカーソルがある場合） 漢字変換（文字入力直後）、次候補（漢字変換中） 半カタカナ変換（全カナ変換中）		
左	カーソルの左移動 指定文節の長さを 1 つ短くする（漢字変換中）		
右	カーソルの右移動 指定文節の長さを 1 つ長くする（漢字変換中）		

※1　濁点、半濁点のつけられる文字を入力した直後に使用できます。
※2　入力中の該当文字のみ切り替え可能です。［網掛け］で示した文字を切り替えることができます。

直接入力

ボタン	カタカナ入力（全角／半角）	英字入力（全角／半角）	数字入力（全角／半角）
あ1.@	アイウエオァィゥェォ	. @/ − _:~※1	1
か2ABC	カキクケコ	a b c A B C	2
さ3DEF	サシスセソ	d e f D E F	3
た4GHI	タチツテトッ	g h i G H I	4
な5JKL	ナニヌネノ	j k l J K L	5
は6MNO	ハヒフヘホ	m n o M N O	6
ま7PQRS	マミムメモ	p q r s P Q R S	7
や8TUV	ヤユヨャュョ	t u v T U V	8
ら9WXYZ	ラリルレロ	w x y z W X Y Z	9
わを0	ワヲンー、。スペース	スペース※4	0
*	記号入力モードへの切り替え		*
#	゛゜※2　改行（約1秒以上）	改行（約1秒以上）	#　改行（約1秒以上）
保留	入力モードの切り替え		
留守録	全角／半角の切り替え		
クリア/マナー	文字の削除		
Menu	大文字／小文字の切り替え※3		
通話	入力文字の逆順切替え		無効
上	カーソルの上移動		
下	カーソルの下移動、改行（文末にカーソルがある場合）		
左	カーソルの左移動		
右	カーソルの右移動		

※1　半角入力のみ。全角入力時は無効です。
※2　濁点、半濁点のつけられる文字を入力した直後に使用できます。半角入力時は1文字として入力されます。
※3　入力中の該当文字のみ切り替え可能です。　　　で示した文字を切り替えることができます。
※4　スペースの入力が有効な機能のときのみ使用できます。

文字を入力する

漢字を入力するには、ひらがなで入力してから変換をします。漢字変換前のひらがなは、一度に最大32文字まで入力できます。
長い文字列を入力したときは、複数の文節に区切られて変換されますので、それぞれ文字（漢字·ひらがな·カタカナ）を選択して入力します。

● **ボタンを押す回数によって、表示される文字が切り替わります。**

例えば、かな入力モードで [あ1.@] を押すと、あ→い→う→え→お→ぁ→…と切り替わります。
「入力ボタン一覧表」（☞7-16ページ）

● **入力したい文字が表示されたら、次に入力したい文字が含まれているボタンを押します。**

次に入力したい文字が直前に入力したボタンに含まれているときは、◎ を押して、カーソルを移動してから入力します。
例えば、「あい」と入力したいとき、[あ1.@] を押して画面に「あ」を表示したら、◎ を押してカーソルを移動させ、そのあと、[あ1.@] を2回押して「い」を表示します。

● **文字に濁点（゛）や半濁点（゜）をつけるには、つけたい文字を入力したあと [゛#↵] を押します。**

例えば、画面に「へ」を表示中に [゛#↵] を1回押すと「べ」、もう一度、[゛#↵] を押すと、「ぺ」と表示されます。

● **入力中の文章を改行するには ◎ を押します。**

すでに入力した文章の途中に改行を入力するには、◎ を押して改行したい位置にカーソルを移動し、[゛#↵] を約1秒以上押します。機能によっては改行することができません。

● **文字を逆順に切り替えるには [☎] を押します。**

例えば、[か2ABC] を押して「か」と入力したあと [☎] を押すと、こ→け→く→き→か…と切り替わります。

● **大文字／小文字を切り替えるには [Menu] （大/小）を押します。**

小さい「ゃ」や「っ」などや、英字の大文字／小文字を切り替えるには、文字を入力したあと [Menu]（大/小）を押します。

■「駅で」と入力する場合の操作例（ライトメールの本文作成の場合）

1 文字入力中に [✉保留] を繰り返し押して、かな漢字入力モードを選択する

2 [あ1.@] を4回、[か2ABC] を2回、[た4GHI] を4回、[゛#↵] を1回押す

「えきで」と画面に入力され、入力中の文字に下線が表示されます。

▶ **文字を修正するには**

「文章を編集する」（☞7-25ページ）

▶ **ひらがなのまま確定するには**

◯（決定）を押す

▶ **カタカナに変換するには**

◎ または [✉保留] を押す
カタカナに変換したあとは、◎ を押すと半角カタカナに変換します。

3 ◎ を押して、漢字に変換する

▶ **漢字への変換を取り消すには**

[Web]（キャンセル）または [クリア/マナー] を押す
ひらがなに戻ります。

▶ **最初の変換で確定するには**

手順5に進む

▶ **変換範囲をカタカナにするには**

[✉保留] を押す
カタカナに変換したあとは、◎ を押すと半角カタカナに変換します。

基本機能
文字を入力する

4 ◎を押して、変換候補を選択する

変換候補の一覧が表示されます。

▶ **変換したい漢字が表示されないとき**

◎を押して、変換範囲を変更する
変換範囲を変更しても変換したい文字が表示されないときは、一度文字を消去して、他の読みで入力してください。

5 ○（決定）を押す

「駅で」が確定されます。

お知らせ

● 手順３のあとに、○（決定）を押すかわりにダイヤルボタンを押すと、変換した文字が確定され、次の文字が入力されます。

■連文節を一括変換する

変換する文字列が長いときは、「駅で」「待っています」のように文節に区切って変換されます。

1 ダイヤルボタンを押して、「えきでまっています」と入力する

2 ◎を押して、漢字に変換する

入力したい文字に変換されなかったときは、◎を押して変換範囲を変更することもできます。

3 ◎を押して入力したい漢字を選択し、○（決定）を押す

「駅で」が確定されます。

▶ **変換された文字列をすべて確定するとき**

○（決定）を約１秒以上押す
変換中の文字がすべて確定されます。

4 ◎を押して入力したい漢字を選択し、○（決定）を押す

「待っています」が確定されます。

よく使う語句をユーザー辞書に登録する

よく使う語句をユーザー辞書に登録します。
変換に手間のかかる語句などを登録しておくと、登録した読みを入力することで簡単に入力することができます。
ユーザー辞書には、最大100件までの単語を登録することができます。１件につき単語と読みをそれぞれ全角10文字（半角20文字）まで登録することができます。

1 待ち受け画面で Menu（Menuボタン）ら9 か2 と押す

登録がある場合は、１件目の登録内容が表示されます。登録が１件もない場合は、手順３の登録画面が表示されます。

2 ○（新規）を押す

新規登録画面が表示されます。

3 登録する単語や語句を入力する

漢字やカタカナなど、変換後の単語や語句を入力します。
「文字を入力する」（☞4-5ページ）

4 ○（決定）を押す

5 登録する単語や語句の読みを入力する

好みの読み方を入力します。

6 ○（決定）を押す

単語や語句が登録されます。

お知らせ

- ユーザー辞書の内容は、電池パックを交換する際にも保持されますが、故障、修理、その他取扱いの不注意によって消失する場合があります。
  万一、登録した内容が消失した場合、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 登録件数や、メモリがいっぱいのときは、新たに単語や語句を登録できません。登録されている登録単語のなかから、不要なものを消去してください。「登録した語句を個別消去する」（☞同じページ内です。）

■登録した語句を修正する

1 待ち受け画面で Menu（Menuボタン）ら9 か2 と押す

1件目に登録されている語句と、その読みが表示されます。また、登録されている件数が表示されます。

2 ◎を押して、修正したい語句を選択する

3 Menu（メニュー）を押す

4 ◎を押して「1.修正」を選択し、◯（決定）を押す

5 登録内容を修正する

「よく使う語句をユーザー辞書に登録する」（☞7-19ページ）の手順3以降

■登録した語句を個別消去する

1 消去したい語句を表示させる

「登録した語句を修正する」（☞同じページ内です。）の手順1～2

2 Menu（メニュー）を押す

3 ◎を押して「2.個別消去」を選択し、◯（決定）を押す

消去してよいかどうかを確認する画面が表示されます。

4 ◎を押して、「1.はい」を選択する

▶ 個別消去を中止するには

「2.いいえ」を選択し、◯（決定）を押す

5 ◯（決定）を押す

登録されている単語や語句が消去されます。

■登録した語句を一括消去する

1 待ち受け画面で Menu（Menuボタン）ら9 か2 と押す

2 Menu（メニュー）を押す

3 ◎を押して「3.一括消去」を選択し、◯（決定）を押す

消去してよいかどうかを確認する画面が表示されます。

4 を押して、「1.はい」を選択する

▶ **一括消去を中止するとき**

「2.いいえ」を選択し、◯（決定）を押す

5 ◯（決定）を押す

もう一度、消去してよいかどうかを確認する画面が表示されます。

6 を押して、「1.はい」を選択する

▶ **一括消去を中止するとき**

「2.いいえ」を選択し、◯（決定）を押す

7 ◯（決定）を押す

登録した語句がすべて消去され、「消去しました」と表示されます。

記号や絵文字を入力する

記号を入力する

1 文字入力中に ＊ を押す

画面下部に全角記号が表示されます。

▶ **半角記号を入力するには**

＊ を2回押す

2 を押して、入力したい記号を選択する

3 ◯（決定）を押す

選択した記号が入力されます。

▶ **続けて記号を入力するとき**

Menu（入力）を押す
選択した記号が入力され、引き続き画面下部に記号が表示されます。

入力できる記号は次の通りです。

全角記号

．	＠	／	－	＿	，	：	？	！
；	＊	＃	”	￥	＄	％	＆	＋
＝	’	～	＾	｜	‘	（	）	＜
＞	［	］	｛	｝	「	」	・	

半角記号

.	@	/	-	_	,	:	?	!
;	*	#	"	¥	$	%	&	+
=	'	~	^	|	`	(	)	<
>	[	]	{	}	｢	｣	･	

お知らせ

- 数字入力モードで ＊ を押すと、画面に「＊」が入力され、記号入力および区点コード入力を行うことはできません。
- 機能によっては入力できない記号があります。

絵文字を入力する

1 文字入力中に Menu（メニュー）を押す

2 を押して「1.絵文字」を選択し、（決定）を押す

絵文字一覧が表示されます。
絵文字には、対応しているウィルコムの電話機に送信することができる絵文字と、一般の携帯電話向けWebサイトを閲覧するときに入力可能な、Web入力用絵文字があります。

▶ **絵文字とWeb入力用絵文字を切り替えるには**

または を押す

3 を押して、入力したい絵文字を選択する

4 （決定）を押す

選択した絵文字が入力されます。

▶ **続けて絵文字を入力するとき**

Menu（入力）を押す
選択した絵文字が入力され、引き続き絵文字一覧が表示されます。

絵文字

Web入力用絵文字

お知らせ

- 入力モードが半角入力のみのときは、絵文字は入力できません。「文字の種類を切り替える」(☞4-2ページ)
- 文字入力画面によっては、文字入力メニューを利用できない項目があります。
- 絵文字を入力することができるのは、Eメールおよびライトメールの本文、スケジュールの件名·内容·場所、電話帳の名前およびグループ名、署名、定型文、ブックマークのタイトルおよびフォルダのタイトル、画面メモのタイトルです。
- 絵文字は、対応しているウィルコムの電話機以外の携帯電話やパソコンなどに送信すると、相手側で正しく表示されないことがあります。
- Web入力用絵文字は、一般の携帯電話向けWebページの閲覧時に絵文字入力が必要な際ご利用ください。

定型文を引用する

自作定型文を作成／編集する

メールなどでよく使う文章を自作定型文として登録しておくと、入力の手間を省くことができます。自作定型文は20件まで、1件につき全角64文字（半角128文字）まで登録できます。

1 待ち受け画面で Menu（Menuボタン）5 1 と押す

定型文が一覧表示されます。
未登録の定型文は「〈未登録〉」と表示されます。

2 ◎を押して作成／編集したい定型文を選択し、◯（決定）を押す

定型文の作成／編集画面が表示されます。

3 ダイヤルボタンで文字を入力する

「文字を入力する」（☞4-5ページ）

4 ◯（決定）を押す

定型文が作成／編集されます。

お知らせ

- 定型文の内容は、電池パックを交換する際にも保持されますが、故障、修理、その他取扱いの不注意によって消失する場合があります。
  万一、登録した内容が消失した場合、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

自作定型文、ビジネス、簡単URL、顔文字を引用する

文字入力中に定型文を引用します。定型文は自作定型文のほか、ビジネス・簡単URL・顔文字から選択できます。

■自作定型文を引用する

1 文字入力中に Menu（メニュー）を押す

2 ◎を押して「4.定型文」を選択し、◯（決定）を押す

3 ◎を押して定型文のカテゴリを選択し、◯（決定）を押す

自作定型文の一覧が表示されます。

4 ◎を押して、定型文を選択し、◯（決定）を押す

選択した定型文が入力されます。

■定型文一覧

ビジネス

いつもお世話になっております。	折り返し連絡させて頂きます。	道が混んでおります。
お疲れ様です。	ご連絡をお待ちしております。	直行します。
おはようございます。	お伺いさせていただきます。	直帰します。
承知しました。	只今、会議中です。	今から帰ります。
ありがとうございます。	表題の件につきましては	OK です！
宜しくお願い致します。	今、電車に乗っております。	Thank you!
申し訳ありません。	電車が遅れております。	

簡単URL

@pdx.ne.jp	.ac.jp
.pdx.ne.jp	.or.jp
@ezweb.ne.jp	.jp
@docomo.ne.jp	.com
@softbank.ne.jp	.tw
.co.jp	http://
.ne.jp	https://

顔文字

(^_^)	m(_ _)m	(^^;)
(^o^)	(T_T)	(^^ゞ
(^.^)	(;_;)	(;^_^A
＞^_^＜	(＞_＜)	V(^o^)
)^o^(	(+_+)	φ(..)
(^3^)	(*_*)	＼(^o^)／
(^O^)	(@_@)	(?_?)
(^▽^)	(^-^)/~	(*^.^*)
(⌒o⌒)	(^^ /””	(・_・)
(¬―¬)	(^^ /~~	(~_~)

お知らせ

- 半角のみ入力可能な機能では、自作定型文を引用できません。
- 定型文が１件も登録されていないときは、自作定型文を引用することができません。

文章を編集する

文字を挿入する

1 文字入力中に ◎ を押して、文字を挿入したい位置にカーソルを移動する

2 文字を入力する

カーソル上の文字の前に、入力した文字が挿入されます。

お知らせ

- カーソルの位置が編集中の文章の最後尾にあるときに ◎ を押すと、半角スペースを入力してカーソルが右に移動します。
- 編集中の文章の最後尾がスペースで、そのスペースにカーソルがあたっているときは、◎ を押すとスペースが消去されます。

文字を消去する

1 文字入力中に ◎ を押して、消去したい文字にカーソルを移動する

2 クリア/マナー を押す

カーソル上に文字がないときは、カーソルの1つ前の文字が消去されます。

▶ 文字列すべてを消去するとき

クリア/マナー を約1秒以上押す

カーソル上の文字以降の文字列がすべて消去されます。

文章をコピー／貼り付けする

文章をコピーします。コピーした文章は、必要なときに貼り付けることができるので、同じ文章を入力する手間が省けます。コピーできる文章は、全角256文字（半角512文字）までです。

■文章をコピーする

編集中の文章をコピーします。また受信メール・送信メールの内容をコピーすることもできます。「メールの文字をコピーする」（☞8-24ページ）

1 文字入力中に Menu（メニュー）を押す

2 ◎ を押して「2.コピー」を選択し、◯（決定）を押す

画面下端のガイダンスに「始点」が表示されます。

3 ◎ を押して、コピーしたい文字列の先頭にカーソルを移動し、Menu（始点）を押す

画面下端のガイダンスの「始点」表示が「終点」に変わります。

4 ◎ を押して、コピーしたい文字列の最後の文字にカーソルを移動する

始点から終点までの文字列が反転表示されます。

5 Menu（終点）を押す

文字列がコピーされ、「コピーしました」と表示されます。

お知らせ

- コピーしようとする文字列の選択範囲が全角256文字（半角512文字）を超えるときは、エラー音が鳴り、それ以上選択範囲を広げることはできません。

■文章を貼り付ける

1 **文字入力中に [方向キー] を押して、コピーした文字列を貼り付けたい位置にカーソルを移動する**

2 **[Menu]（メニュー）を押す**

3 **[方向キー] を押して、「3.貼り付け」を選択する**

4 **○（決定）を押す**

カーソル上の文字の前に、コピーした文章が貼り付けられます。

お知らせ

- 文字列がコピーされていないときは使用できません。

電話帳から引用する

電話帳に登録されている電話番号やメールアドレス、または名前を引用して文章に入力することができます。

1 **文字入力中に [Menu]（メニュー）を押す**

2 **[方向キー] を押して「5.電話帳」を選択し、○（決定）を押す**

電話帳検索画面が表示されます。

3 **入力したい電話番号やメールアドレス、または名前を検索して、○（決定）を押す**

電話帳詳細画面が表示されます。

「電話帳を使って電話をかける」（☞7-36ページ）

4 **[方向キー] を押して、入力したい電話番号やメールアドレス、または名前を選択する**

5 **○（決定）を押す**

選択した電話番号やメールアドレス、または名前が入力されます。

お知らせ

- 電話帳が登録されていないときや、電話帳ロックを設定しているときは利用できません。

ブックマークから引用する

ブックマークに登録されているURLを引用して文章に入力することができます。

1 **文字入力中に [Menu]（メニュー）を押す**

2 **[方向キー] を押して「8.ブックマーク」を選択し、○（決定）を押す**

ブックマークフォルダの一覧が表示されます。

3 **[方向キー] を押して入力したいブックマークが登録されているフォルダを選択し、○（決定）を押す**

フォルダ内のブックマークが一覧表示されます。

4 **[方向キー] を押して、入力したいブックマークを選択する**

5 **○（決定）を押す**

選択したブックマークのURLが入力されます。

個人データから引用する

本電話機に個人データとして登録されている自分の電話番号、メールアドレスを引用して文章に入力することができます。

1 **文字入力中に Menu（メニュー）を押す**

2 **◎を押して「9.個人データ」を選択し、○（決定）を押す**

「電話番号」と、オンラインサインアップで取得したメールアカウントおよび設定したメールアカウントが表示されます。

3 **◎を押して「1.電話番号」またはメールアカウントを選択し、○（決定）を押す**

▶「1.電話番号」を選択したとき

公衆モードの電話番号が入力されます。

▶ メールアカウントを選択したとき

選択したメールアカウントのメールアドレスが入力されます。

リダイヤル、着信履歴、ダイヤルメモから引用する

リダイヤル、着信履歴、またはダイヤルメモに記録されている電話番号を引用して文章に入力することができます。

1 **文字入力中に Menu（メニュー）を押す**

2 **◎を押して「6.リダイヤル」を選択し、○（決定）を押す**

リダイヤルの画面が表示されます。

▶ 着信履歴を表示させるには

「7.着信履歴」を選択し、○（決定）を押す
着信履歴の画面が表示されます。

3 **◎を押して、入力したい電話番号を選択する**

◎または◎を押し続けると、着信履歴やダイヤルメモが表示されます。

4 **○（決定）を押す**

選択したリダイヤルや着信履歴、ダイヤルメモの電話番号が入力されます。

お知らせ

- リダイヤル、着信履歴、ダイヤルメモに電話番号が記録されていないときは利用できません。

区点コードで入力する

変換されにくい漢字や記号などを、区点コードで入力することができます。
「区点コード表」（☞A-5ページ）

1 文字入力中に ＊ を３回押す

＊ を押すごとに、全角記号→半角記号→区点コードの順に切り替わり、画面下部にカーソルが表示されます。

2 ダイヤルボタンで区点コードを入力する

入力したコード以降の漢字が表示されます。

3 ◎ を押して、入力したい文字を選択する

4 ◯（決定）を押す

選択した文字が入力されます。

▶ **続けて区点コードから入力するとき**

Menu（入力）を押す
選択した文字が入力され、引き続き画面下部に区点コードの文字が表示されます。

お知らせ

- 数字入力モードで ＊ を押すと、画面に「＊」が入力され、記号入力および区点コード入力を行うことはできません。

電話帳を利用する

よく電話をかける相手の電話番号などを電話帳に登録しておくことができます。
登録件数は最大で1000件です。

■グループで通話の相手を分類できる

ビジネスや友人など、電話帳に登録する通話の相手を10グループに分類して管理できます。

■電話帳1件につき2つの電話番号を登録できる

電話帳1件の登録につき、TEL番号1とTEL番号2の2つの電話番号が登録できます。

■電話帳1件につき2つのメールアドレスを登録できる

電話帳1件の登録につき、メールアドレス1とメールアドレス2の2つのメールアドレスが登録できます。

■マークで電話番号を分類できる

PHSや会社の電話など、相手の電話番号にマークを付けて分類できます。また、お気に入りのお店などにも、種類に応じてマークを付けることができます。
マークの種類は次の通りです。

：指定なし
：家
：PHS
：携帯電話
：会社
：FAX
：ハート
：店
：飲み屋
：レストラン
：その他

お知らせ

- 登録した内容は、故障、修理の際、または静電気や電気的ノイズの影響などで消えてしまうことがあります。大切な内容は必ず、メモや住所録に控えておいてください。

着信者表示機能

発信者番号を通知している相手から電話がかかってきたときに、その電話番号が電話帳に登録されていると、登録されている相手の名前を画面に表示します。

指定着信音機能

特定の電話帳データに着信メロディを登録しておくと、着信時の呼び出し音の種類でだれから電話がかかってきたのかを知ることができます。
この機能は、電話帳に登録している相手が発信者番号を通知しているときにご利用いただけます。

ピクチャー表示機能

特定の電話帳データにピクチャー登録をしておくと、着信時に登録した画像が表示され、だれから電話がかかってきたのかを知ることができます。
この機能は、電話帳に登録している相手が発信者番号を通知しているときにご利用いただけます。

電話帳シークレット機能

電話帳データのシークレット設定を「ON」にし、「電話帳シークレットを設定する（電話帳シークレット）」（☞7-43ページ）の電話帳シークレットを「表示しない」に設定すると、電話帳データを表示しないようにすることができます。通常の発信時や着信時の画面にも名前が表示されません。また、シークレット設定を「ON」にして登録した相手に電話をかけても、リダイヤルに記録が残らないようになります。

電話帳に登録する

1 待ち受け画面で ◎ を押す

電話帳検索画面が表示されます。
初めて電話帳に登録するときは「登録がありません」と表示されますが、手順2に進んで電話帳への登録を行うことができます。

2 Web（新規）を押す

電話帳登録画面が表示されます。

3 ◎ を押して、入力したい項目を選択する

どの項目からでも入力できますが、「TEL番号2」、「メールアドレス2」は、「TEL番号1」、「メールアドレス1」が入力されていないと入力することはできません。また、「TEL番号1」か「メールアドレス1」のいずれかの項目を入力しないと電話帳に登録することができません。

4 ◯（決定）を押す

入力したい項目の編集画面が表示されます。

5 項目を入力する

▶「名前＆グループ」を入力するとき（☞7-32ページ）

▶「TEL番号1」、「TEL番号2」を入力するとき（☞7-32ページ）

▶「メールアドレス1」、「メールアドレス2」を入力するとき（☞7-33ページ）

▶「指定着信音」、「ライトメール着信音」を登録するとき（☞7-33ページ）

▶「ピクチャー」を登録するとき（☞7-34ページ）

▶「シークレット」を設定するとき（☞7-34ページ）

6 必要に応じて手順3～5を繰り返し、各項目を入力する

7 Web（完了）を押す

8 ダイヤルボタンでメモリNo.を入力する

「000」～「999」の3桁の数字を入力します。

▶ **自動でメモリNo.を登録するとき**

メモリNo.を入力せずに、手順9へ進みます。
メモリNo.010以降の空いている一番小さいメモリNo.に登録されます。

9 ◯（決定）を押す

電話帳に新規登録され、「No.XXXに登録しました」と表示されます。

▶ **すでに登録済みのメモリNo.を入力したとき**

上書きしてよいかどうかを確認する画面が表示されます。
上書きをしてよいときは、◎ を押して「1.はい」を選択し、◯（決定）を押します。
「2.いいえ」を選択したときは、もう一度ダイヤルボタンでメモリNo.を入力します。

お知らせ

- ダイヤルロックが設定されているときには、電話帳登録はできません。
- 相手の名前を入力せずに電話帳登録を行ったときは、自動的に「グループ1」へ登録されます。
- 他の人に電話帳を利用されたくないときは、電話帳ロックを設定します。電話帳ロックを設定しておくと、暗証番号を入力しないと電話帳機能が使えないようになります。「電話帳をロックする（電話帳ロック）」（☞7-42ページ）
- 登録件数がいっぱいのときは、電話帳に登録できません。まず、登録されている電話帳のなかから不要なものを消去してください。「電話帳の内容を消去する」（☞7-40ページ）
- よく電話をかける相手をメモリNo.の「000」から「009」に設定しておくと、ツータッチダイヤルやスリータッチダイヤルで、簡単に電話をかけることができます。「ツータッチダイヤルで電話をかける」（☞7-39ページ）「スリータッチダイヤルで電話をかける」（☞7-39ページ）

■名前とグループを入力する

名前は全角9文字（半角18文字）まで、読みがなは半角で12文字まで入力できます。また、グループ名は変更することができます。「電話帳のグループ名を変更する」（☞7-41ページ）

1 名前を入力する

「文字を入力する」（☞4-5ページ）

2 ◯（決定）を押す

入力した名前の読みが表示されます。

▶ **名前の読みを修正するには**

①［クリア/マナー］を押す
②ダイヤルボタンで正しい読みを入力する

3 ◯（決定）を押す

4 ◎または［あ1.@］～［わ0.］を押して、登録したいグループを選択する

5 ◯（決定）を押す

入力した名前やグループが電話帳登録画面に表示されます。
「電話帳に登録する」（☞7-31ページ）の手順6へ進みます。

■電話番号を入力する

電話帳1件につき、電話番号を2つまで登録できます。また、電話番号は32桁まで入力することができます。
「TEL番号1」と「TEL番号2」の入力方法は同じですが、「TEL番号2」は、「TEL番号1」が入力されていないと入力することができません。

1 ダイヤルボタンで電話番号を入力する

▶ **ハイフン「-」を入力するには**

①［Menu］（メニュー）を押す
②◎を押して「6.区切り表示」を選択し、◯（決定）を押す

▶ **電話番号を修正するには**

①◎を押して、修正したい番号にカーソルを移動する
②［クリア/マナー］で番号を消去し、ダイヤルボタンで正しい番号を入力する

2 ◯（決定）を押す

3 ◎を押して、設定したい分類マークを選択する

▶ **分類マークをつけないとき**

「□」を選択する

4 ◯（決定）を押す

入力した電話番号や選択した分類マークが電話帳登録画面に表示されます。
「電話帳に登録する」（☞7-31ページ）の手順6へ進みます。

お知らせ

● 「070」から始まる電話番号を入力すると、手順2の画面で「［PHSマーク］」が自動的に選択されています。また、「090」や「080」から始まる電話番号を入力すると、手順2の画面で「［携帯マーク］」が自動的に選択されています。

基本機能
電話帳を利用する

■メールアドレスを入力する

電話帳１件につき、メールアドレスを２つまで登録できます。メールアドレスは１件に半角64文字まで入力することができます。
「メールアドレス１」と「メールアドレス２」の入力方法は同じですが、「メールアドレス２」は、「メールアドレス１」が入力されていないと入力することができません。

1 ダイヤルボタンでメールアドレスを入力する

「文字を入力する」（☞4-5ページ）

2 ◯（決定）を押す

3 を押して、設定したい分類マークを選択する

▶ 分類マークをつけないとき

「 □ 」を選択する

4 ◯（決定）を押す

入力したメールアドレスや選択した分類マークが電話帳登録画面に表示されます。
「電話帳に登録する」（☞7-31ページ）の手順6へ進みます。

■指定着信音／ライトメール着信音を登録する

指定着信音を登録すると、登録した相手から電話がかかってきたときに、ここで設定した着信音が鳴ります。また、ライトメール着信音を登録すると、登録した相手からメールが届いたときに、ここで設定した着信音が鳴ります。
設定できる着信音は、本電話機に初めから用意されているパターン13種類、アラーム２種類、プリセットメロディ５種類、音声４種類、またはダウンロードした受信メロディ最大10種類です。
登録できる着信音の種類については、「着信音やアラームを設定する」（☞7-49ページ）をご覧ください。

1 を押して、着信音を選択する

▶ 選択した着信音を聞くには

Menu（再生）を押す
選択した着信音が再生されます。
◯（停止）を押すと、着信音の再生を停止し、着信音の選択画面に戻ります。
Web（戻る）または クリア/マナー を押すと、着信音を再生したまま着信音の選択画面に戻ります。

▶ 指定着信音／ライトメール着信音を解除するには

「無」を選択する

2 ◯（決定）を押す

選択した指定着信音が登録されます。
「電話帳に登録する」（☞7-31ページ）の手順6へ進みます。

■ピクチャーを登録する

ピクチャーを登録すると、電話帳に登録している相手から電話がかかってきたときに、ここで指定した画像が表示されます。
登録できるのは、ピクチャーBOXにある画像です。「ピクチャーBOXを利用する」（☞12-29ページ）

1 を押して、設定したい画像を選択する

▶ 画像の内容を確認するには

Menu（表示）を押す
選択中の画面が表示されます。
を押して前後の画面を表示することもできます。
Web（戻る）または クリア/マナー を押すと、画像の一覧に戻ります。

▶ ピクチャーを解除するには

「無」を選択する

2 ◯（決定）を押す

選択した画像がピクチャーとして登録されます。
「電話帳に登録する」（☞7-31ページ）の手順6へ進みます。

■シークレットを設定する

特に他人に知られたくない電話帳のデータをシークレットに設定しておくことができます。この設定をしておくと、「電話帳シークレットを設定する（電話帳シークレット）」（☞7-43ページ）の電話帳シークレットを「表示しない」に設定したときに表示されなくなります。

1 を押して、「1.ON」を選択する

▶ シークレット設定を解除するとき

「2.OFF」を選択し、◯（決定）を押す

2 ◯（決定）を押す

電話帳データが、シークレット設定されます。
「電話帳に登録する」（☞7-31ページ）の手順6へ進みます。

リダイヤルや着信履歴の電話番号を登録する

リダイヤル／着信履歴／ダイヤルメモの電話番号を電話帳に登録することができます。
登録方法には、名前を新しく入力して登録する新規登録と、すでに登録されている電話帳に追加して登録する追加登録があります。

1 登録したい電話番号を表示させる

「リダイヤル／着信履歴／ダイヤルメモで電話をかける」（☞7-6ページ）の手順1～2

2 Menu（メニュー）を押す

3 を押して「1.電話帳登録」を選択し、◯（決定）を押す

4 を押して、「1.新規登録」または「2.追加登録」を選択する

▶ 新規登録するとき

「新規登録するとき」（☞7-35ページ）

▶ 追加登録するとき

「追加登録するとき」（☞7-35ページ）

お知らせ

- 待ち受け画面で電話番号を入力した状態から電話帳登録をすることができます。このときは、番号を入力したあと Menu（メニュー）を押し、を押して「1.電話帳登録」を選択し、◯（決定）を押します。以降の操作は、手順4以降と同じです。

■新規登録するとき

「リダイヤルや着信履歴の電話番号を登録する」（☞7-34ページ）の続きです。

1　◯（決定）を押す

電話帳登録の画面が表示されます。あらかじめ、選択した電話番号が入力されています。

2　電話帳に登録をする

「電話番号を入力する」（☞7-32ページ）の手順2以降

■追加登録するとき

「リダイヤルや着信履歴の電話番号を登録する」（☞7-34ページ）の続きです。

1　◯（決定）を押す

電話帳検索画面が表示されます。
前回使用した検索方法に設定されています。
「電話帳を使って電話をかける」（☞7-36ページ）

2　電話帳を検索し、登録したい名前を選択する

名前検索、グループ検索、マーク検索、メモリNo.検索から、登録したい名前を検索します。「電話帳を使って電話をかける」（☞7-36ページ）

3　◯（決定）を押す

4　◎を押して、「1.はい」を選択する

▶ 追加登録を中止するとき

「2.いいえ」を選択し、◯（決定）を押す

5　◯（決定）を押す

登録する電話番号が表示されます。

6　電話帳登録をする

「電話番号を入力する」（☞7-32ページ）の手順2以降

お知らせ

- 電話番号を追加登録する際、すでに電話番号を2つ登録済みのデータを選択したときは、「登録されています　上書きします　よろしいですか？」と表示されます。「はい」を選択して◯（決定）を押すと、2つの番号のうちどちらに上書きするかを選択する画面が表示されます。

電話帳を使って電話をかける

電話帳の登録内容は、次の４つの方法で検索できます。
・名前検索「名前の50音順一覧で検索する」（☞同じページ内です。）
・グループ検索「グループ別一覧で検索する」（☞7-37ページ）
・マーク検索「分類マークで検索する」（☞7-38ページ）
・メモリNo.検索「メモリNo.で検索する」（☞7-38ページ）

■検索方法を選択する

電話帳を呼び出し、お好みの検索方法に切り替えます。

1 待ち受け画面で ◎ を押す

前回使用した検索機能の画面が表示されます。

2 Menu（メニュー）を押す

3 ◎ を押して「4.検索方法設定」を選択し、◯（決定）を押す

4 ◎ を押して検索方法を選択し、◯（決定）を押す

選択した検索方法に切り替わります。

名前の50音順一覧で検索する

1 待ち受け画面で ◎ を押して検索画面を表示させ、「名前検索」に切り替える

「検索方法を選択する」（☞同じページ内です。）

2 検索する名前の読みがなを入力する

入力する読みがなは、すべてを入力しなくても構いません。
「文字を入力する」（☞4-5ページ）

3 ◯（決定）を押す

電話帳の登録内容が、50音順に一覧表示されます。入力した読みがなに一致した名前が選択されています。
◎ を押して50音の行を切り替えることができます。

4 ◎ を押して相手の名前を選択し、◯（決定）を押す

5 ◎ を押して電話番号を選択し、☎ を押す

相手に電話がかかります。

▶ Eメールを送信するには

「メールアドレス1」または「メールアドレス2」を選択し、Web（メール）を押す
「Eメールを作成送信する」（☞8-7ページ）

▶ ライトメールを送信するには

「TEL番号1」または「TEL番号2」を選択し、Web（メール）を押す
「ライトメールを使用する」（☞8-43ページ）

■登録内容を確認するには

長いメールアドレスや電話番号は、下記の手順で表示させることができます。
① Menu（メニュー）を押す
②「1.詳細」を選択し、◯（決定）を押す
　◎を押すと、メールアドレスなどの各項目の内容を表示します。
　クリア/マナーを押すと、詳細画面に戻ります。

お知らせ

- 手順4で◯（決定）を押さずに、☎を押しても、相手に電話をかけることができます。電話番号を2つ登録しているときには、TEL番号1に電話がかかります。
- 50音順の一覧画面で、ダイヤルボタンを押して50音の行を切り替えることができます。ダイヤルボタンに書かれているひらがなが50音の行に対応しています。＊は「A」（アルファベット）に、#は「etc」に対応しています。
- オフィスモードのときには、手順4で番号を選択し、◯（決定）を押した後、保留を押すだけで、登録されている外線発信番号を自動的につけることができます。もう一度保留を押すと、外線発信番号は消えます。「外線発信番号を登録する（外線発信番号）」（☞13-5ページ）
- 待受モードが「公衆＋オフィス」に設定されている場合は、外線発信するとき、手順4で番号を選択し、◯（決定）を押した後、▭を押すと、その発信に限り現在の優先発信モードを切り替えて発信できます。「発信するモードを一時的に切り替える」（☞13-6ページ）

グループ別一覧で検索する

1　待ち受け画面で◎を押して、検索画面を表示させ、「グループ検索」に切り替える

「検索方法を選択する」（☞7-36ページ）
グループに登録されている名前が表示されます。

2　◎を押して、グループ番号を選択する

◎を押すごとに表示されるグループが切り替わります。

3　◎を押して、相手の名前を選択する

4　◯（決定）を押す

詳細画面が表示されます。

5　◎を押して電話番号を選択し、☎を押す

相手に電話がかかります。

お知らせ

- グループ別の一覧画面で、グループ番号に対応するダイヤルボタンを押して表示するグループを切り替えることができます。

分類マークで検索する

1 **待ち受け画面で ◎ を押して、検索画面を表示させ、「マーク検索」に切り替える**

「検索方法を選択する」(☞7-36ページ)

2 **◎ を押して、分類マークを選択する**

◎ を押すごとに分類が切り替わります。

▶ **分類マークなしで登録した電話番号やメールアドレスを検索するには**

「 □ 」マークを選択する

3 **◎ を押して、相手の名前を選択する**

4 **○(決定)を押す**

詳細画面が表示されます。

5 **◎ を押して電話番号を選択し、☎ を押す**

相手に電話がかかります。

メモリNo.で検索する

1 **待ち受け画面で ◎ を押して、検索画面を表示させ、「メモリNo.検索」に切り替える**

「検索方法を選択する」(☞7-36ページ)

2 **ダイヤルボタンで3桁のメモリNo.を入力する**

3 **◎ を押して、相手の名前を選択する**

◎ を押すごとに、「000」〜「990」を移動表示します。

4 **○(決定)を押す**

詳細画面が表示されます。

5 **◎ を押して電話番号を選択し、☎ を押す**

相手に電話がかかります。

ツータッチダイヤルで電話をかける

メモリNo.の下１桁を入力して、メモリNo.000 ～ 009に登録した相手のTEL番号１へ簡単に電話をかけることができます。

1 ダイヤルボタンでメモリNo.の下１桁を入力する

2 ☎ を押す

TEL番号１に電話がかかります。
相手が電話に出ると通話ができます。

▶ ライトメールを作成するとき

Web（ライト）を押す
TEL番号１を宛先にしたライトメール作成画面が表示されます。本文を入力し、ライトメールを送信することができます。
「ライトメールを新規に作成して送信する」(☞8-43ページ)

▶ Eメールを作成するとき

◯（eメール）を押す
メールアドレス１を宛先にしたEメール作成画面が表示されます。タイトル、本文を入力し、Eメールを送信することができます。
「Eメールを新規に作成して送信する」(☞8-7ページ)

お知らせ

- ツータッチダイヤルは公衆モードでのみご利用いただけます。

スリータッチダイヤルで電話をかける

メモリNo.の下１桁を２回入力して、メモリNo.000 ～ 009に登録した相手のTEL番号２へ簡単に電話をかけることができます。

1 ダイヤルボタンでメモリNo.の下１桁を２回入力する

2 ☎ を押す

TEL番号２に電話がかかります。
相手が電話に出ると通話ができます。

▶ ライトメールを作成するとき

Web（ライト）を押す
TEL番号２を宛先にしたライトメール作成画面が表示されます。本文を入力し、ライトメールを送信することができます。
「ライトメールを新規に作成して送信する」(☞8-43ページ)

▶ Eメールを作成するとき

◯（eメール）を押す
メールアドレス２を宛先にしたEメール作成画面が表示されます。タイトル、本文を入力し、Eメールを送信することができます。
「Eメールを新規に作成して送信する」(☞8-7ページ)

お知らせ

- スリータッチダイヤルは公衆モードでのみご利用いただけます。
- TEL番号２やメールアドレス２が登録されていないときは使用できません。

電話帳の内容を編集する

電話帳に登録された電話番号やメールアドレスなどの各項目を修正することができます。

1　修正したい電話帳データを表示させる

電話帳の一覧表示の他、詳細表示、各登録内容の詳細表示画面からも操作することができます。

2　Menu（メニュー）を押す

3　◎を押して「2.修正」を選択し、○（決定）を押す

4　修正したい項目を選択し、登録内容を修正する

「電話帳に登録する」（☞7-31ページ）の手順3以降

電話帳の内容を消去する

個別消去する

電話帳の登録内容を1件ずつ消去できます。

1　消去したい電話帳データを表示させる

電話帳の一覧表示の他、詳細表示、各登録内容の詳細表示画面からも操作することができます。

2　Menu（メニュー）を押す

3　◎を押して「3.個別消去」を選択し、○（決定）を押す

4　◎を押して、「1.はい」を選択する

▶ **個別消去を中止するとき**

「2.いいえ」を選択し、○（決定）を押す

5　○（決定）を押す

メッセージが表示され、選択した登録内容が消去されます。

一括消去する

1　待ち受け画面でMenu（Menuボタン）さ3DEF さ3DEFと押す

2　◎を押して、「1.はい」を選択する

▶ **一括消去を中止するとき**

「2.いいえ」を選択し、○（決定）を押す

3　○（決定）を押す

もう一度、消去してよいかどうかを確認する画面が表示されます。

4　◎を押して、「1.はい」を選択する

▶ **一括消去を中止するとき**

「2.いいえ」を選択し、○（決定）を押す

5　○（決定）を押す

メッセージが表示され、すべての電話帳データが消去されます。

電話帳のグループ名を変更する

電話帳のグループ名を変更することができます。電話帳のグループ名は、全角7文字（半角14文字）まで入力できます。

1 待ち受け画面で Menu（Menuボタン）さ3DEF た4GHI と押す

2 ◎を押して、変更したいグループ名を選択する

3 ○（決定）を押す

4 ◎を押して「1.グループ名変更」を選択し、○（決定）を押す

5 ダイヤルボタンで新しいグループ名を入力する

「文字を入力する」（☞4-5ページ）

6 ○（決定）を押す

グループ名が変更され、「設定しました」と表示されます。

お知らせ

- お買い上げ時のグループ名は「グループ1」～「グループ0」に設定されています。

■電話帳のグループ名をお買い上げ時の状態に戻すとき

1 待ち受け画面で Menu（Menuボタン）さ3DEF た4GHI と押す

2 ◎を押して、設定を戻したいグループ名を選択する

3 ○（決定）を押す

4 ◎を押して「2.出荷設定に戻す」を選択し、○（決定）を押す

5 ◎を押して、「1.はい」を選択する

▶ 操作を中止するとき

「2.いいえ」を選択し、○（決定）を押す

6 ○（決定）を押す

グループ名がお買い上げ時の状態に戻り、「設定しました」と表示されます。

電話帳をロックする（電話帳ロック）

電話帳ロックを設定すると、他の人に電話帳を利用されることを防止できます。電話帳に登録している相手から電話がかかってきたときにも、相手の名前を表示しません。また、リダイヤル／着信履歴／ダイヤルメモに記録されている名前も表示されなくなります。
電話帳ロックを設定するには、暗証番号の入力が必要になります。お買い上げ時の暗証番号は「0000」に設定されています。暗証番号は変更することができます。「暗証番号を設定する」（☞11-8ページ）

電話帳ロックを設定する

1 待ち受け画面で Menu（Menuボタン）さ3DEF あ1.@ と押す

2 ダイヤルボタンで暗証番号を入力する

入力した番号は「＊」と表示されます。

▶ 暗証番号を修正するには

最後の1桁を消す：クリア/マナー を押す
すべての桁を消す：クリア/マナー を約1秒以上押す

3 ◯（決定）を押す

電話帳ロックが設定され、「設定しました」と表示されます。

お知らせ

- 電話帳ロックを設定中に、◎を押して電話帳を呼び出そうとしたときは、「電話帳がロックされています」と表示されたあと、暗証番号を入力する画面が表示されます。暗証番号を入力し、◯（決定）を押すと、電話帳ロックは解除され、待ち受け画面に戻ります。
- 手順3で暗証番号が一致しないときは、「暗証番号が違います」と表示され、待ち受け画面に戻ります。
- お買い上げ時、電話帳ロックは解除に設定されています。

電話帳ロックを解除する

1 電話帳ロックを設定中に、待ち受け画面で Menu（Menuボタン）さ3DEF あ1.@ と押す

2 ダイヤルボタンで暗証番号を入力する

入力した番号は「＊」と表示されます。

▶ 暗証番号を修正するには

最後の1桁を消す：クリア/マナー を押す
すべての桁を消す：クリア/マナー を約1秒以上押す

3 ◯（決定）を押す

メッセージが表示され、電話帳ロックが解除されます。

電話帳シークレットを設定する（電話帳シークレット）

シークレット設定した電話帳データを表示するかどうかを設定することができます。
電話帳シークレット機能を「表示しない」に設定した場合、シークレット設定した電話帳データは電話帳を検索しても表示されません。また、シークレット設定した電話番号から電話がかかってきたときには「ユーザ非通知」と表示され、相手の名前や電話番号は表示されません。
電話帳シークレットの設定を変更するには、暗証番号の入力が必要になります。お買い上げ時の暗証番号は「0000」に設定されています。暗証番号は変更することができます。「暗証番号を設定する」（☞11-8ページ）

1 待ち受け画面で Menu（Menuボタン）さ3DEF か2ABC と押す

暗証番号の入力画面が表示されます。

2 ダイヤルボタンで暗証番号を入力する

入力した番号は「＊」と表示されます。

3 ◯（決定）を押す

電話帳シークレットの設定画面が表示されます。

4 ◎を押して、「1.表示する」または「2.表示しない」を選択する

5 ◯（決定）を押す

設定が完了し、「設定しました」と表示されます。

お知らせ

- お買い上げ時は「表示しない」に設定されています。
- 本機能の設定にかかわらず、シークレット設定が「ON」で電話帳に登録されている電話番号への発信は、リダイヤルには記録されません。
- 電話帳シークレットを「表示しない」に設定した場合でも、指定着信音を設定している相手から電話がかかってきたときは、設定した着信音が鳴ります。
- 電話帳シークレット機能を「表示しない」に設定した場合、シークレット設定した相手からかかってきた電話の着信履歴は「ユーザ非通知」と表示されます。このとき、電話帳シークレット機能を「表示する」に設定することで、相手の名前と電話番号を確認することができます。
- 電話帳シークレット機能を「表示しない」に設定した場合、シークレット設定した相手からのEメールやライトメールを受信したときは、受信メール一覧に表示されず、待ち受け画面には新着メールや未読メールがあることを表すアイコンも表示されません。

音を調整する

着信音量を設定する

着信音量を調節します。設定のしかたは、メニューから設定する方法と、◎で設定する方法があります。

■メニューから着信音量を設定する

1　待ち受け画面で Menu（Menuボタン）6 2 と押す

2　◎を押して「1.音量」を選択し、○（決定）を押す

音量を選択する画面が表示されます。

3　◎を押して、着信音量を選択する

▶ **着信音量を1段階大きくするには**

◎を1回押す

▶ **着信音量を1段階小さくするには**

◎を1回押す

▶ **着信音量を確認するには**

Menu（再生）を押す
現在設定中の待受モードでの着信音が鳴ります。
Menu（停止）を押すと、再生を停止します。

4　○（決定）を押す

着信音量が設定され、「設定しました」と表示されます。

■ ◎で着信音量を設定する

1　待ち受け画面で◎を押す

音量を選択する画面が表示されます。

2　◎を押して、着信音量を選択する

◎を押すごとに、着信音量が変更されます。

▶ **着信音量を確認するには**

Menu（動作）を押す
現在設定中の待受モードでの着信音が鳴ります。
Menu（停止）を押すと、再生を停止します。

お知らせ

- 着信音量を「OFF」に設定しているとき、待ち受け画面には「 」が点灯します。
- イヤホンマイクを接続しているとき、着信音はイヤホンから鳴ります。スピーカからは鳴りません。
- イヤホンマイクを接続しているとき、◎を押すと受話音量が変更されます。
- お買い上げ時は「中」に設定されています。

バイブレータを設定する

バイブレータのON/OFFを設定します。設定のしかたは、メニューから設定する方法と、◎で設定する方法の2通りがあります。

■メニューからバイブレータを設定する

1 待ち受け画面で Menu（Menuボタン）6 2 と押す

2 ◎を押して「2.バイブレータ」を選択し、◯（決定）を押す

3 ◎を押して「1.バイブ+音」または「2.バイブ→バイブ+音」を選択する

「1.バイブ+音」に設定すると、着信を振動と着信音でお知らせをします。また、「2.バイブ→バイブ+音」に設定すると、10秒間振動のみでお知らせしたあと、振動に加えて着信音でお知らせします。

▶ バイブレータをOFFにするとき

「3.OFF」を選択し、◯（決定）を押す

▶ 選択したバイブレータの動作を確認するには

Menu（動作）を押す
Menu（停止）を押すと、動作が止まります。

4 ◯（決定）を押す

バイブレータが設定され、「設定しました」と表示されます。

■ ◎でバイブレータを設定する

1 待ち受け画面で◎を押す

2 ◯（バイブ）を押して、バイブレータONにする

◯（バイブ）を押すごとに、バイブレータの「ON」、「OFF」が切り替わります。

お知らせ

- バイブレータを「ON」に設定すると、着信音が鳴ると同時に振動します。バイブレータのみにしたい場合は着信音量を「OFF」に設定してください。
- バイブレータを「ON」に設定しているとき、待ち受け画面には「▮」が点灯します。
- お買い上げ時は「OFF」に設定されています。

マナーモードを設定する

マナーモードを設定すると、着信音やスケジュールのアラーム音、目覚まし音を鳴らさずに、バイブレータでお知らせします。キータッチ音や確認音なども鳴らなくなります。

1　待ち受け画面で［クリア/マナー］を約1秒以上押す

マナーモードが設定され、「マナーモードを設定しました」と表示されます。待ち受け画面に「 」が点灯します。

▶ マナーモードを解除するには

手順1を繰り返す
完了音が鳴り、マナーモードが解除され、「マナーモードを解除しました」と表示されます。

お知らせ

- マナーモードの設定中は、着信音選択、着信音量選択、バイブレータ選択、キータッチ音の設定を行うことができません。

特定の時間帯に着信音を消す（オートサイレント）

指定した時間帯に、マナーモード／着信音量／バイブレータ／着信LEDの動作を切り替えることができます。一回のみ、または毎日繰り返し切り替えることができます。
オートサイレントを設定するには、あらかじめ日付・時刻を設定しておく必要があります。「日時を設定する」(☞1-18ページ)

1　待ち受け画面で［Menu］（Menuボタン）［6］［3］と押す

2　［◎］を押して「サイレント設定」を選択し、◯（決定）を押す

3　［◎］を押して、「1.ON　一回のみ」または「2.ON　毎日」を選択する

▶ オートサイレントを解除するとき

「3.OFF」を選択し、◯（決定）を押す

4　◯（決定）を押す

5　ダイヤルボタンでオートサイレントの開始時刻と終了時刻を入力する

▶ 時刻を修正するには

① ［◎］を押して、修正したい箇所にカーソルを移動する
② ダイヤルボタンで正しい時刻を入力する

6　◯（決定）を押す

オートサイレントの種類を選択する画面が表示されます。

7　［◎］を押して、オートサイレントを設定したい動作を選択する

マナーモードを「ON」に設定したときは、他の項目を選択することができません。

8　◯（決定）を押す

9 ◎を押して､「1.ON」または「2.OFF」を選択する

マナーモード

ONに設定すると、指定した時刻にマナーモードとなります。
OFFに設定中はマナーモードの設定に従います。

着信音量／バイブレータ／着信LED

OFFに設定すると、指定した時刻にそれぞれ着信音量OFF／バイブレータOFF／着信LED OFFとなります。
ONに設定中はそれぞれの設定に従います。

10 ◯（決定）を押す

手順6の画面に戻ります。続けて他の項目を設定するときは手順7～9の操作を繰り返します。

お知らせ

- 設定できる時間は00時00分～23時59分の間です。
- 開始時刻と終了時刻は同じ時刻には設定できません。
- 時刻が設定されていないときは、オートサイレントを設定することができません。
- お買い上げ時、オートサイレントは「OFF」に設定されています。

安全運転モードを設定する

車の運転中や電車の中で電話に出られないときに安全運転モードに設定しておくと、電話がかかってきても、着信音やバイブレータなどは動作せず、応答メッセージが相手に流れます。
安全運転モードには、本電話機から電話に出られないことをお伝えする電話機応答と、ウィルコムのネットワークから電話に出られないことをお伝えするネットワーク応答があります。
留守番電話サービスをご利用の場合は、留守番電話センターでメッセージをお預りすることもできます。
「留守番電話サービスを利用する（有料）」（☞12-39ページ）

安全運転モードを選択する

1 待ち受け画面で Menu（Menuボタン）5 8 と押す

安全運転モードの種類が表示されます。

2 ◎を押して、設定したい安全運転モードを選択する

▶ **「1.電話機留守録」を選択したとき**

応答メッセージが流れ、相手のメッセージを録音します。
応答メッセージ：「ただいま移動中のため電話に出られません。ピーと鳴りましたら、お名前とご用件をお話しください」

▶ **「2.ネットワーク応答→留守電」を選択したとき**

応答メッセージが流れ、相手のメッセージを録音します。
応答メッセージ：「ただいま運転中のため留守番電話センターでメッセージをお預かりいたします。発信音のあとに60秒以内でメッセージを録音してください」

▶ **「3.ネットワーク応答」を選択したとき**

応答メッセージのみが流れ、電話が切れます。
応答メッセージ：「ただいま運転中のため電話に出ることができません。しばらくたってからおかけなおしください」

3 ◯（決定）を押す

選択した安全運転モードが利用できるようになり、「設定しました」と表示されます。

安全運転モードを設定する

1　待ち受け画面で ＃ を約１秒以上押す

安全運転モードが設定され、「安全運転モードを設定しました」と表示されます。待ち受け画面に「 」が点灯します。

▶ 安全運転モードを解除するには

手順１を繰り返す
完了音が鳴り、安全運転モードが解除され、「安全運転モードを解除しました」と表示されます。待ち受け画面の「 」が消灯します。

お知らせ

- グループモードでは、安全運転モードを利用することができません。
- 「ネットワーク応答→留守電」に設定して留守番電話サービスをご利用になるには、ウィルコムへのお申し込みが必要です。

■電話がかかってきたとき

ライトメール受信やEメール自動受信は、通常どおり行われます。ただし、着信動作はせずに、画面の表示のみとなります。

▶「電話機留守録」を選択しているとき

応答メッセージ再生中に相手が電話を切ったときは、待ち受け画面に「 」が点灯します。
応答メッセージ再生中に を押すと、通話ができます。
相手がメッセージを録音した場合は、待ち受け画面に「 」が点灯します。

▶「ネットワーク応答→留守電」を選択しているとき

着信後、待ち受け画面には「 」が点灯します。相手がメッセージを録音したときは「 」が点灯します。

▶「ネットワーク応答」を選択しているとき

着信後、待ち受け画面には「 」が点灯します。

お知らせ

- 相手に流れる応答メッセージは、固定メッセージです。変更はできません。
- 安全運転モードは、録音件数や留守録設定に関係なく設定できます。
- 安全運転モードで「電話機留守録」を設定中で、録音件数がいっぱいのときは、相手に「ただいま移動中のため電話に出られません。恐れ入りますが､のちほどおかけ直しください。｣という応答メッセージが流れ、電話が切れます。
- 留守録を設定しているときに安全運転モードを設定すると、留守録の設定は一時的に解除されます。安全運転モードを解除すると、留守録の設定が有効になります。
- 目覚まし音やスケジュールのアラーム音、または電池残量警報音は、応答終了後に作動します。
- 電源を切っても安全運転モードの設定は解除されません。

着信音やアラームを設定する

各待受モードでの着信音、Eメール着信音、ライトメール着信音、スケジュールアラーム音、目覚まし音の種類を設定できます。オフィスモードでは、外線、内線、専用線からの着信を個別に設定できます。設定できる着信音の種類は、本電話機に初めから用意されているパターン13種類、アラーム2種類、プリセットメロディ5種類、音声4種類、OFF（無音）と、ダウンロードしたメロディ最大10件です。

1 待ち受け画面で Menu（Menuボタン）は6 あ1 と押す

現在の設定が表示されます。

2 ◎を押して、設定する待受モードや機能を選択し、◯（決定）を押す

着信音一覧画面が表示されます。

3 ◎を押して、着信音を選択する

▶ 選択した着信音を確認するには

Menu（再生）を押す
◯（停止）を押すと、再生が終了します。

4 ◯（決定）を押す

着信音が設定され、設定したことをお知らせしたあと、手順1の画面に戻ります。

■着信音一覧

種　別	表　示	曲　名
無音	OFF	——
パターン（13種類）	パターン1～10	——
	プッシュホン	——
	古いプッシュホン	——
	黒電話	——
アラーム（2種類）	アラーム音	——
	目覚ましベル	——
プリセットメロディ（5種類）	モーツァルト K488 3	モーツァルト K488 3
	誰も寝てはならぬ	誰も寝てはならぬ
	バッハ プレリュード	バッハ プレリュード
	ジングル1	ジングル 1
	ジングル2	ジングル 2
音声（4種類）	女性『電話です』	——
	女性『メールです』	——
	女性『おはよう』	——
	女性『時間です』	——

上記の表の他、ダウンロードしたメロディを選択することができます。

●お買い上げ時に設定されている着信音は次の通りです。

公衆着信音	パターン 1
E メール着信音	パターン 2
ライトメール着信音	女性『メールです』
スケジュールアラーム音	アラーム音
目覚まし音	目覚ましベル
オフィス外線着信音	パターン 3
オフィス内線着信音	パターン 4
オフィス専用線着信音	パターン 5
グループ着信音	パターン 9

お知らせ

● 電話帳で指定着信音を設定している相手から電話がかかってきたときは、指定着信音の設定が優先されます。

キータッチ音を設定する

ボタンを押したときに音を鳴らすかどうかを選択できます。

1 **待ち受け画面で Menu（Menuボタン） 6 と押す**

2 **を押して「キータッチ音」を選択し、◯（決定）を押す**

キータッチ音が設定されます。
◯（決定）を押すごとに、ON ／ OFF が切り替わります。

● **キータッチ音メニューアイコンの表示**

：ON

：OFF

お知らせ

● お買い上げ時は「ON」に設定されています。

圏外警告音を設定する

通話中、電波が届かなくなり「圏外」が表示されるときに、警告音を鳴らすかどうかを設定できます。

1 待ち受け画面で Menu（Menuボタン）は6MNO と押す

2 を押して「圏外警告音」を選択し、◯（決定）を押す

圏外警告音が設定されます。
◯（決定）を押すごとに、ON ／ OFFが切り替わります。

● 圏外警告音メニューアイコンの表示

：ON

：OFF

お知らせ

● お買い上げ時は「ON」に設定されています。

保留音を設定する

保留音の種類を変更できます。本電話機に初めから用意されているプリセットメロディ5種類と、ダウンロードメロディ最大10種類の中から選択できます。「着信音一覧」（☞7-49ページ）

1 待ち受け画面で Menu（Menuボタン）は6MNO た4GHI と押す

2 を押して、保留音を選択する

▶ 選択した保留音を確認するには

Menu（再生）を押す
◯（停止）を押すと、再生が終了します。

3 ◯（決定）を押す

保留音が設定され、「設定しました」と表示されます。

お知らせ

● お買い上げ時は「バッハ プレリュード」に設定されています。
● オフィスモードでは、オフィスシステムの保留音が流れます。

相手が出たことを振動で通知する（発信先応答通知）

電話をかけた相手が応答したとき、バイブレータが約1秒振動してそのことをお知らせする機能です。

1 待ち受け画面で Menu（Menuボタン）8 5 と押す

2 ◎ を押して「5.発信先応答通知」を選択し、○（決定）を押す

3 ◎ を押して、「1.ON」を選択する

4 ○（決定）を押す

「設定しました」と表示され、待ち受け画面に戻ります。

お知らせ

- お買い上げ時は「OFF」に設定されています。

メモ録音を利用する

待ち受け中に音声を録音できます。録音できるのは、1件につき最長16秒、最大4件までです。

メモ録音をする

1 待ち受け画面で ▭ を押す

録音再生メニューが表示されます。

● **録音件数表示**

▭（青）　：自作応答メッセージ
▭（黄）　：録音あり
▭（色なし）：録音なし

2 ◎ を押して「メモ録音」を選択し、○（決定）を押す

3 ◎ を押して、「1.はい」を選択する

▶ **メモ録音を中止するとき**

「2.いいえ」を選択し、○（決定）を押す

4 ○（決定）を押す

"ピー"という音が鳴り、メモ録音が開始されます。

5 送話口に向かって録音したい内容を話す

16秒たつと"ピー"という音が鳴り、自動的に録音が終了します。

▶ **録音を途中で完了させるには**

○（決定）を押す

▶ **録音を中止するには**

Web（キャンセル）を押す

お知らせ

- メモ録音できる件数は、通話録音、自作応答メッセージ、および留守録音と合計して4件までです。「通話を録音する（通話録音）」（☞7-11ページ）「留守録応答メッセージを録音する」（☞7-55ページ）「留守録を設定／解除する」（☞7-57ページ）
- 録音件数がいっぱいのときは、メモ録音を行うことができません。不要な録音データを消去してから、メモ録音をやりなおしてください。「メモ録音を消去する」（☞7-53ページ）「録音した内容を一括消去する」（☞7-13ページ）
- 目覚まし音やスケジュールアラーム音、電池残量警報音は、メモ録音終了後に作動します。
- メモ録音中に着信があったときは、着信までの内容が1件分として録音されます。
- 録音中に電池パックが外されたときは、それまでの録音内容は消去されます。すでに録音されている内容は消去されません。

メモ録音を再生する

1 待ち受け画面で [留守録キー] を押す

録音再生メニューが表示されます。

● **録音件数表示**

[アイコン]（青）　：自作応答メッセージ
[アイコン]（黄）　：録音あり
[アイコン]（色なし）：録音なし

2 [方向キー] を押して「録音再生」を選択し、◯（決定）を押す

録音再生一覧画面が表示されます。
未再生の録音データには「 [アイコン] 」が表示されます。

3 [方向キー] を押して、再生したいメモ録音を選択する

4 ◯（決定）を押す

"ピー"という音が鳴り、メモ録音が再生されます。
また、再生が終了すると、"ピー"という音が鳴ります。

▶ **音量を調節するには**

[方向キー] を押す

▶ **再生を終了するには**

[Web]（スキップ）を押す

▶ **最初から再生するには**

[Menu]（巻戻し）を押す

▶ **スピーカモードに切り替えるには**

再生中に ◯（スピーカ）を押す
元に戻すには ◯（レシーバ）を押す

お知らせ

- 録音再生一覧画面では、メモ録音、通話録音、または留守録音が、新しく録音された順に表示されます。「通話を録音する（通話録音）」（☞7-11ページ）「留守録を設定／解除する」（☞7-57ページ）
- 目覚まし音やスケジュールアラーム音、または電池残量警報音は、メモ録音再生後に作動します。

メモ録音を消去する

1 録音再生一覧画面を表示させ、[方向キー] を押して、消去したいメモ録音を選択する

「メモ録音を再生する」（☞同じページ内です。）の手順１～３

2 [Menu]（メニュー）を押す

3 [方向キー] を押して「1.個別消去」を選択し、◯（決定）を押す

消去してよいかどうかを確認する画面が表示されます。

4 [方向キー] を押して、「1.はい」を選択する

▶ **消去を中止するとき**

「2.いいえ」を選択し、◯（決定）を押す

5 ◯（決定）を押す

選択したメモ録音が消去され、「消去しました」と表示されます。

お知らせ

- メモ録音の他に、通話録音や留守録音も消去できます。
- 電源を切っても録音内容は消去されません。

録音した内容を一括消去する

メモ録音の他に、通話録音や留守録音があるときは、すべての録音内容が消去されます。自作応答メッセージは消去されません。

1 待ち受け画面で ⧄ を押す

録音再生メニュー画面が表示されます。

● **録音件数表示**

- (青)　：自作応答メッセージ
- (黄)　：録音あり
- (色なし)：録音なし

2 ◎ を押して「録音一括消去」を選択し、◯(決定)を押す

3 ◎ を押して、「1.はい」を選択する

▶ **一括消去を中止するとき**

「2.いいえ」を選択し、◯(決定)を押す

4 ◯(決定)を押す

メモ録音や通話録音、留守録音がすべて消去され、「消去しました」と表示されます。

お知らせ

- 録音件数が0件のときは、一括消去を行うことはできません。

留守録を設定する

「留守録」を使うと、電話に出られない場合など相手にメッセージを流したり、伝言を録音したりすることができます。
電話がかかってくると留守録応答メッセージが流れ、相手からのメッセージを１件につき最長16秒、最大４件まで録音できます。
ご利用いただける留守録応答メッセージには、「ただいま電話に出られません。ピーと鳴りましたらお名前とご用件をお話しください」という固定応答メッセージと、ご自分の声を録音する自作応答メッセージがあります。どちらかを選択して留守録応答メッセージとして相手に流します。
留守録設定時に着信があると、留守録応答メッセージ再生中にバイブレータが振動し、再生後に録音が開始されます。

留守録応答メッセージを録音する

自作応答メッセージを利用するときは、あらかじめ応答メッセージを録音しておく必要があります。自作応答メッセージは最長16秒まで録音できます。

1 待ち受け画面で Menu（Menuボタン）5 6 と押す

2 ◎を押して「1.録音」を選択し、◯（決定）を押す

3 ◎を押して、「1.はい」を選択する

▶ **録音を中止するとき**

「2.いいえ」を選択し、◯（決定）を押す

4 ◯（決定）を押す

“ピー”という音が鳴り、自作応答メッセージの録音が開始されます。

5 送話口に向かって、応答メッセージを吹き込む

16秒たつと“ピー”という音が鳴り、自動的に録音が終了します。

▶ **録音を途中で完了させるには**

◯（決定）を押す

▶ **録音を中止するには**

Web（キャンセル）を押す

お知らせ

- 通話録音、メモ録音、および留守録音が、すでに合計４件録音されている場合は、自作応答メッセージを録音できません。不要な録音を消去してから自作応答メッセージを録音してください。「通話を録音する（通話録音（☞7-11ページ）「メモ録音をする」（☞7-52ページ）「留守録を設定／解除する」（☞7-57ページ）
- 自作応答メッセージを録音できる件数は、１件のみです。すでに自作応答メッセージが録音されているときは、自作応答メッセージを消去してから録音してください。
- 自作応答メッセージを録音中に着信があったときは、初めから録音をやり直してください。
- 目覚まし音やスケジュールアラーム音、および電池残量警報音は、自作応答メッセージ録音終了後に作動します。
- 録音中に電池パックが外されたときは、それまでの録音内容は消去されます。すでに録音されている内容は消去されません。
- 自作応答メッセージは、オフィスモード、グループモードでも録音できます。
- 留守録は本電話機自体の機能です。ウィルコムの提供する留守番電話サービスとは異なります。

留守録応答メッセージを消去する

自作応答メッセージを消去できます。自作応答メッセージを変更するには、現在の自作応答メッセージを消去したあとに、新しい自作応答メッセージを録音します。

1 待ち受け画面で [Menu]（Menuボタン）[5][6]と押す

2 ◎を押して「2.消去」を選択し、○（決定）を押す

3 ◎を押して、「1.はい」を選択する

▶ **消去を中止するとき**

「2.いいえ」を選択し、○（決定）を押す

4 ○（決定）を押す

自作応答メッセージが消去され、「消去しました」と表示されます。

▶ **新しい自作応答メッセージを録音するとき**

「留守録応答メッセージを録音する」（☞7-55ページ）の手順2以降

お知らせ

- 自作応答メッセージで留守録を設定しているときに自作応答メッセージを消去したときは、留守録応答メッセージは固定応答メッセージに切り替わります。留守録設定は解除されません。また、新たに自作応答メッセージを録音しても、留守録応答メッセージの設定は固定応答メッセージのままとなります。
- 電源を切っても、自作応答メッセージの内容は消去されません。
- 自作応答メッセージは、オフィスモード、グループモードでも消去できます。

留守録応答メッセージを選択する

留守録応答メッセージを固定応答メッセージにするか、自作応答メッセージにするかを選択します。自作応答メッセージを選択するときは、あらかじめ自作応答メッセージを録音しておく必要があります。「留守録応答メッセージを録音する」（☞7-55ページ）

1 待ち受け画面で [Menu]（Menuボタン）[5][6]と押す

2 ◎を押して「3.選択」を選択し、○（決定）を押す

3 ◎を押して、「1.固定」または「2.自作メッセージ」を選択する

▶ **留守録応答メッセージの内容を確認するとき**

[Menu]（再生）を押す
再生が終了すると、メッセージを選択する画面に戻ります。途中で停止させるには [Web]（キャンセル）を押します。

4 ○（決定）を押す

選択した応答メッセージが留守録応答メッセージとして設定され、「設定しました」と表示されます。

お知らせ

- お買い上げ時は「固定」に設定されています。
- 自作応答メッセージが録音されていない場合は、手順3で「2.自作メッセージ」を選択することはできません。

留守録を設定／解除する

電話をかけてきた相手のメッセージを、１件につき最長16秒、最大４件まで録音できます。録音件数がいっぱいのときにかかってきた５件目の電話は、通常の着信となり録音できません。
留守録設定時に着信があると、留守録応答メッセージ再生中にバイブレータが振動し、再生後に録音が開始されます。

1 待ち受け画面で を押す

録音再生メニューが表示されます。

● **録音件数表示**

（青）　：自作応答メッセージ
（黄）　：録音あり
（色なし）：録音なし

2 を押して「留守録設定」を選択し、◯（決定）を押す

留守録が設定されます。
◯（決定）を押すごとに留守録の設定／解除が切り替わります。
留守録の設定中は、待ち受け画面に「 」が点灯します。

● **留守録設定メニューアイコンの表示**

：留守録設定中

：留守録解除

お知らせ

- 待ち受け画面で を約１秒以上押すことで、留守録を設定／解除することもできます。
- 着信中、留守録応答メッセージ再生中、または相手のメッセージを録音中に、 を押して電話に出ることができます。録音中のときは、途中までの伝言が１件分として録音されます。着信履歴には、応答記録として記録されます。
- 電源を切っても留守録の設定は解除されません。
- 留守録を設定しているときに安全運転モードを設定すると、留守録の設定は解除されます。安全運転モードを解除すると、留守録設定に戻ります。
- 留守録音できる件数は、通話録音、メモ録音、および自作応答メッセージと合計して４件までです。「通話を録音する（通話録音）」（☞7-11ページ）「メモ録音をする」（☞7-52ページ）「留守録応答メッセージを録音する」（☞7-55ページ）
- 着信中に を押して一時的に留守録応答にすることができます。ただし、録音件数がいっぱいのときは通常の着信となります。

録音されたメッセージを再生／消去する

メッセージが録音されると、待ち受け画面に「 」が表示されます。「 」の表示は、未再生の留守録音・音声メモ・通話録音を再生すると消灯します。

録音されたメッセージを再生する

1 待ち受け画面で を押す

録音再生メニューが表示されます。

● **録音件数表示**

（青）：自作応答メッセージ
（黄）：録音あり
（色なし）：録音なし

2 を押して「録音再生」を選択し、◯（決定）を押す

録音再生一覧画面が表示されます。
未再生の録音データには「 」が表示されます。

3 を押して、再生したい留守録音を選択する

4 ◯（決定）を押す

“ピー”という音が鳴り、留守録音が再生されます。再生が終了すると“ピー”という音が鳴り、手順2の録音再生一覧画面に戻ります。

▶ **音量を調節するには**

を押す

▶ **再生を終了するには**

（スキップ）を押す

▶ **最初から再生するには**

（巻戻し）を押す

▶ **スピーカモードに切り替えるには**

再生中に◯（スピーカ）を押す
元に戻すには◯（レシーバ）を押す

お知らせ

● 録音再生一覧画面では、登録されている留守録音、通話録音、またはメモ録音が、新しく録音された順に表示されます。「通話を録音する（通話録音）」（☞7-11ページ）「メモ録音をする」（☞7-52ページ）
● 手順3で一覧から留守録音を選択した状態で を押すと、発信者番号を通知して録音メッセージを入れた方に電話をかけられます。通話終了後は待ち受け画面に戻ります。
● 目覚まし音やスケジュールアラーム音、または電池残量警報音は、留守録音の再生終了後に作動します。
● 留守録音は、オフィスモード、グループモードでも再生できます。

録音されたメッセージを消去する

1 録音再生一覧画面を表示させる

「録音されたメッセージを再生する」（☞同じページ内です。）の手順1～2

2 を押して消去したい留守録音を選択し、（メニュー）を押す

3 を押して「1.個別消去」を選択し、◯（決定）を押す

4 を押して、「1.はい」を選択する

▶ **消去を中止するとき**

「2.いいえ」を選択し、◯（決定）を押す

5 ◯（決定）を押す

選択した留守録音が消去され、「消去しました」と表示されます。

お知らせ

- 留守録音の他に、通話録音やメモ録音も消去できます。
- 電源を切っても録音内容は消去されません。
- オフィスモード、グループモードでも留守録音を消去できます。

録音内容を一括消去する

留守録音された内容をすべて消去します。留守録音の他に、通話録音やメモ録音があるときは、すべての録音内容が消去されます。

1 待ち受け画面で (留守録ボタン) を押す

● **録音件数表示**

(青)　　：自作応答メッセージ
(黄)　　：録音あり
(色なし)：録音なし

2 (方向キー) を押して「録音一括消去」を選択し、◯（決定）を押す

3 (方向キー) を押して、「1.はい」を選択する

▶ **一括消去を中止するとき**

「2.いいえ」を選択し、◯（決定）を押す

4 ◯（決定）を押す

留守録音や通話録音、およびメモ録音がすべて消去され、「消去しました」と表示されます。

お知らせ

- 自作応答メッセージが録音されている状態で、録音内容の一括消去を行っても、自作応答メッセージは消去されません。
- 録音件数が0件のときは、一括消去を行うことはできません。
- オフィスモード、グループモードでも録音内容を一括消去できます。

留守録応答時間を設定する

着信があってから応答メッセージが流れるまでの時間を、0秒、6秒、12秒、30秒、60秒のいずれかに設定することができます。

1 待ち受け画面で Menu（Menuボタン）5 7 と押す

2 (方向キー) を押して、留守録応答時間を選択する

3 ◯（決定）を押す

留守録応答時間が設定され、「設定しました」と表示されます。

お知らせ

- お買い上げ時は「12秒」に設定されています。
- 留守録応答時間を「0秒」に設定すると、電話がかかってきたときに着信音やバイブレータで通知せずに応答メッセージを流します。
- 留守録応答時間は、オフィスモード、グループモードでも変更できます。
- 留守録とウィルコムの留守番電話サービスの両方を利用しているときは、留守録の応答時間と留守番電話センター呼出時間の短く設定されている方が優先されます。

マイメニューを利用する

よく利用するメニューやブックマークなどをマイメニューに登録すると、手早く操作を行うことができます。
また、不在着信や新着メール、未再生の留守録などがあるときには、マイメニューからアイコンを選択し、対応する操作を簡単に行うことができます。

マイメニューに登録する

メニューやブックマークを最大９件まで登録することができます。
ブックマークを登録する操作は、「マイメニューにブックマークを登録する」（☞9-13ページ）をご覧ください。

1 **待ち受け画面で（Menuボタン）を押す**

2 **を押して、登録したいメニューが含まれているアイコンを選択し、◯（決定）を押す**

3 **を押して、登録したいメニューを選択する**

4 **（メニュー）を押す**

5 **◯（決定）を押す**

6 **を押して、登録したい場所を選択する**

7 **◯（決定）を押す**

選択したメニューが登録され、「登録しました」と表示されます。

▶ **すでに登録済みの場所に登録しようとしたとき**

上書きするかどうかを確認する画面が表示されます。
「1.はい」を選択して◯（決定）を押すと、上書きして登録します。
「2.いいえ」を選択して◯（決定）を押すと、直前の画面に戻ります。

お知らせ

● お買い上げ時、マイメニューには、オンラインサインアップ、オフィシャルメニューが登録されています。

マイメニューから操作する

マイメニューに登録したメニューやブックマークを選択します。
待ち受け画面に、不在着信や新着メール、未再生の留守録などをお知らせするアイコンが表示されているときは、そのアイコンを選択して、対応する機能が実行されるようになります。

：不在着信があったとき（音声着信）
：不在着信があったとき（データ着信）
：新着メールがあるとき
：未読メールがあるとき
：ウィルコムのメールサーバーにＥメールがあるとき
：メモリがいっぱいでＥメールを受信できなかったとき
：未確認のスケジュールがあるとき
：未再生の録音データがあるとき
：留守番電話センターに新しいメッセージがあるとき

1 **待ち受け画面で ◯（決定ボタン）を押す**

マイメニュー画面が表示されます。
不在着信などがあるときは、待ち受け画面の最下行に表示されているアイコンが選択できます。

2 **◎を押して、目的のアイコンを選択する**

ブックマークアイコンが選択されているときは、ブックマークのURLまたはタイトルが表示されます。

3 **◯（決定）を押す**

▶ **メニューを選択したとき**

選択したメニューが呼び出されます。

▶ **ブックマークを選択したとき**

ブックマークのURLに接続を開始します。

▶ **機能アイコンを選択したとき**

選択したアイコンに対応した機能が実行されます。

- 着信履歴を表示します。「着信履歴の電話番号にかける」（☞2-7ページ）
- 受信メールの最新の1件を表示します。「受信メールを表示する」（☞8-15ページ）
- ウィルコムのメールサーバーに接続し、メールを受信します。「自動でEメールを受信する」（☞8-13ページ）
- メモリ残量を表示します。「メモリ使用状況を見る」（☞8-32ページ）
- 未確認のスケジュールを表示します。「スケジュールの内容を表示する」（☞12-14ページ）
- 録音再生一覧を表示します。「通話録音を再生する」（☞7-12ページ）「メモ録音を再生する」（☞7-53ページ）「録音されたメッセージを再生する」（☞7-58ページ）
- 留守番電話センターに接続します。「留守番電話センターに保存されたメッセージを聞く」（☞12-39ページ）

お知らせ

● 不在着信などがなく、マイメニューが1件も登録されていないときに ◯（決定ボタン）を押した場合、「マイメニューは登録されていません」と表示され、待ち受け画面に戻ります。

マイメニューから消去する

個別消去する

登録されているメニューやブックマークを、1件ずつ消去します。

1 待ち受け画面で◯（決定ボタン）を押す

マイメニュー画面が表示されます。

2 ◎を押して、消去したいメニューやブックマークを選択する

3 Menu（メニュー）を押す

4 ◎を押して「1.個別消去」を選択し、◯（決定）を押す

5 ◎を押して「1.はい」を選択する

▶ 消去を中止するとき

「2.いいえ」を選択し、◯（決定）を押す

6 ◯（決定）を押す

選択した項目が消去され、「消去しました」と表示されます。

一括消去する

登録されているメニューやブックマークを、すべて消去します。

1 待ち受け画面で◯（決定ボタン）を押す

マイメニュー画面が表示されます。

2 Menu（メニュー）を押す

3 ◎を押して「2.一括消去」を選択し、◯（決定）を押す

消去してよいかどうかを確認する画面が表示されます。

4 ◎を押して「1.はい」を選択する

▶ 一括消去を中止するとき

「2.いいえ」を選択し、◯（決定）を押す

5 ◯（決定）を押す

もう一度、消去してよいかどうかを確認する画面が表示されます。

6 ◎を押して「1.はい」を選択する

▶ 一括消去を中止するとき

「2.いいえ」を選択し、◯（決定）を押す

7 ◯（決定）を押す

マイメニューに登録した内容がすべて消去され、「一括消去しました」と表示されます。

8

メール

メールについて

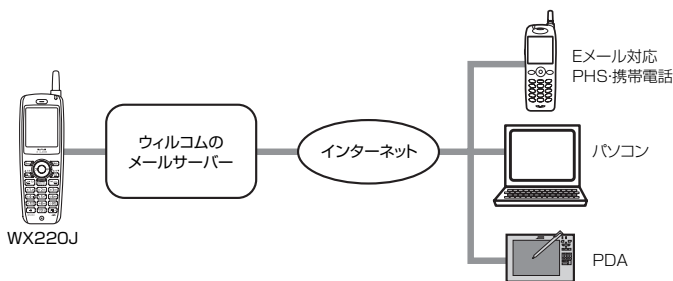
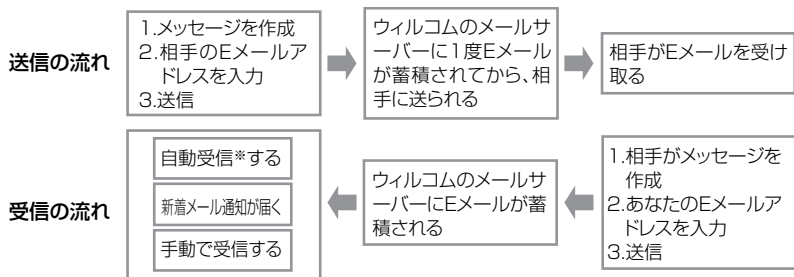
本電話機で利用できるメールには、Eメールとライトメールがあります。

Eメール：　インターネットを経由するメールです。パソコンや他社のEメール対応携帯電話機ともやり取りが可能です。「Eメールについて」（☞同じページ内です。）

ライトメール：相手の電話機と直接通信して送受信するメールで、送信時は相手の電話番号を宛先として指定します。ウィルコムのライトメール対応電話機どうしでやり取りが可能です。「ライトメールについて」（☞8-3ページ）

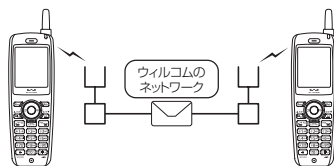
Eメールについて

Eメールは、ウィルコムのメールサーバーを経由してインターネットに接続し、パソコンやEメール対応電話機などとメッセージをやり取りするサービスです。
オンラインサインアップを行うと、すぐにEメールを利用することができます。また、すでにパソコンなどで利用されているメールアカウントを利用して、本電話機でメールの送受信を行うこともできます。
「オンラインサインアップを行う」（☞8-5ページ）「メールアカウントを設定する」（☞8-5ページ）

オンラインサインアップでウィルコムのメールアカウントを取得すると、ウィルコムのメールサーバーを介してEメールをやりとりすることができます。

- ウィルコムのメールサーバーに蓄積できる受信メールの容量は、合計1Mバイトまでです。画像やメロディなどの添付ファイルがない場合で、約1000文字のメール約500通に相当します。センターの蓄積容量がいっぱいになると、新しい受信メールが蓄積できなくなります。（2007年1月現在）
- ウィルコムのメールサーバーでの保管期間はメールの到着日を含め31日です。

※Eメール自動受信機能を「ON」に設定することで自動受信することができます。「Eメール自動受信機能を設定する」（☞8-33ページ）

◎Eメールのご利用にあたって

ご契約の料金プランによっては、Eメールの送受信の通信時間またはデータ量に応じた通信料がかかります。文章の長いメールや、サイズの大きな添付ファイルを含むメールを受信したときは、その分だけ通信料が多くかかります。
データ量の多いメールの受信を必要としない場合は、受信行数制限設定で受信する1件あたりのメールの長さ（行数）を低く制限することができます。あらかじめ、受信するメールの本文の行数を設定しておくことで通信料を低く抑えることができます。「Eメールの受信行数を設定する」（☞8-36ページ）
また、ウィルコムのメールサーバーには添付ファイルを自動的に削除する機能があり、オンラインサインアップで設定することもできます。

ライトメールについて

ライトメール対応機種どうしで直接メールの送受信を行うことができます。
ライトメール対応機種どうしでは、最大全角45文字（半角90文字）までのメールを送受信できます。
アニメーションに対応した機種には、アニメーションをつけて送ることもできます。

◎本電話機で送受信できる文字数

	全角文字	半角文字
文字のみ	45 文字	90 文字
アニメーション付き	44 文字	88 文字

- ライトメールを送信するときは、相手がライトメール対応電話機であることを確認してください。
- 本電話機はライトメールのフレームには対応しておりません。フレーム付きのライトメールが送られて来たときは正しく表示されません。
- 相手の電話機によっては、ライトメール対応機種であっても送信した文字が完全に表示されないことがあります。
- ライトメールは、分計サービスを使ってメールを送信することはできません。

ご注意

- 本電話機に保存されているEメールやライトメールは、電池パックを交換する際にも保持されますが、故障、修理、その他取扱いの不注意によって消失する場合があります。万一、保存されているメールが消失した場合、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
  なお、下記OS搭載のパソコンをお持ちの場合は、専用のファイル転送ユーティリティをご利用いただくことにより、Eメールをパソコンに転送し、保管することができます。(詳しくは、専用のファイル転送ユーティリティの取扱説明書をご覧ください。)
  ・Windows 2000 Professional
  ・Windows XP(Professional/Home Edition)
  ・Mac OS 9(v9.2~v9.2.2)
  ・Mac OS X(v10.1.5~v10.4.1、v10.4.3~v10.4.8)
  専用のファイル転送ユーティリティは付属のCD-ROMに収められています。
- 本電話機をパソコンと接続してパソコンでデータ通信を行っている最中は、電話機単体でのEメールの送受信はできません。
- 電話機単体でEメールの送受信を行っている最中は、本電話機をパソコンと接続してのパソコンでのデータ通信はできません。

メールメニューを表示する

1 待ち受け画面で ✉ を押す

メールメニューが表示されます。
Menu(Menuボタン) あ1.@ と押して表示させることもできます。
このメニューから、Eメール・ライトメールの作成・送信、受信したメールの表示、メールアカウントを取得するためのオンラインサインアップや設定などの操作を行います。

受信メール

受信したEメールとライトメールを表示します。「受信メールを表示する」(☞8-15ページ)

送信メール

送信済みのメールや送信せずに保存したメールを表示します。「送信メールを表示する」(☞8-25ページ)

Eメール送受信

Eメールの送信・受信を行います。「未送信メールをまとめて送信する」(☞8-9ページ)「手動でEメールを受信する」(☞8-14ページ)

新規作成

Eメールとライトメールの作成と送信を行います。「Eメールを新規に作成して送信する」(☞8-7ページ)「ライトメールを新規に作成して送信する」(☞8-43ページ)

メール設定

メールに関する各種設定を行います。

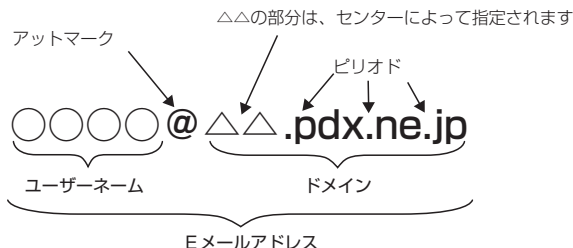
オンラインサインアップ

オンラインサインアップサーバーに接続し、メールアカウントを取得したり、Eメールに関する各種の設定を行います。「オンラインサインアップを行う」(☞8-5ページ)

メールアカウントを設定する

ウィルコムのメールアカウントでEメールを始めるには、オンラインサインアップを行ってメールアカウントを取得します。

Eメールアドレスについて

Eメールアドレスは、ユーザーネームとドメインで構成されています。

ウィルコムのメールアカウントを取得する場合､ユーザーネームには好きな名前を登録できます。ただし、次のような規則があります。

文字数：4文字以上20文字以内
文字種：半角英数字、「-」（ハイフン）、「_」（アンダーバー）
ユーザーネームの先頭は、英字のみ使用できます。
大文字で入力しても、小文字で登録されます。

オンラインサインアップではユーザーネームのみ入力してください。ドメインは自動的に設定されます。

オンラインサインアップを行う

1 **メールメニューから◎を押して「オンラインサインアップ」を選択し、◯（決定）を押す**

2 **◎を押して「1.サーバー接続」を選択し、◯（決定）を押す**

オンラインサインアップサーバーへの接続を開始します。

3 **画面の表示に従って、操作を行う**

「Webページの基本的な操作」（☞6-3ページ）の要領で操作を行い、ユーザーネームを登録します。

4 **オンラインサインアップを完了する**

オンラインサインアップを完了すると、Eメールアドレス、パスワードなどのメールアカウント設定、ダイヤルアップ設定が、本電話機に自動的に設定されます。

お知らせ

- 同じユーザーネームが既に登録されている場合、そのユーザーネームはご利用いただけません。別のユーザーネームを指定し直してください。
- 機種変更で本電話機をご購入になった場合は、オンラインサインアップ接続を行うことで、機種変更前の機種で使用したEメールアドレスをご利用になれます。
- 待受モードが「公衆+オフィス」でオフィス優先に設定されている場合でも、オンラインサインアップを行うことができます。

オンラインサインアップ情報を消去する

1 メールメニューから ◎ を押して「オンラインサインアップ」を選択し、◯（決定）を押す

オンラインサインアップ画面が表示されます。

2 ◎ を押して「2.サインアップ情報消去」を選択し、◯（決定）を押す

オンラインサインアップ情報を消去するかどうかを確認する画面が表示されます。

3 ◎ を押して、「1.はい」を選択する

▶ サインアップ情報消去を中止するとき

「2.いいえ」を選択し、◯（決定）を押す

4 ◯（決定）を押す

サインアップ情報が消去され、消去したことをお知らせするメッセージを表示し、手順1の画面に戻ります。

お知らせ

- 誤ってオンラインサインアップ情報を消去してしまったときは、オンラインサインアップサーバーに接続することで、再度設定することができます。
- サインアップ情報の消去を行うと、オンラインサインアップで取得したメールアカウントが消去され、オンラインサインアップ連動のダイヤルアップ設定がお買い上げ時の設定に戻ります。一般のプロバイダのメールアカウントは消去されません。「オンラインサインアップを行う」（☞8-5ページ）「メールアカウントを設定する」（☞8-5ページ）「ダイヤルアップを設定する」（☞9-29ページ）

Eメールを作成送信する

新しいEメールを作成して送信します。すぐに送信せずに保存して、あとで送信することもできます。

Eメールを新規に作成して送信する

1 メールメニューから ◎ を押して「新規作成」を選択し、○（決定）を押す

2 ◎ を押して「1.Eメール」を選択し、○（決定）を押す

メール作成画面が表示されます。

3 メール作成画面で「宛先」を選択し、○（決定）を押す

宛先表示画面が表示されます。

4 宛先表示画面で「宛先」を選択し、○（決定）を押す

メールアドレスを入力する画面が表示されます。
宛先を追加して、複数の相手に同時にメールを送信することもできます。
「複数の宛先にメールを送信する」（☞8-10ページ）

5 相手のメールアドレスを入力し、○（決定）を押す

メールアドレスは半角で64文字まで入力できます。
「文字を入力する」（☞4-5ページ）

▶ 電話帳から検索して入力するには

① 手順4の画面で Menu（メニュー）を押す
② ◎ を押して「5.電話帳」を選択し、○（決定）を押す
電話帳検索画面が表示されます。
「電話帳を使って電話をかける」（☞7-36ページ）

6 「編集終了」を選択し、○（決定）を押す

7 「タイトル」を選択し、○（決定）を押す

8 メールのタイトルを入力し、○（決定）を押す

タイトルは全角40文字（半角80文字）まで入力できます。
「文字を入力する」（☞4-5ページ）

9 「本文」を選択し、○（決定）を押す

10 メールの本文を入力し、○（決定）を押す

本文は全角2500文字（半角5000文字）まで入力することができます。「文字を入力する」（☞4-5ページ）

▶ 送信前に作成したメールの内容を確認するには

① 手順2のメール作成画面で Menu（メニュー）を押す
② ◎ を押して「3.プレビュー」を選択し、○（決定）を押す
送信プレビュー画面が表示されます。
Web（戻る）を押すと、メール作成画面に戻ります。

11 「送信」を選択し、○（決定）を押す

接続を開始し、メールを送信します。
送信が成功するとメールは送信メールに、送信済みメールとして保存されます。

▶ 送信に失敗したとき

メッセージが表示され、未送信メールとして送信メールに保存されます。
「送信メールを編集して送信する」（☞8-27ページ）
「未送信メールをまとめて送信する」（☞8-9ページ）

■絵文字を使用した場合

絵文字を使用したメールを送信、または保存しようとしたときは、「絵文字・Web入力用絵文字は受信者に正しく表示されない場合があります」と表示されます。送信することのできる絵文字は、相手によって異なります。「記号や絵文字を入力する」（☞7-21ページ）そのまま送信、または保存するときは「1.そのまま送信」を、相手に正しく送ることができない可能性があるときは「2.スペースに変換」を選択します。

お知らせ

- 署名が設定されているときは、「本文」テキストボックスには、あらかじめ署名が入力されています。署名の前に本文を入力して下さい。「署名を設定する」（☞8-35ページ）
- 電話帳からメールを送信することもできます。「電話帳を使って電話をかける」（☞7-36ページ）
- 絵文字を使用した場合、送信できる本文の文字数は少なくなることがあります。
- 作成中のEメールをライトメールに変更することができます。
  ① メール作成中に、Menu（メニュー）を押す
  ② ◎を押して「2.メール種別切替」を選択する
  ③ ◯（決定）を押す
  「本文以外は削除されました」と表示されたあと、ライトメールの作成画面になります。
  本文の先頭から全角45文字（半角90文字）までがコピーされて、タイトルと添付ファイルは削除されます。ライトメールとして編集し直します。
  「ライトメールを新規に作成して送信する」（☞8-43ページ）
- Eメールの作成では半角のカタカナは入力できません。文字の変換や貼り付け、定型文からの入力などで半角カタカナを入力した場合は、全角のカタカナに置き換えられます。
- 本文が全角38文字を超えるEメールを送信した場合は、全角38文字ごとに改行が自動的に挿入されます。
- ダイヤルアップ設定で、ワンタイムパスワードを「ON」に設定している場合は、接続開始の前にパスワードの入力画面が表示されます。「ダイヤルアップを設定する」（☞9-29ページ）「ワンタイムパスワードを入力する」（☞12-42ページ）

Eメールを保存し、まとめて送信する

作成したEメールを保存し、あとでまとめて送信することができます。

作成中のEメールを保存する

1 Eメールの宛先、タイトル、本文を入力する

「Eメールを新規に作成して送信する」（☞8-7ページ）の手順1～10

2 ◎を押して「保存」を選択する

3 ◯（決定）を押す

作成したメールが未送信メールとして送信メールに保存され、「保存しました」と表示されます。

未送信メールをまとめて送信する

未送信のEメールをまとめて送信します。メールの送信と同時に受信を行うこともできます。

1 メールメニューから◎を押して「Eメール送受信」を選択し、◯（決定）を押す

2 ◎を押して、「2.送信のみ」を選択する

▶ Eメールの送信と同時に受信を行うとき

「1.送受信」を選択する

3 ◯（決定）を押す

未送信メールがすべて送信されます。

▶ 送信に失敗したとき

メッセージが表示され、送信に失敗したメールは、未送信メールとして保存されます。

お知らせ

- 下書きメールとして保存したメールは送信されません。
- 未送信メールを1件ずつ送信するには、送信メール一覧から操作を行います。「送信メールを表示する」（☞8-25ページ）
- 複数のメールアカウントを登録している場合、メールの送信は、ダイヤルアップ設定の「送信メールアカウント」で選択されているメールアカウントで送信されます。「ダイヤルアップを設定する」（☞9-29ページ）
- 手順2で「1.送受信」を選択した場合、メールの受信は、現在設定中の待受モードの「メール自動巡回」が「ON」に設定されているすべてのメールアカウントで受信を行います。「メールアカウントを設定する」（☞8-5ページ）
- ダイヤルアップ設定で、ワンタイムパスワードを「ON」に設定している場合は、接続開始の前にパスワードの入力画面が表示されます。「ダイヤルアップを設定する」（☞9-29ページ）「ワンタイムパスワードを入力する」（☞12-42ページ）

作成中のメールを下書きとして保存する

作成中のメールを下書きとして保存し、あとで続きの操作をすることができます。保存したメールは下書きメールとして送信メールに保存されます。

1 メール作成画面の表示中に Menu（メニュー）を押す

2 ◎を押して、「1.下書き」を選択する

3 ◯（決定）を押す

作成中のメールが下書きメールとして送信メールに保存され、「保存しました」と表示されます。

お知らせ

- 下書きメールとして保存したメールは「送受信」または「送信のみ」の操作を行っても送信されません。「未送信メールをまとめて送信する」（☞同じページ内です。）

複数の宛先にメールを送信する

宛先を追加し複数の相手に同時にメールを送信することができます。通常の宛先（「To」）を追加する他に「Cc」や「Bcc」の宛先を追加することもできます。
一度に送信できる宛先は、To、Cc、Bcc合わせて10件までです。

1 メール作成の宛先表示画面を表示させる

「Eメールを新規に作成して送信する」（☞8-7ページ）の手順1～3

2 Menu（メニュー）を押す

3 を押して「1.Toを追加」、「2.Ccを追加」または「3.Bccを追加」を選択する

▶ 宛先を追加するとき

「1.Toを追加」を選択する

▶ 他の人に参考として、メールのコピーを送信するとき

「2.Ccを追加」を選択する

▶ 他の人に知られないように、メールのコピーを送信するとき

「3.Bccを追加」を選択する

▶ 追加した宛先を削除する場合

「9.削除」を選択する

4 ◯（決定）を押す

追加した宛先のアドレスを入力する画面が表示されます。
相手のメールアドレスを入力します。「Eメールを新規に作成して送信する」（☞8-7ページ）の手順5

お知らせ

- CcはCarbon Copy（カーボンコピー）の略で、BccはBlind Carbon Copy（ブラインドカーボンコピー）の略です。どちらも参考としてメールのコピーを送る宛先を指します。Ccの宛先は、Toや他のCcの相手にも公開されるのに対して、Bccの宛先はToやCcの相手には公開されないという違いがあります。
- 1件目の宛先が入力されていないときには、To、Cc、Bccのいずれの宛先も追加することができません。

ファイルを添付して送信する

Eメールにファイルを添付して送信することができます。添付できるファイルの件数は最大10件まで、データ量は合計150kバイト以内です。
添付することのできるファイルは次の通りです。
- ピクチャーBOXの画像「ピクチャーBOXの画像をEメールに添付する」（☞12-30ページ）
- メロディBOXのメロディデータ「メロディBOXのメロディをEメールに添付する」（☞12-26ページ）
- スケジュールに登録されているスケジュールデータ「スケジュールを登録する」（☞12-12ページ）

1 メール作成画面から「添付ファイル」を選択し、◯（決定）を押す

添付ファイル表示画面が表示されます。

2 Menu（メニュー）を押す

3 を押して「1.画像追加」、「2.メロディ追加」または「3.スケジュール追加」を選択し、◯（決定）を押す

▶ **添付したファイルを削除するとき**

「9.削除」を選択し、◯（決定）を押す

4 添付したいファイルを選択する

▶ **「1.画像追加」を選択したとき**

を押して画像を選択する
Menu（表示）を押すと、選択した画面が表示されます。

▶ **「2.メロディ追加」を選択したとき**

を押してメロディを選択する
Menu（再生）を押すと、選択したメロディが再生されます。

▶ **「3.スケジュール追加」を選択したとき**

① カレンダーからで日付を選択し、◯（決定）を押す
② を押してスケジュールを選択し、◯（確認）を押す

5 ◯（決定）を押す

添付ファイル表示画面に、選択したファイルが追加されます。
続けて他のファイルを追加する場合は、手順2から操作を繰り返します。

6 を押して「編集終了」を選択し、◯（決定）を押す

作成中のメールに、選択したファイルが添付されます。

お知らせ

- コピーガードされている画像やメロディは、Eメールに添付することができません。
- 添付したファイルの名前は、本電話機独自のファイル名に置き換えられます。

受信したメールに返信する

メールの送信者にメールを返信することができます。受信したメールにほかの宛先（「To」）やCcの宛先がある場合、「全員に返信」をすると、もとのメールの「To」と「Cc」の宛先にも「Cc」で返信します。

1 受信メール一覧画面で、を押して、返信したいメールを選択する

「受信メールを表示する」（☞8-15ページ）の手順1～3
返信したい受信メールの詳細画面からも同様に操作することができます。

2 Menu（メニュー）を押す

3 を押して、「1.返信」または「2.全員に返信」を選択する

▶ **メールの送信者だけに返信するとき**

「1.返信」を選択する

▶ **メールの送信者と、メールを受信した全員に返信するとき**

「2.全員に返信」を選択する
受信したメールの「To」と「Cc」の宛先アドレスが「Cc」欄に入力されます。

4 ◯（決定）を押す

メール作成画面が表示されます。
タイトルには、受信メールの先頭に「Re:」が追加されたものが入力されています。
本文引用を「ON」に設定しているときは、引用文に続いて受信したメールの本文が追加されています。「本文の引用について設定する」（☞8-33ページ）
メールの内容を編集し、送信します。
「Eメールを新規に作成して送信する」（☞8-7ページ）

受信したメールを転送する

受信したメールを他の人に転送します。

1 受信メール一覧画面で、◎を押して、転送したいメールを選択する

「受信メールを表示する」（☞8-15ページ）の手順1～3

「受信メールを表示する」（☞8-15ページ）

転送したい受信メールの詳細画面からも同様に操作することができます。

2 Menu（メニュー）を押す

3 ◎を押して、「3.転送」を選択する

4 ◯（決定）を押す

メール作成画面が表示されます。
タイトルには、受信メールの先頭に「Fw:」が追加されたものが入力されています。
メールの内容を編集し、送信します。
「Eメールを新規に作成して送信する」（☞8-7ページ）

受信したメールを読む

Eメールを受信する

受信したEメールは最大500件まで保存されます。受信できるEメールのサイズは1件あたり、最大で約210kバイトです。
受信したEメールが500件を超える場合は、保護されていない既読メールを日付の古いものから消去して、新しいメールを受信します。
Eメール受信時に本電話機のメモリ容量を超える場合は、保護されていない送信済みメールのうち日付の古いもの、保護されていない既読メールのうち日付の古いものを順に消去して、新しいメールを受信します。

自動でEメールを受信する

オンラインサインアップで取得したウィルコムのメールアカウントのメールは、自動で受信することができます。
メールを自動で受信するには、Eメール自動受信機能が「ON」に設定されている必要があります。「Eメール自動受信機能を設定する」（☞8-33ページ）

1 ウィルコムのメールサーバーからの通知を受けると、Eメールを自動的に受信する

自動的にウィルコムのメールサーバーとの接続が開始され、画面に受信件数、メールアカウント名とプログレスバーが表示されます。「プログレスバーの表示について」（☞8-15ページ）
受信が完了すると約5秒間メール着信音が鳴り、「メールを受信しました」と表示したあと、待ち受け画面に戻ります。メール着信音が鳴っているときに、いずれかのボタンを押すとメール着信音を止めることができます。
待ち受け画面には、新着メールがあることを表す「 」が点灯します。「 」は未読のメールを表示すると消灯します。受信トレイ、または新着メールのあるフォルダの一覧を表示して、新着メールを表示しなかったときは、待ち受け画面に、未読のメールがあることを表す「 」が点灯します。

■「メモリがいっぱいです」と表示されたとき

Eメール自動受信を開始したときに、保護または未読・未送信のEメールと、画面メモ、ダウンロードメロディ、画像を合計したメモリ容量が、本電話機のメモリ容量を上回る場合、「メモリがいっぱいです。センターにEメールが残っています。」と表示され、メールを受信することができません。待ち受け画面には「 」が点灯します。
この場合、待ち受け画面で◯（決定ボタン）を押し、「 」を選択し◯（決定）を押すと「メモリ使用状況」が表示されます。「メモリ使用状況」を確認したあと、不要なデータを消去してから、「手動でEメールを受信する」（☞8-14ページ）の操作に従ってEメールを受信してください。「メモリ使用状況」を確認すると、「 」は消灯します。
不要なファイルを消去し、メモリの空き容量が充分な場合でも、「 」の点灯中はEメール自動受信ができません。必ず上記の操作を行い「メモリ使用状況」を確認してください。

お知らせ

- お買い上げ時は、「受信行数制限設定」が600行に設定されています。文字数の多いメールをすべて受信したい場合や、受信するメールの文字数を少なく設定したい場合は、受信行数制限設定を変更してください。「Eメールの受信行数を設定する」(☞8-36ページ)
- 受信したEメールが500件を超える場合は、保護されていない既読メールを日付の古いものから消去して、新しいメールを受信します。また、Eメール受信時に本電話機のメモリ容量を超える場合は、保護されていない送信済みメールのうち日付の古いもの、保護されていない既読メールのうち日付の古いものを順に消去して、新しいメールを受信します。大切なメールは保護を設定してください。「メールを保護する」(☞8-20ページ)
- ウィルコムのメールサーバーからEメールの受信通知を受け取った際、ウィルコムのメールサーバーの電話番号などの情報が本電話機に登録されているウィルコムのメールサーバーの電話番号と一致しない場合、「Eメール受信通知のセンター番号が一致しません」と表示されます。メールアカウントの内容をご確認になり、一度オンラインサインアップ情報を削除してから、もう一度オンラインサインアップを行ってください。
- 自動受信開始時に圏外になるなどの理由で受信に失敗した場合は、「センターにEメールが有ります」と約4秒間表示されます。このとき、待ち受け画面では「 」が点灯します。マイメニューから「 」を選択することでEメールを受信することができます。「マイメニューから操作する」(☞7-60ページ)
- 待受モードが「オフィス」または「グループ」に設定されているときは、Eメールの自動受信を行うことはできません。「公衆+オフィス」、「公衆+グループ」に設定されているときは、優先発信切替の設定にかかわらずEメールの自動受信を行うことができます。

手動でEメールを受信する

ウィルコムのメールサーバーにある未受信のEメールを受信します。

1　メールメニューから を押して「Eメール送受信」を選択し、◯（決定）を押す

2　 を押して、「3.受信のみ」を選択する

▶ 受信と同時に、未送信メールを送信するとき

「1.送受信」を選択する

3　◯（決定）を押す

ウィルコムのメールサーバーに未受信のEメールがあるときは、すべてのメールを受信します。
画面には受信件数、メールアカウント名とプログレスバーが表示されます。「プログレスバーの表示について」(☞8-15ページ)
受信が完了すると、待ち受け画面に戻ります。待ち受け画面には「 」が点灯します。「 」は未読のメールを表示すると消灯します。

■Eメールの受信件数またはメモリがいっぱいのとき

Eメールの受信件数または本電話機のメモリ容量がいっぱいのときに「送受信」または「受信のみ」を行おうとしたときは、「受信に失敗しました　メモリが一杯です」と表示され、Eメールの受信を行うことができません。
不要なデータを消去してから、再度操作を行ってください。
Eメール自動受信で、メモリがいっぱいになった場合には、「 」が表示されます。
「 」の点灯中は、メモリの空き容量が充分な場合でもEメール自動受信ができませんので、必ず「「メモリがいっぱいです」と表示されたとき」(☞8-13ページ)の操作に従って「 」を消灯させてください。

■プログレスバーの表示について

Eメール受信中の状態をバーで表示します。

▶ Eメール受信行数制限設定が「OFF」のとき

プログレスバーの幅が、メールのデータ量全体を表し、受信したデータ量をオレンジ色で示します。

▶ Eメール受信行数制限設定が「ON」のとき

プログレスバーの幅が、設定した行数分のメールのデータ量全体を表し、受信した行数分のデータ量をオレンジ色で示します。

▶ 受信しようとするEメールの合計が210kバイトを超えるとき

プログレスバーの幅が210kバイトを表し、受信したデータ量をオレンジ色で示します。

お知らせ

- Eメールを手動で受信した場合は、メール着信音は鳴りません。
- Eメール自動受信機能を「OFF」に設定している場合、ウィルコムのメールサーバーよりEメールの受信通知を受け取ると、「センターにEメールがあります」と約4秒間表示されます。このとき、待ち受け画面では「 」が点灯します。マイメニューから「 」を選択することでEメールを受信することができます。「マイメニューから操作する」（☞7-60ページ）
- 複数のメールアカウントを登録している場合、Eメールの受信は現在設定中の待受モードの「メール自動巡回」が「ON」に設定されているすべてのメールアカウントで受信を行います。「メールアカウントを設定する」（☞8-5ページ）
- 手順2で「1.送受信」を選択した場合、複数のメールアカウントを登録しているときは、ダイヤルアップ設定の「送信メールアカウント」で選択されているメールアカウントで送信されます。「ダイヤルアップを設定する」（☞9-29ページ）

受信メールを表示する

受信したEメールとライトメールは、「受信メール」に保存されます。受信メールは、Eメールが最大500件まで、ライトメールが50件まで保存されます。

1 **待ち受け画面で を押す**

メールメニューが表示されます。（Menuボタン） と押して表示させることもできます。

● **受信メールメニューアイコンの表示**

：新着メール

：未読メール

2 **を押して「受信メール」を選択し、（決定）を押す**

受信トレイ内のメール一覧画面が表示されます。受信日時と差出人（メールアドレス・電話番号または電話帳に登録されている名前）が表示されます。

を押して差出人表示とタイトル表示を切り替えることができます。

● **受信メール一覧画面のマーク**

：新着メール
：未読メール
：既読メール
：ライトメール
：保護が設定されたメール
：不完全なメール※

※ 受信行数制限設定を「ON」にしている場合など、すべてのデータを受信しきれなかったときに表示されます。

3 を押して、表示したい受信メールを選択し、◯（決定）を押す

受信メールの詳細画面が表示されます。
本文が長い場合、本文の続きや、差出人、タイトルはを押すことで表示させることができます。
または を押すことで1画面分スクロールすることもできます。
複数の受信メールがある場合は、を押して前後のメールを表示させることもできます。
を押すと、手順2のメールの一覧画面に戻ります。

▶ **メール本文に電話番号、メールアドレス、URLが含まれているとき**

メールアドレス、電話番号などの項目を反転させた状態で◯（決定）を押すと、以下の機能を行うことができます。

メールアドレス：反転されているメールアドレスあてに、Eメールを作成して送ることができます。
電話番号：反転されている電話番号に電話をかけることができます。ライトメールの作成・送信を行うことはできません。
URL：反転されているURLのWebページに接続します。

また、（メニュー）を押し、「6.保存/登録」を選択することで電話帳やブックマークへ登録することもできます。

お知らせ

- 海外から送信されたEメールの受信日時は、海外の現地の日時で表示されます。

■メール設定のフォルダ使用を「1.使用する」に設定している場合

「受信したメールをフォルダに振り分ける」（☞8-18ページ）
受信メールフォルダの一覧が表示されます。を押してフォルダを選択し、◯（決定）を押すと、フォルダ内のメールの一覧が表示されます。
未読の受信メールのあるフォルダには「 」が表示されています。

お知らせ

- 受信したEメールが500件を超える場合は、保護されていない既読メールを日付の古いものから消去して、新しいメールを受信します。また、Eメール受信時に本電話機のメモリ容量を超える場合は、保護されていない送信済みメールのうち日付の古いもの、保護されていない既読メールのうち日付の古いものを順に消去して、新しいメールを受信します。大切なメールは保護を設定してください。「メールを保護する」（☞8-20ページ）
- 受信したライトメールが50件を超える場合は、新しいメールを受信したときに、保護されていない受信メールのうち日付の古いものから消去され、新しいメールを受信します。大切なメールは保護を設定してください。「メールを保護する」（☞8-20ページ）

受信メール詳細画面の見かた

◎Eメールの表示

● メール詳細画面のマーク

：To（宛先）
：Cc「複数の宛先にメールを送信する」（☞8-10ページ）
：Reply-to（差出人の返信メールアドレス）
：相手が送信した日時
：From（差出人）
：タイトル
：ファイルが添付されていることを表します。

ToやCcなどの宛先は、メールの表示中に、Menu（メニュー）を押し、「5.ヘッダ情報」を選択し、◯（決定）を押すことでも表示させることができます。

画像ファイル、メロディ、スケジュールデータが添付されているときは、そのファイル名が本文の下に表示されます。（メールの表示中に、Menu（メニュー）を押し、「4.添付ファイル」を選択し、◯（決定）を押すことでも表示させることができます。）
ファイル名を反転させた状態で◯（決定）を押すことで、表示、再生を行うことができます。
添付ファイルは保存することもできます。
「添付されている画像を保存する」（☞8-22ページ）
「添付されているメロディを保存する」（☞8-22ページ）
「添付されているスケジュールを保存する」（☞8-23ページ）

◎ライトメールの表示

● メール詳細画面のマーク

：受信した日時
：差出人

受信メールにアニメーションがつけられているときは、アニメーションは本文の先頭に表示されます。

お知らせ

- To、Cc、Reply-toは、それぞれ半角で64文字まで表示されます。
- タイトルは全角50文字（半角100文字）まで表示されます。
- 表示できる画像のファイル形式は、GIF、JPEG、BMP、PNGの４種類です。

受信したメールをフォルダに振り分ける

受信メールをフォルダに振り分けることができます。フォルダの数は受信トレイを含めて７個です。電話帳のグループごとに自動的にフォルダに振り分けることもできます。

フォルダを使用するかどうかを設定する

1　メールメニューから ◎ を押して、「メール設定」を選択し、◯（決定）を押す

メール設定画面が表示されます。
メールメニュー画面で 5 を押すことでも表示させることができます。

2　◎ を押して「1.フォルダ使用」を選択し、◯（決定）を押す

3　◎ を押して、「1.使用する」を選択する

▶ フォルダを使用しないとき

「2.使用しない」を選択する

4　◯（決定）を押す

「設定しました」と表示され、メール設定画面に戻ります。

▶「使用する」に設定したとき

メールメニューで受信メールを選択すると、受信メールフォルダ選択画面が表示されます。フォルダを選択すると、フォルダ内のメール一覧が表示されます。

▶「使用しない」に設定したとき

メールメニューで受信メールを選択すると、受信トレイ内のメール一覧が表示されます。

お知らせ

- 受信メールをフォルダに振り分けた状態で、フォルダ使用を「使用しない」に変更した場合、受信メールフォルダに移動した受信メールもすべて「受信トレイ」内に表示されます。

フォルダ名を変更する

受信メールフォルダの名前を変更します。フォルダ名は全角９文字（半角18文字）まで登録できます。あらかじめ、メール設定の「フォルダ使用」を「使用する」に設定しておく必要があります。

1　受信メールフォルダの一覧から、◎ を押して名前を変更したいフォルダを選択する

「受信メールを表示する」（☞8-15ページ）
「受信トレイ」の名前は変更できません。

2　Menu（メニュー）を押す

3　◎ を押して「2.フォルダ名変更」を選択し、◯（決定）を押す

フォルダ名を編集する画面が表示されます。

4　フォルダ名を入力する

「文字を入力する」（☞4-5ページ）

5　◯（決定）を押す

フォルダ名が変更され、受信メールフォルダの一覧画面に戻ります。

メールを自動的にフォルダに振り分ける

電話帳に登録されている相手からのメールを、電話帳のグループごとに自動的にフォルダに振り分けるように設定することができます。
あらかじめ、受信メールのフォルダ設定を「1.使用する」に設定しておく必要があります。

1 受信メールフォルダの一覧を表示させる

「受信メールを表示する」（☞8-15ページ）

2 Menu（メニュー）を押す

3 ◎を押して「1.振分設定」を選択し、○（決定）を押す

電話帳のグループ名と、それぞれのグループに設定されている受信メールフォルダが表示されます。

4 ◎を押して、設定したい電話帳グループを選択する

5 ○（決定）を押す

受信メールフォルダの一覧が表示されます。

6 ◎を押して、振分先のフォルダを選択する

フォルダに入れない場合は「なし（受信トレイ）」を選択します。

7 ○（決定）を押す

フォルダへの振分が設定されます。

お知らせ

- 受信メールフォルダへの振分を設定した場合でも、受信メールのフォルダ設定を「2.使用しない」に設定すると、すべてのメールが受信トレイ内に表示されるようになります。再度、「1.使用する」に設定したときはそれぞれの受信メールフォルダに表示されます。

メールを移動する

受信トレイや受信メールフォルダ内のメールを、1件ごとにメールフォルダに移動することができます。
あらかじめ、受信メールのフォルダ設定を「1.使用する」に設定しておく必要があります。

1 受信メール一覧画面で、◎を押してフォルダに移動したいメールを選択する

2 Menu（メニュー）を押す

3 ◎を押して「5.フォルダ移動」を選択し、○（決定）を押す

4 移動先のフォルダを選択し、○（決定）を押す

フォルダ移動が完了し、「移動しました」と表示されます。

お知らせ

- 受信トレイのメールをフォルダへ移動した場合でも、メール設定のフォルダ使用を「使用しない」に設定すると、すべてのメールが受信トレイ内に表示されるようになります。再度、「1.使用する」に設定したときはそれぞれの受信メールフォルダに表示されます。

メールを保護する

大切なメールは保護することができます。Eメールは最大100件、ライトメールは最大10件まで保護することができます。

1 **受信メール一覧画面で、◎を押して保護したいメールを選択する**

2 **Menu（メニュー）を押す**

3 **◎を押して、「4.保護/解除」を選択する**

4 **◯（決定）を押す**

「保護しました」と表示されます。

保護が設定されていることを表す「🔒」が表示されます。

すでに保護されているメールの保護を解除する場合も同様に操作します。

メールを消去する

不要な受信メールは消去することができます。1件ずつ消去したり、まとめて消去することができます。

メールを1件ずつ消去する

1 **受信メール一覧画面で、◎を押して消去したいメールを選択する**

消去したい受信メールの詳細画面からも同様に操作することができます。

2 **Menu（メニュー）を押す**

3 **◎を押して「9.個別消去」を選択する**

4 **◯（決定）を押す**

消去してよいかどうかを確認する画面が表示されます。

5 **◎を押して「1.はい」を選択する**

▶ **消去を中止するとき**

「2.いいえ」を選択し、◯（決定）を押す

6 **◯（決定）を押す**

「消去しました」と表示されます。

フォルダ内のメールを一括消去する

1 **受信メールフォルダの一覧から、◎を押して一括消去を行うフォルダを選択する**

2 **Menu（メニュー）を押す**

3 **◎を押して「9.フォルダ内消去」を選択し、◯（決定）を押す**

4 ◎を押して、消去する方法を選択する

▶ **フォルダ内の既読のメールのみすべて消去するとき**

「1.既読のみ」を選択する

▶ **フォルダ内の保護が設定されている以外のすべてのメールを消去するとき**

「2.保護以外」を選択する

▶ **フォルダ内のすべての受信メールを消去するとき**

「3.全件消去」を選択する

5 ◯（決定）を押す

6 ◎を押して、「1.はい」を選択する

▶ **一括消去を中止するとき**

「2.いいえ」を選択し、◯（決定）を押す

7 ◯（決定）を押す

「消去しました」と表示されます。

メールを一括消去する

1 受信トレイのメール一覧を表示させる

受信メールフォルダの一覧から操作することもできます。

2 Menu（メニュー）を押す

3 ◎を押して、「0.一括消去」を選択する

受信メールフォルダから操作を行った場合は「0.全メール消去」を選択します。この場合、手順1の画面で選択したフォルダだけでなく、すべてのメールが一括消去の対象となります。

4 ◯（決定）を押す

5 ◎を押して、消去する方法を選択する

▶ **既読のメールのみすべて消去するとき**

「1.既読のみ」を選択する

▶ **保護が設定されている以外のすべてのメールを消去するとき**

「2.保護以外」を選択する

▶ **すべての受信メールを消去するとき**

「3.全件消去」を選択する

6 ◯（決定）を押す

7 ◎を押して、「1.はい」を選択する

8 ◯（決定）を押す

「消去しました」と表示されます。

添付されている画像を保存する

受信したメールに添付されている画像を保存します。画像は最大20件まで保存できます。

1 **受信メール詳細画面で、◎を押して画像ファイルを選択する**

2 **Menu（メニュー）を押す**

3 **◎を押して、「6.保存/登録」を選択する**

4 **○（決定）を押す**

添付されている画像が保存され、「保存しました」と表示されます。

▶ 保存件数がいっぱいのとき

エラー画面が表示されます。不要な画像を消去して、もう一度操作してください。

お知らせ

- 画像の保存件数に空きがあるときでも、Eメール、画面メモ、メロディとの合計メモリ使用量がいっぱいの場合は「メモリ不足です　保存できません」と表示され、画像を保存することができません。不要なデータを消去してから保存してください。「メモリ使用状況を見る」（☞8-32ページ）
- 本電話機でEメールを受信する際、添付されている画像のファイル名は、本電話機独自のファイル名に置き換えられます。

添付されているメロディを保存する

受信したメールに添付されているメロディを保存します。メロディは最大10件まで保存できます。

1 **受信メール詳細画面で、◎を押してメロディを選択する**

2 **Menu（メニュー）を押す**

3 **◎を押して、「6.保存/登録」を選択する**

4 **○（決定）を押す**

添付されているメロディが保存され、「保存しました」と表示されます。

▶ 保存件数がいっぱいのとき

エラー画面が表示されます。不要なメロディを消去して、もう一度操作してください。

お知らせ

- メロディの保存件数に空きがあるときでも、Eメール、画面メモ、画像との合計メモリ使用量がいっぱいの場合は「メモリ不足です　保存できません」と表示され、メロディを保存することができません。不要なデータを消去してから保存してください。「メモリ使用状況を見る」（☞8-32ページ）
- 本電話機でEメールを受信する際、添付されているメロディのファイル名は、本電話機独自のファイル名に置き換えられます。

添付されているスケジュールを保存する

受信したメールに添付されているスケジュールを保存します。スケジュールは最大100件まで保存できます。「スケジュール機能を利用する」(☞12-12ページ)

1 受信メール詳細画面で、◎を押してスケジュールデータを選択する

2 Menu(メニュー)を押す

3 ◎を押して、「6.保存/登録」を選択する

4 ○(決定)を押す

スケジュールの編集画面が表示されます。
スケジュールの内容は必要に応じ、編集することが出来ます。「スケジュールを登録する」(☞12-12ページ)の手順7以降

5 Menu(登録)を押す

スケジュールが保存されます。

お知らせ

- 本電話機でEメールを受信する際、添付されているスケジュールデータのファイル名は、本電話機独自のファイル名に置き換えられます。

メールを検索する

受信メールの日付、タイトル、相手先からメールを検索することができます。

1 受信メール一覧を表示させる

2 Menu(メニュー)を押す

3 ◎を押して、「7.検索」を選択する

4 ○(決定)を押す

5 ◎を押して、「1.日付」、「2.タイトル」または「3.相手先」を選択する

6 ○(決定)を押し、検索条件を入力する

▶「1.日付」を選択したとき

ダイヤルボタンで、検索したいメールの日付を入力します。

▶「2.タイトル」を選択したとき

ダイヤルボタンで、検索したいメールのタイトルに含まれる文字を入力します。ライトメールの場合は、本文に含まれる文字を入力します。

▶「3.相手先」を選択したとき

ダイヤルボタンで、検索したいメールの相手のメールアドレスまたは電話番号を入力します。電話帳を検索して入力することもできます。

7 ○(決定)を押す

検索結果一覧が表示されます。
通常の表示に戻すには、手順2～4の操作を行い、◎を押して「4.解除」を選択し、○(決定)を押します。

メールの文字をコピーする

メール本文の文章をコピーできます。コピーした文章は、必要なときに貼り付けることができるので、同じ文章を入力する手間が省けます。全角256文字（半角512文字）までコピーできます。

1 受信メール一覧画面で、◎を押して、コピーしたいメールを選択し、◯（決定）を押す

受信メールの内容が表示されます。

2 Menu（メニュー）を押す

3 ◎を押して「8.コピー」を選択し、◯（決定）を押す

画面下端のガイダンスに「始点」が表示されます。

4 ◎を押して、コピーしたい文字列の先頭にカーソルを移動し、Menu（始点）を押す

画面下端のガイダンスの「始点」表示が「終点」に変わります。

5 ◎を押して、コピーしたい文字列の最後の文字にカーソルを移動する

始点から終点までの文字列が反転表示されます。

6 Menu（終点）を押す

文字列がコピーされ、「コピーしました」と表示されます。
コピーした文字列は文章の編集中に貼り付けることができます。「文章をコピー／貼り付けする」（☞7-25ページ）

お知らせ

- コピーしようとする文章が全角256文字（半角512文字）を超えたときはエラー音が鳴り、それ以上文字列を選択することができません。

送信メールを読む

送信せずに保存したメールや、送信済みのメールは、「送信メール」に保存されます。送信メールには、Eメールが最大50件まで、ライトメールが20件まで保存されます。

送信メールを表示する

1 待ち受け画面で [保留] を押す

メールメニューが表示されます。[Menu]（Menuボタン）[あ1.@] と押すことでも表示させせることができます。

2 [◎] を押して「送信メール」を選択し、◯（決定）を押す

送信メール一覧画面が表示されます。
送信日時と宛先（メールアドレス・電話番号、または電話帳に登録されている名前）が表示されます。
[◎] を押して宛先表示とタイトル表示を切り替えることができます。

● **送信メール一覧画面のマーク**

- ：送信済みメール
- ：未送信メール
- ：下書きメール
- ：ライトメール
- ：保護が設定されたメール

3 [◎] を押して表示したい送信メールを選択し、◯（決定）を押す

送信メールの詳細画面が表示されます。本文に続きがある場合は、[◎] を押して表示させます。
[保留] または [◎] を押すことで1画面分スクロールすることもできます。
[◎] を押して前後のメールを表示させることもできます。

▶ **未送信メールを送信するには**

① [Menu]（メニュー）を押す
② [◎] で「1.送信」を選択し、◯（決定）を押す
送信メール一覧の表示中も同様に操作できます。

送信メール詳細画面の見かた

◎Eメールの表示

● メール詳細画面のマーク

：To（宛先）
：Cc「複数の宛先にメールを送信する」（☞8-10ページ）
：Bcc「複数の宛先にメールを送信する」（☞8-10ページ）
：送信または保存した日時
：タイトル
：ファイルが添付されていることを表します。

ToやCcなどの宛先は、メールの表示中に、Menu（メニュー）を押し、「5.ヘッダ情報」を選択し、◯（決定）を押すことでも表示させることができます。

画像ファイル、メロディ、スケジュールデータを添付したときは、そのファイル名が本文の下に表示されます。（メールの表示中に、Menu（メニュー）を押し、「4.添付ファイル」を選択し、◯（決定）を押すことでも表示させることができます。）
ファイル名を反転させた状態で◯（決定）を押すことで、表示、再生を行い、確認することができます。

◎ライトメールの表示

● メール詳細画面のマーク

：送信または保存した日時
：宛先

メールにアニメーションをつけて作成したときは、アニメーションが本文の先頭に表示されます。

▶ メール本文に電話番号、メールアドレス、URLが含まれているとき

メールアドレス、電話番号などの項目を反転させた状態で◯（決定）を押すと、以下の機能を行うことができます。

メールアドレス：反転されているメールアドレスあてに、Eメールを作成して送ることができます。
電話番号：反転されている電話番号に電話をかけることができます。
URL：反転されているURLのWebページに接続します。

送信メールを編集して送信する

下書きとして保存したメールや未送信メールを編集します。送信済みのメールも編集することができます。

1 送信メール一覧画面で、◎を押して編集したいメールを選択する

送信メールの詳細画面からも同様に操作できます。

2 Menu（メニュー）を押す

3 ◎を押して「2.編集」を選択し、◯（決定）を押す

メール編集画面が表示されます。

4 メールを編集し、送信する

「Eメールを新規に作成して送信する」(☞8-7ページ)
「ライトメールを新規に作成して送信する」（☞8-43ページ）

お知らせ

- 下書きメール、未送信メールを編集した場合は、元のメールに上書きされます。
- 送信済みのメールを編集した場合は、新規メールとして保存され、元のメールも残ります。
- 送信トレイのEメールが50件を超えると、送信メールを作成したときに、保護されていない送信済みメールのうち日付の古いものから上書きされ、消去されます。大切なメールは保護を設定してください。「メールを保護する」（☞同じページ内です。）

メールを保護する

大切なメールは保護することができます。Eメールは最大10件、ライトメールは最大10件まで保護することができます。

1 送信メール一覧画面で、◎を押して保護したいメールを選択する

2 Menu（メニュー）を押す

3 ◎を押して、「4.保護/解除」を選択する

4 ◯（決定）を押す

「保護しました」と表示されます。
送信メール一覧画面、詳細画面では保護が設定されていることを表す「🔒」が表示されます。
すでに保護されているメールの保護を解除する場合も同様に操作します。

メールを消去する

不要な送信メールは消去することができます。1件ずつ消去したり、まとめて消去することができます。

メールを1件ずつ消去する

1 送信メール一覧画面で、◎を押して消去したいメールを選択する

消去したい送信メールの詳細画面からも同様に操作することができます。

2 Menu（メニュー）を押す

3 ◎を押して「9.個別消去」を選択し、○（決定）を押す

消去してよいかどうかを確認する画面が表示されます。

4 ◎を押して、「1.はい」を選択する

▶ **消去を中止するとき**

「2.いいえ」を選択し、○（決定）を押す

5 ○（決定）を押す

「消去しました」と表示されます。

メールを一括消去する

1 送信メール一覧画面を表示させる

2 Menu（メニュー）を押す

3 ◎を押して「0.一括消去」を選択し、○（決定）を押す

4 ◎を押して消去する方法を選択する

▶ **送信済みのメールをすべて消去するとき**

「1.既送のみ」を選択する

▶ **未送信メールと下書きメールをすべて消去するとき**

「2.未送のみ」を選択する

▶ **保護が設定されているメール以外のすべてのメールを消去するとき**

「3.保護以外」を選択する

▶ **すべての送信メールを消去するとき**

「4.全件消去」を選択する

5 ○（決定）を押す

一括消去してよいかどうかを確認する画面が表示されます。

6 ◎を押して、「1.はい」を選択する

▶ **一括消去を中止するとき**

「2.いいえ」を選択し、○（決定）を押す

7 ○（決定）を押す

「消去しました」と表示されます。

メールを検索する

送信メールの日付、タイトル、相手先からメールを検索することができます。

1 送信メール一覧画面を表示させる

2 Menu（メニュー）を押す

3 ◎を押して、「7.検索」を選択する

4 ◯（決定）を押す

5 ◎を押して、「1.日付」、「2.タイトル」または「3.相手先」を選択する

6 ◯（決定）を押し、検索条件を入力する

▶「1.日付」を選択したとき

ダイヤルボタンで、検索したいメールの日付を入力します。

▶「2.タイトル」を選択したとき

ダイヤルボタンで、検索したいメールのタイトルに含まれる文字を入力します。ライトメールの場合は、本文に含まれる文字を入力します。

▶「3.相手先」を選択したとき

ダイヤルボタンで、検索したいメールの相手のメールアドレスまたは電話番号を入力します。電話帳を検索して入力することができます。

7 ◯（決定）を押す

検索結果が表示されます。
通常の表示に戻すには、手順2～4の操作を行い、◎を押して「4.解除」を選択し、◯（決定）を押します。

メールの文字をコピーする

メール本文の文章をコピーできます。コピーした文章は、必要なときに貼り付けることができるので、同じ文章を入力する手間が省けます。全角256文字（半角512文字）までコピーできます。

1 送信メール一覧画面で◎を押して、コピーしたいメールを選択し、◯（決定）を押す

送信メールの内容が表示されます。

2 Menu（メニュー）を押す

3 ◎を押して「8.コピー」を選択し、◯（決定）を押す

画面下端のガイダンスに「始点」が表示されます。

4 ◎を押して、コピーしたい文字列の先頭にカーソルを移動し、Menu（始点）を押す

画面下端のガイダンスの「始点」表示が「終点」に変わります。

5 ◎を押して、コピーしたい文字列の最後の文字にカーソルを移動する

始点から終点までの文字列が反転表示されます。

6 Menu（終点）を押す

文字列がコピーされ、「コピーしました」と表示されます。
コピーした文字列は文章の編集中に貼り付けることができます。「文章をコピー／貼り付けする」（☞7-25ページ）

お知らせ

- コピーしようとする文章が全角256文字（半角512文字）を超えたときはエラー音が鳴り、それ以上文字列を選択することができません。

メールを管理する

電話帳に登録する

受信メールの送信元のメールアドレスや電話番号、または受信メール中のメールアドレスや電話番号を電話帳に登録することができます。

■送信元のメールアドレス／電話番号を登録する

受信したEメールの送信元のメールアドレス、またはライトメールの送信元の電話番号を電話帳に登録します。

1 受信メール一覧画面で、◎を押して登録したい相手からのメールを選択する

2 Menu（メニュー）を押す

3 ◎を押して「6.電話帳登録」を選択し、○（決定）を押す

選択した電話番号またはメールアドレスを新規に登録するか、登録済みの電話帳データに追加登録するかを選択する画面が表示されます。

4 ◎を押して、「1.新規登録」または「2.追加登録」を選択する

▶ **新規登録するとき**

「新規登録するとき」（☞7-35ページ）

▶ **追加登録するとき**

「追加登録するとき」（☞7-35ページ）

■メール中のメールアドレス／電話番号を登録する

メールの本文にあるメールアドレスまたは電話番号を電話帳に登録します。

1 受信メール詳細画面で、◎を押してメールアドレス／電話番号を選択する

2 Menu（メニュー）を押す

3 ◎を押して、「6.保存/登録」を選択し、○（決定）を押す

選択した電話番号またはメールアドレスを新規に登録するか、登録済みの電話帳データに追加登録するかを選択する画面が表示されます。

4 ◎を押して、「1.新規登録」または「2.追加登録」を選択する

▶ **新規登録するとき**

「新規登録するとき」（☞7-35ページ）

▶ **追加登録するとき**

「追加登録するとき」（☞7-35ページ）

ブックマークに登録する

ブックマークは5個のフォルダに各20件、合計100件まで登録することができます。

1 受信メール詳細画面で、を押してブックマークに登録したいURLを選択する

2 （メニュー）を押す

3 を押して「6.保存/登録」を選択し、（決定）を押す

フォルダを選択する画面が表示されます。

4 を押して登録先のフォルダを選択する

5 （決定）を押す

登録が完了し、「ブックマークを登録しました」と表示されます。

▶ **選択したフォルダの保存件数がいっぱいのとき**

エラー画面が表示されたあと、手順3のフォルダを選択する画面に戻ります。

お知らせ

- URLの長さが半角200文字を超えたときは、「URLが長すぎます　切り捨て登録します　よろしいですか？」と表示され、「1.はい」を選択したときは、超えた分は切り捨てて登録されます。

文字サイズを切り替える

メールを表示する文字の大きさを、通常の文字サイズによる表示の他、拡大表示と縮小表示を選択することができます。通常サイズでは1行10文字、拡大サイズでは1行6文字、縮小サイズでは1行12文字表示となります。
お買い上げ時は、通常表示に設定されています。

1 受信メール詳細画面で、（メニュー）を押す

2 を押して、「7.文字サイズ」を選択する

3 （決定）を押す

メールの画面表示が拡大表示に切り替わります。拡大表示中に手順1～3を行うことで、縮小表示に切り替わります。縮小表示中に手順1～3を行うことで通常表示に戻ります。

お知らせ

- 次に表示したときも、ここで設定した文字サイズで表示されます。設定は電源を切っても保持されます。

メモリ使用状況を見る

Eメール、画面メモ、ダウンロードメロディ、保存した画像の保存件数と、それらを合計したメモリ使用量を表示します。

1　待ち受け画面で Menu（Menuボタン）ら9 さ3 と押す

メモリの使用状況が表示されます。

■メモリ使用状況情報画面の表示

項目	表示される内容	保存件数
メモリ使用量	本電話機の現在のメモリ使用量	−
E メール	送信フォルダおよび受信フォルダに保存されている E メールの総件数	受信　最大 500 件 送信　最大 50 件
画面メモ	画面メモの件数	最大 20 件
メロディ	メロディBOX に保存されているメロディの件数	最大 10 件
画像	ピクチャーBOX に保存されている画像の件数	最大 20 件

Eメールの環境を設定する

本文の引用について設定する

Eメールを返信するときに、本文を引用するかどうかを設定します。

1 メールメニューから ◎ を押して「メール設定」を選択し、◯（決定）を押す

メール設定メニューが表示されます。

2 ◎ を押して「3.引用／署名設定」を選択し、◯（決定）を押す

3 ◎ を押して「1.本文引用」を選択し、◯（決定）を押す

4 ◎ を押して「本文引用」を選択し、◯（決定）を押す

5 ◎ を押して「1.ON」を選択し、◯（決定）を押す

▶ **本文引用を行わないとき**

「2.OFF」を選択し、◯（決定）を押す
「2.OFF」を選択しても、一度入力した引用文は消去されません。

6 ◎ を押して、引用文のテキストボックスを選択し、◯（決定）を押す

7 引用文を入力する

引用文は全角20文字（半角40文字）まで入力できます。
「文字を入力する」（☞4-5ページ）

8 ◯（決定）を押す

9 Menu（登録）を押す

設定が完了し、「設定しました」と表示されます。

お知らせ

- ライトメールでは返信を行ったとき、本設定に関係なく受信した本文が引用されます。また、本設定で入力した引用文の文字は入りません。

Eメール自動受信機能を設定する

新しいEメールがウィルコムのメールサーバーに届いたときに、Eメールを自動で受信するかどうかを設定します。Eメール自動受信機能を「OFF」に設定した場合は新しいメールが送られて来たときに、ウィルコムのメールサーバーにEメールがあることをお知らせします。
本機能は、オンラインサインアップで取得したメールアカウントでのみ利用できる機能です。また、あらかじめオンラインサインアップで「Eメール自動受信」を設定しておく必要があります。

1 メールメニューから ◎ を押して「メール設定」を選択し、◯（決定）を押す

メール設定メニューが表示されます。

2 ◎ を押して「2.メールアカウント設定」を選択し、◯（決定）を押す

メールアカウント選択画面が表示されます。

3 ◎を押して、手順2の画面で1番上に表示されているメールアカウントを選択する

4 ◯（決定）を押す

メールアカウント設定画面が表示されます。

5 ◎を押して「Eメール自動受信機能」を選択し、◯（決定）を押す

6 ◎を押して「1.ON」または「2.OFF」を選択し、◯（決定）を押す

7 Menu（メニュー）を押す

8 ◎を押して「1.設定完了」を選択し、◯（決定）を押す

設定が完了し、手順2のメールアカウント選択画面に戻ります。

お知らせ

- オンラインサインアップのメールアカウントの設定は、一部を除き編集することができません。
- お買い上げ時は「ON」に設定されています。

送信するメールに表示する名前を設定する

送信する相手先に表示され差出人の名前を設定することができます。
名前はメールアカウントごとに設定することができます。

1 メールメニューから◎を押して「メール設定」を選択し、◯（決定）を押す

メール設定メニューが表示されます。

2 ◎を押して「2.メールアカウント設定」を選択し、◯（決定）を押す

メールアカウント選択画面が表示されます。

3 ◎を押して、設定したいアカウントを選択する

オンラインサインアップで取得したメールアカウントを利用しているときは、手順2の画面で1番上に表示される項目を選択します。

4 ◯（決定）を押す

メールアカウント設定画面が表示されます。

5 Menu（メニュー）を押す

6 ◎を押して「2.詳細設定」を選択し、◯（決定）を押す

7 ◎を押して「名前」を選択し、◯（決定）を押す

8 設定したい名前を入力し、◯（決定）を押す

「文字を入力する」（☞4-5ページ）
表示名は全角16文字（半角32文字）まで入力できます。

9 Menu（登録）を押す

10 Menu（メニュー）を押す

11 ◎を押して「1.設定完了」を選択し、◯（決定）を押す

設定が完了し、手順2のメールアカウント選択画面に戻ります。

お知らせ

- CLUB AIR-EDGEを利用してEメールを受信した場合は、ここで設定した名前は表示されません。
- オンラインサインアップのメールアカウントの設定は、一部を除き編集することができません。

署名を設定する

Eメールを新規作成、返信、転送するときに署名を付けるかどうかを設定します。

1 メールメニューから ◎ を押して「メール設定」を選択し、◯（決定）を押す

メール設定メニューが表示されます。

2 ◎ を押して「3.引用／署名設定」を選択し、◯（決定）を押す

3 ◎ を押して「2.署名設定」を選択し、◯（決定）を押す

4 ◎ を押して「署名」を選択し、◯（決定）を押す

5 ◎ を押して「1.ON」を選択し、◯（決定）を押す

▶ 署名を付けないとき

「2.OFF」を選択し、◯（決定）を押す
「2.OFF」を選択しても、一度入力した署名は消去されません。

6 ◎ を押して署名文のテキストボックスを選択し、◯（決定）を押す

7 署名文を入力する

署名文は全角64文字（半角128文字）まで入力できます。
「文字を入力する」（☞4-5ページ）

8 ◯（決定）を押す

9 Menu（登録）を押す

設定が完了し、「設定しました」と表示されます。

お知らせ

● 署名を設定すると、Eメールの作成時に、あらかじめメール作成画面に署名文が入力された状態となります。

返信メールアドレスを設定する

相手からメールを返信してもらいたいメールアドレスが、送信するときのメールアドレスと異なるときに設定します。

1 メールメニューから ◎ を押して「メール設定」を選択し、◯（決定）を押す

メール設定メニューが表示されます。

2 ◎ を押して「2.メールアカウント設定」を選択し、◯（決定）を押す

メールアカウント選択画面が表示されます。

3 ◎ を押して、設定したいメールアカウントを選択する

オンラインサインアップで取得したメールアカウントを利用しているときは、手順2の画面で1番上に表示される項目を選択します。

4 ◯（決定）を押す

メールアカウント設定画面が表示されます。

5 Menu（メニュー）を押す

6 ◎ を押して「2.詳細設定」を選択し、◯（決定）を押す

7 ◎ を押して「返信メールアドレス」のテキストボックスを選択し、◯（決定）を押す

8 返信先のメールアドレスを入力し、◯（決定）を押す

「文字を入力する」（☞4-5ページ）

9 Menu（登録）を押す

10 Menu（メニュー）を押す

11 ◎を押して「1.設定完了」を選択し、◯（決定）を押す

設定が完了し、手順2のメールアカウント選択画面に戻ります。

お知らせ

- 返信メールアドレスが入力されていないときは、メールを送信したときのメールアカウントのアドレスに返信されます。
- 相手先のメールソフトによっては返信メールアドレスに返信されない場合もあります。

Eメールの受信行数を設定する

本電話機ではEメールを受信する際の、1通あたりのメールのデータ量を行数で指定して制限することができます。

1 メールメニューから◎を押して「メール設定」を選択し、◯（決定）を押す

メール設定メニューが表示されます。

2 ◎を押して「2.メールアカウント設定」を選択し、◯（決定）を押す

メールアカウント選択画面が表示されます。

3 ◎を押して、設定したいメールアカウントを選択する

オンラインサインアップで取得したメールアカウントを利用しているときは、手順2の画面で1番上に表示される項目を選択します。

4 ◯（決定）を押す

メールアカウント設定画面が表示されます。

5 Menu（メニュー）を押す

6 ◎を押して「2.詳細設定」を選択し、◯（決定）を押す

7 ◎を押して「受信行数制限設定」を選択し、◯（決定）を押す

8 ◎を押して「1.ON」または「2.OFF」を選択し、◯（決定）を押す

▶「1.ON」を選択したとき

手順9へ進みます。

▶「2.OFF」を選択したとき

手順11へ進みます。

9 ◎を押して「受信行数」のテキストボックスを選択し、◯（決定）を押す

10 受信する行数を入力し、◯（決定）を押す

受信行数は0～999の範囲で入力します。

11 Menu（登録）を押す

12 Menu（メニュー）を押す

13 ◎を押して「1.設定完了」を選択し、◯（決定）を押す

設定が完了し、手順2のメールアカウント選択画面に戻ります。

お知らせ

- 本文の長いメール、サイズの大きい画像やメロディなどが添付されたデータ量の大きいメールの内容をすべて受信する必要のないときは、受信行数を少なく制限することで通信料を低く抑えることができます。設定した行数の制限を超えるデータは、削除された状態で受信します。このため、メールに画像やメロディなどのファイルが添付されているときは、添付ファイルの表示･再生ができなかったり、添付ファイルの一部が文字化けした状態で本文に表示されることがあります。
- お買い上げ時、受信行数制限設定は「ON」で、受信行数は600行に設定されています。
- サーバによっては受信行数制限が有効にならない場合があります。

分計発信を利用する

料金分計サービスを利用して、メール送信の料金の請求先を主計先と分計先の2箇所に分けることができます。
分計発信を「OFF」に設定しているときの料金は主計先に、分計発信を「ON」に設定しているときの料金は分計先に請求されます。
料金分計サービスは、待受モードが「公衆」のとき、または「公衆＋オフィス」、「公衆＋グループ」で公衆優先に設定されているときにご利用になれます。
料金分計サービスは契約が必要な有料のサービスです。詳しくは「料金分計サービスを利用する（有料）」（☞12-38ページ）をご覧ください。

1 待ち受け画面で Menu（Menuボタン）や8 さ3 と押す

ダイヤルアップ設定メニューが表示されます。

2 ◎を押して「1.公衆」を選択する

オフィスモードのダイヤルアップ設定では、分計発信を選択することができません。

3 ◯（決定）を押す

ダイヤルアップ設定画面が表示されます。

4 ◎を押して、「分計発信」を選択する

5 ◯（決定）を押す

6 ◎を押して「ON」を選択し、◯（決定）を押す

7 Menu（メニュー）を押す

8 ◎を押して「1.設定完了」を選択し、◯（決定）を押す

設定が完了し、手順1のダイヤルアップ設定メニューに戻ります。

お知らせ

- パケット通信方式をご利用の場合は、分計発信をご利用になれません。
- CLUB AIR-EDGEへの接続は分計発信をご利用になれません。

プロバイダのメールアカウントを利用する

本電話機では、オンラインサインアップによって取得したメールアカウントの他に、一般のプロバイダなどのメールアカウントを利用してEメールを送受信することができます。
ウィルコムのアクセスポイントを経由してメールサーバにアクセスする場合は、メールアカウントを設定することで利用可能となりますが、プロバイダなどによっては、メールアカウントの設定のほかに、ダイヤルアップ設定でダイヤルアップアカウントを設定する必要があります。「接続先を変更する」(☞9-28ページ)
また、ご利用のプロバイダでのメールの送受信に、本電話機で設定できない内容が必要な場合、本電話機でのメールの送受信はできません。あらかじめご了承ください。

メールアカウントを設定する

ご利用になるプロバイダからの通知内容をもとに設定を行います。設定内容については、各プロバイダにお問い合わせください。
メールアカウントの設定は、オンラインサインアップで取得するアカウントと合わせて3件まで登録できます。
設定したメールアカウントを使用してメールを送信するには、ダイヤルアップ設定の「送信メールアカウント」で、設定したメールアカウントを選択します。「ダイヤルアップを設定する」(☞9-29ページ)

メールアカウント設定

センタ名称設定　：この設定についての名前を入力します。
受信メール(POP)　：POPサーバのアドレスを入力します。
送信メール(SMTP)　：SMTPサーバのアドレスを入力します。
アカウント　：メールサーバで利用者を識別するために使用するアカウント名(ユーザー名)を入力します。
パスワード　：メールサーバにアクセスするときに必要なパスワードを入力します。
メールアドレス　：自分のメールアドレスを入力します。

メールアカウント詳細設定

名前　：送信する相手先に表示される差出人の名前を設定します。(任意)
返信メールアドレス　：相手からの返信を受け取る際に特に使用したいメールアドレスを入力します。(任意)
Eメール削除設定　：メールサーバに届いたメールを受信するときに、サーバにメールを残すかどうかを設定します。
POPポート番号　：POPサーバのポート番号を入力します。(数字5桁まで)
SMTPポート番号　：SMTPサーバのポート番号を入力します。(数字5桁まで)
POP before SMTP　：メール送信時に、サーバ側でPOP before SMTPによる認証が用いられる場合「ON」に設定します。
POP before SMTP待ち　：POP before SMTPを「ON」に設定したときに、POPサーバとの接続後、SMTPサーバに接続するまでの秒数を入力します。
受信行数制限設定　：受信するメールの行数を制限するときに「ON」に設定します。
受信行数　：受信行数制限設定を「ON」にしたときに受信する行数を設定します。お買い上げ時は600行に設定されています。
認証方式設定　：POPサーバでの認証方式をPOP/APOPから選択します。APOPでの認証に対応したPOPサーバにアクセスしてメールを受信する際、APOPを選択することでAPOPでの認証を行うことができます。
メール自動巡回 公衆　：公衆モードでの接続時に「送受信」または「受信のみ」を行うときに、このアカウントでの受信を行うかどうかを設定します。
メール自動巡回 オフィス　：オフィスモードでの接続時に「送受信」または「受信のみ」を行うときに、このアカウントでの受信を行うかどうかを設定します。

1 **メールメニューから ◎ を押して「メール設定」を選択し、◯（決定）を押す**

メール設定メニューが表示されます。

2 **◎ を押して「2.メールアカウント設定」を選択し、◯（決定）を押す**

3 **◎ を押して、登録先を選択する**

未設定のメールアカウントは「〈未登録〉」と表示されています。登録済みのメールアカウントを編集する場合は、登録済みのメールアカウントを選択します。オンラインサインアップで取得したメールアカウントは、一部を除き、編集することができません。

4 **◯（決定）を押す**

メールアカウント設定画面が表示されます。

5 **各項目を選択し、設定する**

メールアカウント設定の各項目を入力します。
各項目の設定後、詳細設定を行うには手順6へ、設定を完了させるには手順10へ進みます。

▶ **センタ名称**

この設定に名前をつけます。ご自分でわかりやすい名前を入力してください。
① ◎ を押して「センタ名称設定」を選択し、◯（決定）を押す
② センタ名称を入力し、◯（決定）を押す

▶ **受信メール（POP）**

プロバイダからの通知をもとに、POPサーバのアドレスを入力します。
① ◎ を押して「受信メール（POP)」を選択し、◯（決定）を押す
② POPサーバのアドレスを入力し、◯（決定）を押す

▶ **送信メール（SMTP）**

プロバイダからの通知をもとに、SMTPサーバのアドレスを入力します。
① ◎ を押して「送信メール（SMTP)」を選択し、◯（決定）を押す
② SMTPサーバのアドレスを入力し、◯（決定）を押す

▶ **アカウント**

プロバイダから通知されたアカウント（ユーザー名）を正しく入力してください。
① ◎ を押して「アカウント」を選択し、◯（決定）を押す
② ID（アカウント名）を入力し、◯（決定）を押す

▶ **パスワード**

プロバイダから通知されたメールのパスワードを正しく入力してください。
① ◎ を押して「パスワード」を選択し、◯（決定）を押す
② パスワードを入力し、◯（決定）を押す

▶ **メールアドレス**

自分のEメールアドレスを入力します。
① ◎ を押して「メールアドレス」を選択し、◯（決定）を押す
② メールアドレスを入力し、◯（決定）を押す

6 **Menu（メニュー）を押す**

7 **◎ を押して「2.詳細設定」を選択し、◯（決定）を押す**

メールアカウント詳細設定画面が表示されます。

8 **各項目を選択し、設定する**

メールアカウント詳細設定画面が表示されます。

▶ **名前**

送信する相手先に表示される自分の名前を、全角16文字(半角32文字)以内で入力します。
① ◎ を押して「名前」を選択し、◯（決定）を押す
② 設定したい名前を入力し、◯（決定）を押す

▶ 返信メールアドレス

送信した相手が返信してくるときのメールアドレスを設定します。
相手がメールを返信するときに、このアカウントのメールアドレスに送信してもらいたいときに設定します。

① ◎を押して「返信メールアドレス」を選択し、◯（決定）を押す
② 設定したい返信メールアドレスを入力し、◯（決定）を押す

▶ Eメール削除設定

メールを受信するときに、メールサーバにメールを残すかどうかを設定します。お買い上げ時は「削除」に設定されています。「削除」に設定した場合、本電話機で受信しきれないデータ量のメールを受信したときは、メールサーバ上のメールは削除され、受信し直すことができません。
「保存」に設定した場合、本電話機で受信を行ったあともメールサーバ上にメールが残りますので、必要に応じてメールサーバ上のメールを削除してください。

① ◎を押して「Eメール削除設定」を選択し、◯（決定）を押す
② ◎を押して「1.保存」または「2.削除」を選択し、◯（決定）を押す

▶ POPポート番号

POPサーバのポート番号を5桁までの数字で入力します。
お買い上げ時は「110」に設定されています。

① ◎を押して「POPポート番号」を選択し、◯（決定）を押す
② POPサーバのポート番号を入力し、◯（決定）を押す

▶ SMTPポート番号

SMTPサーバのポート番号を5桁までの数字で入力します。お買い上げ時は「25」に設定されています。

① ◎を押して「SMTPポート番号」を選択し、◯（決定）を押す
② SMTPサーバのポート番号を入力し、◯（決定）を押す

▶ POP before SMTP

ご利用になるプロバイダ経由でメールを送信する際、POP before SMTPと呼ばれるメール送信時の認証システムが用いられる場合、「ON」に設定してください。「ON」に設定することでメールの送信を行う前にPOPサーバでの認証が行われます。お買い上げ時は「ON」に設定されています。

① ◎を押して「POPbeforeSMTP」を選択し、◯（決定）を押す
② ◎を押して「1.ON」または「2.OFF」を選択し、◯（決定）を押す

▶ POP before SMTP待ち時間

POPbeforeSMTPを「ON」に設定した場合、POPサーバとの接続後、SMTPサーバに接続するまでの時間を秒で入力します。最大999秒まで設定できます。お買い上げ時は「0」に設定されています。

① ◎を押して「POPbeforeSMTP待ち」を選択し、◯（決定）を押す
② 秒数を入力し、◯（決定）を押す

▶ 受信行数制限設定

受信するメールの行数を制限する場合、「ON」に設定します。本電話機で受信可能な最大データ量まで受信したい場合は「OFF」に設定します。お買い上げ時は「ON」に設定されています。

① ◎を押して「受信行数制限設定」を選択し、◯（決定）を押す
② ◎を押して「1.ON」または「2.OFF」を選択し、◯（決定）を押す

▶ 受信行数

受信行数制限設定を「ON」にした場合、受信する行数を設定します。お買い上げ時は600行に設定されています。

① ◎を押して「受信行数」のテキストボックスを選択し、◯（決定）を押す
② 受信する行数を入力し、◯（決定）を押す

▶ 認証方式設定

ご利用になるプロバイダが、メール受信時のパスワード認証方式としてAPOPに対応している場合、「APOP」を選択することでAPOPでの認証が行われます。プロバイダがAPOPに対応していない場合は、「POP」を選択します。お買い上げ時は「POP」に設定されています。

① ◎を押して「認証方式設定」を選択し、◯（決定）を押す
② ◎を押して「1.POP」または「2.APOP」を選択し、◯（決定）を押す

▶ メール自動巡回 公衆

公衆モードでEメールの受信を行う際、このメールアカウントのメールの受信を行うかどうかを設定します。「OFF」に設定した場合、メールの受信動作を行う際、このメールアカウントのメールを受信しません。お買い上げ時は「ON」に設定されています。

① ◎を押して「メール自動巡回公衆」を選択し、◯（決定）を押す
② ◎を押して「1.ON」または「2.OFF」を選択し、◯（決定）を押す

▶ メール自動巡回 オフィス

オフィスモードでEメールの受信を行う際、このメールアカウントのメールの受信を行うかどうかを設定します。「OFF」に設定した場合、メールの受信動作を行う際、このメールアカウントのメールを受信しません。お買い上げ時は「OFF」に設定されています。

① ◎を押して「メール自動巡回オフィス」を選択し、◯（決定）を押す
② ◎を押して「1.ON」または「2.OFF」を選択し、◯（決定）を押す

9 Menu（登録）を押す

メールアカウント設定画面に戻ります。

10 Menu（メニュー）を押す

11 ◎を押して「1.設定完了」を選択し、◯（決定）を押す

登録が完了します。

ご注意

● 設定を完了させ、登録するには、必ず手順10～11に従い、「1.設定完了」を選択し、◯（決定）を押す操作を行ってください。手順9の Menu（登録）を押す操作だけでは設定が登録されません。

送信メールアカウントを選択する

Eメールの送信時に使用するメールアカウントを選択します。

1 待ち受け画面で Menu（Menuボタン）8 3 と押す

ダイヤルアップ設定メニューが表示されます。

2 ◎を押して「1.公衆」を選択し、〇（決定）を押す

ダイヤルアップ設定画面が表示されます。

3 ◎を押して「送信メールアカウント」を選択する。

4 〇（決定）を押す

メールアカウント選択画面が表示されます。

5 ◎を押してアカウントを選択し、〇（決定）を押す

「<未設定>」と表示されているメールアカウントは選択することができません。

6 Menu（メニュー）を押す

7 ◎を押して「1.設定完了」を選択し、〇（決定）を押す

設定が完了し、ダイヤルアップ設定メニュー画面に戻ります。

メールアカウント設定を消去する

メールアカウント設定を消去できます。
オンラインサインアップで取得したアカウントは、本操作では消去することができません。オンラインサインアップ情報消去を行ってください。「オンラインサインアップ情報を消去する」（☞8-6ページ）

1 メールメニューから◎を押して「メール設定」を選択し、〇（決定）を押す

メール設定メニューが表示されます。

2 ◎を押して「2.メールアカウント設定」を選択し、〇（決定）を押す

3 ◎を押して消去するメールアカウントを選択し、〇（決定）を押す

4 Menu（メニュー）を押す

5 ◎を押して「9.設定消去」を選択し、〇（決定）を押す

消去してよいかどうかを確認する画面が表示されます。

6 ◎を押して「1.はい」を選択する

▶ **消去を中止するとき**

「2.いいえ」を選択し、〇（決定）を押す

7 〇（決定）を押す

「消去しました」と表示され、メールアカウント選択画面に戻ります。

ライトメールを使用する

新しいライトメールを作成して送信します。すぐに送信せずに保存して、あとで編集することもできます。

ライトメールを新規に作成して送信する

1 **メールメニューから ◎ を押して「新規作成」を選択し、◯（決定）を押す**

2 **◎ を押して「2.ライトメール」を選択し、◯（決定）を押す**

3 **「宛先」を選択し、◯（決定）を押す**

4 **相手の電話番号を入力し、◯（決定）を押す**

電話番号は32桁まで入力できます。

▶ **電話帳から検索して入力するには**

① Menu（メニュー）を押す
② ◎ を押して「5.電話帳」を選択し、◯（決定）を押す
電話帳検索画面が表示されます。
「電話帳を使って電話をかける」（☞7-36ページ）

5 **「本文」を選択し、◯（決定）を押す**

6 **メールの本文を入力する**

本文は全角45文字（半角90文字）まで入力できます。
「文字を入力する」（☞4-5ページ）

▶ **送信前に作成したメールの内容を確認するには**

① メール作成画面で Menu（メニュー）を押す
② ◎ を押して「3.プレビュー」を選択し、◯（決定）を押す
送信プレビュー画面が表示されます。
Web（戻る）を押すと、メール作成画面に戻ります。

7 **◎ を押して「送信」を選択し、◯（決定）を押す**

「ライトメール送信」と表示され、メールの送信を開始します。電話帳に登録されている番号のときは、相手の名前が表示されます。送信が完了すると、送信したメールは、送信済みメールとして保存されます。

▶ **送信に失敗したとき**

送信相手の電話機の電源が入っていないなどの理由でライトメールが送信できなかったときは、「通話キーで再接続します」と表示されます。このとき 通話キー を押すと、再度ライトメールを送信します。
「しばらくしておかけなおしください」、「送信失敗」と表示された場合、ライトメールは未送信メールとして保存されます。
「送信メールを編集して送信する」（☞8-27ページ）

お知らせ

- 下書き、未送信、または保護された送信済みのライトメールが合計で20件あるときは、ライトメールを作成できません。不要なメールを消去してください。「メールを消去する」（☞8-28ページ）
- ライトメールでは分計発信をご利用になれません。
- 作成中のライトメールをEメールに変更することができます。
  ① メール作成画面で、Menu（メニュー）を押す
  ② ◎ を押して「2.メール種別切替」を選択する
  ③ ◯（決定）を押す
  「本文以外は削除されました」と表示されたあと、Eメールの作成画面になります。
  「Eメールを新規に作成して送信する」（☞8-7ページ）

アニメーションを添付して送信する

ライトメールに、アニメーションを添付して送信することができます。アニメーションを送るには、相手側がライトメールのアニメーションに対応している必要があります。

1 メール作成画面で「アニメーション　無」を選択し、◯（決定）を押す

アニメーションの一覧が表示されます。

2 ◎を押して、アニメーションを選択し、◯（決定）を押す

選択したアニメーションが付加されます。

▶ アニメーションを解除するとき

メール作成画面で「アニメーション　□」（□は付加されたアニメーション）を選択し、◯（決定）を押す
アニメーションが解除され、「アニメーション　無」の表示に変わります。

お知らせ

- 送信する相手の電話機によっては、送信したアニメーションが正しく表示されないことがあります。

■アニメーション一覧

作成中のライトメールを下書きとして保存する

作成中のライトメールを下書きとして保存し、あとで続きの操作をすることができます。保存したメールは下書きメールとして送信メールに保存されます。

1　メール作成画面の表示中に Menu（メニュー）を押す

2　◎を押して、「1.下書き」を選択する

3　◯（決定）を押す

「保存しました」と表示され、作成中のメールが送信メールに保存されます。

ライトメールを受信する

受信したライトメールは50件まで保存されます。50件を超えると、保護されていないメールの日付の古いものから上書きして、新しいメールを受信します。

1　メール着信音が鳴り、「ライトメールあり」と表示される

電話帳に登録されている番号のときは、相手の名前が表示されます。約5秒間メール着信音が鳴ったあと、待ち受け画面に戻ります。メール着信音が鳴っているときに、いずれかのボタンを押すとメール着信音を止めることができます。
待ち受け画面には、新着メールがあることを表す「 」が点灯します。「 」は未読のメールを表示すると消灯します。受信トレイ、または新着メールのあるフォルダの一覧を表示して、新着メールを表示しなかったときは、待ち受け画面に、未読のメールがあることを表す「 」が点灯します。
電話帳に登録されている相手からライトメールが届いたときの着信音は個別に設定することができます。
「指定着信音／ライトメール着信音を登録する」（☞7-33ページ）

受信したライトメールに返信する

ライトメールの送信者にメールを返信することができます。メール差出人の電話番号と本文が自動的に入力されます。

1　受信メール一覧画面で、◎を押して、返信したいメールを選択する

「受信メールを表示する」（☞8-15ページ）の手順1～3
返信したい受信メールの詳細画面からも同様に操作することができます。

2　Menu（メニュー）を押す

3　◎を押して、「1.返信」を選択する

4　◯（決定）を押す

メール作成画面が表示されます。
「ライトメールを新規に作成して送信する」（☞8-43ページ）

受信したライトメールを転送する

受信したライトメールを他の人に転送します。

1 受信メール一覧画面で、◎を押して転送したいメールを選択する

「受信メールを表示する」（☞8-15ページ）の手順1～3
転送したい受信メールの詳細画面からも同様に操作することができます。

2 Menu（メニュー）を押す

3 ◎を押して、「3.転送」を選択する

4 ○（決定）を押す

メール作成画面が表示されます。
「ライトメールを新規に作成して送信する」（☞8-43ページ）

9 インターネット

Webの利用について

Web機能について

本電話機は、Compact HTMLに対応したWebブラウザ（Webページ閲覧ソフト）を搭載しています。お買い上げ後すぐにインターネットに接続し、携帯電話向けにつくられたWebページを見ることができます。
また、画像をダウンロードして待ち受け画面に壁紙として設定したり、メロディをダウンロードして着信音として使うこともできます。
さらにウィルコムの公式サイト「CLUB AIR-EDGE」にアクセスすることで、さまざまなWebページにアクセスすることができます。
また、お客様が現在契約しているプロバイダを利用してインターネットにアクセスすることもできます。「接続先を変更する」（☞9-28ページ）

■画像について

本電話機でダウンロードして表示できる画像データの形式はGIF、JPEG、BMP、PNGの４種類です。
これらの画像データの形式はインターネット上で一般的に使われている形式です。
ダウンロードした画像データは、待ち受け画面の壁紙として利用できます。「壁紙を設定する」（☞12-29ページ）

お知らせ

- 対応している形式の画像データであっても表示できないものもあります。
- 画像のサイズが大きく、画面の表示幅（128ドット）を超える場合は、画面の表示領域に合わせて縮小して表示されます。このため、本来の画像とイメージが異なる場合があります。

■メロディについて

本電話機では、32和音feelsoundとMIDI（SMFフォーマット0/SMFフォーマット1）の再生・ダウンロードに対応しています。
ダウンロードしたメロディデータは、着信音として利用できます。「着信音やアラームを設定する」（☞7-49ページ）

お知らせ

- MIDIの形式によっては正しく再生できないものもあります。
- 一般のプロバイダをご利用になるときには、別途プロバイダとの契約が必要です。
- 一般のプロバイダをご利用になるときの、ダイヤルアップの設定内容については、各プロバイダにお問い合わせください。

ご注意

- インターネット上のコンテンツサービスやWebページの文章、画像、メロディデータなどは、一般的に著作権法で保護されています。これらの内容は個人として楽しむ以外に著作権者の許可を得ないでそのまま、あるいは改変して販売したり、再配布することはできません。
- インターネット上のコンテンツサービスやWebページからダウンロードした画像ファイルは、本電話機の画面の能力により、画像のファイルの持つ色数を完全に表示できない場合があります。
- 本電話機に保存されている画像、メロディ、画面メモや、ブックマークなどの登録内容は、電池パックを交換する際にも保持されますが、故障、修理、その他取扱いの不注意によって消失する場合があります。万一、保存されている内容や登録した内容が消失した場合、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
  なお、下記OS搭載のパソコンをお持ちの場合は、専用のファイル転送ユーティリティをご利用いただくことにより、画像、メロディをパソコンに転送し、保管することができます。詳しくは、専用のファイル転送ユーティリティの取扱説明書をご覧ください。
  ・Windows 2000（Professional）
  ・Windows XP（Professional／Home Edition）
  ・Mac OS 9（v9.2～v9.2.2）
  ・Mac OS X（v10.1.5～v10.4.1、v10.4.3～v10.4.8）
  なお、著作権で保護されたメロディや画像は本電話機からパソコンに転送することはできません。
  専用のファイル転送ユーティリティは付属のCD-ROMに収められています。
- 本電話機をパソコンと接続してパソコンでデータ通信を行っている最中は、電話機単体でのインターネットへの接続はできません。
- 電話機単体でインターネットに接続している最中は、本電話機をパソコンと接続してのパソコンでのデータ通信はできません。

用語の説明

● ホームページ

Webサーバと呼ばれるコンピューター上にある､本のようにひとまとまりに公開されているWebページの集まり、またはそのWebページが置いてある場所のことです。Webサイトの入り口であるトップページと、Webサイトを構成する複数のWebページ、画像ファイル、音楽ファイルなどから構成されています。

● URL

インターネット上に存在するホームページの場所を示すもので、Webサーバと呼ばれるコンピューターの名前にあたるものです。これを入力して目的のWebページにアクセスします。

● リンク

Webページ内に表示されている、他のWebページへのジャンプ先です。リンクを選択して、他のWebページにジャンプすることができます。

● ブックマーク

本の「しおり」のようなWebブラウザの機能で､何度もアクセスするWebページのアドレス（URL）を記録しておくことができます。
本電話機では簡単な操作で、このブックマークを使って目的のWebページにアクセスできるので、URLを入力したりリンクをたどっていく手間を省くことができます。

● キャッシュ

Webブラウザは、Webページを構成する一連のWebページ、画像ファイル、音楽ファイルなどを、Webページからキャッシュと呼ばれるメモリに読み込んで表示しています。
他のページに移動したあとで、直前のページに戻りたいときなどに、あらためてWebページから読み込む必要がないので画面の表示が速くなります。

● ダウンロード

インターネットを通じて、Webページなどから画像やメロディなどのデータを読み込むことを意味します。

● SSL

インターネット上で情報を暗号化して送り受けするしくみのことです。
プライバシーに関わる情報やクレジットカード番号、企業秘密などを安全に送受信することができます。
SSLを使うと、インターネット上で送ったお客様の個人情報などを、第三者に不正に入手されるのを防ぐことができます。

● SSL証明書

SSLを使ってプライバシーなどに関わる情報を、安全にやりとりできるように保護されているWebページの安全性を保証する電子的な証明書のことです。
保護されているWebページにアクセスしようとしたときには、まずWebページの持っている証明書や、本電話機が持っている証明書が有効かどうかの確認が行われます。証明書が有効なときには、お客様の個人情報などを、そのWebページに安全に送ることができます。

Webの基本操作

Webの利用を開始する／終了する

Webの利用を開始する

1 待ち受け画面で [Web]（Webボタン）を押す

Webメニューが表示されます。
[Menu]（Menuボタン）[2] と押して表示させることもできます。
このメニューから、CLUB AIR-EDGEや、インターネット上のWebページへの接続、その他のブラウザ機能の操作を行います。

オフィシャルメニュー
ウィルコムのCLUB AIR-EDGEに接続します。「公式サイトを表示する」（☞6-2ページ）

インターネット
URLを入力して、インターネットに接続します。「URLを使ってWebページに接続する」（☞9-7ページ）

ブックマーク
お気に入りのWebページなどのURLを登録することで、簡単にサイトに接続することができます。「ブックマークを利用する」（☞9-10ページ）

ラストURL
一番最後に表示したWebページに接続します。「最後に表示していたWebページに接続する」（☞9-7ページ）

画面メモ
保存したページの内容を表示します。「画面メモを利用する」（☞9-15ページ）

Web設定
Webページなどに接続する際の設定を行います。「ブラウザの各種機能を設定する」（☞9-24ページ）

Webの利用を終了する

Webの利用を終了するには PWR を押します。

1 Webページ表示中に PWR を押す

回線が切断され、通信種別アイコン（「 PT 」など）が消灯します。切断後も直前に見ていたページと、本電話機が記録しているページを表示させることができます。
Webページ画面を終了させるには、もう一度 PWR を押します。

Webページ上の電話番号／メールアドレス／URLを利用する

Webページ画面やメールに、電話番号／メールアドレス／URLが表示されているときは、その画面から電話をかけたり、メールの送信や、Webページを表示することができます。

Phone to機能

を押して電話番号を選択し、◯（決定）を押して を押すと、選択された電話番号に電話をかけることができます。
通話終了後は、元のWebページの表示に戻ります。

位置情報付きPhone to機能

位置情報コンテンツで、電話番号を選択し、◯（決定）を押して を押すと、選択した電話番号に本電話機の位置情報を付加して電話をかけることができます。
位置情報を利用した音声サービスを利用することができます。
位置情報付きPhone to機能を利用するには、あらかじめ位置情報通知機能を「ON」に設定する必要があります。「発信型機能を利用する」（☞12-23ページ）

Mail to機能

を押してメールアドレスまたは電話番号を選択し、◯（決定）を押すと、選択された宛先にEメールやライトメールを送ることができます。
Eメール送信後は、元のWebページの表示に戻ります。

Web to機能

を押してURLを選択し、◯（決定）を押すと、選択されたURLのWebページを表示させることができます。

端末情報を通知する

Webページによっては、お客様の位置情報、電話番号、メールアドレスを利用するサービスを提供しています。Webページの表示中に、コンテンツプロバイダより位置情報、電話番号、メールアドレスの要求があった場合、本電話機では情報を送信するかどうか確認する画面を表示します。「1.送信する」を選択し、◯（決定）を押すと情報が送信されます。

お知らせ

- 端末情報は送出される前に必ず確認画面が表示されます。
- 送出する端末情報は、インターネットを経由してコンテンツプロバイダに送られるため、場合によっては第三者に知られてしまう可能性がありますので、あらかじめご了承ください。
- Phone to機能での発信時に圏外となっているときは、圏外発信警告音が鳴り発信できません。

URLを使ってWebページに接続する

インターネット上のWebページに、URLを入力して接続します。過去に入力したURLの履歴から接続することもできます。

URLを入力してWebページに接続する

1 Webメニューから ◎ を押して「インターネット」を選択し、◯（決定）を押す

URL選択画面が表示されます。以前Webページに接続した際に入力したURLの履歴が10件まで表示されています。（お買い上げ時にはURLの履歴がないため表示されません。）「URLの入力履歴からWebページに接続する」（☞9-8ページ）

2 ◎ を押して「〈URL入力〉」を選択し、◯（決定）を押す

以前Webページに接続した際に、最後に表示したURLが表示されています。

3 ◎ を押してURLの入力ボックスを選択し、◯（決定）を押す

URLを編集する画面が表示されます。

4 URLを入力し、◯（決定）を押す

URLは「http://」を含めて半角で200文字まで入力できます。
「文字を入力する」（☞4-5ページ）

5 ◎ を押して「OK」を選択し、◯（決定）を押す

入力したURLのページに接続が開始されます。

お知らせ

- URL編集画面で、最初の文字が「http://」「https://」以外の文字で始まるとエラーとなり、編集のやり直しになります。
- Compact HTML対応のWebページ以外は正しく表示されない場合があります。
- ダイヤルアップ設定で、ワンタイムパスワードを「ON」に設定している場合は、接続開始の前にパスワードの入力画面が表示されます。「ダイヤルアップを設定する」（☞9-29ページ）「ワンタイムパスワードを入力する」（☞12-42ページ）
- 受信したデータが1ページの最大サイズを超えた場合は、データの受信を中断してエラーメッセージを表示します。

最後に表示していたWebページに接続する

最後に表示したWebページのURLに接続します。

1 Webメニューから、◎ を押して「ラストURL」を選択する

2 ◯（決定）を押す

お知らせ

- 前回表示したWebページのURLが200文字を超えていたときは正しく表示されません。
- ダイヤルアップ設定で、ワンタイムパスワードを「ON」に設定している場合は、接続開始の前にパスワードの入力画面が表示されます。「ダイヤルアップを設定する」（☞9-29ページ）「ワンタイムパスワードを入力する」（☞12-42ページ）

URLの入力履歴からWebページに接続する

過去に入力して接続したWebページのURLの履歴から接続します。履歴は10件まで保存されています。

1　Webメニューから ◎ を押して「インターネット」を選択し、◯（決定）を押す

URL選択画面が表示されます。

2　◎ を押して、接続するURLを選択する

3　◯（決定）を押す

4　◎ を押して「OK」を選択し、◯（決定）を押す

選択したURLのWebページに接続を開始します。

お知らせ

- 最後に入力して接続したURLは「<URL入力>」からも呼び出せます。
- URL履歴は新しいものから1～9、0の順に保存されています。10件を超える履歴は古い順から上書きされます。
- ダイヤルアップ設定で、ワンタイムパスワードを「ON」に設定している場合は、接続開始の前にパスワードの入力画面が表示されます。「ダイヤルアップを設定する」（☞9-29ページ）「ワンタイムパスワードを入力する」（☞12-42ページ）

URLの入力履歴を消去する

URLの入力履歴は1件ずつ、または一括で消去できます。

個別消去する

1　URL選択画面を表示させる

「URLの入力履歴からWebページに接続する」（☞同じページ内です。）の手順1

2　◎ を押して消去したい入力履歴を選択し、Menu（メニュー）を押す

3　◎ を押して「9.個別消去」を選択し、◯（決定）を押す

4　◎ を押して、「1.はい」を選択、◯（決定）を押す

選択した入力履歴が消去され、「消去しました」と表示されます。

▶ 消去を中止するとき

「2.いいえ」を選択し、◯（決定）を押す

一括消去する

1 URL選択画面を表示させる

「URLの入力履歴からWebページに接続する」(☞9-8ページ）の手順1

2 Menu（メニュー）を押す

3 ◎を押して「0.一括消去」を選択し、◯（決定）を押す

4 ◎を押して、「1.はい」を選択、◯（決定）を押す

もう一度、一括消去を行うかどうかを確認する画面が表示されます。

▶ 一括消去を中止するとき

「2.いいえ」を選択し、◯（決定）を押す

5 ◎を押して、「1.はい」を選択、◯（決定）を押す

すべての入力履歴が消去され、「消去しました」と表示されます。

ブックマークを利用する

よく見るWebページは、ブックマークに登録することで簡単に接続することができます。
ブックマークは、5件のフォルダに各20件、合計100件まで登録することができます。

表示中のWebページをブックマークに登録する

1 **Webページ表示中に Menu（メニュー）を押す**

2 **◎を押して「6.ブックマーク登録」を選択し、◯（決定）を押す**

3 **◎を押して、登録先のフォルダを選択する**

登録したブックマークを、あとで別のフォルダに移動することもできます。「ブックマークを他のフォルダへ移動する」（☞9-12ページ）

4 **◯（決定）を押す**

「ブックマークを登録しました」と表示され、元のWebページ表示に戻ります。

▶ **選択したフォルダにすでに20件登録されているとき**

「フォルダが一杯です」と表示されたあと、フォルダを選択する画面に戻ります。もう一度登録先のフォルダを選択します。

お知らせ

- 登録したWebページにタイトルがないときは、URLをタイトルとしてブックマークに登録します。
- 登録したブックマークはフォルダの一番下に追加されます。あとで順番を並べかえることもできます。「ブックマークを並べ替える」（☞9-13ページ）
- 保存しようとしているブックマークと同じブックマークがすでに登録されていても、上書きされずに保存されます。
- 登録するページのURLが「http://」を含めて200文字を超えるときは、「URLが長すぎます　切り捨て登録します　よろしいですか？」と表示されます。「1.はい」を選択し◯（決定）を押すと200文字以内が登録されます。

ブックマークに登録したWebページに接続する

1 **Webメニューから◎を押して「ブックマーク」を選択し、◯（決定）を押す**

ブックマークフォルダ一覧画面が表示されます。

2 **◎を押して表示したいブックマークのあるフォルダを選択し、◯（決定）を押す**

ブックマーク一覧画面が表示されます。

3 **◎を押してブックマークを選択し、◯（決定）を押す**

選択したブックマークのWebページに接続します。

お知らせ

- 待ち受け画面で ◎ を約１秒以上押すことでも、ブックマークフォルダ一覧画面を表示させることができます。
- ブックマークのフォルダＡの一番上に登録されているブックマークは、待ち受け画面で Web（Webボタン）を約１秒以上押すことで接続することができます。フォルダＡに１件もブックマークが登録されていないときは、待ち受け画面で Web（Webボタン）を約１秒以上押すと、CLUB AIR-EDGEへ接続されます。「公式サイトを表示する」（☞6-2ページ）
- ダイヤルアップ設定で、ワンタイムパスワードを「ON」に設定している場合は、接続開始の前にパスワードの入力画面が表示されます。「ダイヤルアップを設定する」（☞9-29ページ）「ワンタイムパスワードを入力する」（☞12-42ページ）

ブックマークのフォルダ名を変更する

ブックマークのフォルダ名を変更することができます。

1 **ブックマークフォルダの一覧から、◎ を押して名前を変更したいフォルダを選択する**

2 **Menu（メニュー）を押す**

3 **◯（決定）を押す**

フォルダ名の編集画面が表示されます。

4 **フォルダ名を編集する**

フォルダ名は全角10文字（半角20文字）まで入力できます。
「文字を入力する」（☞4-5ページ）

5 **◯（決定）を押す**

ブックマークフォルダの名前が変更されます。

ブックマークのタイトルを編集する

ブックマークのタイトルをわかりやすく編集します。

1 **ブックマーク一覧から、◎ を押してタイトルを編集したいブックマークを選択する**

「ブックマークに登録したWebページに接続する」（☞9-10ページ）の手順１～２

2 **Menu（メニュー）を押す**

3 **◎ を押して「1.タイトル編集」を選択し、◯（決定）を押す**

タイトル編集画面が表示されます。

4 **タイトルを編集する**

タイトルは全角10文字（半角20文字）まで入力できます。
「文字を入力する」（☞4-5ページ）

5 **◯（決定）を押す**

ブックマークのタイトルが変更されます。

ブックマークのURLを編集する

ブックマークのURLを編集します。

1 ブックマーク一覧から、◎を押してURLを編集したいブックマークを選択する

「ブックマークに登録したWebページに接続する」（☞9-10ページ）の手順1～2

2 Menu（メニュー）を押す

3 ◎を押して「2.URL編集」を選択し、◯（決定）を押す

URL編集画面が表示されます。

4 URLを編集する

URLは最大で半角200文字まで入力できます。「文字を入力する」（☞4-5ページ）

5 ◯（決定）を押す

ブックマークのURLが変更されます。

お知らせ

- 「http://」「https://」以外で始まる文字列を登録しようとするとエラーとなり、もう一度編集を行う画面に戻ります。

ブックマークを他のフォルダへ移動する

登録したブックマークを他のフォルダへ移動することができます。ブックマークが増えてきたときなどに、ジャンルごとに整理しなおすことができ便利です。

1 ブックマーク一覧から、◎を押して移動したいブックマークを選択する

「ブックマークに登録したWebページに接続する」（☞9-10ページ）の手順1～2

2 Menu（メニュー）を押す

3 ◎を押して「3.フォルダ移動」を選択し、◯（決定）を押す

移動先のフォルダを選択する画面が表示されます。

4 ◎を押して移動先のフォルダを選択し、◯（決定）を押す

「移動しました」と表示されます。

▶ **移動先のフォルダにすでに20件登録されているとき**

「フォルダが一杯です」と表示されたあと、手順3のフォルダを選択する画面に戻ります。もう一度、別の移動先フォルダを選択します。

お知らせ

- 移動したブックマークは移動先のフォルダの一番下に表示されます。

ブックマークを並べ替える

フォルダ内のブックマークの表示順を並べ替えることができます。

1 ブックマーク一覧の表示中に Menu（メニュー）を押す

「ブックマークに登録したWebページに接続する」（☞9-10ページ）の手順1～2

2 ◎を押して「4.並び替え」を選択し、◯（決定）を押す

3 ◎を押して移動させたいブックマークを選択し、◯（決定）を押す

4 ◎を押して移動先を選択する

5 ◯（決定）を押す

並べ替えが完了します。

マイメニューにブックマークを登録する

ブックマークをマイメニューに登録して、簡単にブックマークのURLに接続することができます。
ブックマークは最大9件まで登録することができます。「マイメニューを利用する」（☞7-60ページ）

1 ブックマーク一覧から、◎を押してマイメニューに登録したいブックマークを選択する

「ブックマークに登録したWebページに接続する」（☞9-10ページ）の手順1～2

2 Menu（メニュー）を押す

3 ◎を押して「5.マイメニュー登録」を選択し、◯（決定）を押す

4 ◎を押して「1.はい」を選択し、◯（決定）を押す

▶ **中止するとき**

「2.いいえ」を選択し、◯（決定）を押す

5 ◎を押して、登録したい場所を選択し、◯（決定）を押す

ブックマークがマイメニューに登録され、「登録しました」と表示されます。

お知らせ

- マイメニューからブックマークを消去しても、元のブックマークは消去されません。
- 元のブックマークを消去すると、マイメニューのブックマークも消去されます。
- ブックマークのタイトルやURLを変更すると、マイメニューのブックマークも連動して変更されます。
- ブックマークを別のフォルダに移動しても、マイメニューのブックマークはそのまま使用できます。

ブックマークを消去する

ブックマークを個別に消去する

選択したブックマークをフォルダから消去します。

1 **ブックマーク一覧から、◎を押して消去したいブックマークを選択する**

「ブックマークに登録したWebページに接続する」(☞9-10ページ)の手順1〜2

2 **Menu(メニュー)を押す**

3 **◎を押して「9.個別消去」を選択し、◯(決定)を押す**

消去してよいかどうかを確認する画面が表示されます。

4 **◎を押して「1.はい」を選択し、◯(決定)を押す**

「消去しました」と表示されます。

▶ **消去を中止するとき**

「2.いいえ」を選択し、◯(決定)を押す

ブックマークを一括消去する

選択したフォルダ内のブックマークをすべて消去します。

1 **ブックマークフォルダの一覧から、◎を押してフォルダを選択し、◯(決定)を押す**

「ブックマークに登録したWebページに接続する」(☞9-10ページ)の手順1〜2

選択したフォルダ内のブックマーク一覧画面が表示されます。

2 **Menu(メニュー)を押す**

3 **◎を押して「0.一括消去」を選択し、◯(決定)を押す**

消去してよいかを確認する画面が表示されます。

4 **◎を押して「1.はい」を選択し、◯(決定)を押す**

もう一度、消去してよいかを確認する画面が表示されます。

▶ **一括消去を中止するには**

「2.いいえ」を選択し、◯(決定)を押す

5 **◎を押して「1.はい」を選択し、◯(決定)を押す**

選択したフォルダ内のブックマークがすべて消去され、「消去しました」と表示されます。

画面メモを利用する

気に入ったWebページの内容を保存して、インターネットに接続せずに待ち受け状態で見ることができます。

画面メモを保存する

気に入ったWebページがあったら、Webページの内容をまるごと本電話機に保存できます。保存したWebページは、インターネットに接続せずに、待ち受け状態でいつでも何度でも見ることができます。画面メモは最大で20件まで保存することができます。

1 Webページ表示中に Menu（メニュー）を押す

2 ◎を押して「1.画面メモ」を選択し、◯（決定）を押す

画面メモが保存され、「保存しました」と表示されたあと、Webページ表示画面に戻ります。

▶ **保存件数がいっぱいのとき**

エラー音とともに「件数オーバーです　保存できません」と表示され、保存することができません。

お知らせ

- 保存しようとしているWebページと同じWebページがすでに登録されていても、上書きされずに新たに保存されます。
- 作成者の意図などにより、Webページを画面メモとして保存できないWebページがあります。
- 画面メモの保存件数に空きがあるときでも、Eメール、画像、メロディとの合計メモリ使用量がいっぱいの場合は「メモリ不足です　保存できません」と表示され、画面メモを保存することができません。不要なデータを消去してから保存してください。「メモリ使用状況を見る」（☞8-32ページ）

画面メモを表示する

保存した画面メモを表示します。

1 Webメニューから◎を押して「画面メモ」を選択し、◯（決定）を押す

画面メモ一覧が表示されます。

2 ◎を押して表示させたいタイトルを選択し、◯（決定）を押す

画面メモが表示されます。

◎を押して、保存されている他の画面メモを表示させることができます。

Webページ内のリンク先を選択して◯（決定）を押したときは、接続を開始し、リンク先を取得します。

お知らせ

- 画面メモ一覧では、最後に登録したWebページから順に表示されます。
- 画面メモの表示中も、Webページ表示中と同様に次の機能を行うことができます。
  - ・電話帳登録「Webページの電話番号やメールアドレスを電話帳に登録する」（☞9-19ページ）
  - ・ブックマーク登録「表示中のWebページをブックマークに登録する」（☞9-10ページ）
  - ・画像保存「Webページの画像を保存する」（☞9-18ページ）
  - ・画像表示「Webページ表示中のときは」（☞9-24ページ）
  - ・URL参照「WebページのURLを表示する」（☞9-20ページ）
  - ・文字コード「文字コードを変更する」（☞9-20ページ）
- ダイヤルアップ設定でワンタイムパスワードを「ON」に設定している場合、Webページ内のリンク先を選択して◯（決定）を押すと、接続開始の前にパスワードの入力画面が表示されます。「ダイヤルアップを設定する」（☞9-29ページ）「ワンタイムパスワードを入力する」（☞12-42ページ）

画面メモのタイトルを編集する

画面メモのタイトルをわかりやすく編集できます。

1 画面メモ一覧から、◎を押して編集したいタイトルを選択する

2 Menu（メニュー）を押す

3 ◎を押して「1.タイトル編集」を選択し、◯（決定）を押す

タイトル編集画面が表示されます。現在のタイトルが表示されています。

4 タイトルを編集する

タイトルは全角10文字（半角20文字）まで入力できます。
「文字を入力する」（☞4-5ページ）

5 ◯（決定）を押す

画面メモのタイトルが変更されます。

画面メモを消去する

画面メモを個別に消去する

保存されている画面メモを1件ごとに消去できます。

1 画面メモ一覧から、◎を押して消去したい画面メモを選択する

2 Menu（メニュー）を押す

3 ◎を押して「9.個別消去」を選択し、◯（決定）を押す

消去してよいかどうかを確認する画面が表示されます。

4 ◎を押して、「1.はい」を選択する

▶ 消去を中止するとき

「2.いいえ」を選択し、◯（決定）を押す

5 ◯（決定）を押す

画面メモが消去され、「消去しました」と表示されます。

画面メモをすべて消去する

保存されている画面メモをすべて消去します。

1 画面メモの一覧を表示させる

2 Menu（メニュー）を押す

3 ◎を押して「0.一括消去」を選択し、◯（決定）を押す

消去してよいかどうかを確認する画面が表示されます。

4 ◎を押して、「1.はい」を選択する

▶ **一括消去を中止するには**

「2.いいえ」を選択し、◯（決定）を押す

5 ◯（決定）を押す

再度、消去してよいかどうかを確認する画面が表示されます。

6 ◎を押して、「1.はい」を選択する

▶ **一括消去を中止するには**

「2.いいえ」を選択し、◯（決定）を押す

7 ◯（決定）を押す

画面メモがすべて消去され、「消去しました」と表示されます。

Webページに関する機能を活用する

Webページを再読み込みする

表示しているWebページの情報を再取得し、内容を更新します。Webページの情報が正常に受信できなかったときなどに行います。

1 Webページ表示中に Menu（メニュー）を押す

2 ◎を押して、「2.再読み込み」を選択する

3 ○（決定）を押す

Webページ情報を取得し、表示中のWebページが更新されます。

お知らせ

- Webページ表示中に ☎ を押すことでも、再読み込みを行うことができます。

Webページの画像を保存する

表示しているWebページの画像を保存します。画像は最大で20件まで保存することができます。
画像はピクチャーBOXに保存されます。「ピクチャーBOXを利用する」（☞12-29ページ）

1 画像のあるWebページの表示中に Menu（メニュー）を押す

2 ◎を押して「7.画像保存」を選択し、○（決定）を押す

3 ◎を押して、画像を選択する

選択されている画像は枠で囲まれます。

4 ○（決定）を押す

画像が保存され、「保存しました」と表示されたあと、Webページ画面に戻ります。

▶ **保存件数がいっぱいのとき**

エラー音とともに「件数オーバーです　保存できません」と表示され、保存することができません。

お知らせ

- 作成者の意図などにより、画像を保存できないWebページがあります。
- 画像の保存件数に空きがあるときでも、Eメール、画面メモ、メロディとの合計メモリ使用量がいっぱいの場合は「メモリ不足です　保存できません」と表示され、画像を保存することができません。不要なデータを消去してから保存してください。「メモリ使用状況を見る」（☞8-32ページ）
- 画像は本電話機独自のファイル名で保存されます。

Webページの電話番号やメールアドレスを電話帳に登録する

電話番号やメールアドレスがフォーカスされているときに、その番号またはメールアドレスを電話帳に登録することができます。

1 Webページ表示中に ◎ を押して、電話番号またはメールアドレスを選択する

2 Menu（メニュー）を押す

3 ◎ を押して、「5.電話帳登録」を選択する

4 ◯（決定）を押す

選択した電話番号またはメールアドレスを新規登録するか、登録済みの電話帳データに追加登録するかを選択する画面が表示されます。

▶ **新規登録するとき**

「新規登録するとき」（☞7-35ページ）

▶ **追加登録するとき**

「追加登録するとき」（☞7-35ページ）

Webページのメロディの音量を調整する

Webページの表示中に自動的に再生されるメロディの音量を調整することができます。

1 Webページ表示中に Menu（メニュー）を押す

2 ◎ を押して「9.音量調整」を選択し、◯（決定）を押す

3 ◎ を押して音量を選択し、Web（戻る）を押す

音量が変更され、元のWebページ表示に戻ります。

お知らせ

- お買い上げ時には、メロディBOXで設定された音量になっています。
- 設定した音量は、表示中のWebページでのみ有効です。
- Webページの表示中に、Webページに含まれるメロディを再生しないように設定することもできます。「メロディを再生する、再生しないを設定する」（☞9-25ページ）

Webページ表示の文字サイズを変更する

Webページ表示と画面メモの文字の大きさを、通常の文字サイズによる表示のほかに、拡大表示と縮小表示を選択することができます。通常サイズでは1行10文字、拡大サイズでは1行6文字、縮小サイズでは1行12文字表示となります。

1 Webメニューから ◎ を押して「Web設定」を選択し、◯（決定）を押す

Web設定メニューが表示されます。

2 ◎ を押して「3.文字サイズ設定」を選択し、◯（決定）を押す

3 ◎を押して「1.小」、「2.通常」または「3.大」を選択し、○（決定）を押す

「設定しました」と表示されます。

お知らせ

- 本機能は文字サイズのみの変更となります。画像などを含んだページ全体の拡大／縮小を行うことはできません。
- お買い上げ時は「通常」に設定されています。

文字コードを変更する

表示しているWebページの文字が正しく表示されないときに、文字コードを切り替えて表示します。

文字コードとは？

コンピュータで文字を扱うために文字に割り当てられたコードです。コンピュータは、このコードを文字に変換して、画面に表示しています。コードの割り当ての規格には、シフトJIS、EUC、JISコードなどいくつかの種類があります。
本電話機は、シフトJIS、EUC、JISコードに対応しています。本電話機でWebページを表示するときは、Webページがどの規格の文字コードで作成されているかを自動的に判断して、規格に従って文字を変換します。文字コード変更機能は、文字コードの自動判断がうまく働かなかったときに、コードを切り替えて、Webページの文字を変換しなおす機能です。

1 Webページ表示中にMenu（メニュー）を押す

2 ◎を押して、「3.文字コード」を選択する

3 ○（決定）を押す

文字が変換しなおされます。

お知らせ

- 本操作を行うごとにシフトJIS、EUC、JISコードを切り替えます。3回操作を繰り返すと、最初に表示していた文字コードに戻ります。

WebページのURLを表示する

表示中のページのタイトルとURLを表示します。

1 Webページ表示中にMenu（メニュー）を押す

2 ◎を押して、「4.URL参照」を選択する

3 ○（決定）を押す

表示中のWebページのURLが表示されます。
1画面に表示しきれないときは、◎を押して続きを表示させることができます。
Web（戻る）を押すと、元のWebページの表示に戻ります。

お知らせ

- 読み込み中のWebページのURLは表示することができません。
- URL参照ではURLの編集はできません。

Webページの証明書を表示する

SSLで保護されたWebページを表示しているとき、現在使用されている証明書の内容を表示します。

1 SSL対応Webページの表示中に Menu（メニュー）を押す

2 ◎を押して、「8.証明書表示」を選択する

3 ○（決定）を押す

現在使用されている証明書の内容が表示されます。
Webページ表示に戻るには、Web（戻る）を押します。

お知らせ

- SSLについては「SSL証明書の有効／無効を設定する」（☞9-26ページ）をご覧ください。

メロディをダウンロードする

Webページからメロディをダウンロードし、本電話機に保存することができます。メロディは最大で10件まで保存することができます。

1 Webページ表示中に、◎を押してダウンロードしたいメロディを選択する

2 ○（決定）を押す

メロディのダウンロードが開始され、ダウンロードが完了するとダウンロード完了画面が表示されます。

3 ◎を押して「2.保存」を選択し、○（決定）を押す

メロディが保存され、「保存しました」と表示されたあと、手順2のダウンロード完了画面に戻ります。
ダウンロードを行う前のWebページ表示に戻るには、Web（戻る）を押します。

▶ 保存件数がいっぱいのとき

エラー音とともに「件数オーバーです　保存できません」と表示され、保存することができません。

▶ メロディを演奏して確認するとき

◎を押して「1.演奏」を選択し、○（決定）を押すとメロディが演奏されます。メロディの演奏を停止するには Menu（停止）、演奏前の画面に戻るには Web（戻る）を押します。

お知らせ

- Webページの表示中に再生されるメロディは保存することができません。
- 作成者の意図などにより、メロディを保存できないWebページがあります。
- メロディの保存件数に空きがあるときでも、Eメール、画面メモ、画像との合計メモリ使用量がいっぱいの場合は「メモリ不足です　保存できません」と表示され、メロディを保存することができません。不要なデータを消去してから保存してください。「メモリ使用状況を見る」（☞8-32ページ）
- ダウンロードしたメロディは正しく演奏されない場合があります。
- ダウンロードしたメロディの編集などはできません。
- メロディは本電話機独自のファイル名で保存されます。

スケジュールをダウンロードする

Webページからv Calendar形式のスケジュールデータをダウンロードし、本電話機に保存することができます。スケジュールは100件まで保存することができます。保存したスケジュールは、「スケジュールの内容を表示する」（☞12-14ページ）で確認することができます。

1 Webページ表示中に、◎を押してダウンロードしたいスケジュールを選択する

2 ◯（決定）を押す

スケジュールデータのダウンロードが開始され、ダウンロードが完了するとスケジュールの内容が表示されます。

3 Menu（登録）を押す

スケジュールが保存され、「登録しました」と表示されたあと、ダウンロードを行う前のWebページ表示画面に戻ります。

▶ 保存件数がいっぱいのとき

「スケジュールがいっぱいです」と表示され、保存することができません。

他のWebページへ移動する

Web（移動）を利用して、他のWebページへ移動できます。

■URLを入力して移動する

1 Webページ表示中にWeb（移動）を押す

移動メニューが表示されます。

2 ◎を押して「〈URL入力〉」を選択し、◯（決定）を押す

URLの入力ボックスに、現在表示中のWebページのURLが表示されています。

3 ◎を押してURLの入力ボックスを選択し、◯（決定）を押す

URLを編集する画面が表示されます。

4 URLを入力し、◯（決定）を押す

URLは「http://」を含めて半角で200文字まで入力できます。

「文字を入力する」（☞4-5ページ）

5 ◎を押して「OK」を選択する

6 ◯（決定）を押す

入力したURLのWebページに接続が開始されます。

■ブックマークから選択して移動する

あらかじめ登録したブックマークから接続します。「表示中のWebページをブックマークに登録する」(☞9-10ページ)

1 Webページ表示中に Web（移動）を押す

移動メニューが表示されます。

2 ◎ を押して表示したいWebページのブックマークがあるフォルダを選択し、○（決定）を押す

▶ ブックマークが1件も登録されていないとき

エラー音とともに、「ブックマークが登録されていません」と表示されます。

3 ◎ を押してブックマークを選択し、○（決定）を押す

選択したブックマークのサイトへ接続されます。

ブラウザの各種機能を設定する

画像の表示／非表示を設定する

Webページを表示する際に、画像を表示するかどうかを設定します。表示しないように設定にすると、画像をダウンロードしません。画像データの大きいWebページを表示するときに非表示の場合、読み込みが速くなります。

1 Webメニューから ◎ を押して「Web設定」を選択し、◯（決定）を押す

Web設定メニューが表示されます。

2 ◎ を押して「1.画像表示設定」を選択し、◯（決定）を押す

3 ◎ を押して「1.ON」または「2.OFF」を選択し、◯（決定）を押す

「設定しました」と表示され、Web設定メニューに戻ります。

お知らせ

- お買い上げ時は「ON」に設定されています。
- Webページの表示中や画面メモの表示中にも、サブメニューから「0.画像表示」を選択して設定することができます。「Webページ表示中のときは」（☞同じページ内です。）

Webページ表示中のときは

1 Webページ表示中に Menu（メニュー）を押す

2 ◎ を押して「0.画像表示」を選択し、◯（決定）を押す

3 ◎ を押して「1.ON」または「2.OFF」を選択し、◯（決定）を押す

「設定しました」と表示され、Webページ表示画面に戻ります。

お知らせ

- Web設定メニューからも設定を行うことができます。「画像の表示／非表示を設定する」（☞同じページ内です。）
- 画像を表示しない場合、画像の位置には「🔍」が表示されます。

メロディを再生する、再生しないを設定する

表示するWebページにメロディデータが埋め込まれているときに、そのメロディを再生するかどうかを設定します。
再生しないように設定してもメロディデータのダウンロードは可能です。

1 Webメニューから◎を押して「Web設定」を選択し、◯（決定）を押す

Web設定メニューが表示されます。

2 ◎を押して「2.BGM再生設定」を選択し、◯（決定）を押す

3 ◎を押して「1.ON」または「2.OFF」を選択する

4 ◯（決定）を押す

「設定しました」と表示されます。

お知らせ

- お買い上げ時は「ON」に設定されています。
- メロディ再生中は音量を調整できます。「Webページのメロディの音量を調整する」（☞9-19ページ）

Cookieの有効／無効を設定する

本電話機は、Webサーバが「Cookie（クッキー）」と呼ばれる情報を送ってきたときに、それを保存します。次に同じWebサーバに接続した際に、Cookieを送信するかどうかを設定することができます。

1 Webメニューから◎を押して「Web設定」を選択し、◯（決定）を押す

Web設定メニューが表示されます。

2 ◎を押して「6.Cookie設定」を選択し、◯（決定）を押す

3 ◎を押して「1.ON」または「2.OFF」を選択し、◯（決定）を押す

「設定しました」と表示されます。

お知らせ

- お買い上げ時は「ON」に設定されています。

SSL証明書の有効／無効を設定する

SSLページを表示する際に、接続するサイトの安全性を確認するために使用する証明書の内容を表示し、有効／無効を設定することができます。

1 Webメニューから ◎ を押して「Web設定」を選択し、◯（決定）を押す

Web設定メニューが表示されます。

2 ◎ を押して「5.SSL証明書」を選択し、◯（決定）を押す

SSL証明書の一覧が表示されます。

3 ◎ を押して表示させたい証明書を選択し、◯（決定）を押す

SSL証明書の内容が表示されます。証明書の内容の続きは、◎ を押して表示させます。

▶ **証明書の有効／無効を設定するとき**

手順４へ進みます。

▶ **他の証明書を確認するとき**

Web（戻る）または クリア/マナー を押し、証明書の一覧から他の証明書を選択します。

4 ◯（決定）を押す

5 ◎ を押して「1.有効」または「2.無効」を選択し、◯（決定）を押す

設定が完了し、「設定しました」と表示されたあと、証明書一覧画面に戻ります。PWR を押すと待ち受け画面に戻ります。

■SSLページの表示

SSLで保護されたWebページを表示する際には、「SSL通信中」と表示され、認証処理のあとSSLページが表示されます。また、SSLページの表示中は「 🔒 」が表示されます。
SSL証明書の期限の切れているWebページや、本電話機のSSL証明書と異なる証明書を使用しているWebページを表示しようとしたときは、通信の安全性が保証されないため、接続するか確認する画面が表示されます。
確認する画面で「1.はい」を選択して接続した場合、お客様の個人情報を安全に送信することができません。ご注意ください。

お知らせ

- SSL証明書は、５件登録されています。
- お買い上げ時、SSL証明書設定は、すべて「有効」に設定されています。
- SSL（Secure Sockets Layer）とは、Netscape Communications社の提唱するセキュリティ機能の付加されたHTTPプロトコル（通信のための規約）です。インターネット上でプライバシーやクレジットカード番号などに関する情報を、盗用を防ぎ安全にやりとりするために考案されたものです。

応答待ち時間を設定する

インターネット接続中、Webページを取得する際にWebサーバから応答がないときにWebページ取得を中止するまでの時間を設定します。

1 **Webメニューから ◎ を押して「Web設定」を選択し、◯（決定）を押す**

Web設定メニューが表示されます。

2 **◎ を押して「4.応答待ち時間設定」を選択し、◯（決定）を押す**

3 **◎ を押して「1. 60秒」、「2. 90秒」または「3.無制限」を選択し、◯（決定）を押す**

「設定しました」と表示されます。

お知らせ

- お買い上げ時は「60秒」に設定されています。
- 「無制限」に設定した場合、自動的にWebページの取得を中止しません。Web（中止）を押すとWebページの取得を中止します。

接続先を変更する

本電話機はインターネット標準のプロトコルを採用しておりますので、自分がパソコンで使っている一般のプロバイダなどからインターネットに接続したり、会社のネットワークに接続することができます。
また、一般のプロバイダなどのメールアカウントを利用してEメールを送受信することができます。「プロバイダのメールアカウントを利用する」（☞8-38ページ）
公衆モードで利用するダイヤルアップ設定と、オフィスモードで利用するダイヤルアップ設定を各1件ずつ登録することができます。

- 一般のプロバイダをご利用になるときは、別途プロバイダとの契約が必要です。
- プロバイダによっては、サーバの設定や接続条件により接続できない場合があります。

公衆動作モードの切り替え

公衆モードでダイヤルアップするときの接続先を設定するには、まず、公衆動作モード設定を「オンラインサインアップ連動」から「手動設定」に切り替えます。お買い上げ時、公衆動作モード設定は「オンラインサインアップ連動」に設定されています。このとき、公衆モードでのダイヤルアップ先は、ウィルコムのメールサーバーとなります。
オフィスモードでのダイヤルアップ先を設定するときには公衆動作モードの設定の必要はありません。

1 待ち受け画面で Menu（Menuボタン）8 3 と押す

ダイヤルアップ設定メニューが表示されます。

2 ◎を押して「3.公衆動作モード設定」を選択し、◯（決定）を押す

動作モードを選択する画面が表示されます。

3 ◎を押して「2.手動設定」を選択し、◯（決定）を押す

確認画面が表示されます。

▶ **公衆モードでのダイヤルアップ先をウィルコムのメールサーバーに戻すとき**

「1.オンラインサインアップ連動」を選択し、◯（決定）を押す

4 ◎を押して「1.はい」を選択し、◯（決定）を押す

動作モードが「2.手動設定」に設定され、手順1のダイヤルアップ設定メニューに戻ります。

お知らせ

- 公衆動作モード設定を「手動設定」から「オンラインサインアップ連動」に戻すと、公衆モードのダイヤルアップ設定画面には、オンラインサインアップ連動のダイヤルアップ設定が表示されますが、設定したダイヤルアップの設定内容は保持されています。公衆動作モード設定を再度「手動設定」に切り替えることで手動で設定したダイヤルアップ設定を使用できます。

ダイヤルアップを設定する

ご利用になるプロバイダからの通知内容をもとに以下の設定を行います。設定内容については、各プロバイダにお問い合わせください。
オフィスモードで事業所内のネットワークなどに接続する場合の設定内容については、社内のLAN管理者などにお問い合わせください。また、オフィスモードで利用するには、事業所等に設置されている事業所用PHSシステムに本電話機が登録されている必要があります。「オフィスモードで使う」(☞ 13-4ページ)

ダイヤルアップ設定

ダイヤルアップ名称　：この設定について、お好みの名前をつけることができます。(全角8文字または半角16文字まで)
電話番号　：接続先の電話番号（アクセスポイント）を入力します。(32桁まで)
ユーザー名　：ダイヤルアップ接続するときに必要なログイン名を入力します。(半角64文字まで)
パスワード　：ダイヤルアップ接続するときに必要なパスワードを入力します。(半角128文字まで)
送信メールアカウント：メールの送信に使用するメールアカウントを選択します。
分計発信　：分計発信するかどうかを設定します。
ワンタイムパスワード：接続のたびにワンタイムパスワードを入力するかどうかを設定します。

ダイヤルアップ詳細設定

IPアドレス自動取得　：IPアドレスを自動で取得するかどうかを選択します。
IPアドレス　：IPアドレスが割り当てられているとき、IPアドレスを入力します。
DNS自動取得　：DNSサーバのIPアドレスを自動で取得するかどうかを選択します。
プライマリDNS　：プライマリDNSサーバのIPアドレスを入力します。
セカンダリDNS　：セカンダリDNSサーバのIPアドレスを入力します。
HTTP Proxy　：Proxyサーバを使用するかどうかを選択します。
Proxyサーバ名　：Proxyサーバの名称を入力します。(半角64文字まで)
Proxyポート番号　：Proxyサーバのポート番号を入力します。

1 **待ち受け画面で Menu（Menuボタン）や8 さ3 と押す**

ダイヤルアップ設定メニューが表示されます。

2 **◎を押して、「1.公衆」または「2.オフィス」を選択する**

▶ **公衆モードでのダイヤルアップ設定を行うとき**

「1.公衆」を選択する
公衆動作モードが「オンラインサインアップ連動」に設定されているときは、ウィルコムのメールサーバーのダイヤルアップ設定の内容が表示されます。オンラインサインアップ連動のダイヤルアップ設定は、送信メールアカウント、分計発信を除き編集できません。公衆動作モードを「手動設定」に切り替えてください。「公衆動作モードの切り替え」（☞ 9-28ページ）

▶ **オフィスモードでのダイヤルアップ設定を行うとき**

「2.オフィス」を選択する

3 **◯（決定）を押す**

ダイヤルアップ設定画面が表示されます。

4 **各項目を選択し、設定する**

ダイヤルアップ設定の各項目を入力、または選択します。
各項目の設定後、詳細設定を行うには手順5へ、設定を完了させるには手順9へ進みます。

▶ **ダイヤルアップ名称**

この設定に名前をつけます。ご自分でわかりやすい名前を入力してください。
① ◎を押して「ダイヤルアップ名称」を選択し、◯（決定）押す
② ダイヤルアップ名称を入力し、◯（決定）を押す

▶ **電話番号**

プロバイダから通知されたダイヤルアップ先（アクセスポイント）の電話番号を正しく入力してください。
① ◎を押して「電話番号」を選択し、◯（決定）を押す
② 電話番号を入力し、◯（決定）を押す

アクセスポイントの対応通信方式に合わせて、電話番号に続けて下表の番号を入力します。

アクセスポイント	電話番号に続けて
2xパケット方式※	##64
1xパケット方式※	##61
64kPIAFS（ベストエフォート）	##4
64kPIAFS（ギャランティ）	##41
32kPIAFS	##3

発信者番号通知の設定に関係なく本電話機の電話番号がアクセスポイントに通知されますので、あらかじめご了承ください。「発信者番号通知を設定する（発信者番号通知）」（☞ 11-2ページ）
※2xパケット方式、1xパケット方式対応の料金コースをご利用のお客さまは、32kPIAFS、64kPIAFSで通信を行う場合、パケットごとの課金ではなく時間で課金されるため、別途料金が発生しますのでご注意ください。

お知らせ
- 64kPIAFS方式をご利用になる場合は、「64kPIAFSの選択」（☞ 10-14ページ）もご覧ください。

▶ **ユーザー名**

プロバイダから通知されたユーザー名を正しく入力してください。
① ◎を押して「ユーザー名」を選択する
② ◯（決定）を押し、ユーザー名を入力し、◯（決定）を押す

▶ **パスワード**

プロバイダから通知されたパスワードを正しく入力してください。
① ◎を押して「パスワード」を選択し、◯（決定）を押す
② パスワードを入力し、◯（決定）を押す

▶ **送信メールアカウント**

このダイヤルアップ設定で使用する、送信メールアカウントを選択します。「送信メールアカウントを選択する」（☞8-42ページ）
① ◎を押して「送信メールアカウント」を選択し、◯（決定）を押す
② ◎を押してメールアカウントを選択し、◯（決定）を押す

▶ 分計発信

分計サービスを利用して接続する場合、「ON」に設定します。「料金分計サービスを利用する（有料）」（☞12-38ページ）
オフィスモードでのダイヤルアップ設定では分計発信を設定することはできません。
パケット通信方式のアクセスポイントに接続する際はご利用になれませんので「OFF」に設定してください。

① ◎を押して「分計発信」を選択し、◯（決定）を押す
② ◎を押して「1.ON」または「2.OFF」を選択し、◯（決定）を押す

▶ ワンタイムパスワード

接続のたびにワンタイムパスワードを入力する場合、「ON」に設定します。この項目は、手順2で「2.オフィス」を選択した場合、または、公衆動作モードが「手動設定」のときに手順2で「1.公衆」を選択した場合に表示されます。「ダイヤルアップ接続時にワンタイムパスワードを使用する」（☞12-41ページ）
「公衆動作モードの切り替え」（☞9-28ページ）

① ◎を押して「ワンタイムパスワード」を選択し、◯（決定）を押す
② ◎を押して「1.ON」または「2.OFF」を選択し、◯（決定）を押す

5 Menu（メニュー）を押す

6 ◎を押して「2.詳細設定」を選択し、◯（決定）を押す

ダイヤルアップ詳細設定画面が表示されます。

7 各項目を選択し、設定する

ダイヤルアップ詳細設定の各項目を入力、または選択します。

▶ IPアドレス自動取得

プロバイダからの通知をもとに、「ON」または「OFF」を選択してください。

① ◎を押して「IPアドレス自動取得」を選択し、◯（決定）を押す
② ◎を押して「1.ON」または「2.OFF」を選択し、◯（決定）を押す

▶ IPアドレス

IPアドレス自動取得を「OFF」に設定した場合、プロバイダから通知されているIPアドレスを入力します。IPアドレス自動取得が「ON」に設定されているときは編集できません。

① ◎を押して「IPアドレス」を選択し、◯（決定）を押す
② IPアドレスを入力し、◯（決定）を押す
「.」（ピリオド）は、✉を押して英字入力に切り替え、あ1.@を押して入力します。

▶ DNS自動取得

プロバイダからの通知をもとに、「ON」または「OFF」を選択してください。

① ◎を押して「DNS自動取得」を選択し、◯（決定）を押す
② ◎を押して「1.ON」または「2.OFF」を選択し、◯（決定）を押す

▶ プライマリDNS／セカンダリDNS

DNS自動取得を「OFF」に設定した場合、DNSサーバのアドレスを入力します。DNS自動取得が「ON」に設定されているときは編集できません。

① ◎を押して「プライマリDNS」または「セカンダリDNS」を選択し、◯（決定）を押す
② DNSサーバのアドレスを入力し、◯（決定）を押す

▶ HTTP Proxy

接続にProxyサーバを利用するかどうかを選択します。プロバイダからの通知をもとに、「ON」または「OFF」を選択してください。

① ◎を押して「HTTP Proxy」を選択し、◯（決定）を押す
② ◎を押して「1.ON」または「2.OFF」を選択し、◯（決定）を押す

▶ Proxyサーバ名

HTTP Proxyを「ON」にした場合、Proxyサーバのアドレスを入力します。

① ◎を押して「Proxyサーバ名」を選択し、◯（決定）を押す
② Proxyサーバのアドレスを入力し、◯（決定）を押す

▶ Proxyポート番号

HTTP Proxyを「ON」にした場合、Proxyサーバのポート番号を入力します。お買い上げ時は「8080」に設定されています。

① を押して「Proxyポート番号」を選択し、◯（決定）を押す

② Proxyサーバのポート番号を入力し、◯（決定）を押す

8 Menu（登録）を押す

9 Menu（メニュー）を押す

10 を押して「1.設定完了」を選択し、◯（決定）を押す

ダイヤルアップ設定が完了し、手順1のダイヤルアップ設定メニューに戻ります。

ダイヤルアップ設定を消去する

お客様が設定したダイヤルアップ設定を消去することができます。

1 ダイヤルアップ設定画面を表示させる

「ダイヤルアップを設定する」（☞9-29ページ）の手順1～3

2 Menu（メニュー）を押す

3 を押して「9.設定消去」を選択し、◯（決定）を押す

消去してよいかどうかを確認する画面が表示されます。

4 を押して「1.はい」を選択し、◯（決定）を押す

「消去しました」と表示され、ダイヤルアップ設定メニューに戻ります。

お知らせ

- オンラインサインアップ連動のダイヤルアップ設定は消去することができません。

10
パソコンとの連携

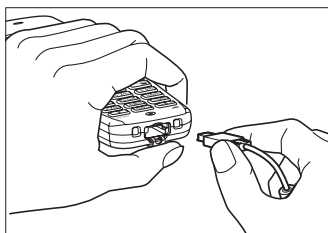
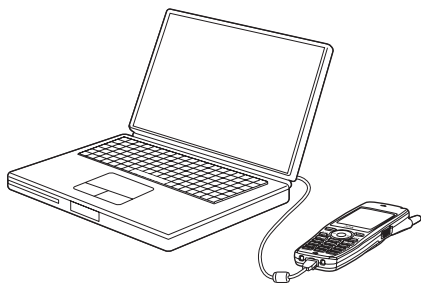
パソコンと接続する

パソコンと接続する

USBケーブル（Mini-B対応）で、パソコンと本電話機を接続します。

1 **パソコンを起動し、パソコンのUSBポートにUSBケーブルのコネクタを接続する**

2 **本電話機のUSB端子のカバーを外し、USBケーブルのコネクタ（Mini-B）をUSB端子にまっすぐ差し込む**

確認音が鳴り、画面に「 USB 」が点灯し、「データ通信　OK」と表示されます。

USB端子のカバーを押さえて、USBケーブルを差し込んでください。

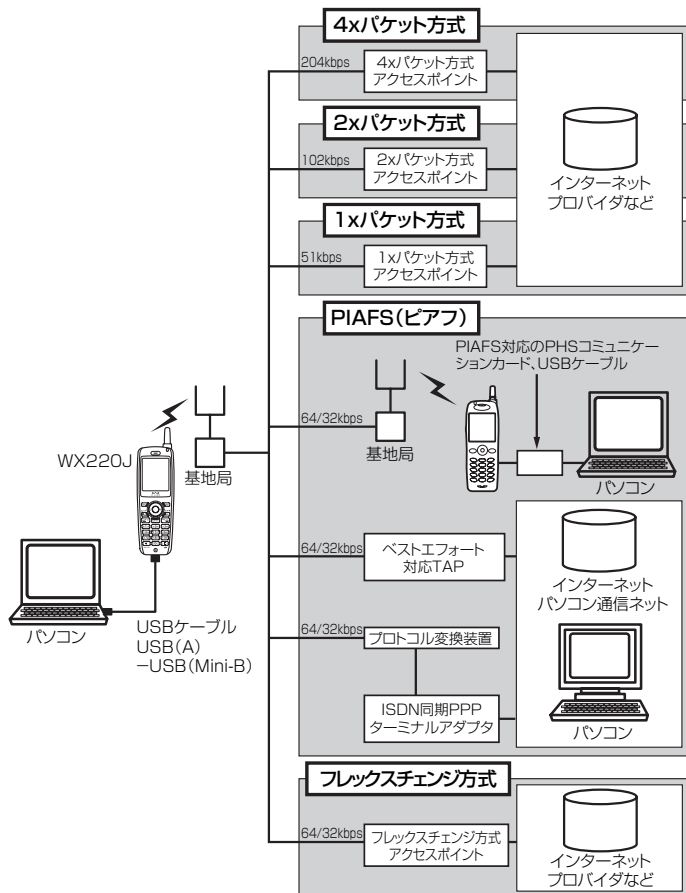
お知らせ

- USBケーブルを外すときは、接続と逆の順序で行ってください。
- 本電話機よりUSBケーブルを外すと、「 USB 」が消灯し、「データ通信　OFF」と表示されます。
- USBケーブルでパソコンと接続中に、パソコンから充電することもできます。ただし、Mac OS Xをご利用の場合、USBケーブル経由でパソコンから充電することはできません。「USB充電」（☞12-4ページ）
- USB充電を「OFF」に設定してパソコンに接続した場合、データ通信を行っていなくても電池を消費して待ち受け時間が短くなることがあります。また、本電話機の電源を切った状態でも、USB充電を「OFF」に設定してパソコンに接続した場合は、電池を消費して待ち受け時間が短くなることがあります。
- ご利用になるOSによっては、最初に接続してドライバのインストールを行ったUSBポート以外のUSBポートに接続した場合、再度ドライバのインストールや設定が必要となる場合があります。

データ通信を行う

データ通信について

利用できる通信方式

本電話機で利用できるデータ通信には、4xパケット方式、2xパケット方式、1xパケット方式、64kPIAFS（ベストエフォート）、32kPIAFS、フレックスチェンジ方式があります。

■4xパケット方式（ヨンエックス）
ウィルコムが提供している最大通信速度204kbpsの通信方式です。情報をパケット（小包）に分割して、パケット単位で情報をやりとりする方式です。
4xパケット方式は、1xパケット通信を4つに束ねることにより、さらにデータ通信速度を向上させています。
数分間程度電波が弱くなったり途切れたりしても、できるだけ回線を維持し、より信頼性の高い通信環境を実現します。
ご利用になるには、ウィルコムの4xパケット方式対応の料金コースにご契約いただき、専用のアクセスポイントに接続してください。

■2xパケット方式（ニエックス）
ウィルコムが提供している最大通信速度102kbpsの通信方式です。情報をパケット（小包）に分割して、パケット単位で情報をやりとりする方式です。
2xパケット方式は、1xパケット通信を2つに束ねることにより、さらにデータ通信速度を向上させています。
数分間程度電波が弱くなったり途切れたりしても、できるだけ回線を維持し、より信頼性の高い通信環境を実現します。
ご利用になるには、ウィルコムの2xパケット方式対応の料金コースにご契約いただき、専用のアクセスポイントに接続してください。

■1xパケット方式（イチエックス）
ウィルコムが提供している最大通信速度51kbpsの通信方式です。情報をパケット(小包)に分割して、パケット単位で情報をやりとりする方式です。
数分間程度電波が弱くなったり途切れたりしても、できるだけ回線を維持し、より信頼性の高い通信環境を実現します。
ご利用になるには、ウィルコムの1xパケット方式対応の料金コースにご契約いただき、専用のアクセスポイントに接続してください。

■64kPIAFS方式（ベストエフォート）
ウィルコムが採用している最大通信速度64kbpsの通信方式です。
基地局の利用状況や電波の状況により、64kbpsと32kbpsの2つの通信速度をフレキシブルに選択し、つながりやすく切れにくい通信環境を実現します。

■32kPIAFS方式
PHSの通信標準規格で最大速度32kbpsの通信方式です。
PIAFS対応のターミナルアダプタ（TAP）やPHSを用いたアクセスポイントに接続することにより、32kbpsの高速データ通信が可能です。

■フレックスチェンジ方式
ウィルコムが提供している最大通信速度64kbpsの通信方式です。通信中のデータ量に従い、「1xパケット方式」と「64kPIAFS（ベストエフォート方式）」を、自動的に切り替え、スムーズな通信環境を実現する通信方式です。
回線使用状況などにより64kPIAFS方式での通信を維持できない場合でも、パケット方式で通信を継続するので、再接続する必要はありません。
ご利用になるには、ウィルコムのフレックスチェンジ方式専用の料金コースにご契約いただき、専用のアクセスポイントに接続してください。

お知らせ

- パケット方式の速度表記は、PHS高度化通信規格（W-OAM）対応時の最大通信速度となります。
- ウィルコムのデータ通信に関するお問い合わせ（2007年1月現在）
  本電話機から　局番なしの157　（無料）
  一般電話・公衆電話から　0120-921-157（無料）
  受付時間（日・祝日も受付）: 9:00 ～ 19:00

データ通信用ソフトをインストールする

USBドライバのインストール

本電話機とパソコンをUSBケーブルで接続してデータ通信を行うには、あらかじめ、本電話機をモデムとして動かすためのドライバをパソコンにインストールする必要があります。
AH-J3001V/AH-J3002V/AH-J3003Sをお使いで、パソコンにドライバをインストールされている場合は、新たにドライバをインストールする必要はありません。

■本電話機の対応OSについて

本電話機と接続可能なパソコンの対応OSは以下のとおりです。ただし、すべてのパソコンについての動作を保障するものではありませんのであらかじめご了承ください。

● Windows

Windows XP Professional
Windows XP Home Edition
Windows 2000 Professional

● Macintosh

Mac OS X　v10.1.5～v10.4.1、v10.4.3～v10.4.8
Mac OS 9　v9.2～v9.2.2

ご注意

● 以下の場合はサポート対象外となりますのであらかじめご了承ください。
- ・自作したパソコンをご使用の場合
- ・対応OSがプレインストールされていないパソコンをご使用の場合
- ・OSをアップグレードしたり、OSを入れ替えたパソコンをご使用の場合
- ・パソコンのハードウェアとOSとの相性により正常に動作しない場合
- ・パソコンの設定や環境によって正常に動作しない場合
- ・増設したUSB端子をお使いの場合
- ・USBハブなどを経由して接続している場合
- ・パソコンに本電話機以外のUSB機器が接続されている場合

ドライバのインストール方法は、お使いのパソコンのOSによって異なります。
●Windows XPの場合（☞10-6ページ）
●Windows 2000の場合（☞10-8ページ）
●Mac OS Xの場合（☞10-10ページ）
●Mac OS 9の場合（☞10-11ページ）
・　本電話機はWindows98SE、Windows Meのインストールされているパソコンとの接続に対応しておりません。また、動作保証もいたしかねます。あらかじめご了承ください。
Windows はMicrosoft Corporationの、Macintosh、Mac OSはApple Computer, Inc.の登録商標です。

■Windows XPの場合

1 パソコンと本電話機の電源を入れる

2 付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブに入れる

3 USBケーブルで、パソコンと本電話機を接続する

「パソコンと接続する」（☞ 10-2ページ）
接続を行うと、パソコンのディスプレイに「新しいハードウェアの検出ウィザード」の画面が表示され、インストールが開始されます。

4 「ソフトウェアを自動的にインストールする（推奨）」を選択し、[次へ] をクリックする

ドライバのインストールが開始されます。

5 インストールされたドライバが「JRC USB Modem」であることを確認し、[完了] をクリックする

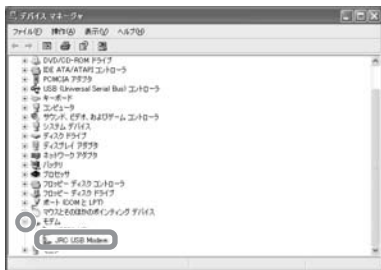
ドライバのインストールが終了します。

▶ **下の画面が表示されたとき**

インストール中に、下の警告画面が表示されることがあります。この場合、「続行」をクリックしてインストールを続けてください。

6 [スタート] メニューから、[設定] → [コントロール パネル] を選択し、[システム] をダブルクリックする

7 [ハードウェア] タブをクリックし、[デバイス マネージャ] をクリックする

8 「モデム」アイコンの先頭の「＋」をクリックし、「JRC USB Modem」が表示されていることを確認する

9 「JRC USB Modem」を右クリックし、［プロパティ］を選択する

10 ［モデム］タブをクリックし、「ポートの最高速度」のプルダウンメニューから最も大きな値を選択し、［OK］をクリックする

以上で設定が完了します。

■Windows 2000の場合

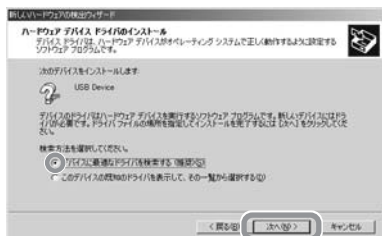
1 パソコンと本電話機の電源を入れる

2 付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブに入れる

3 USBケーブルで、パソコンと本電話機を接続する

「パソコンと接続する」（☞10-2ページ）
接続を行うと、パソコンのディスプレイに「新しいハードウェアの検出ウィザード」の画面が表示され、インストールが開始されます。

4 ［次へ］をクリックする

5 「デバイスに最適なドライバを検索する（推奨）」を選択し、［次へ］をクリックする

6 「CD-ROMドライブ」を選択し、［次へ］をクリックする

7 インストールされたドライバが「JRC USB Modem」であることを確認し、［完了］をクリックする

ドライバのインストールが終了します。

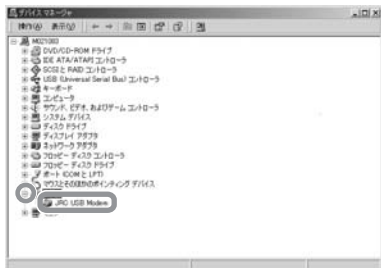
▶ **下の画面が表示されたとき**

インストール中に、下の警告画面が表示されることがあります。この場合､｢はい｣をクリックしてインストールを続けてください。

パソコンとの連携　データ通信を行う

8 ［スタート］メニューから、［設定］→［コントロール パネル］を選択し、［システム］をダブルクリックする

9 ［ハードウェア］タブをクリックし、［デバイス マネージャ］をクリックする

10「モデム」アイコンの先頭の「＋」をクリックし、「JRC USB Modem」が表示されていることを確認する

11「JRC USB Modem」を右クリックし、［プロパティ］を選択する

12［モデム］タブをクリックし、「ポートの最高速度」のプルダウンメニューから最も大きな値を選択し、［OK］をクリックする

以上で設定が完了します。

■Mac OS Xの場合

1 パソコンと本電話機の電源を入れ、付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブに入れる

2 USBケーブルで、パソコンと本電話機を接続する

「パソコンと接続する」（☞10-2ページ）

3 付属のCD-ROMの中にある「JRC USB MODEM」を、「ライブラリ」の「Modem Scripts」フォルダへコピーする

ご使用のシステムのバージョンによっては、「ライブラリ」は「Library」と表示されています。

4 「システム環境設定」から「ネットワーク」を選択し、「表示」プルダウンメニューから「USBモデム」を選択する

「表示」プルダウンメニューに「USBモデム X」（Xは任意の数字）と表示されることもあります。

5 ［モデム］タブをクリックし、「モデム」のプルダウンメニューから「JRC USB MODEM」を選択し、［今すぐ適用］をクリックする

以上で本電話機をモデムとして動かすための準備が終了します。

パソコンとの連携 データ通信を行う

■Mac OS 9の場合

1 パソコンと本電話機の電源を入れ、付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブに入れる

2 USBケーブルで、パソコンと本電話機を接続する

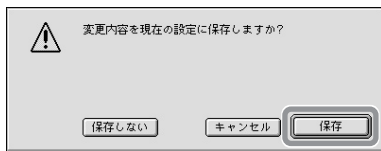
「パソコンと接続する」（☞10-2ページ）

3 付属のCD-ROMの中にある「JRC USB MODEM」を、「システムフォルダ」の「機能拡張」フォルダ内の「Modem Scripts」フォルダへコピーする

4 「システムフォルダ」内の「コントロールパネル」の「モデム」をダブルクリックする

5 「経由先」のプルダウンメニューから「USB Modem 1」を、「モデム」のプルダウンメニューから「JRC USB MODEM」を選択する

「経由先」プルダウンメニューに「USB Modem X」（Xは任意の数字）と表示されることもあります。

6 「モデム」ウィンドウを閉じ、［保存］をクリックする

以上で本電話機をモデムとして動かすための準備が終了します。

■Windowsでご利用になる場合のご注意

- インストール時に割り当てられるCOMポート番号が、パソコンによっては内蔵モデムや赤外線ポート（IrDA）のCOMポート番号と重なってしまう場合があります。重なった場合、正常に動作しなくなりますので、内蔵ポート、赤外線ポート（IrDA）をデバイスマネージャ上で「使用不可」にするか、モデムポート先を変更してからお使いください。
- WX220Jはモデムとしてインストールされますが、既に複数のモデムがインストール済みのパソコンにインストールした場合、正常に動作しなくなることがあります。このような場合は、既にインストール済みの各種モデムを、「モデムのプロパティ」から削除してください。
- Windows XP搭載のパソコンを本電話機と接続するとき、パソコンがモデムとして認識するのにしばらく時間がかかります。そのため、本電話機との接続の直後に通信を開始しようとすると正常に動作しませんのでご注意ください。本電話機と接続後、10秒ほど時間をおいてから使用してください。
- Windows XP、Windows 2000でお使いの場合、ダイヤルアップ接続やターミナルソフトなどによりCOMポートをオープンした状態でUSBケーブルを抜くと、パソコンの動作がやや不安定になることがあります。USBケーブルを抜いたあとは、10秒ほど時間をおいてから再度USBケーブルを差し込むようにしてください。

■Macintoshでご利用になる場合のご注意

- Mac OSでお使いの場合、リモートアクセスやターミナルソフトなどによりCOMポートをオープンした状態でUSBケーブルを抜くと、システムの状態が不安定になります。USBケーブルは、必ずMacintosh側でCOMポートをクローズ（接続断）したあとに抜いてください。また、このような操作を行った場合には、Macintoshを再起動してください。

■サポートWebサイトのお知らせ

- インストールがうまくいかない場合には、サポートWebサイトのQ&Aもご覧ください。
  サポートWebサイト　http://www.jrcphs.jp/
  このサイトへはパソコンからアクセスしてください。

■USBドライバが誤認識された場合の対処法 （Windows XPおよびWindows 2000）

インストールを中断し、USBドライバが誤認識されてしまった場合は、デバイスマネージャから誤認識された「USB Device」を削除し、再度USBドライバのインストールを行います。（下記の画面はWindows XPの場合の例ですが、操作はWindows 2000の場合も同様です。）

1 パソコンと本電話機の電源を入れ、USBケーブルで接続する

2 デバイスマネージャを表示させる

（Windows XPの場合：☞10-6ページの手順6～7、Windows 2000の場合：☞10-9ページの手順8～9）

3 「モデム」アイコンの先頭の「＋」をクリックする

先頭に「！」の付いた「USB Device」が表示されています。

4 「USB Device」を右クリックし、[削除]を選択する

5 [OK] をクリックする

6 「USB Device」が消えていることを確認する

以上の操作のあと、再度USBドライバのインストールを行ってください。

通信方式を設定する

64kPIAFSの選択

64kPIAFS通信の方式を、ベストエフォート方式とギャランティー方式から選択します。ウィルコムと公衆サービスの契約をされている場合は、ベストエフォートに設定してください。

1 待ち受け画面で Menu（Menuボタン）8 7 と押す

データ通信方式選択画面が表示されます。

2 ◎を押して、通信方式を選択する

ベストエフォート

プロバイダがPIAFS 2.1版に準拠している場合に選択します。
つながりやすく切れにくい通信方式です。

ギャランティ

プロバイダがPIAFS 2.0版に準拠している場合に選択します。

3 ◯（決定）を押す

お知らせ

- お買い上げ時、データ通信方式は「ベストエフォート」に設定されています。他の事業者と公衆サービスの契約をされている場合は、各事業者にご確認のうえ、必要に応じて「ギャランティ」に設定してください。ウィルコムと契約されている場合は「ギャランティ」はご利用になれません。
- オフィスモードで使用する場合は、オフィスシステム（PBX）が対応している方式を設定してください。「オフィスモードで使う」（☞13-4ページ）
- 本機能を「ベストエフォート」に設定している場合でも、アクセスポイントの電話番号の末尾に「##41」が入力されているときは、ギャランティ方式で発信します。また「ギャランティ」に設定している場合、アクセスポイントの電話番号の末尾に「##4」が入力されているときは発信できません。「ダイヤルアップを設定する」（☞9-29ページ）「通信方式の設定」（☞10-15ページ）
- フォールバック機能（64kギャランティ方式での発信の際、64kbpsで通信ができない場合に自動的に32kbpsに通信速度を落としてリダイヤルする機能）には対応していません。

通信方式の設定

本電話機での通信方式の設定とは別にパソコン側で、どのアクセスポイントに接続するかによって、通信ソフトの設定を変える必要があります。

▶ パソコンの通信ソフトの設定を変えるには

パソコンなどでアクセスポイントの電話番号を入力するとき、続けて下表の番号を入力します。

アクセスポイント	電話番号に続けて
4x パケット方式※、2x パケット方式※	##64
1x パケット方式※	##61
64kPIAFS（ベストエフォート）	##4
64kPIAFS（ギャランティー）	##41
32kPIAFS	##3
フレックスチェンジ方式※	##7

発信者番号通知の設定に関係なく本電話機の電話番号がアクセスポイントに通知されますので、あらかじめご了承ください。「発信者番号通知を設定する（発信者番号通知）」（☞ 11-2ページ）

※ 4xパケット方式、2xパケット方式、1xパケット方式、フレックスチェンジ方式対応の料金コースをご利用のお客さまは、32kPIAFS、64kPIAFS で通信を行う場合、パケットごとの課金ではなく時間で課金されるため、別途料金が発生しますのでご注意ください。

お知らせ

- データ通信を行うための詳しい設定や操作は、お買い求めのパソコン、PDA、通信ソフトの取扱説明書をご覧ください。なお、ダイヤルアップの設定については、付属のCD-ROMの「WX220J ダイヤルアップ設定ガイド」をご覧ください。
- 64kPIAFS 方式をご利用になる場合は、「64kPIAFSの選択」（☞ 10-14ページ）もご覧ください。

データ通信で発信する

1 USBケーブルで接続したパソコンでデータ通信の発信操作をする

通信方式の種別がアイコンと文字で表示され、発信先の電話番号が点滅します。

● 表示されるアイコン

PT：4xパケット方式／ 2xパケット方式／ 1xパケット方式
64K BE：64kPIAFS（ベストエフォート）
64K GR：64kPIAFS（ギャランティ）
32K PIAF：32kPIAFS
64K FC：フレックスチェンジ方式

アクセスポイントに接続すると、画面に通信時間が表示されます。

2 パソコンから切断操作をする

画面に「通信終了」と表示され、待ち受け画面に戻ります。

ご注意

- 本電話機をパソコンと接続してパソコンでデータ通信を行っている最中は、電話機単体でのインターネット接続やEメールの送受信はできません。
- 電話機単体でインターネット接続やEメールの送受信を行っている最中は、本電話機をパソコンと接続してのパソコンでのデータ通信はできません。

ダイヤルアップ接続時に「エラー 692:」のメッセージが表示され、接続できない場合の対処法（Windows XP）

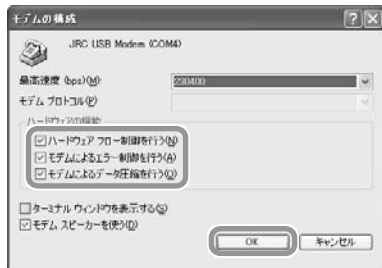
インストールされたUSBドライバの、モデムに対するハードウェア設定を変更します。

1 パソコンと本電話機の電源を入れ、USBケーブルで接続する

2 ［スタート］メニューから［接続］→［すべての接続の表示］を選択し、利用するダイヤルアップ接続のアイコンを右クリックし、「プロパティ」を選択する

3 ［構成］をクリックする

4 「ハードウェアの機能」の項目にチェックが入っているかどうかを確認し、［OK］をクリックする

チェックが入っていない場合は、下の画面のようにすべてにチェックを入れてください。

5 ［OK］をクリックする

パソコン接続中に着信する

本電話機をパソコンと接続しているときに、データ着信があった場合、着信操作はパソコン側で行います。

1 着信音が鳴る

公衆モードで設定した着信音が鳴ります。「着信音やアラームを設定する」(☞7-49ページ)
着信LEDが点滅します。

▶ USBケーブル未接続のときには

[PWR☎]を押すか、USBケーブルを接続してパソコンで着信の操作をするまでは、着信音が鳴り続けます。[☎]での応答はできません。

2 パソコン側でデータ着信の操作を行う

通信が開始されると、画面に通信時間が表示されます。

お知らせ

- USBケーブルでパソコンと接続されていない状態で、相手から着信があったときに応答せずに相手側からの着信が切れると、不在着信となり、待ち受け画面に「 」が点灯します。相手の電話番号などが着信履歴に記録されます。「記録されている電話番号にかける(リダイヤル／着信履歴／ダイヤルメモ)」(☞7-5ページ)

パソコンを使って電話をかける

USB ケーブルで接続したパソコン上のターミナルアプリケーションなどから、電話をかけることができます。

1 パソコン側で「ATD＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊##0」と入力する

「＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊」は相手の電話番号です。
相手が電話に出ると、本電話機から電話をかけたときと同じように、本電話機で通話できます。

2 通話が終了したら、本電話機の [PWR] を押す（または相手が通話を切る）

本電話機に「終話」と表示され、待ち受け画面に戻ります。

お知らせ

● 以下の場合は、パソコンから電話をかけることはできません。
- 本電話機をグループモードまたは電話帳転送モードに設定している場合 「利用するモードを選ぶ」（☞13-2ページ）
- USB制限を「ON」に設定している場合 「USB接続を制限する」（☞11-21ページ）
- 発信制限を「ON」に設定していて、電話帳に登録されていない番号の場合 「発信を制限する」（☞11-22ページ）
- 先頭一致発信許可を設定していて、登録されている番号と不一致の場合 「先頭一致発信を許可する」（☞11-23ページ）
- ダイヤルをロックしている場合 「ダイヤルをロックする」（☞11-10ページ）
- リモートロックが実行されている場合 「紛失／盗難時に電話機をロックする（リモートロック）」（☞11-12ページ）

● キーロックを設定していても、パソコンから電話をかけることができます。「ボタン操作をロックする（キーロック）」（☞11-9ページ）

● 通話中に、パソコン上のアプリケーションを終了したり[切断]をクリックした場合、またはUSBケーブルを抜いた場合でも、通話は継続されます。

● パソコンからかけた電話番号は、本電話機のリダイヤル（発信記録）に記録されます。

● パソコンから電話をかけるときも、分計発信を利用できます。「料金分計サービスを利用する（有料）」（☞12-38ページ）

● パソコンから電話を受けることはできません。

11

セキュリティ（安全）

発信者番号通知を設定する（発信者番号通知）

発信者の電話番号を表示する機能を持つ電話機にかけたとき、本電話機の電話番号を相手の電話機の画面に表示するかどうかを設定できます。

1 待ち受け画面で Menu （Menuボタン）8 5 と押す

発信設定の画面が表示されます。

2 ◎を押して、「1.発信者番号通知」を選択する

3 ◯（決定）を押す

4 ◎を押して、「1.ON」または「2.OFF」を選択する

5 ◯（決定）を押す

「設定しました」と表示され、待ち受け画面に戻ります。

お知らせ

- お買い上げ時は「ON」に設定されています。

番号非通知の電話を受けない（発番号非通知ガード）

発信者番号が通知されない電話がかかってきたときに、着信音を鳴らさずに相手に非通知メッセージを流すことができます。番号非通知の理由ごとに設定します。

1 待ち受け画面で Menu （Menuボタン）8 6 と押す

2 を押して「1.発番号非通知ガード」を選択し、○（決定）を押す

発番号非通知ガードの設定画面が表示されます。

3 を押して、設定したい非通知理由を選択する

ユーザ非通知

相手が発信者番号非通知を設定しているとき

公衆電話発信

相手が公衆電話からかけてきたとき

通知不可能

相手が国際電話など通知サービスのない電話回線を使ってかけてきたとき

4 ○（決定）を押す

5 を押して、「1.ON」を選択する

6 ○（決定）を押す

「設定しました」と表示され、手順2の発番号非通知ガードの設定画面に戻ります。
続けて他の項目を設定するときは、手順3から操作を繰り返します。

■発番号非通知ガードを設定すると

番号非通知の電話がかかってくると

着信音を鳴らさずに、相手に非通知メッセージを流します。
画面には「非通知メッセージ再生中」というメッセージと非通知理由が表示されます。メッセージの再生が終了すると切断します。非通知メッセージの再生中は を押して電話にでることができます。

番号非通知でライトメールが送られてくると

ライトメールを受信せず、相手に非通知メッセージを流します。

番号非通知のデータ着信があると

着信を切断します。

番号非通知のデータ着信を除き、着信のあったことは不在着信として着信履歴に記録されます。

お知らせ

- 本機能の設定にかかわらず、Eメール自動受信を設定している場合には、Eメールは受信されます。「Eメール自動受信機能を設定する」（☞8-33ページ）
- 本機能は、ウィルコムが提供する番号非通知ガードサービスとは異なります。
- お買い上げ時は、すべて「OFF」に設定されています。

特定の番号からの電話を受けない（着信拒否）

着信を拒否したい相手の電話番号を登録します。
電話番号を登録すると、登録した相手から電話がかかってきたり、ライトメールやデータが送られてきたときに、応答しないようにすることができます。着信音やバイブレータは動作せず、相手側には“ツーツーツー”という音が聞こえます。登録件数は10件までです。
着信拒否に登録した相手からの着信は、着信履歴に残りません。

着信拒否番号を登録する

1 待ち受け画面で Menu（Menuボタン）や8 は6 と押す

着信設定の画面が表示されます。

2 ◎を押して「2.着信拒否」を選択し、◯（決定）を押す

着信拒否番号の一覧が表示されます。電話帳に登録されている番号は名前が表示されます。
未登録の番号は「〈未登録〉」と表示されます。

▶ **登録されている番号を確認するには**

◎を押して確認したい番号を選択し、◯（決定）を押す
元の画面に戻るには Web（戻る）を押します。

3 Menu（メニュー）を押す

4 ◎を押して「1.登録」を選択し、◯（決定）を押す

5 ダイヤルボタンで着信拒否したい相手の番号を入力する

▶ **電話帳から入力する場合**

Menu（メニュー）を押し、◎を押して「1.電話帳」を選択し、◯（決定）を押す
「電話帳を使って電話をかける」（☞7-36ページ）

▶ **リダイヤル／着信履歴から入力する場合**

Menu（メニュー）を押し、◎を押して「2.リダイヤル」または「3.着信履歴」を選択し、◯（決定）を押す
「リダイヤル／着信履歴／ダイヤルメモで電話をかける」（☞7-6ページ）

▶ **先頭数桁の番号が一致したときに拒否する場合**

拒否する番号に続けて ＊ を押す
たとえば「070＊」と入力すると、先頭3桁が「070」の着信を拒否できます。

6 ◯（決定）を押す

登録が完了し、「設定しました」と表示されたあと、手順2の着信拒否番号の一覧に戻ります。

お知らせ

- すでに着信拒否番号が10件登録されているときは、登録することができません。
- 海外からの電話番号も登録することができます。

着信拒否番号を消去する

1 着信拒否番号の一覧を表示させる

「着信拒否番号を登録する」（☞11-4ページ）の手順1～2

2 ◎を押して消去したい番号を選択する

3 Menu（メニュー）を押す

4 ◎を押して「2.個別消去」を選択し、◯（決定）を押す

5 ◎を押して、「1.はい」を選択する

▶ 消去を中止するとき

「2.いいえ」を選択し、◯（決定）を押す

6 ◯（決定）を押す

選択した着信拒否番号が消去され、「消去しました」と表示されたあと、手順1の着信拒否番号の一覧に戻ります。

通話や通信中の着信を設定する（通信中着信）

通話またはデータ通信中に新しい着信があったとき、着信を通知したり新しい着信に切り替えたりすることができます。

1 待ち受け画面で Menu（Menuボタン）8 6 と押す

2 ◎を押して「3.通信中着信」を選択し、○（決定）を押す

3 ◎を押して「1.ON」または「2.OFF」を選択する

4 ○（決定）を押す

「設定しました」と表示され、待ち受け画面に戻ります。

■動作内容

通信中着信を「ON」に設定すると、通信の内容によって次の動作になります。Eメール通信中や通信中着信が「OFF」のときは、新しい着信には対応できません。

通信中の内容＼新しい着信の内容		音声	ライトメール	Eメール自動受信通知	PIAFS	着信型位置情報通知	非サポートのユーザ・ユーザ方式
通話		△ ※1	×	△ ※2	△ ※3	△ ※4	△ ※5
PIAFS ※6		△	×	△	△	△	△
パケット方式		○	○	○	○	○	○
フレックスチェンジ方式	PIAFS ※6	△	×	△	△	△	△
	パケット方式	○	○	○	○	○	○

○　：新しい着信に切り替えることができます。切り替えた着信を切断すると、待ち受け画面に戻ります。
△　：新しい着信が通知されます。
×　：新しい着信には対応できません。着信履歴も記録されません。
※1：通知音が鳴り、バックライトが点灯（設定が「OFF」のときは微灯）し、「着信がありました」というメッセージと電話番号が表示されます。着信履歴には「不在着信（音声）」と記録されます。メッセージは クリア/マナー で消すことができます。メッセージを消さずに通信を切断すると、待ち受け画面に「☎」が表示され、リマインダーを「ON」に設定しているときは着信LEDが点滅します。
※2：通知音が鳴り、バックライトが点灯（設定が「OFF」のときは微灯）し、「センターにEメールあり　XXX」というメッセージが表示されます（「XXX」はメールアカウントのセンター名称で、情報があるときだけ表示されます）。着信履歴は記録されません。メッセージは クリア/マナー で消すことができます。通信の切断後にEメールは自動的に受信され、メッセージは消えます。
※3：通知音が鳴り、バックライトが点灯（設定が「OFF」のときは微灯）し、「データ着信がありました」というメッセージと電話番号が表示されます。着信履歴に「不在着信（データ）」と記録されます。USB接続中でも、着信履歴に記録されます。メッセージは クリア/マナー で消すことができます。メッセージを消さずに通信を切断すると、待ち受け画面に「💻」が表示され、リマインダーを「ON」に設定しているときは着信LEDが点滅します。

※4：自動位置情報送出機能が「ON」のときに、新しい着信が通知されます。
通知音が鳴り、バックライトが点灯（設定が「OFF」のときは微灯）し、「位置情報通知着信がありました」というメッセージが表示されます。着信履歴は記録されません。メッセージは [クリア/マナー] で消すことができます。メッセージを消さずに通信を切断すると、メッセージは消えます。
※5：「音声」時と同じ動作になります。
※6：「通話」時と同じ動作になります。ただし、通知音は鳴りません。また、本電話機でPIAFS通信（Web閲覧）中のときは、バックライトは点灯（設定が「OFF」のときは微灯）しますが、メッセージ等の通知は表示されません。

お知らせ

- お買い上げ時は「ON」に設定されています。
- 「通信中着信」を「ON」に設定していても、他機能の設定により、通話中またはPIAFS通信中の動作は次のようになります。
  - 「発番号非通知ガード」を「ON」に設定しているときは、通知処理は行われません。着信履歴には「ユーザ非通知」、「公衆電話発信」または「通知不可能」として記録されます。「番号非通知の電話を受けない（発番号非通知ガード）」（☞11-3ページ）
  - 「着信拒否」として登録してある電話番号を着信したときは、通知処理は行われません。着信履歴にも記録されません。「特定の番号からの電話を受けない（着信拒否）」（☞11-4ページ）
  - 留守録や安全運転モードが設定されているときでも、通信中着信は動作します。「留守録を設定する」（☞7-55ページ）、「安全運転モードを設定する」（☞7-47ページ）
  - ライトメールをリモート着信したときは、通知処理は行われません。サブアドレス付き発信をリモート着信したときは、「音声」着信時と同じ動作になります。
  - 国際ローミングメールを着信したときは、通知処理は行われません。
  - 「Eメール制限」を「ON」に設定していても、通知処理は行われます。「Eメールを制限する」（☞11-20ページ）
  - 保留中、通話録音中など、通話中に他の機能が動作しているときは、通知音が鳴らない場合があります。
- 「通信中着信」を「ON」に設定していても、通信状況によっては着信できない場合があります。

暗証番号を設定する

ダイヤルロック、オートロック、電話帳ロックを設定／解除するときには暗証番号の入力が必要です。
暗証番号は、1～6桁の数字で設定します。お買い上げ時は「0000」に設定されています。

1 待ち受け画面で Menu（Menuボタン）9 6 と押す

2 ◎を押して「1.暗証番号」を選択し、◯（決定）を押す

暗証番号の入力画面が表示されます。

3 ダイヤルボタンで現在の暗証番号を入力する

入力した番号は「*」と表示されます。

4 ◯（決定）を押す

暗証番号が間違っているときは、「暗証番号が違います」と表示され、待ち受け画面に戻ります。

5 ダイヤルボタンで新しい暗証番号を入力する

入力した番号は「*」と表示されます。

6 ◯（決定）を押す

7 確認のため、もう一度新しい暗証番号をダイヤルボタンで入力する

入力した番号は「*」と表示されます。

8 ◯（決定）を押す

新しい暗証番号に設定され、「設定しました」と表示され、待ち受け画面に戻ります。

▶ 確認の暗証番号が間違っていたとき

エラー音が鳴り、入力した暗証番号が消えます。
もう一度、手順7に従って、手順5で入力した新しい暗証番号を入力してください。

お知らせ

- 設定した暗証番号をお忘れになったときは、電話機本体とウィルコム契約申込書の控え、または契約されたご本人であることを確認できるもの（運転免許証など）をご準備のうえ、お問い合わせ窓口へお申し出ください。「お問い合わせ窓口」（☞A-27ページ）
- 管理者パスワードについては、「管理者ロック機能の設定をする」（☞11-18ページ）を参照してください。

ボタン操作をロックする（キーロック）

鞄に入れて持ち運ぶときなどに、誤ってボタンが押されても動作しないようにロックできます。

キーロックを設定する

1 キーロックスイッチを上げる

待ち受け画面に「キーロック」と表示されます。
キーロックスイッチは本体右側の側面にあります。「各部の名前」（☞ 1-8ページ）

▶ 操作中の画面でキーロックスイッチを上げたとき

すぐにキーロック状態にはならず、待ち受け画面に戻ったときにキーロック状態になります。

キーロックを解除する

1 キーロックスイッチを下げる

「キーロック」の表示が消えます。

お知らせ

- キーロック中でもかかってきた電話は受けることができます。
- キーロック中は、PWR を押して電源を切ることができません。
- キーロック中も、PWR を押して電源を入れることができます。
- キーロック中にボタンが押された場合、「キーロック中微灯」の設定にしたがってバックライトが微灯になります。「キーロック中微灯を設定をする」（☞ 12-9ページ）

ダイヤルをロックする

他の人に無断で利用されないようにダイヤルをロックして、電話をかけられないようにできます。ダイヤルロックを設定するには、暗証番号の入力が必要になります。お買い上げ時の暗証番号は「0000」に設定されています。暗証番号は変更することができます。「暗証番号を設定する」(☞11-8ページ)

ダイヤルロックを設定する

1　待ち受け画面で Menu (Menuボタン) #　と押す

2　ダイヤルボタンで暗証番号を入力する

入力した番号は「*」と表示されます。

3　◯ (決定) を押す

ダイヤルロックが設定され、「ダイヤルロックを設定しました」と表示されます。
待ち受け画面には「 」が点灯します。

■ダイヤルオートロック中でも

- かかってきた電話に出ることができます。
- 110番、118番、119番の緊急通報に電話をかけることができます。

お知らせ

- 暗証番号が一致しないと、エラー音が鳴ります。もう一度暗証番号を入力してください。3回続けて間違った暗証番号を入力すると、自動的に電源が切れます。

ダイヤルロックを解除する

1　待ち受け画面で、ダイヤルボタンで暗証番号を入力する

入力した番号は「*」と表示されます。

2　◯ (決定) を押す

ダイヤルロックが解除され、「ダイヤルロックを解除しました」と表示されます。
「 」の表示が消えます。

お知らせ

- 暗証番号が一致しないと、エラー音が鳴ります。もう一度暗証番号を入力してください。3回続けて間違った暗証番号を入力すると、自動的に電源が切れます。

無操作が続いたときにダイヤルロックする（オートロック）

待ち受け画面で一定時間ボタン操作がない場合に自動的にダイヤルロック状態にすることができます。OFF、5分、10分、30分から選択できます。「ダイヤルをロックする」（☞11-10ページ）

オートロックの設定には、暗証番号の入力が必要になります。お買い上げ時の暗証番号は「0000」に設定されています。暗証番号は変更することができます。「暗証番号を設定する」（☞11-8ページ）また、オートロックを使用するには、あらかじめ日付・時刻を設定しておく必要があります。

1 **待ち受け画面で Menu（Menuボタン）9 5と押す**

2 **◎を押して「1.オートロック」を選択し、◯（決定）を押す**

3 **ダイヤルボタンで暗証番号を入力し、◯（決定）を押す**

入力した番号は「＊」と表示されます。

4 **◎を押して時間を選択し、◯（決定）を押す**

設定が完了し、「設定しました」と表示されたあと、待ち受け画面に戻ります。

お知らせ

- お買い上げ時は「OFF」に設定されています。
- リモートロックについては、「紛失／盗難時に電話機をロックする（リモートロック）」（☞11-12ページ）を参照してください。
- 管理者ロックについては、「管理者による制限を行う（管理者ロック）」（☞11-18ページ）を参照してください。

紛失／盗難時に電話機をロックする（リモートロック）

リモートロック機能の概要

本電話機をどこかに置き忘れたり紛失したりした場合、個人情報の漏洩や電話機の悪用などを防ぐために、「リモートロック」機能を利用できます。
他の電話機から本電話機にコマンド（命令）を送ることで、電話機をロックして使用できなくしたり、登録されているデータを消去したりできます。

■リモートロック機能でできる処理

①リモートロック
電話機をロックして、ほとんどの操作ができないようにします。
着信を受けて通話することや、電源のON・OFFは可能ですが、発信、メール作成・送信はできなくなります。電話帳やリダイヤル／着信履歴などを見ることもできません。また、エニーキーアンサーの設定も無効になります。「エニーキーアンサー」（☞12-11ページ）

②リモートロック＋消去
①に加え、電話機に登録されているデータ・設定情報を、一括して消去・初期化します。消去・初期化される項目は、「完全消去＋初期化」で消去・初期化される項目とほぼ同じです。「完全消去＋初期化」（☞11-27ページ）ただし、以下の4項目は初期化されません。
・暗証番号（☞11-8ページ）
・リモートロック設定（☞11-13ページ）
・管理者パスワード（☞11-18ページ）
・管理者ロック設定（☞11-18ページ）

③リモートロック解除
リモートロックを解除し、通常の操作ができる状態に戻します。

■リモートロックの実行

上記①～③の各処理は、以下のいずれかの方法でコマンドを送ることにより実行します。
・サブアドレス付き発信（サブアドレス通知可能なPHS電話機や、ISDN公衆電話機などのISDN対応電話機から）
・ライトメール送信（ライトメール対応のPHS電話機から）
- コマンドを送ると、本電話機はコマンド実行待ちの状態になります。その後、本電話機に対しキー入力・USBケーブル抜き差しなどの操作がされた時点で、コマンドが実行され、上記①②の場合は待ち受け画面の下部に「☆☆☆☆☆☆☆」と表示されます。

お知らせ

- リモートロックを実行すると、以下の機能は無効になります。
  ・着信者表示機能、指定着信音機能、ピクチャー表示機能（☞7-30ページ）
  ・留守録（☞7-55ページ）
- リモートロックを実行すると、目覚まし音、スケジュールのアラーム音は鳴らなくなります。
- リモートロックを実行すると、設定されていた壁紙は非表示になります。ロックを解除すると再表示されます。
- 「リモートロック」、「リモートロック＋消去」のコマンドを送信した場合も、キー入力などの操作がされないうちに「リモートロック解除」のコマンドを送信すれば、前のコマンドは無効となり、ロックやデータ消去は実行されません。
- 悪意のあるいたずらや操作の誤りなどにより、リモートロック機能でデータが消去された場合でも、当社としては責任を負いかねます。第三者にリモートロック機能を使用されたくない場合は、設定をOFFにしてください。
- リモートロックは、ウィルコムのオンラインサポート（My WILLCOM）からも実行することができます。

リモートロック機能の設定をする

リモートロック機能を利用する準備として、パスワードを設定します。また、サブアドレス付き発信による操作、ライトメールによる操作について、それぞれ設定を行います。

リモートロック設定画面を表示する

リモートロック機能に関する設定は、リモートロック設定画面から行います。
リモートロック設定画面は以下の手順で表示します。

1 待ち受け画面で Menu（Menuボタン）9 5 と押す

2 ◎を押して「2.リモートロック」を選択し、◯（決定）を押す

暗証番号の入力画面が表示されます。

3 ダイヤルボタンで暗証番号を入力する

ここで入力するのは、「暗証番号を設定する」（☞11-8ページ）で設定した暗証番号です。
入力した番号は「＊」と表示されます。

▶ 暗証番号を修正するには

最後の1桁を消す：クリア/マナー を押す
すべての桁を消す：クリア/マナー を約1秒以上押す

4 ◯（決定）を押す

リモートロック設定画面が表示されます。

お知らせ

- 暗証番号が一致しないと、エラー音が鳴り、「暗証番号が違います」と表示された後、待ち受け画面に戻ります。

パスワードを設定する

最初に、リモートロック機能用のパスワードを設定します。
パスワードは、4～8桁の数字で設定します。
実際にリモートロック機能を使う際には、ここで設定したパスワードを入力して命令（コマンド）を送ることになります。

1 リモートロック設定画面で、◎を押して「1.パスワード設定」を選択し、◯（決定）を押す

パスワードの入力画面が表示されます。

2 ダイヤルボタンでパスワードを入力する

▶ パスワードを修正するには

最後の1桁を消す：クリア/マナー を押す
すべての桁を消す：クリア/マナー を約1秒以上押す

3 ◯（決定）を押す

「設定しました」と表示され、リモートロック設定画面に戻ります。

お知らせ

- 設定したパスワードを忘れないようご注意ください。忘れると、本電話機を紛失などした場合にリモートロック機能が使用できません。

サブアドレス付き発信でのリモートロックの設定をする

サブアドレス付き発信によってリモートロックなどの操作ができるように設定します。
特定の電話番号（許可電話番号）からの操作だけを受け付けるよう設定することもできます。許可電話番号は2件まで登録できます。

- 許可電話番号を登録しない場合は、どの電話番号からでも操作が実行できます。

1 リモートロック設定画面で、◎を押して「3.サブアドレス起動」を選択し、◯（決定）を押す

サブアドレス起動設定画面が表示されます。

▶ パスワードが未設定のとき

リモートロック機能用のパスワードが未設定の場合、「3.サブアドレス起動」は選択できません。先にパスワードを設定してください。「パスワードを設定する」（☞11-13ページ）

2 ◎を押して「1.ON」を選択し、◯（決定）を押す

許可電話番号の設定画面が表示されます。

▶「2.OFF」を選択したとき

「設定しました」と表示され、リモートロック設定画面に戻ります。（この場合、サブアドレス付き発信での操作は実行できません。）

3 許可電話番号を設定する場合は手順4に、設定しない場合は手順8に進む

4 ◎を押して「1.許可電話番号1」を選択し、◯（決定）を押す

電話番号の入力画面が表示されます。

5 ダイヤルボタンで電話番号を入力する

電話番号は32桁まで入力できます。

▶ 電話番号を修正するには

最後の1桁を消す：クリア/マナー を押す
すべての桁を消す：クリア/マナー を約1秒以上押す

▶ 設定済みの許可電話番号を未登録に戻すには

設定されている電話番号を消し、未入力の状態にしてから、手順6に進む

6 ◯（決定）を押す

「設定しました」と表示され、手順2の許可電話番号の設定画面に戻ります。

7 必要であれば、手順4〜6の要領で「2.許可電話番号2」を同様に設定する

8 設定が完了したら PWR を押す

待ち受け画面に戻ります。

ライトメールでのリモートロックの設定をする

ライトメールでリモートロックなどの操作ができるように設定します。
特定の電話番号（許可電話番号）からの操作だけを受け付けるよう設定することもできます。許可電話番号は2件まで登録できます。

● 許可電話番号を登録しない場合は、どの電話番号からでもライトメールで操作が実行できます。

1 リモートロック設定画面で、◎を押して「2.ライトメール起動」を選択し、◯（決定）を押す

ライトメール起動設定画面が表示されます。

▶ パスワードが未設定のとき

リモートロック機能用のパスワードが未設定の場合、「2.ライトメール起動」は選択できません。先にパスワードを設定してください。「パスワードを設定する」（☞11-13ページ）

2 ◎を押して「1.ON」を選択し、◯（決定）を押す

許可電話番号の設定画面が表示されます。

▶「2.OFF」を選択したとき

「設定しました」と表示され、リモートロック設定画面に戻ります。（この場合、ライトメールでの操作は実行できません。）

3 許可電話番号を設定する場合は手順4に、設定しない場合は手順8に進む

4 ◎を押して「1.許可電話番号1」を選択し、◯（決定）を押す

電話番号の入力画面が表示されます。

5 ダイヤルボタンで電話番号を入力する

電話番号は32桁まで入力できます。

▶ 電話番号を修正するには

最後の1桁を消す：クリア/マナーを押す
すべての桁を消す：クリア/マナーを約1秒以上押す

▶ 設定済みの許可電話番号を未登録に戻すには

設定されている電話番号を消し、未入力の状態にしてから、手順6に進む

6 ◯（決定）を押す

「設定しました」と表示され、手順2の許可電話番号の設定画面に戻ります。

7 必要であれば、手順4～6の要領で「2.許可電話番号2」を同様に設定する

8 設定が完了したらPWRを押す

待ち受け画面に戻ります。

リモートロックを実行する

本電話機を紛失などした場合に、他の電話機からのサブアドレス付き発信またはライトメールにより、リモートロックやデータ消去を実行します。

サブアドレス付き発信で実行する

サブアドレス通知可能なPHS電話機や、ISDN公衆電話機などのISDN対応電話機から発信することにより、本電話機に対しリモートロックなどの操作を実行します。
本電話機の電話番号のあとに、サブアドレスとしてコマンド文字列を入力し、発信します。

- 本電話機が、特定の電話番号（許可電話番号）からの操作だけを受け付けるよう設定されている場合は、その電話番号の電話機から発信する必要があります。
  「サブアドレス付き発信でのリモートロックの設定をする」（☞11-14ページ）
- 上記の場合、許可電話番号から発信しても、発信者番号が非通知または通知不可能になっていると、操作は実行されません。

■コマンド文字列

操作の種類	コマンド文字列
①リモートロック	01xxxxxxxx
②リモートロック＋消去	03xxxxxxxx
③リモートロック解除	00xxxxxxxx

xxxxxxxxは、リモートロック機能用のパスワードを示します。
「パスワードを設定する」（☞11-13ページ）

■入力例

たとえば､電話番号｢070-1234-XXXX｣､設定パスワード｢1234567｣の電話機に対してリモートロックを実行する場合は、下記のように入力し、発信します。

0701234XXXX＊011234567

電話番号とサブアドレスの間の区切り記号（上記の例の「＊」）は、電話機によって異なります。発信に使用する電話機の取扱説明書を参照してください。

お知らせ

- 受信側の電話機（本電話機）が電波の届かない場所（圏外）にある場合や、電源が入っていない場合、この機能は使用できません。
- 受信側の電話機（本電話機）の待受モードが「グループモード」または「電話帳転送モード」になっている場合、この機能は使用できません。
- コマンド文字列は正しく入力してください。間違いがあると、リモートロックなどの操作は実行されません。
- この機能でコマンドを送った場合、受信側の電話機（本電話機）に着信履歴は残りません。また、受信時に着信音は鳴りません。着信LED、リマインダーも点灯しません。
- 正しいコマンドが送信されると、送信側の電話機には「ピポ」という確認音が聞こえます。
- オフィスモードの場合、使用しているオフィスシステム（PBX）によっては、確認音が鳴らないことがあります。

ライトメールで実行する

他の電話機からライトメールでコマンド（命令）を送ることにより、本電話機に対しリモートロックなどの操作を実行します。
ライトメールの宛先に本電話機の電話番号を、本文にコマンド文字列を入力して送信します。

- 本電話機が、特定の電話番号（許可電話番号）からの操作だけを受け付けるよう設定されている場合は、その電話番号の電話機からライトメールを送る必要があります。
「ライトメールでのリモートロックの設定をする」（☞11-15ページ）
- 上記の場合、許可電話番号からライトメールを送っても、発信者番号が非通知または通知不可能になっていると、操作は実行されません。

■コマンド文字列

操作の種類	コマンド文字列
①リモートロック	ソウサ 1xxxxxxxx
②リモートロック＋消去	ソウサ 3xxxxxxxx
③リモートロック解除	ソウサ 0xxxxxxxx

コマンド文字列は、全角・半角のどちらでも有効です。
xxxxxxxxは、リモートロック機能用のパスワードを示します。
「パスワードを設定する」（☞11-13ページ）

■入力例

たとえば、電話番号「070-1234-XXXX」、設定パスワード「1234567」の電話機に対してリモートロックを実行する場合は、ライトメールの画面で宛先に「0701234XXXX」、本文に「ソウサ11234567」と入力し、送信します。
ライトメール送信の操作の詳細については、「ライトメールを使用する」（☞8-43ページ）を参照してください。

お知らせ

- 受信側の電話機（本電話機）が電波の届かない場所（圏外）にある場合や、電源が入っていない場合、この機能は使用できません。
- 受信側の電話機（本電話機）の待受モードが「グループモード」または「電話帳転送モード」になっている場合、この機能は使用できません。
- コマンド文字列は正しく入力してください。間違いがあると、リモートロックなどの操作は実行されません。
- コマンド文字列に他の文字（空白、改行を含む）を入力したり、アニメーションをつけて送信したりすると、正しいコマンドとして認識されません。
- コマンド送信用のライトメールおよびその着信履歴は、受信側の電話機（本電話機）には残りません。また、受信時に着信音は鳴りません。着信LED、リマインダーも点灯しません。
- ライトメールが正常に送信されると、送信側の電話機にはライトメール送信完了画面が表示されますが、これは必ずしも受信側の電話機（本電話機）がコマンドを正しく受信したことを示すものではありません。

管理者による制限を行う（管理者ロック）

管理者ロック機能の概要

「管理者ロック」の機能を利用して、本電話機で使用できる以下の機能を制限することができます。
・Eメール機能
・Web機能
・ダイヤルアップ機能
・USB接続機能
・発信機能
・着信機能

■管理者ロック機能でできる処理

管理者ロックでは、Eメールの送受信、Web接続、USB接続などの機能を使用できないようにしたり、ダイヤルアップの接続先をウィルコムに限定したりできます。また、電話帳に登録されている番号に限定して発着信を許可したり、電話番号の先頭の数桁が、あらかじめ登録した番号と一致する場合のみ発信を許可したりするなど一部の機能を制限することができます。

お知らせ

- 管理者ロック機能を利用するには、管理者パスワードの入力が必要です。「管理者パスワードを設定する」（☞同じページ内です。）
- 管理者パスワードと管理者ロックの各種設定は、完全消去＋初期化をすると初期値に戻ります。「完全消去＋初期化する」（☞11-28ページ）
- 管理者ロック機能をご利用になる場合は、目的とする制限がかかる事を実際に動作確認いただいた後に、ご利用いただきますようお願い致します。設定の誤りや、動作確認を行っていなかったことにより、目的とする制限がかからなくても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

管理者ロック機能の設定をする

管理者ロック機能を利用するには、管理者パスワードの入力が必要です。
管理者ロック機能の設定には、Eメール制限、Web制限、ダイヤルアップ制限、USB制限、発信制限、着信制限、先頭一致発信許可があります。

管理者パスワードを設定する

管理者ロックの設定や完全消去＋初期化を実行するには、管理者パスワードの入力が必要です。
管理者パスワードは、４～８桁の数字で設定します。お買い上げ時は「0000」に設定されています。

1 待ち受け画面で Menu（Menuボタン）9 6 と押す

2 ◎を押して「2.管理者パスワード」を選択し、◯（決定）を押す

管理者パスワードの入力画面が表示されます。

3 ダイヤルボタンで現在の管理者パスワードを入力する

入力した番号は「＊」と表示されます。

4 ◯（決定）を押す

管理者パスワードが間違っているときは、「管理者パスワードが違います」と表示され、待ち受け画面に戻ります。

5 ダイヤルボタンで新しい管理者パスワードを入力する

入力した番号は「＊」と表示されます。

6 ◯（決定）を押す

7 確認のため、もう一度新しい管理者パスワードをダイヤルボタンで入力する

入力した番号は「＊」と表示されます。

8 ◯（決定）を押す

新しい管理者パスワードに設定され、「設定しました」と表示され、待ち受け画面に戻ります。

▶ 確認の管理者パスワードが間違っていたとき

エラー音が鳴り、入力した管理者パスワードが消えます。
もう一度、手順7に従って、手順5で入力した新しい管理者パスワードを入力してください。

お知らせ

- 設定した管理者パスワードをお忘れになったときは、電話機本体とウィルコム契約申込書の控え、または契約されたご本人であることを確認できるもの（運転免許証など）をご準備のうえ、お問い合わせ窓口へお申し出ください。「お問い合わせ窓口」（☞A-27ページ）
- 完全消去＋初期化をすると、管理者パスワードは、お買い上げ時の設定「0000」に戻ります。

管理者ロック設定画面を表示する

管理者ロック機能に関する設定は、管理者ロック設定画面から行います。
管理者ロック設定画面は以下の手順で表示します。

1 待ち受け画面で Menu（Menuボタン）9 5 と押す

2 ◎ を押して「3.管理者ロック」を選択し、◯（決定）を押す

管理者パスワードの入力画面が表示されます。

3 ダイヤルボタンで管理者パスワードを入力する

ここで入力するのは、「管理者パスワードを設定する」（☞11-18ページ）で設定した管理者パスワードです。
入力した番号は「＊」と表示されます。

▶ 管理者パスワードを修正するには

最後の1桁を消す：クリア/マナー を押す
すべての桁を消す：クリア/マナー を約1秒以上押す

4 ◯（決定）を押す

管理者ロック設定画面が表示されます。

お知らせ

- 管理者パスワードが一致しないと、エラー音が鳴り、「管理者パスワードが違います」と表示された後、待ち受け画面に戻ります。

Eメールを制限する

Eメールの送受信とオンラインサインアップができないようにします。「メールアカウントを設定する」(☞8-5ページ)

1 **管理者ロック設定画面で、◎を押して「1. Eメール制限」を選択し、◯（決定）を押す**

Eメール制限設定画面が表示されます。

2 **◎を押して「1.ON」を選択し、◯（決定）を押す**

「設定しました」と表示され、管理者ロック設定画面に戻ります。

お知らせ

- お買い上げ時は「OFF」に設定されています。
- Eメール制限を「ON」に設定した場合、Eメールの送受信やオンラインサインアップをすると、「Eメール制限設定中です」と表示された後、待ち受け画面に戻ります。
- Eメール制限を「ON」に設定した後、ウィルコムのメールサーバーからEメール自動受信の通知を受けた場合は、「センターにEメールが有ります」と表示され、Eメールの受信は行いません。また、待ち受け画面に「 」が点灯します。「 」を選択し、決定をすると「Eメール制限設定中です」のメッセージが表示され「 」の表示は消えます。「Eメールを受信する」(☞8-13ページ)
- Eメール制限を「ON」に設定しても、オフィスモードでのEメール送受信は制限されません。
- Eメール制限を「ON」に設定しても、パソコンからのEメール送受信は制限されません。パソコンからのEメールの送受信も制限する場合は、USB接続の制限も同時に設定してください。「USB接続を制限する」(☞11-21ページ)

Webを制限する

Web接続ができないようにします。

1 **管理者ロック設定画面で、◎を押して「2. Web制限」を選択し、◯（決定）を押す**

Web制限設定画面が表示されます。

2 **◎を押して「1.ON」を選択し、◯（決定）を押す**

「設定しました」と表示され、管理者ロック設定画面に戻ります。

お知らせ

- お買い上げ時は「OFF」に設定されています。
- Web制限を「ON」に設定した場合、Web接続をすると、「Web制限設定中です」と表示された後、待ち受け画面に戻ります。
- Web制限を「ON」に設定しても、オフィスモードでのWeb接続は制限されません。
- Web制限を「ON」に設定しても、パソコンからのWeb接続は制限されません。パソコンからのWeb接続も制限する場合は、USB接続の制限も同時に設定してください。「USB接続を制限する」(☞11-21ページ)

ダイヤルアップを制限する

ウィルコムへのダイヤルアップ接続のみを許可し、ウィルコム以外のプロバイダにダイヤルアップ接続することができないようにします。
ダイヤルアップの接続先の電話番号が、ウィルコムのダイヤルアップ接続の電話番号の先頭9桁と一致した場合のみ、ダイヤルアップ接続が可能になります。

1 管理者ロック設定画面で、◎を押して「3. ダイヤルアップ制限」を選択し、◯（決定）を押す

ダイヤルアップ制限設定画面が表示されます。

2 ◎を押して「1.ウィルコムのみ」を選択し、◯（決定）を押す

「設定しました」と表示され、管理者ロック設定画面に戻ります。

お知らせ

- お買い上げ時は「OFF」に設定されています。
- ダイヤルアップ制限を「ウィルコムのみ」に設定した場合、ウィルコムへのダイヤルアップ番号以外で、Eメール送受信やWeb接続をすると、「ダイヤルアップ制限設定中です」と表示された後、待ち受け画面に戻ります。
- ダイヤルアップ制限を「ウィルコムのみ」に設定しても、オフィスモードでのダイヤルアップ接続は制限されません。
- ダイヤルアップ制限を「ウィルコムのみ」に設定しても、パソコンからのダイヤルアップ接続は制限されません。パソコンからのダイヤルアップ接続も制限する場合は、USB接続の制限も同時に設定してください。「USB接続を制限する」（☞同じページ内です。）

USB接続を制限する

USB接続をして使用する機能（Eメール送受信、Web接続、データ通信、ファイル転送など）への接続ができないようにします。

1 管理者ロック設定画面で、◎を押して「4. USB制限」を選択し、◯（決定）を押す

USB制限設定画面が表示されます。

2 ◎を押して「1.ON」を選択し、◯（決定）を押す

「設定しました」と表示され、管理者ロック設定画面に戻ります。

お知らせ

- お買い上げ時は「OFF」に設定されています。
- USB制限を「ON」に設定した場合、USB接続をして使用する機能を実行しようとすると、パソコン上でエラーとなります。
- USB制限を「ON」に設定した場合でも、USB充電は可能です。

発信を制限する

電話帳に登録されている電話番号（シークレットの電話帳データも含む）のみ、発信とライトメールの送信ができるようにし、それ以外の電話番号への発信ができないようにします。

1 **管理者ロック設定画面で、◎を押して「5. 発信制限」を選択し、◯（決定）を押す**

発信制限設定画面が表示されます。

2 **◎を押して「1.ON」を選択し、◯（決定）を押す**

「設定しました」と表示され、管理者ロック設定画面に戻ります。

お知らせ

- お買い上げ時は「OFF」に設定されています。
- 発信制限を「ON」に設定しても、オフィスモード、グループモードでの発信は制限されません。
- 発信制限を「ON」に設定した場合、電話帳に登録されている電話番号（シークレットの電話帳データも含む）以外に、発信やライトメールの送信をすると、「発信制限設定中です」と表示された後、待ち受け画面に戻ります。また、リダイヤルは残りません。
- 発信制限を「ON」に設定した場合、電話帳の登録、修正、削除、および電話帳の転送はできなくなります。
- 発信制限を「ON」に設定した場合、位置情報通知機能（発信型）の発信も制限されます。発信を許可したい場合は、電話帳に発信先の電話番号を登録してください。「発信型機能を利用する」（☞ 12-23ページ）
- 発信制限を「ON」に設定した場合でも、先頭に184または186を付けて発信することは可能です。
- 発信制限を「ON」に設定した場合でも、以下の発信は可能です。
  110（警察）、116（PSC）、118（海上保安庁）、119（消防等）、141（留守番電話サービスメッセージ有り確認）、143（留守番電話のカスタマーコントロール）、157（データ通信専用窓口）、171（災害時伝言ダイヤル）、＊21（AIR-CONFERENCE）、＊931（留守番電話サービス再生）
- 発信制限を「ON」に設定し、同時に先頭一致発信許可も設定している場合は、電話帳に登録されている電話番号に加えて、先頭一致発信許可で設定した電話番号への発信も可能です。
- 発信制限を「ON」に設定しても、ファイル転送の機能は制限されないため、外部からの電話帳の書き換えを制限するには、USB接続の制限も同時に設定してください。「USB接続を制限する」（☞ 11-21ページ）

着信を制限する

電話帳に登録されている電話番号（シークレットの電話帳データも含む）のみ、着信とライトメールの着信ができるようにし、それ以外の電話番号から着信ができないようにします。

1 管理者ロック設定画面で、◎を押して「6. 着信制限」を選択し、◯（決定）を押す

着信制限設定画面が表示されます。

2 ◎を押して「1.ON」を選択し、◯（決定）を押す

「設定しました」と表示され、管理者ロック設定画面に戻ります。

お知らせ

- お買い上げ時は「OFF」に設定されています。
- 着信制限を「ON」に設定しても、オフィスモード、グループモードでの着信は制限されません。
- 着信制限を「ON」に設定した場合、電話帳に登録されている電話番号（シークレットの電話帳データも含む）以外からの着信があった時は、着信音やバイブレータは動作せず、相手側には“ツーツーツー”という音が聞こえます。着信を制限された相手からの着信は、着信履歴に残りません。
- 着信制限を「ON」に設定した場合、電話帳の登録、修正、削除、および電話帳の転送ができなくなります。
- 着信制限を「ON」に設定した場合でも、110（警察）、118（海上保安庁）、119（消防等）からの着信は可能です。また、ウィルコムからのメール通知は着信できます。
- 電話帳に登録されている電話番号からの着信でも、着信拒否が設定されている相手から電話がかかってきたり、ライトメールが送られてきたりしたときには、着信を拒否します。「特定の番号からの電話を受けない（着信拒否）」（☞11-4ページ）
- 着信制限を「ON」に設定しても、ファイル転送の機能は制限されないため、外部からの電話帳の書き換えも制限するには、USB接続の制限も同時に設定してください。「USB接続を制限する」（☞11-21ページ）

先頭一致発信を許可する

先頭一致発信とは、あらかじめ登録した電話番号の先頭数桁と、ダイヤルした電話番号とが一致した場合に発信を許可する機能です。
ダイヤルした電話番号が、登録した番号と一致すれば発信することができます。
先頭一致発信許可番号は、10件まで登録できます。
先頭一致発信許可番号の10件全てが、「未登録」の場合には、先頭一致発信許可機能は動作せず、全ての電話番号が発信可能となります。

1 管理者ロック設定画面で、◎を押して「7. 先頭一致発信許可」を選択し、◯（決定）を押す

先頭一致発信許可設定画面が表示されます。

2 ◎を押して「1.未登録」を選択し、◯（決定）を押す

先頭一致発信許可番号入力画面が表示されます。

3 ダイヤルボタンで先頭一致発信許可番号を入力する

先頭一致発信許可番号は11桁まで入力できます。184または186から始まる番号は登録できません。

▶ 先頭一致発信許可番号を修正するには

最後の1桁を消す：［クリア/マナー］を押す
すべての桁を消す：［クリア/マナー］を約1秒以上押す

▶ **設定済みの先頭一致発信許可番号を未登録に戻すには**

設定されている先頭一致発信許可番号を消し、未入力の状態にしてから、手順4に進む

4 ◯（決定）を押す

「設定しました」と表示され、手順1の先頭一致発信許可設定画面に戻ります。

5 必要であれば、手順2～4の要領で「2.未登録」～「0.未登録」を同様に設定する

6 設定が完了したら Web（戻る）を押す

管理者ロック設定画面に戻ります。

お知らせ

- お買い上げ時は「未登録」です。
- 先頭一致発信許可を設定しても、オフィスモード、グループモードでの発信は制限されません。
- 先頭一致発信許可の設定により発信が許可されなかったときは、「先頭一致発信許可設定中です」と表示された後、待ち受け画面に戻ります。また、リダイヤルは残りません。
- 位置情報通知機能（発信型）の発信も先頭一致発信許可の設定に従って、発信が許可されます。「発信型機能を利用する」（☞12-23ページ）
- 先頭一致発信許可を設定した場合でも、先頭に184または186を付けて発信することは可能です。
- 先頭一致発信許可に関係なく、以下の発信は可能です。
  110（警察）、116（PSC）、118（海上保安庁）、119（消防等）、141（留守番電話サービスメッセージ有り確認）、143（留守番電話のカスタマーコントロール）、157（データ通信専用窓口）、171（災害時伝言ダイヤル）、＊21（AIR-CONFERENCE）、＊931（留守番電話サービス再生）
- 発信制限を「ON」に設定し、同時に先頭一致発信許可も設定している場合は、電話帳に登録されている電話番号に加えて、先頭一致発信許可で設定した電話番号への発信も可能です。

機能制限一覧

管理者ロックによって制限される機能の一覧

管理者ロック設定 / 制限される機能	Eメール制限	Web制限	ダイヤルアップ制限	USB制限	発信制限	着信制限	先頭一致発信許可
音声発信	―	―	―	―	○ ※2	―	○ ※3
音声着信	―	―	―	―	―	○ ※2	―
ライトメール送信	―	―	―	―	○ ※2	―	○ ※3
ライトメール着信	―	―	―	―	―	○ ※2	―
Eメール送受信（電話機単体）	○	―	○ ※1	―	―	―	―
Web接続（電話機単体）	―	○	○ ※1	―	―	―	―
Eメール送受信（パソコン接続）	―	―	―	○	―	―	―
Web接続（パソコン接続）	―	―	―	○	―	―	―
データ通信の発信（パソコン接続）	―	―	―	○	―	―	―
データ通信の着信（パソコン接続）	―	―	―	○	―	○ ※2	―
リモートロック	―	―	―	―	―	―	―
ローミング登録用ライトメール	―	―	―	―	―	―	―
位置情報通知機能（発信型）	―	―	―	―	○ ※2	―	○ ※3
位置情報通知機能（着信型）	―	―	―	―	―	―	―

○　：制限あり
―　：制限なし
※１：ウィルコムのダイヤルアップのみ許可
※２：電話帳に登録されている電話番号のみ許可
※３：先頭一致発信で許可されている番号のみ許可

設定をリセットする（設定リセット）

設定した各機能を、お買い上げ時の設定に戻すことができます。「リセット一覧表」（☞ 11-29ページ）

1　待ち受け画面で Menu（Menuボタン）らラ9 ま7 と押す

設定リセットを行うかどうかを確認する画面が表示されます。

2　◎を押して、「1.はい」を選択する

▶ 設定リセットを中止するとき

「2.いいえ」を選択し、◯（決定）を押す

3　◯（決定）を押す

もう一度、設定リセットを行うかどうかを確認する画面が表示されます。

4　◎を押して、「1.はい」を選択する

▶ 設定リセットを中止するとき

「2.いいえ」を選択し、◯（決定）を押す

5　◯（決定）を押す

各機能がお買い上げ時の設定に戻り、「設定をリセットしました」と表示されます。

メモリ一括消去

電話帳などの登録内容を消去したり、各機能の設定を初期化します。

メモリ一括消去

メール・画像・メロディなどのデータを消去します。消去される項目は次の通りです。

消去される項目	参照ページ
ピクチャーBOXの画像	12-29
メロディBOXのダウンロードメロディ	12-26
ライトメール（送受信）	8-15、8-25
E メール（送受信）	8-15、8-25
画面メモ	9-15
自作定型文	7-23
ユーザー辞書	7-19

完全消去＋初期化

本電話機の登録情報をすべて消去し、初期化します。ただし、公衆の電話番号・オフィスの電話番号は消去されません。「リセット一覧表」（☞ 11-29ページ）

メモリ一括消去する

1 待ち受け画面で Menu（Menuボタン）9 8 と押す

2 ◎を押して「1.メモリ一括消去」を選択し、◯（決定）を押す

一括消去を行うかどうかを確認する画面が表示されます。

3 ◎を押して、「1.はい」を選択する

▶ 一括消去を中止するとき

「2.いいえ」を選択し、◯（決定）を押す

4 ◯（決定）を押す

もう一度、一括消去を行うかどうかを確認する画面が表示されます。

5 ◎を押して、「1.はい」を選択する

▶ 一括消去を中止するとき

「2.いいえ」を選択し、◯（決定）を押す

6 ◯（決定）を押す

データが一括消去され、「消去しました」と表示されます。

完全消去＋初期化する

1 待ち受け画面で Menu（Menuボタン）9 8 と押す

2 ◎を押して「2.完全消去＋初期化」を選択し、◯（決定）を押す

3 ◎を押して「1.はい」を選択し、◯（決定）を押す

4 ダイヤルボタンで管理者パスワードを入力する

入力した番号は「＊」と表示されます。

5 ◯（決定）を押す

もう一度、確認画面が表示されます。

6 ◎を押して「1.はい」を選択し、◯（決定）を押す

「完全消去＋初期化中」としばらく表示されたあと、消去・初期化が完了します。消去・初期化の実行中は、電池パックを外したり電源を切らないでください。

リセット一覧表

機能				設定リセット	完全消去＋初期化
メール	受信メール	振分設定（フォルダ使用時）		なし（受信トレイ）	なし（受信トレイ）
		フォルダ名変更		受信トレイ、フォルダA～F	受信トレイ、フォルダA～F
		文字サイズ		通常	通常
	送信メール	文字サイズ		通常	通常
	E メール送受信			―	―
	新規作成			―	―
	メール設定	フォルダ使用		使用しない	使用しない
		メールアカウント設定	センタ名称設定	―	なし
			受信メール (POP)	―	なし
			送信メール (SMTP)	―	なし
			アカウント	―	なし
			パスワード	―	なし
			メールアドレス	―	なし
			E メール自動受信機能	―	ON（オンラインサインアップのアカウントのみ）
			名前	―	なし
			返信メールアドレス	―	なし
			E メール削除設定	―	削除
			POP ポート番号	―	110
			SMTP ポート番号	―	25
			POP before SMTP	―	ON
			POP before SMTP 待ち	―	0 秒
			受信行数制限設定	―	ON
			受信行数	―	600 行
			認証方式設定	―	POP
			メール自動巡回公衆	―	ON
			メール自動巡回オフィス	―	OFF
		引用／署名設定	本文引用：本文引用	OFF	OFF
			本文引用：引用文	なし	なし
			署名設定：署名	OFF	OFF
			署名設定：署名文	なし	なし
	オンラインサインアップ			未設定	―
Web	オフィシャルメニュー			―	―
	インターネット			―	なし
	ブックマーク	フォルダ名変更		フォルダ A ～ E	フォルダ A ～ E (JRC サイト：消去可能)
	ラスト URL			―	なし
	画面メモ			―	なし
	Web 設定	画像表示設定		ON	ON
		BGM 再生設定		ON	ON
		文字サイズ設定		通常	通常
		応答待ち時間設定		60 秒	60 秒
		SSL 証明書		5 件全て有効	5 件全て有効
		Cookie 設定		ON	ON
電話帳	電話帳ロック			―	解除（パスワード入力が必要）
	電話帳シークレット			―	表示しない（パスワード入力が必要）
	電話帳一括消去			―	―
	電話帳グループ名			―	グループ 1 ～グループ 0
	電話帳転送			―	―

機能				設定リセット	完全消去＋初期化
アクセサリ	スケジュール			－	全て消去
	目覚まし			OFF、00:00	OFF、00:00
	メロディBOX			－	プリセット５曲
	ピクチャーBOX			壁紙解除	全て消去
	電卓			－	－
	USB 充電			高速	高速
録音再生	留守録設定			OFF	OFF
	安全運転モード設定			OFF	OFF
	メモ録音			－	－
	録音再生			－	全て消去（メモ録音、通話録音、留守録音）
	録音一括消去			－	－
	応答メッセージ			固定メッセージ	固定メッセージ
	留守録応答時間			12 秒	12 秒
	安全運転モード種類			－	電話機留守録
音	着信音	公衆		パターン１	パターン１
		Ｅメール		パターン２	パターン２
		ライトメール		女性「メールです」	女性「メールです」
		スケジュール		アラーム音	アラーム音
		目覚まし		目覚ましベル	目覚ましベル
		オフィス外線		パターン３	パターン３
		オフィス内線		パターン４	パターン４
		オフィス専用線		パターン５	パターン５
		グループ		パターン９	パターン９
	着信音量・バイブ			中、OFF	中、OFF
	オートサイレント			OFF（全て OFF） 00:00 ～ 07:00	OFF（全て OFF） 00:00 ～ 07:00
	保留音			バッハ プレリュード	バッハ プレリュード
	キータッチ音			ON	ON
	圏外警告音			ON	ON
ディスプレイ	時計表示			大	大
	色設定			パターン１	パターン１
	バックライト	点灯時間		15 秒	15 秒
		微灯時間		10 秒	10 秒
		通話中微灯		OFF	OFF
		充電台微灯		ON	ON
		キーロック中微灯		電源キーのみ	電源キーのみ
	着信ＬＥＤ	着信		色１	色１
		メール着信		色２	色２
		スケジュール		色４	色４
		目覚まし		色５	色５
	リマインダー			ON（色６）	ON（色６）
通信	待受モード			－	公衆（グループ、電話帳転送、公衆＋グループモードに設定していた場合）
	グループ登録			－	－
	ダイヤルアップ設定	公衆	オンラインサインアップ連動	－	CLUB AIR-EDGE
			手動設定　ダイヤルアップ名称	－	なし
			手動設定　電話番号	－	なし
			手動設定　ユーザー名	－	なし
			手動設定　パスワード	－	なし
			手動設定　送信メールアカウント	－	１つめ
			手動設定　分計発信	－	OFF
			手動設定　ワンタイムパスワード	－	OFF（公衆手動、オフィスのみ）
			手動設定　IP アドレス自動取得	－	ON
			手動設定　IP アドレス	－	なし

機能					設定リセット	完全消去＋初期化
通信	ダイヤルアップ設定	公衆	手動設定	DNS 自動取得	ー	ON
				プライマリ DNS	ー	なし
				セカンダリ DNS	ー	なし
				HTTP Proxy	ー	OFF
				Proxy サーバ名	ー	なし
				Proxy ポート番号	ー	8080
		オフィス			ー	未登録
		公衆動作モード設定			オンラインサインアップ連動	オンラインサインアップ連動
	位置情報通知		位置情報通知 LI		OFF	OFF
			自動位置情報送出設定		OFF	OFF
			着信音設定		ON	ON
			通知許可番号		未登録	未登録
			通知許可パスワード		8 桁全て 0	8 桁全て 0
			自動位置情報送出機能		OFF	OFF
	発信設定		発信者番号通知		ON	ON
			サブアドレス		ON	ON
			優先発信切替		オフィス・グループ	オフィス・グループ
			外線発信番号		ー	未登録
			発信先応答通知		OFF	OFF
	着信設定		発番号非通知ガード		全て OFF	全て OFF
			着信拒否		ー	未登録
			通信中着信		ON	ON
	データ通信方式				ベストエフォート	ベストエフォート
	オフィス番号選択				ー	未登録
	国際ローミング		国・地域 / 事業者選択		ー	日本
			ローミング情報登録		ー	なし
その他	定型文編集				ー	未登録
	ユーザー辞書				ー	ー
	メモリ使用状況表示				ー	ー
	エニーキーアンサー				OFF	OFF
	ロック設定	オートロック			ー	OFF
		リモートロック	パスワード		ー	ー
			ライトメール起動	許可電話番号 1	ー	OFF、未登録
				許可電話番号 2	ー	OFF、未登録
			着サブアドレス起動	許可電話番号 1	ー	OFF、未登録
				許可電話番号 2	ー	OFF、未登録
		管理者ロック	E メール制限		ー	OFF
			Web 制限		ー	OFF
			ダイヤルアップ制限		ー	OFF
			USB 制限		ー	OFF
			発信制限		ー	OFF
			着信制限		ー	OFF
			先頭一致発信許可		ー	未登録
	暗証番号		暗証番号		ー	0000
			管理者パスワード		ー	0000
	設定リセット				ー	ー
	メモリー括消去		メモリー括消去		ー	ー
			完全消去＋初期化		ー	ー
	時刻設定		時刻設定		2007 年 01 月 01 日 00 時 00 分	2007 年 01 月 01 日 00 時 00 分
			時刻の自動補正		ON	ON
	プロフィール表示				ー	ー
	ダイヤルロック設定				ー	解除

12
便利な使いかた

メニュー一覧表

		メニュー	機能が使えるモード			お買い上げ時の設定	参照ページ
			公衆	オフィス	グループ		
メール	11	受信メール	○	○	○	−	8-13
	12	送信メール	○	○	○	−	8-7
	13	E メール送受信	○	○	×	−	8-9、8-14
	14	新規作成	○	○	○	−	8-7、8-43
	15	メール設定	○	○	○	−	8-33
	16	オンラインサインアップ	○	×	×	−	8-5
Web	21	オフィシャルメニュー	○	×	×	−	6-2
	22	インターネット	○	○	×	−	9-7
	23	ブックマーク	○	○	○	−	9-10
	24	ラスト URL	○	○	×	−	9-7
	25	画面メモ	○	○	○	−	9-15
	26	Web 設定	○	○	○	−	9-24
電話帳	31	電話帳ロック	○	○	○	解除	7-42
	32	電話帳シークレット	○	○	○	表示しない	7-43
	33	電話帳一括消去	○	○	○	−	7-40
	34	電話帳グループ名	○	○	○	グループ 1 〜グループ 0	7-41
	35	電話帳転送	×	×	×	−	13-12
アクセサリ	41	スケジュール	○	○	○	−	12-12
	42	目覚まし	○	○	○	0 時 00 分 OFF	12-17
	43	メロディBOX	○	○	○	−	12-26
	44	ピクチャーBOX	○	○	○	−	12-29
	45	電卓	○	○	○	−	12-18
	46	USB 充電	○	○	○	高速	12-4
録音再生	51	留守録設定	○	○	○	OFF	7-55
	52	安全運転モード設定	○	○	×	OFF	7-47
	53	メモ録音	○	○	○	−	7-52
	54	録音再生	○	○	○	−	7-58
	55	録音一括消去	○	○	○	−	7-59
	56	応答メッセージ	○	○	○	固定メッセージ	7-56
	57	留守録応答時間	○	○	○	12 秒	7-59
	58	安全運転モード種類	○	○	×	電話機留守録	7-47
音	61	着信音	○	○	○	公衆：パターン 1 E メール：パターン 2 ライトメール：女性『メールです』 スケジュール：アラーム音 目覚まし：目覚ましベル オフィス外線：パターン 3 オフィス内線：パターン 4 オフィス専用線：パターン 5 グループ：パターン 9	7-49
	62	着信音量・バイブ	○	○	○	着信音量：中、バイブ：OFF	7-44
	63	オートサイレント	○	○	○	00:00 〜 07:00 OFF	7-46
	64	保留音	○	×	×	バッハ プレリュード	7-51
	65	キータッチ音	○	○	○	ON	7-50
	66	圏外警告音	○	○	○	ON	7-51

メニュー			機能が使えるモード			お買い上げ時の設定	参照ページ
			公衆	オフィス	グループ		
ディスプレイ	71	時計表示	○	○	○	大	12-6
	72	色設定	○	○	○	パターン 1	12-6
	73	バックライト	○	○	○	点灯時間：15 秒 微灯時間：10 秒 通話中微灯：OFF 充電台微灯：ON キーロック中微灯：電源キーのみ	12-7
	74	着信 LED	○	○	○	着信：ペリドット メール着信：サファイア スケジュール：シトリン 目覚まし：アクアマリン	12-9
	75	リマインダー	○	○	×	ON、アメジスト	12-10
通信	81	待受モード	○	○	○	公衆	13-3
	82	グループ登録	○	○	○	−	13-8
	83	ダイヤルアップ設定	○	○	○	−	9-29
	84	位置情報通知	○	×	×	OFF	12-19
	85	発信設定					
		発信者番号通知	○	○	○	ON	11-2
		サブアドレス	○	○	×	ON	12-10
		優先発信切替	○	○	○	オフィス，グループ優先	13-6
		外線発信番号	×	○	×	未登録	13-5
		発信先応答通知	○	○	○	OFF	7-52
	86	着信設定					
		発番号非通知ガード	○	○	×	全て OFF	11-3
		着信拒否	○	○	×	未登録	11-4
		通信中着信	○	×	×	ON	11-6
	87	データ通信方式	○	○	×	ベストエフォート	10-14
	88	オフィス番号選択	○	○	×	−	13-7
	89	国際ローミング	○	×	×	国内	12-33
その他	91	定型文編集	○	○	○	未登録	7-23
	92	ユーザー辞書	○	○	○	−	7-19
	93	メモリ使用状況表示	○	○	○	−	8-32
	94	エニーキーアンサー	○	○	○	OFF	12-11
	95	ロック設定					
		オートロック	○	○	○	OFF	11-11
		リモートロック	○	○	×	OFF	11-12
		管理者ロック※	○	×	×	OFF（先頭一致発信許可：未登録）	11-18
	96	暗証番号	○	○	○	0000	11-8
	97	設定リセット	○	○	○	−	11-26
	98	メモリ一括消去	○	○	○	−	11-27
	99	時刻設定	○	○	○	2007 年 01 月 01 日 00 時 00 分 時刻の自動補正：ON	1-18 12-6
	0	プロフィール表示	○	○	○	−	12-4
	#	ダイヤルロック設定	○	○	○	解除	11-10

○：機能を使うことができます。
×：機能を使うことができません。

※USB 制限については、公衆、オフィス、およびグループモードで機能を使うことができます。

いろいろな機能を設定する

プロフィールを表示する

本電話機に割り振られている公衆の電話番号、オフィスの登録番号、グループモードのトランシーバ番号、およびローミング用の電話番号を表示します。

1 待ち受け画面で Menu（Menuボタン）0 と押す

待受モードに設定しているモードの電話番号が表示されます。デュアルモードに設定している場合は、公衆モードの電話番号が表示されます。

2 ◎ を押して、各モードの番号を表示する

◎を押すと、手順1で表示された番号を基点に、公衆→オフィスの登録番号→グループ1→グループ2→グループ3→ベトナムローミング電話番号→タイローミング電話番号→台湾ローミング電話番号→Eメールアドレスの順に、◎を押すと逆順に切り替わります。登録されていない番号は「未登録」と表示されます。
Web（戻る）または クリア/マナー を押すと、メニュー画面に戻ります。

お知らせ

- グループ登録で、本電話機を送信側に設定している場合は「マスタ」と表示されます。
- オフィスモードの番号は、オフィス番号選択で設定している登録番号が表示されます。「オフィス番号を選択する（番号選択）」（☞13-7ページ）
- 複数のグループを登録しているときは、それぞれの番号を表示します。
- ローミングモードをベトナム、タイまたは台湾に設定しているときは Menu 0 を押したとき、設定中のローミング先のローミング電話番号が表示されます。「国際ローミングを利用する（国際ローミング）」（☞12-33ページ）
- ベトナム、タイおよび台湾ローミング電話番号の表示では、ローミング電話番号を登録した日時も表示されます。

USB充電

USBケーブルでパソコンと接続中に充電することができます。

USB充電を設定する

USBで充電を行う場合、本機能を「高速」または「低速」に設定します。「高速」に設定したときは「低速」に設定したときと比べて短時間で充電できますが、その分パソコンの消費電流が多くなります。

1 待ち受け画面で Menu（Menuボタン）4 6 と押す

2 ◎ を押して、「1.高速」、「2.低速」または「3.OFF」を選択する

3 ◯（決定）を押す

「設定しました」と表示され、待ち受け画面に戻ります。

お知らせ

- 充電時間は、高速充電の場合約2.5時間、低速充電の場合約15時間です。
- 接続するパソコンによっては、本機能を「高速」に設定している場合でも充電に時間がかかったり、充電ができない場合があります。
- 本電話機の電源を切った状態でパソコンに接続しても、本機能の設定に従って充電ができます。
- 本機能を「OFF」に設定してパソコンに接続した場合、データ通信を行っていなくても電池を消費して待ち受け時間が短くなることがあります。また、本電話機の電源を切った状態でも、USB充電を「OFF」に設定してパソコンに接続した場合は、電池を消費して待ち受け時間が短くなる場合があります。
- バッテリー内蔵のノートパソコンをコンセントに接続しない状態で使用する場合、ノートパソコンの動作時間は、「低速」に設定したときのほうが「高速」に設定したときと比べて長くなります。
- お買い上げ時は「高速」に設定されています。

USBケーブルを接続して充電する

USBケーブル（Mini-B対応）でパソコンと本電話機を接続し、充電します。
パソコンと接続して充電するには、パソコンにUSBドライバをインストールする必要があります。USBドライバのインストールについては「USBドライバのインストール」（☞10-5ページ）をご覧ください。また、パソコンとの接続方法については「パソコンと接続する」（☞10-2ページ）をご覧ください。

1 「パソコンと接続する」（☞10-2ページ）の手順に従い、本電話機とパソコンを接続する

確認音が鳴り、画面に「USB」が点灯し、「データ通信OK」と表示されます。
画面右上には充電状態を表すマークが表示され、着信LEDが点灯します。

● 画面のマークと着信LEDの表示

	画面のマーク	着信LED
高速充電	充電中は「⚡⚡」が、充電完了時は「▭」が点灯します。	充電中は赤色に点灯し、充電完了時には消灯します。
低速充電	充電中は「⚡」が、充電完了時は「▭」が点灯します。	接続後、約5秒間のみ赤色に点灯します。※

※ 省電力のため、接続してから約5秒後に消灯します。充電の完了は画面のマーク表示で確認してください。

お知らせ

- USBハブを使用しての充電には対応しておりません。必ずパソコンのUSBポートに直接接続してご使用ください。また、動作保証もいたしかねますのであらかじめご了承ください。
- パソコンの機種によっては、本電話機をUSBケーブルで接続したとき、本電話機の画面に「⚡⚡」または「⚡」が点灯した直後に電池マーク（「▭」など）が点灯し、再度「⚡⚡」または「⚡」が点灯する場合がありますが、故障ではありません。
- Mac OS Xをご利用の場合は、USBケーブル経由でパソコンから充電することはできません。
- 充電中は、本電話機が温かくなることがありますが、異常ではありません。
- 電池残量がなくなったときは、USBケーブルからの充電を行うことができません。必ず、卓上充電器を使用してください。「卓上充電器で充電する」（☞1-5ページ）

時計表示

待ち受け画面の時計表示を、大／小に切り替えることができます。

1 **待ち受け画面で Menu（Menuボタン）ま7 と押す**

2 **を押して「時計表示」を選択し、◯（決定）を押す**

時計表示の設定が変更されます。
◯（決定）を押すごとに、大／小が切り替わります。

● **時計表示メニューアイコンの表示**

：大

：小

お知らせ

● お買い上げ時は「大」に設定されています。

時刻の自動補正

パケット通信開始時に、ネットワーク側から受信した時刻情報をもとに本電話機の時刻を自動的に補正します。正しい時刻より進めたり遅らせたりして使用する場合には、本機能を「OFF」に設定してください。

1 **待ち受け画面で Menu（Menuボタン）ら9 ら9 と押す**

2 **を押して「2.時刻の自動補正」を選択し、◯（決定）を押す**

3 **を押して「1.ON」または「2.OFF」を選択し、◯（決定）を押す**

「設定しました」と表示され、時刻の自動補正が設定されます。

お知らせ

● お買い上げ時は「ON」に設定されています。
● ネットワーク側の時刻と本電話機の時刻に30秒以上のずれがあった場合に自動補正されます。そのため「ON」に設定し、パケット通信を行っても30秒程度の誤差が生じる場合があります。
● 音声通話やPIAFSでの通信時には自動補正されません。

色設定

画面の背景色などのパターンを選択することができます。

1 **待ち受け画面で Menu（Menuボタン）ま7 か2 と押す**

2 **を押して、好みのパターンを選択する**

3 **◯（決定）を押す**

選択した色のパターンが設定され、「設定しました」と表示されます。

お知らせ

● お買い上げ時は「パターン1」に設定されています。

バックライト

ボタンを押したときに、画面とボタンのバックライトを点灯するかどうかを設定できます。バックライトの微灯（画面のバックライトの明るさが弱い状態）設定もできます。

点灯時間を設定する

本電話機の動作が終了してから、画面とボタンの明るさを保持する時間を設定できます。

1 待ち受け画面で Menu（Menuボタン）7 3 と押す

2 ◎を押して「1.点灯時間」を選択し、○（決定）を押す

3 ◎を押して、点灯時間を選択する

5秒、15秒、60秒、OFFから選択できます。

4 ○（決定）を押す

お知らせ

- お買い上げ時は「15 秒」に設定されています。
- 設定した点灯時間を経過すると、画面のバックライトは点灯から微灯になり、ボタンのバックライトは点灯から消灯になります。
- 点灯時間を「OFF」に設定しているときは、バックライトは点灯状態にならず、微灯状態になります。

微灯時間を設定する

「点灯時間」で設定されている時間が経過した後の、画面のバックライトの微灯時間を設定できます。

1 待ち受け画面で Menu（Menuボタン）7 3 と押す

2 ◎を押して「2.微灯時間」を選択し、○（決定）を押す

3 ◎を押して、点灯時間を選択する

10 秒、30 秒、60 秒、120秒から選択できます。

4 ○（決定）を押す

お知らせ

- お買い上げ時は「10秒」に設定されています。
- 着信中は、微灯時間の設定にかかわらず微灯の状態が続きます。
- 設定した微灯時間中は、画面のバックライトは微灯になりますが、ボタンのバックライトは消灯になります。
- 設定した微灯時間を経過すると、画面のバックライトは消灯になります。

通話中微灯を設定する

通話またはデータ通信中に、設定されている「微灯時間」が経過しても、画面のバックライトをそのまま微灯し続けるかどうかを設定できます。

1 待ち受け画面で Menu（Menuボタン）ま7 さ3 と押す

2 ◎ を押して「3.通話中微灯」を選択し、◯（決定）を押す

3 ◎ を押して、「1.ON」または「2.OFF」を選択する

▶「1.ON」を設定すると

通話またはデータ通信が開始されるとバックライトが点灯し、点灯時間が経過してから通話またはデータ通信が終了するまで微灯状態が続きます。

▶「2.OFF」を設定すると

通話またはデータ通信が開始されるとバックライトが点灯し、点灯時間が経過すると微灯になり、微灯時間が経過すると消灯になります。

4 ◯（決定）を押す

お知らせ

- お買い上げ時は「OFF」に設定されています。

充電台微灯を設定する

本電話機を卓上充電器に置いているときに、設定されている「微灯時間」が経過しても、画面のバックライトをそのまま微灯し続けるかどうかを設定できます。

1 待ち受け画面で Menu（Menuボタン）ま7 さ3 と押す

2 ◎ を押して「4.充電台微灯」を選択し、◯（決定）を押す

3 ◎ を押して、「1.ON」または「2.OFF」を選択する

▶「1.ON」を設定すると

本電話機を卓上充電器に置くとバックライトが点灯し、点灯時間が経過してから本電話機を卓上充電器から外すまで微灯状態が続きます。

▶「2.OFF」を設定すると

本電話機を卓上充電器に置くとバックライトが点灯し、点灯時間が経過すると微灯になり、微灯時間が経過すると消灯になります。

4 ◯（決定）を押す

お知らせ

- お買い上げ時は「ON」に設定されています。
- 充電台微灯を「ON」に設定していても、USB充電をしているときは、「微灯時間」で設定されている時間が経過すると消灯になります。「USB充電」（☞ 12-4ページ）
- 充電台微灯を「ON」に設定しているときは、本電話機を卓上充電器に置いている間は、充電が完了しても微灯状態が続きます。

キーロック中微灯を設定する

キーロック中にボタンを何か押したときに、画面のバックライトを微灯にするかどうかを設定できます。
「ボタン操作をロックする（キーロック）」（☞11-9ページ）

1 待ち受け画面で Menu（Menuボタン）7 3 と押す

2 ◎を押して「5.キーロック中微灯」を選択し、◯（決定）を押す

3 ◎を押して、「1.エニーキー」、「2.電源キーのみ」または「3.OFF」を選択する

▶「1.エニーキー」を設定すると

キーロック中にボタンを何か押すと、画面のバックライトが微灯になります。

▶「2.電源キーのみ」を設定すると

キーロック中に PWR を押すと、画面のバックライトが微灯になります。

▶「3.OFF」を設定すると

キーロック中にボタンを何か押しても、画面のバックライトは微灯になりません。

4 ◯（決定）を押す

お知らせ

- お買い上げ時は「電源キーのみ」に設定されています。
- キーロック中の微灯時間は、約10秒に固定設定されています。

着信LED

以下の場合での着信LEDの色を、個別に設定することができます。
・電話がかかってきたとき
・Eメールやライトメールを受信したとき
・スケジュールのアラーム時刻になったとき
・目覚ましの設定時刻になったとき

1 待ち受け画面で Menu（Menuボタン）7 4 と押す

着信LEDの設定画面が表示されます。

2 ◎を押して設定したい項目を選択し、◯（決定）を押す

3 ◎を押して、色を選択する

以下の7色と、「8.レインボー」、「9.OFF」から選択します。
・ペリドット　・アクアマリン
・サファイア　・アメジスト
・ルビー　・ムーンストーン
・シトリン
「8.レインボー」では上記の7色を順に切り替えて点滅します。

4 ◯（決定）を押す

手順1の画面に戻ります。
続けてほかの動作の着信LEDの色を設定するには、手順2～4の操作を繰り返します。

お知らせ

- お買い上げ時の設定は次の通りです。
  ・着信：ペリドット
  ・メール着信：サファイア
  ・スケジュール：シトリン
  ・目覚まし：アクアマリン

リマインダーを設定する

不在着信があったときなどに、着信LEDの点滅でお知らせします。

1 **待ち受け画面で Menu（Menuボタン）7 5 と押す**

2 **◎を押して、「1.ON」または「2.OFF」を選択し、○（決定）を押す**

▶「2.OFF」を選択したとき

メッセージが表示され、待ち受け画面に戻ります。

3 **◎を押して、色を選択する**

以下の7色と、「8.レインボー」から選択します。

・ペリドット　・アクアマリン
・サファイア　・アメジスト
・ルビー　・ムーンストーン
・シトリン

「8.レインボー」では上記の7色を順に切り替えて点灯します。

4 **○（決定）を押す**

リマインダーの設定が変更され、「設定しました」と表示されます。

お知らせ

- いずれかのボタンを押すとリマインダーの動作は停止します。
- お買い上げ時は「ON」に設定されています。

サブアドレス

ISDN回線は1つの回線に複数の端末を接続できます。このため、ISDN端末には、普通の電話番号に加えて端末独自の番号を設定できます。この番号を「サブアドレス」といいます。電話番号をダイヤルしたあと、＊を押してサブアドレスをダイヤルすることで、希望する端末だけを呼び出せます。
ISDN端末にダイヤルするときは、あらかじめ本電話機のサブアドレスを「ON」に設定しておく必要があります。

1 **待ち受け画面で Menu（Menuボタン）8 5 と押す**

発信設定の画面が表示されます。

2 **◎を押して、「2.サブアドレス」を選択する**

3 **○（決定）を押す**

4 **◎を押して、「1.ON」を選択する**

5 **○（決定）を押す**

「設定しました」と表示され、待ち受け画面に戻ります。

お知らせ

- お買い上げ時は「ON」に設定されています。
- サブアドレスはグループモードでは利用できません。
- オフィスモード時、オフィスシステム（PBX）によってはサブアドレスによる呼び出しができないことがあります。

エニーキーアンサー

電話がかかってきたときに、PWR、（録音）以外のいずれかのボタンを押して、電話に出られるように設定できます。

1 待ち受け画面で Menu（Menuボタン）9と押す

2 方向キーを押して「エニーキーアンサー」を選択し、◯（決定）を押す

エニーキーアンサーの設定が変更されます。
◯（決定）を押すごとに、ON ／ OFFが切り替わります。

● **エニーキーアンサーメニューアイコンの表示**

：ON

：OFF

お知らせ

● お買い上げ時は「OFF」に設定されています。

便利な使いかた いろいろな機能を設定する

スケジュール機能を利用する

商談や会議などのスケジュールを登録しておくことができます。指定した時刻に画面にスケジュールが表示され、アラームでお知らせします。
スケジュールは最大100件まで登録できます。
カレンダーの日付は2002年1月1日から2099年12月31日まで選択できます。
またスケジュールは、vCalendar形式でEメールに添付して送信・受信することができます。（一部対応していない機能もあります。）

スケジュールを登録する

カレンダーを表示させて、任意の日時にスケジュールを登録できます。カレンダーは1か月単位で表示されます。
スケジュールを登録するときは、あらかじめ日付・時刻を設定しておく必要があります。「日時を設定する」（☞1-18ページ）

1 待ち受け画面で Menu（Menuボタン） 4 1 と押す

当月のカレンダーが表示されます。当日の日付が反転表示されています。
すでにスケジュールが登録されている日付の右横には、スケジュール件数に応じて「 ■ 」が付いています。ただし、3件を超える場合でも3個しか表示しません。1日のすべての時間を使うスケジュールは赤い「 ■ 」で表示されます。

2 ◎ を押して登録したい日にカーソルを合わせる

✉、📼 で前後の月の表示に切り替えることもできます。

3 Menu（メニュー）を押す

4 ◎ を押して「1.新規登録」を選択し、◯（決定）を押す

スケジュールの開始時刻を入力する画面が表示されます。
手順2で選択した日付が入力されています。

5 開始時刻を入力する

6 ◯（決定）を押す

スケジュールの入力項目を選択する画面が表示されます。
以下の項目を選択し、登録します。
・件名
・アラーム時刻
・アラーム
・内容
・場所
・終了日時
・全日

7 ◎ を押して件名の欄を選択し、◯（決定）を押す

件名の入力画面が表示されます。

8 件名を入力して、◯（決定）を押す

「文字を入力する」（☞4-5ページ）

9 ◎ を押してアラーム時刻の欄を選択し、◯（決定）を押す

10 アラーム時刻を入力し、◯（決定）を押す

11 ◎ を押してアラームの欄を選択し、◯（決定）を押す

12 ◎を押して「1.ON」または「2.OFF」を選択し、◯（決定）を押す

13 ◎を押して内容の欄を選択し、◯（決定）を押す

14 内容を入力し、◯（決定）を押す

15 ◎を押して場所の欄を選択し、◯（決定）を押す

16 場所を入力し、◯（決定）を押す

17 ◎を押して終了日時の欄を選択し、◯（決定）を押す

18 終了時刻を設定して、◯（決定）を押す

19 ◎を押して全日の欄を選択し、◯（決定）を押す

20 ◎を押して「1.ON」または「2.OFF」を選択し、◯（決定）を押す

21 Menu（登録）を押す

登録が完了し、カレンダー表示画面に戻ります。

お知らせ

- スケジュール登録中に着信があったときは、登録中のスケジュールは保存されます。
- アラーム音の設定は着信音選択で行います。「着信音やアラームを設定する」（☞7-49ページ）
- パソコンと本電話機との間でファイルを転送中（画面に「データ転送」が点滅しているとき）はスケジュールのアラームは鳴りません。

■アラーム時刻になると

アラーム時刻になると、アラームが1分間鳴り、画面にはスケジュールが表示されます。アラームを途中で停止させるには、◯（停止）を押します。
待ち受け画面に戻るには、PWR を押します。

■未確認のスケジュールがあるときは

待ち受け画面に「 」が点灯します。
マイメニューから「 」を選択すると、一番古い未読スケジュールがある日にカーソルが移動します。

お知らせ

- アラームの音量は、着信音量の設定に従います。「着信音量を設定する」（☞7-44ページ）
- バイブレータ、あるいはマナーモードが設定されているときは、バイブレータの振動とともにスケジュールを表示します。また、着信音量が「OFF」、あるいはマナーモードが設定されているときは、アラーム音は鳴りません。
- アラーム時刻に電源が入っていなかった場合は、電源を入れたあとにアラームと表示でお知らせします。
- 通話中にアラーム時刻になったときは、受話口（レシーバ）からアラームが鳴ります。
- 通話中にアラームを停止させるには、◯（停止）を押してください。PWR を押すと、通話が切れてしまいます。

スケジュールの内容を表示する

登録したスケジュールの内容を1日ごと、1件ごとに表示できます。

1 待ち受け画面で Menu（Menuボタン）た4 あ1 と押す

当月のカレンダーが表示されます。当日の日付にカーソルがあります。

▶ **前後の月のカレンダーを表示するには**

先月は 保留 を、翌月は 留守 を押す

2 ◎ を押して表示したい日にカーソルを合わせる

3 ◯（決定）を押す

選択した日付のスケジュールの一覧が表示されます。

▶ **前後の日付のスケジュールを表示するには**

前日は ◎ を、翌日は ◎ を押す

4 ◎ を押して表示したいスケジュールを選択し、◯（決定）を押す

選択したスケジュールの詳細が表示されます。

スケジュールの登録内容を修正する

登録されたスケジュールの内容は修正することができます。また、登録済みのスケジュールをもとにして、新たにスケジュールを作成することもできます。

1 一日表示画面を表示する

「スケジュールの内容を表示する」（☞同じページ内です。）の手順1～3

2 ◎ を押して、修正したいスケジュールを選択する

3 Menu（メニュー）を押す

4 ◎ を押して「2.編集」を選択し、◯（決定）を押す

▶ **選択したスケジュールをもとに、新たにスケジュールを作成するとき**

「3.コピーを作成」を選択し、◯（決定）を押す
この場合、もとのスケジュールは変更されません。

5 必要に応じ、開始日時、件名、アラーム時刻、内容、場所、終了日時などを変更する

「スケジュールを登録する」（☞ 12-12ページ）の手順6以降

スケジュールの内容を消去する

個別消去する

1 一日表示画面を表示する

「スケジュールの内容を表示する」（☞ 12-14ページ）の手順1～3

2 ◎を押して消去したいスケジュールを選択する

3 Menu（メニュー）を押す

4 ◎を押して「4.個別消去」を選択し、◯（決定）を押す

5 ◎を押して、「1.はい」を選択する

▶ 個別消去を中止するとき

「2.いいえ」を選択し、◯（決定）を押す

6 ◯（決定）を押す

選択したスケジュールが消去され、「消去しました」と表示されます。

一括消去する

すべてのスケジュールを消去することができます。

1 待ち受け画面で、Menu（Menuボタン）4 1と押す

2 Menu（メニュー）を押す

3 ◎を押して「6.一括消去」を選択し、◯（決定）を押す

一括消去を行うかどうかを確認する画面が表示されます。

4 ◎を押して、「1.はい」を選択する

▶ 一括消去を中止するとき

「2.いいえ」を選択し、◯（決定）を押す

5 ◯（決定）を押す

もう一度、一括消去を行うかどうかを確認する画面が表示されます。

6 ◎を押して、「1.はい」を選択する

▶ 一括消去を中止するとき

「2.いいえ」を選択し、◯（決定）を押す
カレンダー表示画面に戻ります。

7 ◯（決定）を押す

スケジュールがすべて消去され、「消去しました」と表示されます。

前日までのスケジュールを消去する

前日までのスケジュールをすべて消去することができます。

1 カレンダー表示画面を表示する

「スケジュールの内容を表示する」(☞12-14ページ)の手順1

2 Menu（メニュー）を押す

3 ◎を押して「5.前日まで消去」を選択し、◯（決定）を押す

前日までのスケジュールを消去するかどうかを確認する画面が表示されます。

4 ◎を押して、「1.はい」を選択する

▶「前日まで消去」を中止するとき

「2.いいえ」を選択し、◯（決定）を押す

5 ◯（決定）を押す

もう一度、前日までのスケジュールを消去するかどうかを確認する画面が表示されます。

6 ◎を押して、「1.はい」を選択する

▶「前日まで消去」を中止するとき

「2.いいえ」を選択し、◯（決定）を押す

7 ◯（決定）を押す

前日までのスケジュールが消去され、「消去しました」と表示されます。

目覚ましを利用する

曜日ごとに、目覚ましのON/OFFと動作時刻を設定することができます。設定した時刻になると、1分間目覚まし音が鳴り、完全に停止させるまで最大5回まで繰り返し目覚まし音が鳴ります。
目覚ましを設定するには、あらかじめ日付・時刻を設定しておく必要があります。「日時を設定する」(☞1-18ページ)

1 待ち受け画面で Menu (Menuボタン) 4 2 と押す

曜日ごとの目覚ましのON/OFFの設定と、動作時刻が表示されます。

2 ◎ を押して、設定したい曜日を選択する

3 ◯(決定)を押す

4 ◎ を押して「1.ON」を選択する

▶ 目覚ましを解除するには

「2.OFF」を選択し、◯(決定)を押す
目覚ましが解除され、手順1の画面に戻ります。

5 ◯(決定)を押す

6 ダイヤルボタンで、目覚ましを鳴らしたい時刻を入力する

▶ 時刻を修正するには

① ◎ を押して、修正したい箇所にカーソルを移動する
② ダイヤルボタンで時刻を入力する

7 ◯(決定)を押す

目覚ましが設定され、手順1の画面に戻ります。
目覚ましの設定中は、待ち受け画面には「 」が点灯されます。
続けて他の曜日を設定するときは、手順2～7の操作を繰り返します。

■設定時刻になったとき

設定に従って目覚まし音が鳴り、「 」が点滅します。「着信音やアラームを設定する」(☞7-49ページ)
目覚ましは終了させるまで、1分間お知らせ・4分間停止の動作を5回繰り返します。
待ち受け画面での目覚ましのお知らせ中に◯(停止)、PWR 以外のいずれかのボタンを押すと、目覚まし音のみ一時停止し、1分間お知らせ画面を表示したあと、4分後に再度お知らせします。この操作は目覚ましを完全に終了する動作ではありません。
目覚ましを終了させるには、◯(停止)、または PWR を押します。

お知らせ

- 通話中に設定時刻になったときは、受話口(レシーバ)から目覚まし音が鳴ります。
- 通話中に目覚まし音を停止させるには、◯(停止)を押してください。PWR を押すと、通話が切れてしまいます。
- パソコンと本電話機との間でファイル転送中(画面に「データ転送」が点滅しているとき)は目覚まし音が鳴りません。

電卓を利用する

10桁までの足し算、引き算、掛け算、割り算ができます。

1 **待ち受け画面で Menu（Menuボタン）4 5 と押す**

2 **各ボタンで計算式を入力する**

各ボタンの機能は次の通りです。

0 〜 9：0〜9（数字）
上：＋（足し算）
下：－（引き算）
左：×（掛け算）
右：÷（割り算）
Menu（.）：.（小数点）
Web（C）：C（クリア）
クリア/マナー：1桁消去
#：＋／－の切り替え
＊：逆数の計算

3 **○（＝）を押す**

結果が表示されます。

4 **計算が終わったら PWR を押す**

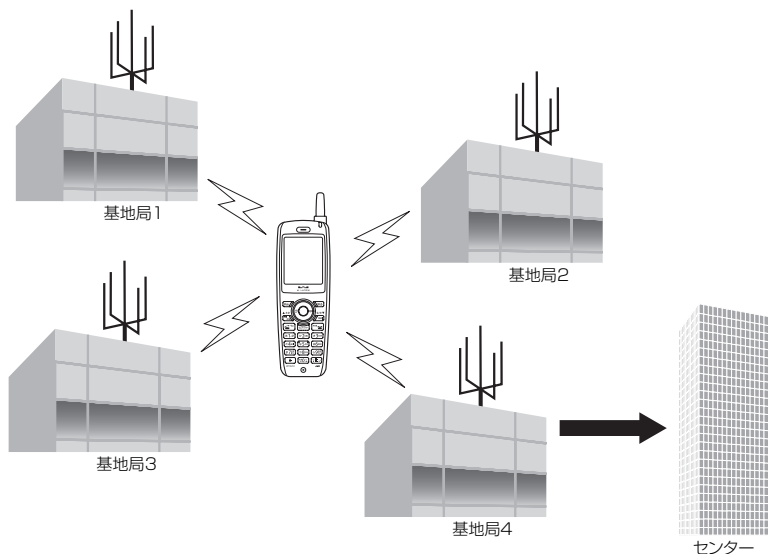
待ち受け画面に戻ります。

お知らせ

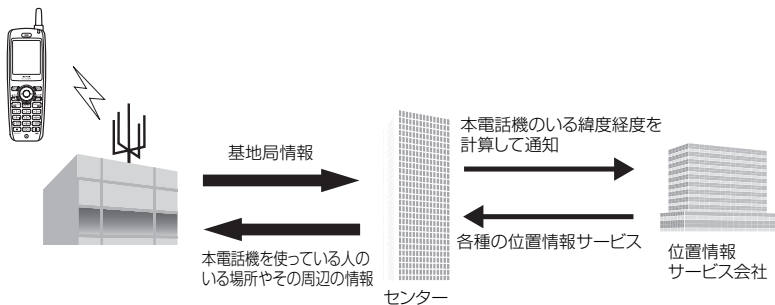
- Menu（.）を押したあと、小数点以下を入力する前に ◎（＋－×÷）キーを押した場合は、小数点入力がキャンセルされます。
- 計算結果が11桁以上になるときは、「Error」と表示され、計算できません。

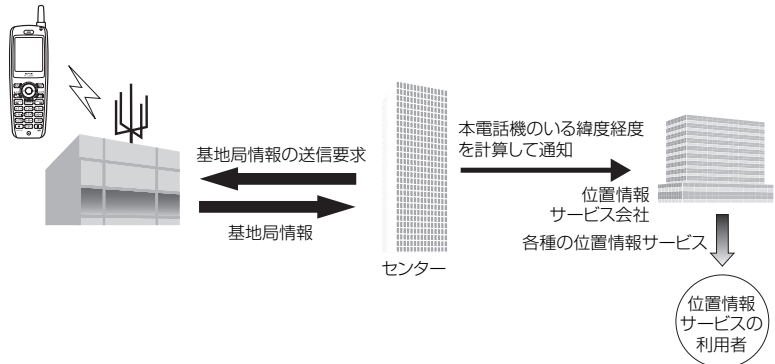
位置情報を利用する

位置情報通知機能の概要

位置情報通知機能とは、電話機が受信している複数の基地局の基地局情報（識別番号と電波の強さ）をセンターに通知する機能です。位置情報通知機能には、「発信型」と「着信型」があります。

基地局の電波の強さで、基地局から本電話機までのおおよその距離がわかります。センターでは、それらをもとに本電話機の場所を計算します。
ウィルコムでは位置情報サービスを利用した「ウィルコム位置検索サービス」を提供しています。詳しくは、ウィルコムサービスセンターまでお問い合わせください。「お問い合わせ窓口」（☞A-27ページ）

■発信型機能

電話機からセンターに基地局情報を通知し（発信）、自分のいる位置や周辺の情報などの各種位置情報サービスを得ることができます。
センターは受け取った基地局情報をもとに、本電話機のいる場所を算出し、サービス会社に通知します。この情報をもとに、サービス会社は各種情報サービスを提供します。

■着信型機能

センターからの問い合わせ（着信）に応じて、本電話機の基地局情報をセンターに通知し、第三者が本電話機の位置情報を知ることができる機能です。

位置情報通知機能を利用できるようにする

位置情報通知機能には発信型と着信型があります。発信型機能にはサブアドレス方式とユーザ・ユーザ方式があります。着信型機能はユーザ・ユーザ方式になります。
サブアドレス方式を利用するには、あらかじめ位置情報通知LIを「ON」に設定する必要があります。
ユーザ・ユーザ方式を利用するには、あらかじめ位置情報通知LIを「ON」に設定し、自動位置情報送出設定を「ON」に設定する必要があります。

位置情報LIを設定する

1 待ち受け画面で Menu（Menuボタン）8 4 と押す

2 ◎を押して「1.ON」を選択し、◯（決定）を押す

位置情報通知LIが設定され、「設定しました」と表示されます。
設定されますと、「自動位置情報送出設定」を設定する画面が表示されます。

3 ◎を押して「1.ON」または「2.OFF」を選択し、◯（決定）を押す

▶**「1.ON」を選択し、◯（決定）を押すと**

ユーザ・ユーザ方式をご利用になれます。「自動位置情報送出設定をする」（☞同じページ内です。）へ進んでください。

▶**「2.OFF」を選択し、◯（決定）を押すと**

発信型機能（サブアドレス方式）のみをご利用になれます。

お知らせ

● お買い上げ時は、「位置情報通知LI」は「OFF」、「自動位置情報送出設定」は「OFF」に設定されています。

自動位置情報送出設定をする

通知許可番号、着信音設定、および自動位置情報送出機能の設定ができます。センターからの位置情報送出の問い合わせ（着信）に対して、自動的に位置情報を送出する設定です。

1 待ち受け画面で Menu（Menuボタン）8 4 と押す

2 ◎を押して「1.ON」を選択し、◯（決定）を押す

位置情報通知LIが設定され、「設定しました」と表示されます。

3 ◎を押して「1.ON」を選択し、◯（決定）を押す

4 ダイヤルボタンで暗証番号を入力し、◯（決定）を押す

「暗証番号を設定する」（☞ 11-8ページ）

5 ◎を押して「2.通知許可番号」を選択し、◯（決定）を押す

センターから位置情報送出の問い合わせ（着信）があったときに、センターへ自動的に位置情報を送出する際の番号設定です。自動的に送出しないようにするには、手順13と14を参照してください。通知許可番号が設定されていないときには、「1.着信音設定」と「3.自動位置情報送出機能」は選択できません。

6 ◎を押して「1.通知許可番号1」を選択し、◯（決定）を押す

7 ⓪～⑨で通知許可番号を入力し、◯（決定）を押す

20桁まで入力できます。

▶ **通知許可番号を入力しなおすには**

クリア/マナーを押すと1桁消去され、クリア/マナーを約1秒以上押すとすべて消去されます。また、手順8で通知許可パスワードを入力しても◯（決定）を押す前であれば、Web（戻る）を押すと、手順7の通知許可番号を入力する画面に戻ります。

8 ⓪～⑨で通知許可パスワードを入力する

通知許可パスワードは8桁まで入力できます。ただし、全桁0で設定した場合は、着信型位置情報機能はご利用になれません。

▶ **通知許可パスワードを修正するには**

通知許可パスワードを入力しても◯（決定）を押す前であれば、クリア/マナーを押すと1桁消去され、クリア/マナーを約1秒以上押すとすべて消去されます。

9 ◯（決定）を押す

「登録しました」と表示され、通知許可番号登録画面に戻ります。
続けて他のパスワードを入力するには、手順6から操作を繰り返します。

10 Web（戻る）またはクリア/マナーを押す

11 ◎を押して「1.着信音設定」を選択し、◯（決定）を押す

12 ◎を押して「1.ON」を選択し、◯（決定）を押す

着信音が設定され、「設定しました」と表示されます。

▶ **着信音を鳴らさなくするには**

「2.OFF」を選択し、◯（決定）を押します。着信音の設定が解除され、「設定しました」と表示されます。

13 ◎を押して「3.自動位置情報送出機能」を選択し、◯（決定）を押す

14 ◎を押して「1.ON」を選択し、◯（決定）を押す

自動位置情報送出機能が設定され、「設定しました」と表示されます。本機能を「ON」に設定すると、自動位置情報送出設定が「ON」になり、待ち受け画面に「 LI 」が表示されます。

▶ **自動的に送出しないようにするには**

「2.OFF」を選択し、◯（決定）を押します。自動位置情報送出機能の設定が解除され、「設定しました」と表示され、待ち受け画面の「 LI 」が消えます。自動位置情報送出機能は一時的に解除されますが、通知許可番号や通知許可パスワードの設定は消去されません。

お知らせ

- お買い上げ時は、「着信音設定」は「ON」、「自動位置情報送出機能」は「OFF」に設定されています。

発信型機能を利用する

位置情報を通知する

サブアドレス方式とユーザ・ユーザ方式の２種類の通知方式があります。

■サブアドレス方式で通知する

1 待ち受け画面で［発信］を約１秒以上押す

入力画面に「 」が表示されます。

2 「ダイヤルボタン」でセンターの電話番号を入力する

▶ **［Menu］（メニュー）を押すと**

電話帳登録、184、186、分計発信、ポーズ、および区切り表示を使用できます。
「電話帳に登録する」（☞7-31ページ）
「通話ごとに発信者番号の通知／非通知を設定する」（☞7-4ページ）
「料金分計サービスを利用する（有料）」（☞12-38ページ）
「ポーズダイヤルを利用する」（☞7-7ページ）
「電話番号を入力する」（☞7-32ページ）

3 ［発信］を押す

センターに位置情報が通知され、位置情報通知機能を利用したサービスが利用できるようになります。

■ユーザ・ユーザ方式で通知する

位置情報のみの登録と、ステータスコード付きの位置情報登録の２種類があります。「自動位置情報送出設定をする」（☞12-21ページ）の手順７で入力した通知許可番号に対して発信します。

● 位置情報のみを登録するには

1 待ち受け画面で［＊］を約１秒以上押す

▶ **［Menu］（メニュー）を押すと**

分計発信を使用できます。
「料金分計サービスを利用する（有料）」（☞12-38ページ）

2 ［発信］を押す

● ステータスコード付きの位置情報を登録するには

ステータスコードについては、あらかじめサービス会社「位置情報通知機能の概要」(☞12-19ページ)にお問い合わせください。
センターへ登録するステータスコードが「10」のときの設定方法を例にしています。

1 待ち受け画面で [＊] [あ1.@] [わ0] [＊] と押す

▶ [Menu] (メニュー) を押すと

電話帳登録、184、186、分計発信、ポーズ、および区切り表示を使用できます。
「電話帳に登録する」(☞7-31ページ)
「通話ごとに発信者番号の通知/非通知を設定する」(☞7-4ページ)
「料金分計サービスを利用する(有料)」(☞12-38ページ)
「ポーズダイヤルを利用する」(☞7-7ページ)
「電話番号を入力する」(☞7-32ページ)

▶ [Web] (ライト) を押すと

ライトメールを使用できます。
「ライトメールを新規に作成して送信する」(☞8-43ページ)

2 [発信] を押す

お知らせ

● 通知許可番号の引用について
- 通知許可番号1に登録がある場合は、通知許可番号1が引用されます。
- 通知許可番号1に登録がない場合は、通知許可番号2が引用されます。
- 通知許可番号1, 2ともに登録がない場合は、通知許可番号3が引用されます。
- 通知許可パスワードが全桁0で設定されている通知許可番号は、引用されません。

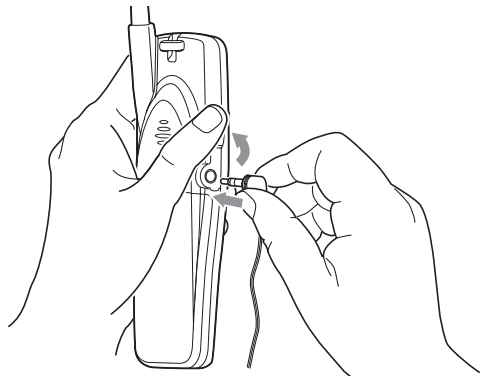
着信型機能を利用する

「自動位置情報送出設定をする」(☞12-21ページ)の手順7で入力した通知許可番号で、センターより位置情報送出の問い合わせ(着信)があったときに、自動的に位置情報をセンターへ送出します。

イヤホンマイクをつなぐ

イヤホンマイク端子の使いかた

イヤホンマイク端子には、市販のイヤホンマイク（φ2.5mm）を接続してご利用いただけます。接続ケーブルは完全に装着してください。

・スイッチ付イヤホンマイクを使用すると、そのスイッチで電話を受けたり、切ったりすることができます。

メロディBOXを利用する

本電話機にあらかじめ登録されているプリセットメロディや、インターネットからダウンロードしたメロディを聴くことができます。
プリセットメロディは5曲が登録されています。ダウンロードメロディは最大10曲まで登録することができます。
プリセットメロディ、ダウンロードメロディは着信音、目覚まし音、スケジュールのアラーム音に利用することができます。

メロディを再生する

メロディBOXに登録されているメロディを再生します。

1 待ち受け画面で Menu（Menuボタン）4 3 と押す

メロディの一覧画面が表示されます。
メロディBOXのメロディの種類は次の通りです。

- FS：feelsoundのメロディ
- MIDI：MIDIメロディ
- P♪：プリセットメロディ
- ?♪：本電話機で再生できないメロディ

2 ◎を押して、再生したいメロディを選択する

3 ◯（再生）を押す

メロディが再生されます。
途中で再生を終了するには◯（停止）を押します。
Web（戻る）を押すと、メロディの一覧画面に戻ります。

お知らせ

- 再生中、◎を押して再生音量を調整できます。
- メロディの再生中に Web（戻る）を押すと、メロディを再生したままメロディの一覧画面に戻ります。この状態で◎を押すと、選択されたメロディが再生されます。
- パソコンをお使いの場合は、専用のファイル転送ユーティリティを使用してメロディデータをパソコンに転送し、保存することができます。なお、著作権で保護されたメロディデータは本電話機からパソコンに転送することができません。

メロディBOXのメロディをEメールに添付する

メロディBOXに保存されているダウンロードメロディをEメールに添付して送信することができます。

1 待ち受け画面で Menu（Menuボタン）4 3 と押す

2 ◎を押して、添付したいメロディを選択する

3 Menu（メニュー）を押す

4 ◎を押して、「1.メール添付」を選択する

5 ◯（決定）を押す

メール作成画面が表示されます。
「Eメールを新規に作成して送信する」(☞8-7ページ)

お知らせ

- 著作権で保護されたダウンロードメロディ、およびプリセットメロディは、Eメールに添付することはできません。
- Eメールに添付したメロディのファイル名は、本電話機独自のファイル名に置き換えられます。

タイトルを編集する

メロディBOX内のメロディのタイトルを編集できます。

1 **待ち受け画面で Menu（Menuボタン）4 3 と押す**

メロディの一覧画面が表示されます。

2 **を押して、タイトルを編集したいメロディを選択する**

3 **Menu（メニュー）を押す**

4 **を押して「2.タイトル編集」を選択し、◯（決定）を押す**

5 **タイトルを入力する**

タイトルは全角40文字（半角80文字）まで入力することができます。

「文字を入力する」（☞4-5ページ）

6 **◯（決定）を押す**

タイトルが変更され、メロディの一覧画面に戻ります。

メロディを並べ替える

メロディの表示順を並べ替えることができます。

1 **待ち受け画面で Menu（Menuボタン）4 3 と押す**

2 **Menu（メニュー）を押す**

3 **を押して「3.並び替え」を選択し、◯（決定）を押す**

4 **を押して移動したいメロディのタイトルを選択し、◯（決定）を押す**

5 **を押して移動先を選択する**

6 **◯（決定）を押す**

並べ替えが完了します。

メロディBOXのメロディを消去する

個別消去する

メロディBOXに保存されているダウンロードメロディを個別に消去します。
なお、プリセットメロディは消去することができません。

1 メロディ一覧から、◎を押して消去したいメロディを選択する

2 Menu（メニュー）を押す

3 ◎を押して「4.個別消去」を選択し、◯（決定）を押す

消去するかどうかを確認する画面が表示されます。

4 ◎を押して、「1.はい」を選択する

▶ **個別消去を中止するとき**

「2.いいえ」を選択し、◯（決定）を押す

5 ◯（決定）を押す

選択したメロディが消去され、「消去しました」と表示されます。

お知らせ

- 着信音や電話帳の指定着信音・ライトメール着信音、スケジュールアラーム音、目覚まし音、保留音に設定されているメロディを削除したときは、プリセットメロディの「モーツァルト K488 3」に設定されます。

一括消去する

メロディBOXに保存されているダウンロードメロディをすべて消去します。プリセットメロディは消去されません。

1 待ち受け画面で Menu（Menuボタン）た4GHI さ3DEF と押す

2 Menu（メニュー）を押す

3 ◎を押して「5.一括消去」を選択し、◯（決定）を押す

一括消去を行うかどうかを確認する画面が表示されます。

4 ◎を押して、「1.はい」を選択する

▶ **一括消去を中止するとき**

「2.いいえ」を選択し、◯（決定）を押す

5 ◯（決定）を押す

もう一度、一括消去を行うかどうかを確認する画面が表示されます。

6 ◎を押して、「1.はい」を選択する

▶ **一括消去を中止するとき**

「2.いいえ」を選択し、◯（決定）を押す

7 ◯（決定）を押す

プリセットメロディ以外のメロディがすべて消去され、「消去しました」と表示されます。

お知らせ

- 着信音や電話帳の指定着信音・ライトメール着信音、スケジュールアラーム音、目覚まし音、保留音に設定されているメロディを削除したときは、プリセットメロディの「モーツァルト K488 3」に設定されます。

ピクチャーBOXを利用する

本電話機にあらかじめ登録されている画像（2件）やインターネットからダウンロードした画像を表示したり、待ち受け画面の壁紙に設定することができます。
画像によっては、完全でないファイルは表示できない場合があります。

ピクチャーBOXの画像を表示する

1 待ち受け画面で Menu（Menuボタン）たち4 たち4 と押す

● **表示されるアイコン**

：ダウンロードした画像、または本電話機にあらかじめ登録されている画像

2 ◎ を押して、見たい画像を選択し、◯（決定）を押す

画像が表示されます。画像が複数保存されているときは、◎ を押すことで前後の画像を表示することができます。
一覧画面に戻るには クリア/マナー または Web（戻る）を押します。

▶ **画像が画面より大きいとき**

画像のサイズが画面の表示領域（160×128ドット）を超える場合は、画像の中央から表示可能な範囲を表示します。このとき、ガイダンスには「詳細」が表示されます。
◯（詳細）を押し、◎ を押すと、表示しきれない他の部分を表示することができます。Web（戻る）を押すと元の表示に戻ります。

画面に表示できる画像は240×190ドットまでです。縦横いずれかがこれを上回る場合は、「この画像は大きすぎるためピクチャーBOXでは表示できません」と表示され、元の画面に戻ります。

壁紙を設定する

ピクチャーBOXに登録されている画像データを、待ち受け画面の壁紙に設定します。

1 ピクチャーBOXの画像の一覧から、◎ を押して壁紙にしたい画像を選択する

2 Menu（メニュー）を押す

画像表示中の画面からも操作することができます。

3 ◎ を押して、「1.壁紙設定」を選択する

4 ◯（決定）を押す

選択した画像が壁紙に設定され、「壁紙に設定しました」と表示されたあと、待ち受け画面に戻ります。

お知らせ

- 詳細表示、拡大／縮小表示を行った状態で、壁紙に設定することもできます。この場合、画面に表示している状態で、壁紙に設定されます。
- パソコンをお使いの場合は、専用のファイル転送ユーティリティを使用して、画像データをパソコンに転送し、保存することができます。なお、著作権で保護された画像データは本電話機からパソコンに転送することができません。

壁紙を解除する

待ち受け画面に設定された壁紙を解除します。

1　待ち受け画面で Menu（Menuボタン）た4GHI た4GHI と押す

ピクチャーBOXの画像の一覧が表示されます。

2　Menu（メニュー）を押す

3　◎を押して、「2.壁紙解除」を選択する

4　◯（決定）を押す

壁紙が解除され、「壁紙を解除しました」と表示されたあと、手順1の画像の一覧に戻ります。

ピクチャーBOXの画像をEメールに添付する

ピクチャーBOXに登録されている画像をEメールに添付して送信することができます。

1　ピクチャーBOXの画像の一覧から、◎を押して添付したい画像を選択する

2　Menu（メニュー）を押す

画像表示中の画面からも操作を行うことができます。

3　◎を押して、「3.メール添付」を選択する

4　◯（決定）を押す

メール作成画面が表示されます。

「Eメールを新規に作成して送信する」(☞8-7ページ)

お知らせ

- 画像の拡大／縮小を行った状態でEメールに添付しても、添付される画像は元の大きさの画像となります。「画像を拡大／縮小する」（☞12-31ページ）
- Eメールに添付した画像のファイル名は、本電話機独自のファイル名に置き換えられます。

タイトルを編集する

ピクチャーBOX内の画像タイトルを変更できます。

1　ピクチャーBOXの画像の一覧から、◎を押してタイトルを編集したい画像を選択する

2　Menu（メニュー）を押す

3　◎を押して「4.タイトル編集」を選択し、◯（決定）を押す

4　タイトルを入力する

タイトルは全角9文字（半角18文字）まで入力できます。

「文字を入力する」（☞4-5ページ）

5　◯（決定）を押す

タイトルが変更され、ピクチャーBOXの画像一覧に戻ります。

画像を拡大／縮小する

画面に表示しきれない画像を縮小したり、小さな画像を画面に合わせて拡大することができます。また、画像を拡大／縮小した状態で壁紙設定を行ったときは、その大きさで壁紙設定されます。「壁紙を設定する」（☞12-29ページ）

1 待ち受け画面で Menu（Menuボタン）たち4 たち4 と押す

2 ピクチャーBOXの画像の一覧から、◎を押して拡大または縮小したい画像を選択する

3 ◯（決定）を押す

画像が表示されます。

4 Menu（メニュー）を押す

5 ◎を押して、「5.拡大」または「6.縮小」を選択する

6 ◯（決定）を押す

画像の表示が画面のサイズに合わせて変更されます。

Web（戻る）または クリア/マナー を押すと、画像が元の大きさで表示されます。

お知らせ

- 本電話機の画面の表示領域は160×128ドットです。縦横いずれかがこれを上回る画像は「縮小」を行うことで画面に表示可能な大きさに縮小されます。また、縦横いずれもが表示領域を下回る大きさの画像は「拡大」を行うことで画面いっぱいまで拡大されます。
- 拡大または縮小した状態で画像をEメールに添付しても、メールには元の大きさの画像が添付されます。「ピクチャーBOXの画像をEメールに添付する」（☞12-30ページ）

画像の一覧を並べ替える

画像一覧の表示順を並べ替えることができます。

1 待ち受け画面で Menu（Menuボタン）たち4 たち4 と押す

2 Menu（メニュー）を押す

3 ◎を押して「7.並び替え」を選択し、◯（決定）を押す

4 ◎を押して移動したい画像のタイトルを選択し、◯（決定）を押す

5 ◎を押して、移動先を選択する

6 ◯（決定）を押す

並べ替えが完了します。

ピクチャーBOXの画像を消去する

個別消去する

ピクチャーBOXに登録している画像データを個別に消去できます。

1 待ち受け画面で Menu（Menuボタン）た4GHI た4GHI と押す

2 ◎を押して、個別消去したい画像のタイトルを選択する

3 Menu（メニュー）を押す

4 ◎を押して「8.個別消去」を選択し、◯（決定）を押す

個別消去をするかどうかを確認する画面が表示されます。

5 ◎を押して、「1.はい」を選択する

▶ **個別消去を中止するとき**

「2.いいえ」を選択し、◯（決定）を押す

6 ◯（決定）を押す

選択した画像が消去され、「消去しました」と表示されます。

お知らせ

- 本電話機にあらかじめ登録されている画像も、個別消去することができます。一度消去した画像は、元に戻すことはできません。

一括消去する

ピクチャーBOXに登録されている画像を一括消去できます。

1 待ち受け画面で Menu（Menuボタン）た4GHI た4GHI と押す

2 Menu（メニュー）を押す

3 ◎を押して「9.一括消去」を選択し、◯（決定）を押す

一括消去を行うかどうかを確認する画面が表示されます。

4 ◎を押して「1.はい」を選択する

▶ **一括消去を中止するとき**

「2.いいえ」を選択し、◯（決定）を押す

5 ◯（決定）を押す

もう一度、一括消去を行うかどうかを確認する画面が表示されます。

6 ◎を押して「1.はい」を選択する

▶ **一括消去を中止するとき**

「2.いいえ」を選択し、◯（決定）を押す

7 ◯（決定）を押す

ピクチャーBOXに保存されている画像がすべて消去され、「消去しました」と表示されます。

お知らせ

- 本電話機にあらかじめ登録されている画像も一括消去の対象となります。

国際ローミングを利用する（国際ローミング）

ウィルコムに、別途国際ローミングサービスをお申し込みになると、本電話機を台湾やタイ、ベトナムでも利用できるようになります。
サービスの詳細についてはウィルコムサービスセンターにお問い合わせください。「お問い合わせ窓口」（☞A-27ページ）

▶ 台湾で使用するには

●本電話機のローミングモードを「台湾」に切り替えます。「ローミングモードに切り替える」（☞同じページ内です。）
●ローミング用の電話番号を本電話機に登録しておくことができます。「台湾のローミング電話番号を登録する」（☞12-34ページ）

▶ タイまたはベトナムで使用するには

●ローミング情報を登録します。「タイ／ベトナムのローミング情報を登録する」（☞12-34ページ）
●本電話機のローミングモードを「タイ」または「ベトナム」に切り替えます。「ローミングモードに切り替える」（☞同じページ内です。）

ローミングモードに切り替える

台湾、タイまたはベトナムで本電話機を使用するには、ローミングモードを各ローミング先に切り替えます。
タイまたはベトナムに切り替えるには、あらかじめローミング情報を登録しておく必要があります。「タイ／ベトナムのローミング情報を登録する」（☞12-34ページ）

1 待ち受け画面で Menu（Menuボタン）8 9 と押す

2 ◎ を押して「1.国・地域／事業者選択」を選択し、◯（決定）を押す

3 ◎ を押して、「2.台湾」、「3.タイ」または「4.ベトナム」を選択する

▶ 台湾・タイ・ベトナムのローミングから日本へ切り替えるとき

「1.日本」を選択する

4 ◯（決定）を押す

5 ◎ を押して「1.はい」を選択し、◯（決定）を押す

設定が完了します。
ローミングモードの設定中は、待ち受け画面に「RM」が点灯します。

お知らせ

● ローミングモードでは、次の機能はご利用になれません。
- 安全運転モード（ネットワーク応答、ネットワーク応答＋留守電）
- 発信者番号付加機能（184、186）
- 分計発信
- ライトメール
- オンラインサインアップ
- オフィシャルメニュー
- Eメール自動受信

● ローミングモードを切り替えると、本電話機の時刻は現地時間に合わせて自動的に調整されます。また、切替の際、60秒以内の時刻の誤差が生じます。ひんぱんに切替を行うと誤差が大きくなりますのでご注意ください。

台湾のローミング電話番号を登録する

台湾で使用する場合は、ローミング用の電話番号を忘れないように本電話機に登録します。登録したローミング用の電話番号は、「プロフィール表示」で表示されます。「プロフィールを表示する」(☞12-4ページ)ローミング用の電話番号をお客様が確認するための機能です。本電話機にローミング用の番号を書き込む操作とは異なります。

1 待ち受け画面で Menu（Menuボタン）8 9 と押す

2 ◎を押して「2.ローミング情報登録」を選択し、◯（決定）を押す

3 ◎を押して「1.台湾」を選択し、◯（決定）を押す

4 ダイヤルボタンでローミング電話番号を入力する

▶ **すでに登録済みのローミング電話番号を修正するとき**

Menu（メニュー）を押し、「1.修正」を選択し◯（決定）を押す
ローミング電話番号を編集する画面が表示されます。

5 ◯（決定）を押す

ローミング電話番号が登録されます。

お知らせ

● ローミング用の電話番号は、ウィルコムに国際ローミングサービスを申し込まれた際にウィルコムよりご案内があります。

タイ／ベトナムのローミング情報を登録する

タイまたはベトナムで使用する場合は、以下のローミング情報を登録します。

●ローミング先PS-ID
●PS番号
●ローミング電話番号
●暗証番号

自動でローミング情報を登録する

ウィルコムにタイまたはベトナムでのローミングサービスをお申し込みになると、ウィルコムからローミング登録用ライトメールが送られます。ローミング登録用ライトメールを受信すると、ローミング情報は自動的に本電話機に登録されます。
ローミング登録用ライトメールは自動的に保護設定となります。「メールを保護する」(☞8-20ページ)
海外にいてライトメールの受信ができないなど、ローミング情報を自動で登録できない場合は、手動でローミング情報を登録することもできます。

お知らせ

- ウィルコムからのローミング登録用ライトメールは、ローミング終了まで大切に保管してください。
- 受信したライトメールの保護件数は10件までです。すでにライトメールの保護件数が10件ある場合、ローミング登録用ライトメールは保護設定となりません。
- 「ローミング情報登録」メニューで、ローミング情報の内容を確認することもできます。

手動でローミング情報を登録する

海外にいてライトメールの受信ができないなど、ローミング情報を自動で登録できない場合は、以下の手順でローミング情報を登録します。

1 待ち受け画面で Menu（Menuボタン）8 9 と押す

2 ◎を押して「2.ローミング情報登録」を選択し、◯（決定）を押す

3 ◎を押して「2.タイ」または「3.ベトナム」を選択し、◯（決定）を押す

ローミング情報登録画面が表示されます。

4 ローミング先PS-IDを入力する

① ローミング情報登録画面で◎を押して「ローミング先PS-ID」を選択し、◯（決定）を押す
② ダイヤルボタンでローミング先PS-IDを入力する
③ ◯（決定）を押す

5 PS番号を入力する

① ローミング情報登録画面で◎を押して「PS番号」を選択し、◯（決定）を押す
② ダイヤルボタンでPS番号を入力する
③ ◯（決定）を押す

6 ローミング電話番号を入力する

① ローミング情報登録画面で◎を押して「ローミング電話番号」を選択し、◯（決定）を押す
② ダイヤルボタンでローミング電話番号を入力する
③ ◯（決定）を押す

7 暗証番号を入力する

① ローミング情報登録画面で◎を押して「暗証番号」を選択し、◯（決定）を押す
② ダイヤルボタンで暗証番号を入力する
③ ◯（決定）を押す

8 ローミング情報登録画面で Menu（メニュー）を押す

9 ◎を押して、「1.登録」を選択する

▶ 登録済みのローミング情報を消去するには

「2.登録消去」を選択する

10 ◯（決定）を押す

ローミング情報が登録されます。

お知らせ

- ローミング情報は、ウィルコムに国際ローミングサービスを申し込まれた際にウィルコムよりご案内があります。
- ローミング電話番号は、「プロフィール表示」で確認することができます。「プロフィールを表示する」（☞12-4ページ）
- ローミング情報を消去した場合は、タイまたはベトナムでのご使用ができなくなりますのでご注意ください。

国際プレフィックス番号を簡単につける

ローミングモードでのご利用時に日本など、他の国や地域に電話をかけるときには、相手の国番号の前に「国際プレフィックス番号」をつける必要があります。本電話機では、簡単な操作で国際プレフィックス番号を入力することができます。
ここでは日本に電話をかける場合の例で説明をします。

1　待ち受け画面で ＊ ＊ と押す

選択した国や地域で割り当てられた国際プレフィックス番号が表示されます。

2　ダイヤルボタンで、8 1（日本の国番号）を入力する

3　ダイヤルボタンで、相手の電話番号から先頭の「0」を除いた番号を入力する

例えば、相手の番号が「070-1234-XXXX」の場合、「701234XXXX」と入力します。

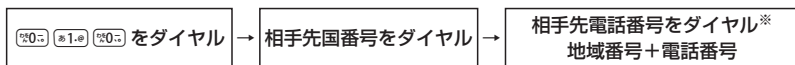
4　[発信] を押す

相手に電話がかかります。

国際電話をかける（ウィルコム国際電話サービス）

手続きなしで、本電話機から国際電話をかけることができます。
お申し込み手数料や月額料金は一切不要です。通話料だけでご利用いただけます。

相手先電話番号の前に、010と国番号を付けるだけで国際電話をかけることができます。相手先電話番号をダイヤルしたあとは、通常の電話のかけ方と同じです。

0 1 0 をダイヤル	→	相手先国番号をダイヤル	→	相手先電話番号をダイヤル※ 地域番号＋電話番号

※相手先電話番号が「0」で始まる場合は、「0」を除いてダイヤルしてください。（一部の国と地域は除く）

例）ニューヨークの123-4567へかけるとき

010	→	1	→	212	→	123-4567
国際電話であることを示す番号		アメリカの国番号		ニューヨークの地域番号		相手の電話番号

お知らせ

- 国際電話の通話料は、30秒単位での課金となります。
- 国際電話料金（非課税）は、毎月ウィルコムご利用料金と合算してのご請求となります。
- 通話相手先の国や地域によっては、現地事業者の設備の都合により接続できない場合があります。
- 国際電話のご利用にあたっては、毎月のご利用限度額10,000円（非課税）が設定されています。超過した場合はライトメールでお知らせいたします。ご利用限度額の設定解除などを希望される場合は、ウィルコムサービスセンターにお問い合わせください。

ウィルコムのサービスを利用する

料金分計サービスを利用する（有料）

料金分計サービスを使うと、通話料金の請求先を２箇所に分けられます。分計サービスを使わないときの通話料金は契約者の方（主計先）へ、分計サービスを使ったときの通話料金はあらかじめ登録された方（分計先）へ請求されます。料金分計サービスを使うには、あらかじめ契約が必要です。
料金分計サービスを利用する場合は、公衆を含んだ待受モードに設定してください。「待受モードを切り替える（待受モード）」（☞13-3ページ）
なお、ライトメールや、フレックスチェンジ方式・パケット方式でのデータ通信、CLUB AIR-EDGEへの接続および国際ローミングモードでのご利用は、分計サービスの対象外です。
詳しくは、ウィルコムサービスセンターまでお問い合わせください。「お問い合わせ窓口」（☞A-27ページ）

分計サービスを使って電話をかける

1　ダイヤルボタンを押して、相手の電話番号を入力する

2　Menu（メニュー）を押す

サブメニューが表示されます。

3　◎を押して「4.分計発信」を選択し、○（決定）を押す

画面中央に「分計」と表示されます。

4　発信キーを押す

相手に電話がかかります。通話状態になると「分計」が消えます。

お知らせ

- 先に発信キーを押してから電話番号を入力する順で発信するときには、分計発信はできません。
- 分計発信は、「公衆」を含むモードに設定しているときに利用可能です。ただし、デュアルモード（公衆＋オフィス）に設定しているときに、オフィスモードで発信したときは話中音が鳴り、分計発信できません。
- 一度分計発信を設定した後に、分計発信を取りやめたい場合は、もう一度手順２～４の操作を行ってください。分計発信の設定が解除され、画面から「分計」という表示が消えます。
- 「184」または「186」をつけて、分計発信することもできます。「通話ごとに発信者番号の通知／非通知を設定する」（☞7-4ページ）

リダイヤル／着信履歴／ダイヤルメモから料金分計サービスを使って電話をかける

1　待ち受け画面で◎を押す

リダイヤルが表示されます。

▶ **着信履歴を表示させるには**

待ち受け画面で◎を２回押す

2　◎を押して、かけたい電話番号を選択する

「リダイヤル／着信履歴／ダイヤルメモで電話をかける」（☞7-6ページ）

3　Menu（メニュー）を押す

4 ◎を押して「4.分計発信」を選択し、○（決定）を押す

画面中央に「分計」と表示されます。

5 を押す

相手に電話がかかります。通話状態になると「分計」が消えます。

電話帳から分計サービスを使って電話をかける

1 待ち受け画面で◎を押す

電話帳検索画面が表示されます。

2 ◎を押して、電話をかける相手を選択する

「電話帳を使って電話をかける」（☞7-36ページ）

3 電話帳詳細画面で○（決定）を押す

4 Menu（メニュー）を押す

5 ◎を押して「4.分計発信」を選択し、○（決定）を押す

画面中央に「分計」と表示されます。

6 を押す

相手に電話がかかります。通話状態になると「分計」が消えます。

留守番電話サービスを利用する（有料）

すぐに電話に出られないときや、電源を切っているとき、また、サービスエリア外にいるときや通話中のときなどに、留守番電話センターが電話をかけてきた相手からのメッセージを預かります。
留守番電話サービスのご利用にはあらかじめお申し込みが必要です。詳しくは、ウィルコムサービスセンターまでお問い合わせください。「お問い合わせ窓口」（☞A-27ページ）

■留守番電話センターに新しいメッセージがあるとき

公衆モードで待ち受け状態のときに、留守番電話センターにメッセージがあると、待ち受け画面に「」が点灯します。
リマインダーを「ON」に設定しているときは、着信LEDが点滅します。いずれかのボタンを押すと点滅は停止します。「リマインダーを設定する」（☞12-10ページ）

お知らせ

- 留守番電話サービスは文字メッセージを受けることはできません。
- 留守番電話サービスは、着信転送サービスと同時にはご利用になれません。「着信転送サービスを使う」（☞12-40ページ）

留守番電話センターに保存されたメッセージを聞く

1 待ち受け画面で○（決定ボタン）を押す

マイメニュー画面が表示されます。

2 ◎を押して、「」を選択する

3 ○（決定）を押す

▶ **留守番電話センターへの発信を中止するとき**

Web（キャンセル）を押す

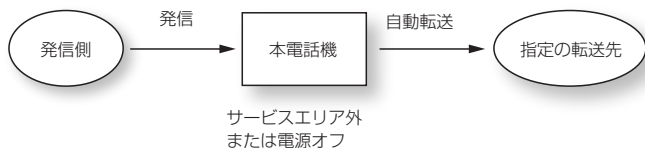
4 [電話キー] を押す

留守番電話センターにつながります。音声ガイダンスに従って操作してください。
メッセージがすべて再生、または消去されると「[アイコン]」の表示が消えます。

お知らせ

- メッセージが保存されているときに「＊9311」に電話をかけると、メッセージを再生する前に発信者番号をガイダンスでお知らせします。
- プッシュ音の出せる一般電話や公衆電話から「0077-780-931」に電話をかけてメッセージを聞くこともできます。この場合、留守番電話サービス契約時に指定した暗証番号が必要です。
- 留守番電話サービスについての詳細は、ウィルコムサービスセンターまでお問い合わせください。「お問い合わせ窓口」(☞A-27ページ)

着信転送サービスを使う

電源を切っているときやサービスエリア外にいるときや通話中にかかってきた電話を、あらかじめ指定した電話番号に転送できます。転送先の設定は、ウィルコムの電話機、一般電話、公衆電話などから行います。

着信転送サービスについては、ウィルコムサービスセンターまでお問い合わせください。「お問い合わせ窓口」(☞A-27ページ)

お知らせ

- 日本国外の電話番号など、一部、転送先に指定できない電話番号があります。
- 転送先に発信側の番号、非通知理由などは表示されません。

ダイヤルアップ接続時にワンタイムパスワードを使用する

ダイヤルアップ接続時のワンタイムパスワード機能について

「ワンタイムパスワード」の機能を利用して、ダイヤルアップ接続時に毎回ユーザー名とパスワードを入力し接続するよう設定します。

■ワンタイムパスワード機能が使用できるモード

ワンタイムパスワード機能が使用できるのは、下記のいずれかのモードでダイヤルアップ接続の設定を行っている場合です。

- ● 公衆モードで、「公衆動作モード」を「手動設定」にしている場合
- ● オフィスモードの場合

■パスワード入力が必要になる操作

ワンタイムパスワード機能を有効にすると、以下のような操作の際に、ワンタイムパスワード入力画面が表示され、ユーザー名とパスワードの入力を求められます。

・URLを入力してWebページに接続する
・最後に表示したWebページ（ラストURL）に接続する
・ブックマークに登録されているURLからWebページに接続する
・画面メモに保存されたWebページ内のリンクを選択してWebページに接続する
・メールの本文中にあるリンクを選択してWebページに接続する
・Eメールを送受信する（Eメール自動受信は除く）

ワンタイムパスワードを有効にする

ワンタイムパスワード機能を有効にするには、ダイヤルアップ設定で「ワンタイムパスワード」の設定を「ON」にします。「ダイヤルアップを設定する」（☞9-29ページ）

ワンタイムパスワードを入力する

ワンタイムパスワード機能を有効にすると、Webへの接続やEメール送受信の際にワンタイムパスワード入力画面が表示されます。この画面で、ユーザー名とパスワードを入力します。

- 入力するユーザー名とパスワードは、プロバイダなどから通知されている接続用のユーザー名・パスワードです。

1 Webページへの接続、またはEメール送受信の操作をする

ワンタイムパスワード入力画面が表示されます。

2 ユーザー名の入力が必要な場合は、◎を押して「ユーザー名」を選択し、◯（決定）を押す

▶ **ユーザー名がすでに入力されているとき**

ダイヤルアップ設定でユーザー名を設定済みの場合は、そのユーザー名が最初から入力されています。変更する必要がなければ、手順4へ進みます。「ダイヤルアップを設定する」（☞9-29ページ）

3 ユーザー名を入力し、◯（決定）を押す

▶ **ユーザー名を修正するには**

カーソル位置の文字を1文字消す：
　クリア/マナー を押す
カーソル位置を含む右側の文字をすべて消す：
　クリア/マナー を約1秒以上押す

4 パスワードの入力が必要な場合は、◎を押して「パスワード」を選択し、◯（決定）を押す

▶ **パスワードがすでに入力されているとき**

ダイヤルアップ設定でパスワードを設定済みの場合は、そのパスワードがワンタイムパスワード入力画面のパスワード欄に「＊」で表示されています。同じパスワードで接続する場合は、手順7へ進みます。「ダイヤルアップを設定する」（☞9-29ページ）

5 ダイヤルボタンでパスワードを入力する

▶ **パスワードを修正するには**

カーソル位置の文字を1文字消す：
　クリア/マナー を押す
カーソル位置を含む右側の文字をすべて消す：
　クリア/マナー を約1秒以上押す

6 ◯（決定）を押す

7 ◎を押して「OK」を選択し、◯（決定）を押す

ダイヤルアップ接続が開始されます。

▶ **接続に失敗したとき**

ユーザー名またはパスワードに誤りがあり、ダイヤルアップ接続できない場合は、「接続に失敗しました」と表示され、待ち受け画面に戻ります。

お知らせ

- Webページを表示した後で回線を切断したときなど、ブラウザを起動したままで再接続する場合には、ユーザー名・パスワードの入力は不要です。直前に入力したユーザー名とパスワードで再接続されます。
- ワンタイムパスワード入力画面では、クリア/マナー は無効です。待ち受け画面に戻るには、Web（キャンセル）または PWR を押してください。

13
モードの活用

利用するモードを選ぶ

本電話機で利用する待受／通話モードを選択します。

待受モードについて

▶ 公衆モード

ウィルコムの公衆基地局（アンテナ）があるサービスエリアで、ウィルコムの電話機として使います。

▶ オフィスモード

事業所用コードレスシステムの子機として使います。

▶ グループモード

グループモード対応電話機同士で、トランシーバとして使います。

▶ 電話帳転送モード

グループモード対応電話機同士で、電話帳データやブックマークを送受信します。

▶ 公衆＋オフィスモード（デュアルモード）

公衆モードとオフィスモードの２つのモードで同時に待ち受けます。
圏外時のモード、通話・通信時の非通話のモードのアイコンは、薄く表示されます。 は上側の が公衆、下側の がオフィスの状態を示します。
優先発信側に または が表示されます。

▶ 公衆＋グループモード（デュアルモード）

公衆モードとグループモードの２つのモードで同時に待ち受けます。
通話・通信時の非通話のモードのアイコンは、薄く表示されます。
優先発信側に または が表示されます。

オフィスモードおよび、公衆＋オフィスのデュアルモードで使うには、本電話機に対応した事業所用コードレスシステムが設置された環境で、本電話機が登録されている必要があります。
グループモードおよび、公衆＋グループのデュアルモードでグループ通話やグループ電話帳転送を行うには、本電話機１台に加えて、グループモードに対応した端末１台以上が必要です。

待受モードを切り替える（待受モード）

1 **待ち受け画面で Menu （Menuボタン）8 1 と押す**

2 **◎ を押して、利用したい待受モードを選択する**

設定できない待受モードは選択することができません。

3 **○（決定）を押す**

設定したことをお知らせするメッセージが表示され、待ち受け画面に戻ります。

お知らせ

- 以下のモードは、登録されているときのみ選択することができます。
  - ・オフィスモード／公衆＋オフィスモード：オフィス登録「オフィスモードで使う」（☞13-4ページ）
  - ・グループモード／公衆＋グループモード／電話帳転送モード：グループ登録「グループモードで使う」（☞13-8ページ）
- 通話中は、待受モードの変更はできません。

オフィスモードで使う

オフィスシステム（PBX）に登録し、事業所用コードレスシステムの子機としてご利用いただけます。接続装置の電話回線を利用して電話をかけたり受けたりできます。
また、ダイヤルアップ設定で、「オフィス」の接続先を、事業所内オフィスシステムのリモートサーバや利用しているプロバイダのアクセスポイントなどに設定すると、オフィスモードでWeb機能やEメールの送受信などの機能を利用することができます。「ダイヤルアップを設定する」（☞9-29ページ）

- 事業所用コードレスシステムの子機としてご使用になる場合、使用する事業所などに事業所用PHSシステムが設置されている必要があり、また、その事業所用システムの子機として本電話機が対応している必要があります。
- オフィスシステム（PBX）に登録してください。登録すると、内線番号が設定されます。
- オフィスシステム（PBX）は、各会社によって異なります。また、電話のかけ方など操作方法は、本書の説明と異なる場合があります。
- 対応するPBX、登録方法など詳細については、設置業者、PBXメーカーなどにお尋ねください。

■モードの切り替え

オフィスシステム（PBX）の子機として利用するときは、待受モードを「オフィス」または「公衆＋オフィス」に切り替えます。「待受モードを切り替える（待受モード）」（☞13-3ページ）

電話をかける

オフィスシステム（PBX）の子機として電話をかけるときは、一般のオフィスの電話機と同じようにご利用いただけます。デュアルモードの場合、発信設定の「優先発信切替」が「オフィス、グループ優先」になっていることをご確認ください。「優先発信するモードを切り替える（優先発信切替）」（☞13-6ページ）

- 市内電話発信のとき、外線発信番号のあとに市外局番の入力は不要です。
- 国際電話がご利用いただけます。

1 内線の場合、相手の電話番号をダイヤルボタンで入力します。
外線の場合、外線発信番号をつけて相手の電話番号をダイヤルボタンで入力します。内線、外線ともにアンテナをのばしてご利用ください。

入力した電話番号が表示されます。

▶ 電話帳から電話番号を検索するには

「電話帳を使って電話をかける」（☞7-36ページ）

▶ リダイヤルなどから電話番号を検索するには

「リダイヤル／着信履歴／ダイヤルメモで電話をかける」（☞7-6ページ）

▶ 電話番号を修正するには

最後の1桁を消す：［クリア/マナー］を押す
すべての桁を消す：［クリア/マナー］を約1秒以上押す

▶ あらかじめ外線発信番号を登録しておくと

外線発信番号なしで電話番号を入力した後や、電話帳などからの発信時に［保留］を押すだけで、電話番号の先頭に外線発信番号がつけられます。「外線発信番号を登録する（外線発信番号）」（☞13-5ページ）

2 ［通話］を押す

「［通話中アイコン］」が点灯し、相手が出ると通話できます。
通話時間が表示されます。

3 通話が終わったら［PWR/終話］を押す

「［通話中アイコン］」が消灯し、通話が終了します。

お知らせ

- 外線発信番号はオフィスシステム（PBX）の設定やご契約の内容によって異なります。
- 国際電話のご利用の可否についてはPBXの設定によりますのであらかじめご確認ください。
- 表示される通話時間は目安です。
- オフィスモードでは分計発信はご利用になれません。「料金分計サービスを利用する（有料）」（☞12-38ページ）

電話を受ける

1 着信音またはバイブレータが動作し、着信LEDが点滅する

着信中の回線の種別（外線／内線／専用線）が表示されます。回線の種別ごとに着信音を設定することができます。「着信音やアラームを設定する」（☞7-49ページ）

2 アンテナをのばし、[通話]を押す

「[通話中アイコン]」が点灯し、相手と通話できます。
通話時間が表示されます。

3 [PWR]を押す

「[通話中アイコン]」が消灯し、通話が終了します。

お知らせ

- 電話をかけてきた相手から発信者番号が通知されてきたときには、相手の電話番号が表示されます。また、電話帳に登録されている相手からかかってきたときは、名前が表示されます。「電話帳に登録する」（☞7-31ページ）
- エニーキーアンサーを「ON」に設定すると、[PWR]、[留守]以外のボタンであればどのボタンでも電話に出ることができます。「エニーキーアンサー」（☞12-11ページ）

外線発信番号を登録する（外線発信番号）

外線発信番号を登録することができます。登録しておくと、直接ダイヤルした番号、電話帳、リダイヤル、着信履歴などで相手の電話番号を表示させて外線を発信するときに、外線発信番号をダイヤルするかわりに[保留]を押すだけで、電話番号の先頭に外線発信番号を自動的につけることができます。もう一度[保留]を押すと、外線発信番号は消えます。

1 待ち受け画面で[Menu]（Menuボタン）[8][5]と押す

2 [方向キー]を押して「4.外線発信番号」を選択し、◯（決定）を押す

3 ダイヤルボタンで外線発信番号を入力する

外線発信番号は6桁まで入力できます。

▶ **外線発信番号を修正するには**

最後の1桁を消す：[クリア]を押す
すべての桁を消す：[クリア]を約1秒以上押す

4 ◯（決定）を押す

外線発信番号が登録され、「設定しました」と表示されます。

優先発信するモードを切り替える（優先発信切替）

待受モードを「公衆＋オフィス」に設定しているときに、公衆またはオフィスのいずれのモードで発信するかの優先順位を設定できます。

1 **待ち受け画面で Menu（Menuボタン）8 5 と押す**

2 **◎を押して、「3.優先発信切替」を選択し、○（決定）を押す**

3 **◎を押して、優先発信するモードを選択する**

4 **○（決定）を押す**

完了音が鳴り、優先発信するモードが設定され、「設定しました」と表示されます。
公衆とオフィスが共に圏内のときは、現在優先発信に設定されているモードに◀または▶が表示されます。

お知らせ

- お買い上げ時は「オフィス,グループ優先」に設定されています。
- 待ち受け画面で◎を約1秒以上押すことでも、優先発信するモードを変更できます。

発信するモードを一時的に切り替える

待受モードを「公衆＋オフィス」に設定しているとき一時的にモードを切り替えて発信することができます。圏内、圏外にかかわらず、一時的に切り替えることができます。

1 **相手の電話番号をダイヤルする**

ダイヤルした電話番号が表示されます。

2 **[ボタン]を押す**

優先発信モードが切り替わります。

3 **[発信ボタン]を押す**

「[アイコン]」が点灯し、相手が出ると通話できます。

お知らせ

- 通話を終了し、待ち受け画面に戻ると、元の設定に戻ります。モードの切替を次回からも有効にするには、優先発信切替で設定を変更します。「優先発信するモードを切り替える（優先発信切替）」（☞同じページ内です。）

オフィス番号を選択する（番号選択）

オフィスモードの番号が２つ以上登録されているときに、いずれかを選択します。

1 待ち受け画面で Menu（Menuボタン）8 8 と押す

2 ◎を押して、「1.オフィス１」～「0.オフィス10」のいずれかを選択する

登録番号が画面下部に表示されます。

3 ◯（決定）を押す

お知らせ

- お買上げ時は、オフィスモードの番号が登録されていないため、オフィス１～オフィス10の選択はできません。

オフィスモードでのその他の機能

オフィスモードで使用する際、基本的に以下の機能を使用できます。実際に使うことのできる機能については登録されている事業所用コードレスシステムによって異なりますので、詳細については設置業者、PBXメーカーなどにお尋ねください。

- **プッシュ信号の送信**

  通話中にダイヤルボタンを押して、プッシュ信号を送出します。

- **内線番号表示**

  本電話機の内線番号を表示します。「プロフィールを表示する」（☞12-4ページ）

- **通話中保留**

  通話中に 保留 を押して通話を保留します。保留を解除するときは、もう一度 保留 を押します。

- **内線／外線への転送**

  保留状態で転送先の番号をダイヤルし、転送先の相手が出たら PWR を押します。

- **キャッチホン**

  通話中に“プップップッ”という音（キャッチホン）が鳴ったときに、☎ を押して通話相手を切り替えます。

- **外線／内線／専用線の着信音鳴り分け**

  外線／内線／専用線からの着信を識別し、それぞれに着信音を設定できます。「着信音やアラームを設定する」（☞7-49ページ）

お知らせ

- 着信音の鳴り分けは、一部のオフィスシステム（PBX）では動作しない場合があります。

グループモードで使う

本電話機およびグループモードに対応した電話機をグループ登録することにより、「相手を呼び出す〔トランシーバ通話〕」（☞13-10ページ）、「相手の呼び出しに応じる〔トランシーバ通話〕」（☞13-11ページ）、および「グループ内で電話帳やブックマークを転送する」（☞13-11ページ）を行うことができます。

■グループ登録

電話機を送信側、受信側として登録します。グループは3つまで登録できます。
送信側1台と受信側1台以上の間で双方向に、または受信側同士で、トランシーバ通話および電話帳／ブックマーク転送が可能です。

■モードの切り替え

トランシーバ通話をするには、待受モードを「グループ」または「公衆/グループ」に切り替えます。待受モードを「グループ」または「公衆/グループ」に切り替えるときは、あらかじめグループおよびトランシーバ番号を登録しておく必要があります。「待受モードを切り替える（待受モード）」（☞13-3ページ）
電話帳／ブックマーク転送をするには、待受モードを「転送」に切り替えます。

グループを登録する

電話機を送信側、受信側として登録します。登録を行うには、送信側1台と受信側1台以上の本電話機またはグループモードに対応した電話機が必要です。
グループは3つまで登録できます。グループごとに、あらかじめ同一の4桁の暗証番号を決めておく必要があります。

受信側の操作

登録するすべての電話機をお手元にご用意ください。まず、受信側の登録から始めます。

1 待ち受け画面で Menu（Menuボタン） や8TUV か2ABC と押す

2 ◎ を押して「1.登録」を選択し、◯（決定）を押す

送信または受信を選択する画面が表示されます。

3 #↵ を押す

4 ◎ を押して登録するグループを選択し、◯（決定）を押す

▶ **登録済みのグループを選択したとき**

「登録済みです　上書きしますか？」と表示されます。「1.はい」または「2.いいえ」のいずれかを選択し、◯（決定）を押します。

5 ダイヤルボタンでトランシーバ番号を入力する

1～8000の4桁までの数字を入力します。

▶ **トランシーバ番号を修正するには**

最後の1桁を消す：クリア/マナー を押す
すべての桁を消す：クリア/マナー を約1秒以上押す

6 #↵ を押す

7 ダイヤルボタンで暗証番号（4桁）を入力する

「送信側の操作」（☞13-9ページ）の手順5で入力する暗証番号を入力します。

▶ **暗証番号を修正するには**

最後の1桁を消す：クリア/マナー を押す
すべての桁を消す：クリア/マナー を約1秒以上押す

8 [#] を押す

「待機中」と表示されます。この間に、送信側の操作を行います。「送信側の操作」(☞同じページ内です。)の手順6のときに、送受信が開始されます。
送信側の電波を受信すると完了音が鳴り、受信側が登録されます。

▶ **登録できなかったとき**

エラー音が鳴り、受信失敗となります。
[PWR] を押すと、手順2の画面に戻ります。

お知らせ

● 受信側は約1分間待機中となりますので、その間に送信側の操作を行ってください。

送信側の操作

1 待ち受け画面で [Menu]（Menuボタン）[8] [2] と押す

2 [◎] を押して「1.登録」を選択し、◯（決定）を押す

送信または受信を選択する画面が表示されます。

3 [＊] を押す

4 [◎] を押して登録するグループを選択し、◯（決定）を押す

▶ **登録済みのグループを選択したとき**

「登録済みです　上書きしますか？」と表示されます。「1.はい」または「2.いいえ」のいずれかを選択し、◯（決定）を押します。

5 ダイヤルボタンで暗証番号（4桁）を入力する

「受信側の操作」(☞13-8ページ）の手順7で入力した暗証番号を入力します。

▶ **暗証番号を修正するには**

最後の1桁を消す：[クリア/マナー] を押す
すべての桁を消す：[クリア/マナー] を約1秒以上押す

6 受信側の電話機に「待機中」と表示されていることを確認し、[#] を押す

「送信中」と表示され、送信側の登録を開始します。送信が成功すると、完了音が鳴り、登録が完了します。

▶ **登録できなかったとき**

エラー音が鳴り、送信失敗となります。
[PWR] を押すと、手順2の画面に戻ります。

お知らせ

● 送信側と受信側の暗証番号は一致していなければなりません。

グループ登録を消去する

1 待ち受け画面で Menu（Menuボタン）8 2 と押す

▶ **登録されていないとき**

「2.消去」は選択できません。

2 ◎ を押して、「2.消去」を選択する

3 ○（決定）または # を押す

4 ◎ を押して、消去したいグループを選択し、○（決定）を押す

5 ◎ を押して、「1.はい」を選択する

▶ **消去を中止するとき**

「2.いいえ」を選択し、○（決定）を押す

6 ○（決定）を押す

選択したグループ登録が消去され、「消去しました」と表示されます。

お知らせ

- 待受けモードを「公衆／グループ」に設定していて、登録してあるグループすべてを消去すると、待受けモードは「公衆」になります。

相手を呼び出す〔トランシーバ通話〕

待受モードを「グループ」または「公衆/グループ」に切り替える必要があります。「待受モードを切り替える（待受モード）」（☞13-3ページ）

1 待ち受け画面で 1 〜 3 のいずれかを押す

自分の電話機のトランシーバ番号が表示されます。

2 相手のトランシーバ番号を入力する

入力したトランシーバ番号が表示されます。

▶ **トランシーバ番号を修正するには**

最後の1桁を消す：クリア/マナー を押す
すべての桁を消す：クリア/マナー を約1秒以上押す

3 ☎ を押す

相手が応答すると通話ができます。

4 通話が終了したら、PWR を押す

「☎」が消灯し、通話が終了します。

お知らせ

- 次のときには通話が終了することがあります。
  - ・距離が離れすぎたとき
  - ・バッテリーの電圧が低下したとき
  - ・なんらかの原因で電波の受信ができなくなったとき

  （このときには“ツーツーツー”という切断音が聞こえます）
- 通話中、約3分ごとに自動的に通話が切れますが、約3秒後にもう一度つながります。
- 電話帳からの発信はできません。

相手の呼び出しに応じる〔トランシーバ通話〕

待受モードを「グループ」または「公衆/グループ」に切り替える必要があります。「待受モードを切り替える（待受モード）」（☞13-3ページ）

1 着信音またはバイブレータが動作する

2 アンテナをのばし、[通話] を押す

「[通話中]」が点灯し、相手と通話できます。
通話時間が表示されます。

3 通話が終了したら、[PWR/終話] を押す

「[通話中]」が消灯し、通話が終了します。

お知らせ

- 呼び出しを受けてから30秒たっても[通話]を押さないときには、自動的に接続を中止します。
- 着信中に、すぐに電話にでられないとき、[PWR/終話]を押して着信音やバイブレータの振動を止めることができます。
- 着信した番号は着信履歴に残りません。

グループ内で電話帳やブックマークを転送する

電話帳転送機能対応機どうしで電話帳データやブックマークを転送することができます。次のデータが転送できます。

▶ 電話帳データ

名前	全角9文字（半角18文字）まで
読み	半角12文字まで
電話番号	32桁まで
番号種別	PHS、携帯電話、FAX、種別なし
メールアドレス	2件、各半角64文字まで
グループ	10種類まで

▶ ブックマーク

タイトル	全角10文字（半角20文字）まで
URL	半角200文字まで

転送モードに設定する（待受モード）

電話帳やブックマークを転送するには、転送先の電話機がグループ登録されており、待受モードを「電話帳転送」モードに切り替えておく必要があります。「グループを登録する」（☞13-8ページ）

1 待ち受け画面で Menu（Menuボタン）8 1 と押す

2 ◎ を押して、「4.電話帳転送」を選択する

3 ○（決定）を押す

待受モードが電話帳転送モードに設定され、「設定しました」と表示されます。

お知らせ

- 「電話帳転送」モードでは音声通話はできません。
- 電話帳ロックを設定した状態では電話帳転送はできません。「電話帳をロックする（電話帳ロック）」（☞7-42ページ）

電話帳を転送する

1 待ち受け画面で Menu（Menuボタン）3 5 と押す

2 ◎ を押して、「1.電話帳」を選択する

3 ○（決定）を押す

4 ◎ を押して、「1.指定して転送」を選択する

▶「2.全て転送」を選択したとき

手順８へ進みます。

5 ○（決定）を押す

電話帳検索画面が表示されます。
前回使用した検索方法に設定されています。
「電話帳を使って電話をかける」（☞7-36ページ）

6 電話帳を検索し、転送する電話帳を選択する

7 Web（指定）を押す

続けて他の電話帳を選択するときは、手順6から繰り返します。

8 ○（決定）を押す

グループ番号を選択する画面が表示されます。

9 ◎ を押して、転送先のグループを選択する

10 ○（決定）を押す

11 転送先のトランシーバ番号を入力し、☎ または ○（送信）を押す

転送が開始されます。

12 転送を終了する

▶ 転送が完了したとき

完了音が鳴り、待ち受け画面に戻ります。

▶ 転送に失敗したとき

エラー音が鳴り、「転送失敗」と表示され、待ち受け画面に戻ります。

■ 受信側の表示

受信中は「受信中」、受信が終了すると「受信終了」と表示されます。
転送された電話帳の登録内容が電話帳に登録されます。すでに受信側にある登録内容と同じものが転送された場合でも新規に登録されます。

お知らせ

● 電話帳シークレットを「表示する」に設定中で、シークレット設定した電話帳データを選択した場合は、手順8の操作のあと、シークレットの電話帳を転送してよいか確認する画面が表示されます。「1.はい」を選択し、◯（決定）を押すと、暗証番号を入力する画面が表示され、暗証番号を入力し、◯（決定）を押すと、手順8の画面が表示されます。「2.いいえ」を選択し、◯（決定）を押すと、シークレットの電話帳データは転送されません。「電話帳シークレットを設定する（電話帳シークレット）」（☞7-43ページ）

ブックマークを転送する

1 待ち受け画面で Menu（Menuボタン）3 5 と押す

2 ◎を押して、「2.ブックマーク」を選択する

3 ◯（決定）を押す

4 ◎を押して、「1.指定して転送」を選択する

▶「2.全て転送」を選択したとき
手順9へ進みます。

5 ◯（決定）を押す

6 ◎を押して、転送したいブックマークのあるフォルダを選択し、◯（決定）を押す

7 ◎を押して、転送するブックマークを選択する

8 Web（指定）を押す

続けてほかのブックマークを選択するときは手順7から繰り返します。

9 ◯（決定）を押す

10 ◎を押して、転送先のグループを選択する

11 ◯（決定）を押す

12 転送先のトランシーバ番号を入力し、☎または◯（送信）を押す

転送が開始されます。

13 転送を終了する

▶ 転送が完了したとき
完了音が鳴り、待ち受け画面に戻ります。

▶ 転送に失敗したとき
エラー音が鳴り、「転送失敗」と表示され、待ち受け画面に戻ります。

■受信側の表示

受信中は「受信中」、受信が終了すると「受信終了」と表示されます。
転送されたブックマークデータがブックマークに登録されます。すでに受信側にある登録内容と同じものが転送された場合でも新規に登録されます。

14
困ったときは

故障かな？ちょっと確認してください

症状	確認点	対処方法
電源が入らない	PWR を約 1 秒以上押しましたか？	PWR を約 1 秒以上押してください。「電源を入れる」（☞ 1-7 ページ）
	電池パックが正しく取り付けられていますか？	電池パックを正しく取り付けてください。「電池パックを取り付ける」（☞ 1-3 ページ）
	電池の残量は十分ですか？	卓上充電器で充電してください。「卓上充電器で充電する」（☞ 1-5 ページ）
電話が利用できない	圏外 が点灯していませんか？	圏外 が消灯し、 や が点灯する場所に移動してください。「電話をかける」（☞ 2-2 ページ）
	待受モードが正しく設定されていますか？	利用したいモードが表示されていない場合は、利用したい待受モードに設定してください。「利用するモードを選ぶ」（☞ 13-2 ページ）
	<グループモード> グループ登録をしましたか？	グループ登録を行ってください。「グループモードで使う」（☞ 13-8 ページ）
電話がかけられない	が点灯していませんか？	ダイヤルロックを解除してください。「ダイヤルロックを解除する」（☞ 11-10 ページ） オートロックを OFF にしてください。「無操作が続いたときにダイヤルロックする（オートロック）」（☞ 11-11 ページ）
	「キーロック」と表示されていませんか？	キーロックスイッチを下げて、キーロックを解除してください。「各部の名前」（☞ 1-8 ページ）「ボタン操作をロックする（キーロック）」（☞ 11-9 ページ）
	<公衆モード> 市外局番なしでダイヤルしていませんか？	市外局番からダイヤルしてかけ直してください。「電話をかける」（☞ 7-3 ページ）
	<オフィスモード> PBX に登録していますか？	PBX に登録してください。「オフィスモードで使う」（☞ 13-4 ページ）
	<グループモード> かけたトランシーバ番号は合っていますか？	番号を確認してかけ直してください。「グループモードで使う」（☞ 13-8 ページ）
	管理者ロックが設定されていませんか？	管理者ロックを解除してください。「管理者による制限を行う（管理者ロック）」（☞ 11-18 ページ）

症状	確認点	対処方法
電話がかかってこない	圏外 が点灯していませんか？	圏外 が消灯し、 や が点灯する場所に移動してください。 「電話をかける」（☞ 2-2 ページ）
	待受モードが正しく設定されていますか？	利用したいモードが表示されていない場合は、利用したい待受モードに設定してください。 「利用するモードを選ぶ」（☞ 13-2 ページ）
	着信音量を「OFF」に設定していませんか？	着信音量を「OFF」以外に設定してください。 「着信音量を設定する」（☞ 7-44 ページ）
	着信音を「OFF」に設定していませんか？	着信音を「OFF」以外に設定してください。 「着信音やアラームを設定する」（☞ 7-49 ページ）
	相手の電話番号を着信拒否に登録していませんか？	着信拒否の番号を消去してください。 「着信拒否番号を消去する」（☞ 11-5 ページ）
	管理者ロックが設定されていませんか？	管理者ロックを解除してください。 「管理者ロック機能の設定をする」（☞ 11-18 ページ）
通話しているときに、雑音が聞こえる、聞き取りにくい、途切れる	アンテナマークが、 や になっていませんか？	アンテナマークの表示が、 や になる場所に移動してください。
	高いビルに囲まれたような場所で使われていませんか？	見通しのよい場所に移動してください。
	アンテナをきちんと伸ばしていますか？	カチッと音がするまでアンテナを伸ばしてください。 「アンテナの使いかた」（☞ 1-10 ページ）
充電してもすぐに電池がなくなる	本電話機を正しく卓上充電器に置きましたか？	正しく置いて充電してください。 「卓上充電器で充電する」（☞ 1-5 ページ）
	卓上充電器の電源プラグがコンセントから抜けていませんか？	卓上充電器の電源プラグをコンセントに確実に差し込んでから充電してください。 「卓上充電器で充電する」（☞ 1-5 ページ）
	本電話機の充電端子や卓上充電器の電源端子が汚れていませんか？	端子を清掃してください。 「お手入れ」（☞ A-2 ページ）
	電池パックが消耗していませんか？	新しい電池パックと交換してください。 「電池パックを交換するときは」（☞ 1-4 ページ）

お知らせ

- 上記の対処方法をしても改善されない場合は、使用を中止してウィルコムサービスセンターにご連絡ください。

エラーメッセージ一覧

	表示	原因	対処方法	分類
アルファベット（A〜Z）	E メールアカウントが設定されていません	オンラインサインアップを行っていないか、メールアカウントを登録していません。	メッセージが表示されたあと、オンラインサインアップの接続確認画面が表示されます。オンラインサインアップを行うか、メールアカウントを設定してください。「オンラインサインアップを行う」(☞ 8-5 ページ)「メールアカウントを設定する」（☞ 8-38 ページ）	E メール
		送信メールアカウントに設定されているメールアカウントのセンタ名称が設定されていません。	メールアカウントのセンタ名称を入力してください。「メールアカウントを設定する」（☞ 8-38 ページ）「送信メールアカウントを選択する」（☞ 8-42 ページ）	E メール
ア行	空き容量が足りません　ファイルを消去してください	E メール、メロディ、画像、画面メモのデータ量が本電話機のメモリ容量を超えます。	◯（確認）を押し、メモリ使用状況を確認して、不要なデータを削除してください。「メモリ使用状況を見る」(☞ 8-32 ページ)	E メール
	宛先を入力してください	宛先が入力されていません。	メールアドレス、または電話番号を入力してから送信してください。	メール共通
	おかけなおしください　通話キーで再接続します	相手にかかりませんでした。	しばらくしてから送信してください。メッセージの表示中に [通話キー] で再送信できます。「送信に失敗したとき」（☞ 8-43 ページ）	ライトメール
カ行	加入者無し	宛先の電話番号が間違っています。	正しい番号で送信してください。	ライトメール
	件数オーバーです　作成できません	E メールまたはライトメールの未送信・下書きと保護が、送信メールの件数をオーバーしています。	未送信または下書きメールを削除するか、保護設定を解除してください。「メールを保護する」（☞ 8-27 ページ）「メールを消去する」（☞ 8-28 ページ）	メール共通
	このサービスは利用出来ません	ウィルコムの公衆サービスが未契約のまま、E メールの送信または受信を行おうとしたときに表示されます。	ウィルコムと公衆サービスを契約してください。「お問い合わせ窓口」（☞ A-27 ページ）	E メール

	表示	原因	対処方法	分類
カ行	これ以上追加できません	＜宛先を追加した場合＞ 送信先がすでに10件指定されています。	10件を超える相手にメールを送るときは、一度送信したメールを編集するなどの操作を行ってください。「送信メールを編集して送信する」（☞ 8-27 ページ）	Eメール
		＜ファイルを添付した場合＞ 画像、メロディまたはスケジュールがすでに10件添付されています。	メールを2回に分けて送信するなどして添付ファイルを送信してください。	Eメール
	これ以上保護出来ません	最大件数まで保護が設定されています。	保護を解除してよいメールの保護を解除してください。「メールを保護する」（☞ 8-20 ページ）	メール共通
サ行	サーバーが見つかりません	指定したWebサイトからの応答がありません。	しばらくしてから接続し直すか、URLが間違っている可能性がありますので、確認してから接続し直してください。	Web
	サーバーから拒否されました(XXX)	アクセスしたWebサイトが、接続を拒否しています。	—	Web
	失敗しました	Eメールの送信または受信に失敗しました。	メールアカウントの内容が正しいかどうか確認してください。「メールアカウントを設定する」（☞ 8-38 ページ）	Eメール
	指定したページが見つかりません(404)	指定したWebサイトが見つかりません。	URLが間違っている可能性がありますので、確認してから接続し直してください。	Web
	しばらくしておかけなおしください	ネットワークが込み合っています。	しばらくしてから送信してください。	ライトメール
	受信に失敗しました	Eメールの受信に失敗しました。	メールアカウントの内容が正しいかどうか確認してください。「メールアカウントを設定する」（☞ 8-38 ページ）	Eメール
	接続に失敗しました	接続に失敗しました。	しばらくしてから送受信を行ってください。	Eメール
	センターにEメールが有ります	Eメール自動受信に失敗しました。	マイメニューから「 」を選択するか、Eメール受信を行ってください。「マイメニューから操作する」（☞ 7-60 ページ）「手動でEメールを受信する」（☞ 8-14 ページ）	Eメール
		センターにEメールが蓄積されています。		Eメール

	表示	原因	対処方法	分類
サ行	センターにEメールが有ります。オンラインサインアップ連動モードに切り替えてください	ダイヤルアップ設定の公衆動作モード設定が「手動設定」になっているため、センターのEメールを受信できません。	公衆動作モード設定を「オンラインサインアップ連動」に切り替えてください。「公衆動作モードの切り替え」(☞9-28ページ)	Eメール
	センターにEメールが有ります。オンラインサインアップを行ってから受信してください	機種変更またはオンラインサインアップ消去をされたお客様が、オンラインサインアップを行っていない場合に表示されます。	オンラインサインアップを行ってください。「オンラインサインアップを行う」(☞8-5ページ)	Eメール
	送信に失敗しました	Eメールの送信に失敗しました。	メールアカウントの内容が正しいかどうか確認してください。「メールアカウントを設定する」(☞8-38ページ)	Eメール
	送信に失敗しました　通話キーで再接続します	相手にかかりませんでした。	しばらくしてから送信してください。メッセージの表示中に　で再送信できます。「送信に失敗したとき」(☞8-43ページ)	ライトメール
タ行	添付できません	添付しようとした画像、またはメロディは、コピーガードが設定されています。Eメールに添付することはできません	—	Eメール
ナ行	認証エラーです	認証処理が行えないため、指定したWebサイトに接続できません。	—	Web
ハ行	話し中　通話キーで再接続します	相手が話し中です。	しばらくしてから送信してください。メッセージの表示中に　で再送信できます。「送信に失敗したとき」(☞8-43ページ)	ライトメール
	表示できません(XXX)	指定したWebサイトが本電話機のブラウザに対応していません。	—	Web
		受信したデータにエラーがあるため表示できません。	—	Web
	ファイルサイズが大きすぎます	添付するファイルとメールの本文が、1件分の容量を超えています。	本文の文字を減らすか、添付するファイルの件数を減らすなどの操作を行ってください。	Eメール
マ行	無効なデータを取得しました	指定したWebサイトが本電話機のブラウザに対応していません。	—	Web
		受信したデータにエラーがあるため表示できません。	—	Web

	表示	原因	対処方法	分類
マ行	メモリがいっぱいです。センターにEメールが残っています。	Eメール、メロディ、画像、画面メモのデータ量が本電話機のメモリ容量を超えます。	メモリ使用状況を確認して、不要なデータを削除してください。「「メモリがいっぱいです」と表示されたとき」（☞ 8-13ページ）	Eメール
	メモリ不足のため継続できませんトップメニューに戻ります	表示するメールのデータ量が、メール表示用のメモリサイズを超えるため、メールを表示することができません。	—	Eメール
	メモリ不足のため全て表示できません	表示するメールのデータ量が、メール表示用のメモリサイズを超えるため、メールの一部しか表示することができません。	—	Eメール
	メール自動巡回設定がされていません	設定されているすべてのメールアカウントで、動作中の待ち受けモードの「メール自動巡回」がOFFになっています。	公衆モードでお使いの場合は、受信したいメールアカウントの「メール自動巡回 公衆」をONに、オフィスモードでお使いの場合は、受信したいメールアカウントの「メール自動巡回 オフィス」をONに設定してください。「メールアカウントを設定する」（☞ 8-38ページ）	Eメール
ラ行	ログインに失敗しました	接続に失敗しました。	メールアカウントの内容が正しいかどうか確認してください。「メールアカウントを設定する」（☞ 8-38ページ）	Eメール

付　録

お手入れ

■乾いた柔らかい布で拭く

汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤をつけてよく絞った柔らかい布で汚れを拭き取り、その後乾いた布で乾拭きをしてください。

■ベンジン・シンナー・アルコールなどで拭かないでください

塗装や文字の印刷が変色したり、薄れることなどがあります。

■本電話機の充電端子および卓上充電器の電源端子を時々清掃する

端子が汚れていると、充電時間が長くなったり、充電できないことがあります。乾いた綿棒や布で時々拭いてください。また、卓上充電器の置台部内に異物が入っていないかどうかご確認ください。異物が入っているとショートする恐れがあります。

定格・仕様

■電話機

無線周波数帯	1900 MHz帯
送信出力	10 mW（平均）
電源	DC 3.7V 650mAh電池パック（リチウムイオン電池）
外形寸法	約 44（幅）×16（奥行き）×129（高さ）mm
質量（電池パック含む）	約 79 g
連続待受時間	約 700時間（公衆モード）
連続通話時間	約 7.5時間（公衆モード）

■卓上充電器（ACアダプタ付き）

外形寸法	
置台部	約 57（幅）×80（奥行き）×35（高さ）mm
ACアダプタ部	約 66（幅）×42（奥行き）×20（高さ）mm
質量	約 105g
電源	AC 100V±10%（50/60Hz）
出力	DC 5.3V、500mA

商標・登録商標

● Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

● ACCESS、Compact NetFront、AVEは、株式会社ACCESSの日本またはその他の国における商標または登録商標です。

ACCESS™ Compact NetFront® AVE®-TCP

・その他、本取扱説明書に記載されている会社名・システム名・商品名は、各社の商標または登録商標です。

区点コード表

	0101	｝	0149	□	0202	‰	0283	a	0365	ざ	0422	ゆ	0470	ヂ	0534
、	0102	〈	0150	■	0203	♯	0284	b	0366	し	0423	ょ	0471	ッ	0535
。	0103	〉	0151	△	0204	♭	0285	c	0367	じ	0424	よ	0472	ツ	0536
，	0104	《	0152	▲	0205	♪	0286	d	0368	す	0425	ら	0473	ヅ	0537
．	0105	》	0153	▽	0206	†	0287	e	0369	ず	0426	り	0474	テ	0538
・	0106	「	0154	▼	0207	‡	0288	f	0370	せ	0427	る	0475	デ	0539
：	0107	」	0155	※	0208	¶	0289	g	0371	ぜ	0428	れ	0476	ト	0540
；	0108	『	0156	〒	0209			h	0372	そ	0429	ろ	0477	ド	0541
？	0109	』	0157	→	0210	◯	0294	i	0373	ぞ	0430	ゎ	0478	ナ	0542
！	0110	【	0158	←	0211			j	0374	た	0431	わ	0479	ニ	0543
゛	0111	】	0159	↑	0212	0	0316	k	0375	だ	0432	ゐ	0480	ヌ	0544
゜	0112	＋	0160	↓	0213	1	0317	l	0376	ち	0433	ゑ	0481	ネ	0545
´	0113	－	0161	〓	0214	2	0318	m	0377	ぢ	0434	を	0482	ノ	0546
｀	0114	±	0162			3	0319	n	0378	っ	0435	ん	0483	ハ	0547
¨	0115	×	0163	∈	0226	4	0320	o	0379	つ	0436			バ	0548
＾	0116	÷	0164	∋	0227	5	0321	p	0380	づ	0437	ァ	0501	パ	0549
￣	0117	＝	0165	⊆	0228	6	0322	q	0381	て	0438	ア	0502	ヒ	0550
＿	0118	≠	0166	⊇	0229	7	0323	r	0382	で	0439	ィ	0503	ビ	0551
ヽ	0119	＜	0167	⊂	0230	8	0324	s	0383	と	0440	イ	0504	ピ	0552
ヾ	0120	＞	0168	⊃	0231	9	0325	t	0384	ど	0441	ゥ	0505	フ	0553
ゝ	0121	≦	0169	∪	0232			u	0385	な	0442	ウ	0506	ブ	0554
ゞ	0122	≧	0170	∩	0233	A	0333	v	0386	に	0443	ェ	0507	プ	0555
〃	0123	∞	0171			B	0334	w	0387	ぬ	0444	エ	0508	ヘ	0556
仝	0124	∴	0172	∧	0242	C	0335	x	0388	ね	0445	ォ	0509	ベ	0557
々	0125	♂	0173	∨	0243	D	0336	y	0389	の	0446	オ	0510	ペ	0558
〆	0126	♀	0174	¬	0244	E	0337	z	0390	は	0447	カ	0511	ホ	0559
〇	0127	°	0175	⇒	0245	F	0338			ば	0448	ガ	0512	ボ	0560
ー	0128	′	0176	⇔	0246	G	0339	ぁ	0401	ぱ	0449	キ	0513	ポ	0561
―	0129	″	0177	∀	0247	H	0340	あ	0402	ひ	0450	ギ	0514	マ	0562
‐	0130	℃	0178	∃	0248	I	0341	ぃ	0403	び	0451	ク	0515	ミ	0563
／	0131	￥	0179			J	0342	い	0404	ぴ	0452	グ	0516	ム	0564
＼	0132	＄	0180	∠	0260	K	0343	ぅ	0405	ふ	0453	ケ	0517	メ	0565
～	0133	￠	0181	⊥	0261	L	0344	う	0406	ぶ	0454	ゲ	0518	モ	0566
‖	0134	￡	0182	⌒	0262	M	0345	ぇ	0407	ぷ	0455	コ	0519	ャ	0567
｜	0135	％	0183	∂	0263	N	0346	え	0408	へ	0456	ゴ	0520	ヤ	0568
…	0136	＃	0184	∇	0264	O	0347	ぉ	0409	べ	0457	サ	0521	ュ	0569
‥	0137	＆	0185	≡	0265	P	0348	お	0410	ぺ	0458	ザ	0522	ユ	0570
‘	0138	＊	0186	≒	0266	Q	0349	か	0411	ほ	0459	シ	0523	ョ	0571
’	0139	＠	0187	≪	0267	R	0350	が	0412	ぼ	0460	ジ	0524	ヨ	0572
“	0140	§	0188	≫	0268	S	0351	き	0413	ぽ	0461	ス	0525	ラ	0573
”	0141	☆	0189	√	0269	T	0352	ぎ	0414	ま	0462	ズ	0526	リ	0574
（	0142	★	0190	∽	0270	U	0353	く	0415	み	0463	セ	0527	ル	0575
）	0143	○	0191	∝	0271	V	0354	ぐ	0416	む	0464	ゼ	0528	レ	0576
〔	0144	●	0192	∵	0272	W	0355	け	0417	め	0465	ソ	0529	ロ	0577
〕	0145	◎	0193	∫	0273	X	0356	げ	0418	も	0466	ゾ	0530	ヮ	0578
［	0146	◇	0194	∬	0274	Y	0357	こ	0419	ゃ	0467	タ	0531	ワ	0579
］	0147					Z	0358	ご	0420	や	0468	ダ	0532	ヰ	0580
｛	0148	◆	0201	Å	0282			さ	0421	ゅ	0469	チ	0533	ヱ	0581

付録／区点コード表

ヲ	0582
ン	0583
ヴ	0584
ヵ	0585
ヶ	0586

Α	0601
Β	0602
Γ	0603
Δ	0604
Ε	0605
Ζ	0606
Η	0607
Θ	0608
Ι	0609
Κ	0610
Λ	0611
Μ	0612
Ν	0613
Ξ	0614
Ο	0615
Π	0616
Ρ	0617
Σ	0618
Τ	0619
Υ	0620
Φ	0621
Χ	0622
Ψ	0623
Ω	0624

α	0633
β	0634
γ	0635
δ	0636
ε	0637
ζ	0638
η	0639
θ	0640
ι	0641
κ	0642
λ	0643
μ	0644
ν	0645
ξ	0646
ο	0647
π	0648
ρ	0649
σ	0650
τ	0651
υ	0652
φ	0653
χ	0654
ψ	0655
ω	0656

А	0701
Б	0702
В	0703
Г	0704
Д	0705
Е	0706
Ё	0707
Ж	0708
З	0709
И	0710
Й	0711
К	0712
Л	0713
М	0714
Н	0715
О	0716
П	0717
Р	0718
С	0719
Т	0720
У	0721
Ф	0722
Х	0723
Ц	0724
Ч	0725
Ш	0726
Щ	0727
Ъ	0728
Ы	0729
Ь	0730
Э	0731
Ю	0732
Я	0733

а	0749
б	0750
в	0751
г	0752
д	0753
е	0754
ё	0755
ж	0756
з	0757
и	0758
й	0759
к	0760
л	0761
м	0762
н	0763
о	0764
п	0765
р	0766
с	0767
т	0768
у	0769
ф	0770
х	0771
ц	0772
ч	0773
ш	0774
щ	0775
ъ	0776
ы	0777
ь	0778
э	0779
ю	0780
я	0781

─	0801
│	0802
┌	0803
┐	0804
┘	0805
└	0806
├	0807
┬	0808
┤	0809
┴	0810
┼	0811
━	0812
┃	0813
┏	0814
┓	0815
┛	0816
┗	0817
┣	0818
┳	0819
┫	0820
┻	0821
╋	0822
┠	0823
┯	0824
┨	0825
┷	0826
┿	0827
┝	0828
┰	0829
┥	0830
┸	0831
╂	0832

①	1301
②	1302
③	1303
④	1304
⑤	1305
⑥	1306
⑦	1307
⑧	1308
⑨	1309
⑩	1310
⑪	1311
⑫	1312
⑬	1313
⑭	1314
⑮	1315
⑯	1316
⑰	1317
⑱	1318
⑲	1319
⑳	1320
Ⅰ	1321
Ⅱ	1322
Ⅲ	1323
Ⅳ	1324
Ⅴ	1325
Ⅵ	1326
Ⅶ	1327
Ⅷ	1328
Ⅸ	1329
Ⅹ	1330

㍉	1332
㌔	1333
㌢	1334
㍍	1335
㌘	1336
㌧	1337
㌃	1338
㌶	1339
㍑	1340
㍗	1341
㌍	1342
㌦	1343
㌣	1344
㌫	1345
㍊	1346
㌻	1347
㎜	1348
㎝	1349
㎞	1350
㎎	1351
㎏	1352
㏄	1353
㎡	1354

㍻	1363
〝	1364
〟	1365
№	1366
㏍	1367
℡	1368
㊤	1369
㊥	1370
㊦	1371
㊧	1372
㊨	1373
㈱	1374
㈲	1375
㈹	1376
㍾	1377
㍽	1378
㍼	1379
≒	1380
≡	1381
∫	1382
∮	1383
∑	1384
√	1385
⊥	1386
∠	1387
∟	1388
⊿	1389
∵	1390
∩	1391
∪	1392

【あ】

亜	1601
唖	1602
娃	1603
阿	1604
哀	1605
愛	1606
挨	1607
姶	1608
逢	1609
葵	1610
茜	1611
穐	1612
悪	1613
握	1614
渥	1615
旭	1616
葦	1617
芦	1618
鯵	1619
梓	1620
圧	1621
斡	1622
扱	1623
宛	1624
姐	1625
虻	1626
飴	1627
絢	1628
綾	1629
鮎	1630
或	1631
粟	1632
袷	1633
安	1634
庵	1635
按	1636
暗	1637
案	1638
闇	1639
鞍	1640
杏	1641

【い】

以	1642
伊	1643
位	1644
依	1645
偉	1646
囲	1647
夷	1648
委	1649
威	1650
尉	1651
惟	1652
意	1653
慰	1654
易	1655
椅	1656
為	1657
畏	1658
異	1659
移	1660
維	1661
緯	1662
胃	1663
萎	1664
衣	1665
謂	1666
違	1667
遺	1668
医	1669
井	1670
亥	1671
域	1672
育	1673
郁	1674
磯	1675
一	1676
壱	1677
溢	1678
逸	1679
稲	1680
茨	1681
芋	1682
鰯	1683
允	1684
印	1685
咽	1686
員	1687
因	1688
姻	1689
引	1690
飲	1691
淫	1692
胤	1693
蔭	1694

院	1701
陰	1702
隠	1703
韻	1704
吋	1705

【う】

右	1706
宇	1707
烏	1708
羽	1709
迂	1710
雨	1711
卯	1712
鵜	1713
窺	1714
丑	1715
碓	1716
臼	1717
渦	1718
嘘	1719
唄	1720
欝	1721
蔚	1722
鰻	1723
姥	1724
厩	1725
浦	1726
瓜	1727
閏	1728
噂	1729
云	1730
運	1731
雲	1732

【え】

荏	1733
餌	1734
叡	1735
営	1736
嬰	1737
影	1738
映	1739
曳	1740
栄	1741
永	1742
泳	1743
洩	1744
瑛	1745
盈	1746
穎	1747
頴	1748
英	1749
衛	1750
詠	1751
鋭	1752
液	1753
疫	1754
益	1755

字	コード
駅	1756
悦	1757
謁	1758
越	1759
閲	1760
榎	1761
厭	1762
円	1763
園	1764
堰	1765
奄	1766
宴	1767
延	1768
怨	1769
掩	1770
援	1771
沿	1772
演	1773
炎	1774
焔	1775
煙	1776
燕	1777
猿	1778
縁	1779
艶	1780
苑	1781
薗	1782
遠	1783
鉛	1784
鴛	1785
塩	1786
【お】	
於	1787
汚	1788
甥	1789
凹	1790
央	1791
奥	1792
往	1793
応	1794
押	1801
旺	1802
横	1803
欧	1804
殴	1805
王	1806
翁	1807
襖	1808
鴬	1809
鴎	1810
黄	1811
岡	1812
沖	1813
荻	1814
億	1815
屋	1816
憶	1817
臆	1818
桶	1819
牡	1820
乙	1821
俺	1822
卸	1823
恩	1824
温	1825
穏	1826
音	1827
【か】	
下	1828
化	1829
仮	1830
何	1831
伽	1832
価	1833
佳	1834
加	1835
可	1836
嘉	1837
夏	1838
嫁	1839
家	1840
寡	1841
科	1842
暇	1843
果	1844
架	1845
歌	1846
河	1847
火	1848
珂	1849
禍	1850
禾	1851
稼	1852
箇	1853
花	1854
苛	1855
茄	1856
荷	1857
華	1858
菓	1859
蝦	1860
課	1861
嘩	1862
貨	1863
迦	1864
過	1865
霞	1866
蚊	1867
俄	1868
峨	1869
我	1870
牙	1871
画	1872
臥	1873
芽	1874
蛾	1875
賀	1876
雅	1877
餓	1878
駕	1879
介	1880
会	1881
解	1882
回	1883
塊	1884
壊	1885
廻	1886
快	1887
怪	1888
悔	1889
恢	1890
懐	1891
戒	1892
拐	1893
改	1894
魁	1901
晦	1902
械	1903
海	1904
灰	1905
界	1906
皆	1907
絵	1908
芥	1909
蟹	1910
開	1911
階	1912
貝	1913
凱	1914
劾	1915
外	1916
咳	1917
害	1918
崖	1919
慨	1920
概	1921
涯	1922
碍	1923
蓋	1924
街	1925
該	1926
鎧	1927
骸	1928
浬	1929
馨	1930
蛙	1931
垣	1932
柿	1933
蛎	1934
鈎	1935
劃	1936
嚇	1937
各	1938
廓	1939
拡	1940
撹	1941
格	1942
核	1943
殻	1944
獲	1945
確	1946
穫	1947
覚	1948
角	1949
赫	1950
較	1951
郭	1952
閣	1953
隔	1954
革	1955
学	1956
岳	1957
楽	1958
額	1959
顎	1960
掛	1961
笠	1962
樫	1963
橿	1964
梶	1965
鰍	1966
潟	1967
割	1968
喝	1969
恰	1970
括	1971
活	1972
渇	1973
滑	1974
葛	1975
褐	1976
轄	1977
且	1978
鰹	1979
叶	1980
椛	1981
樺	1982
鞄	1983
株	1984
兜	1985
竃	1986
蒲	1987
釜	1988
鎌	1989
噛	1990
鴨	1991
栢	1992
茅	1993
萱	1994
粥	2001
刈	2002
苅	2003
瓦	2004
乾	2005
侃	2006
冠	2007
寒	2008
刊	2009
勘	2010
勧	2011
巻	2012
喚	2013
堪	2014
姦	2015
完	2016
官	2017
寛	2018
干	2019
幹	2020
患	2021
感	2022
慣	2023
憾	2024
換	2025
敢	2026
柑	2027
桓	2028
棺	2029
款	2030
歓	2031
汗	2032
漢	2033
澗	2034
潅	2035
環	2036
甘	2037
監	2038
看	2039
竿	2040
管	2041
簡	2042
緩	2043
缶	2044
翰	2045
肝	2046
艦	2047
莞	2048
観	2049
諌	2050
貫	2051
還	2052
鑑	2053
間	2054
閑	2055
関	2056
陥	2057
韓	2058
館	2059
舘	2060
丸	2061
含	2062
岸	2063
巌	2064
玩	2065
癌	2066
眼	2067
岩	2068
翫	2069
贋	2070
雁	2071
頑	2072
顔	2073
願	2074
【き】	
企	2075
伎	2076
危	2077
喜	2078
器	2079
基	2080
奇	2081
嬉	2082
寄	2083
岐	2084
希	2085
幾	2086
忌	2087
揮	2088
机	2089
旗	2090
既	2091
期	2092
棋	2093
棄	2094
機	2101
帰	2102
毅	2103
気	2104
汽	2105
畿	2106
祈	2107
季	2108
稀	2109
紀	2110
徽	2111
規	2112
記	2113
貴	2114
起	2115
軌	2116
輝	2117
飢	2118
騎	2119
鬼	2120
亀	2121
偽	2122
儀	2123
妓	2124
宜	2125
戯	2126
技	2127
擬	2128
欺	2129
犠	2130
疑	2131
祇	2132
義	2133
蟻	2134
誼	2135
議	2136
掬	2137
菊	2138
鞠	2139
吉	2140
吃	2141
喫	2142
桔	2143
橘	2144
詰	2145
砧	2146
杵	2147
黍	2148
却	2149
客	2150
脚	2151
虐	2152
逆	2153
丘	2154
久	2155
仇	2156
休	2157
及	2158
吸	2159
宮	2160
弓	2161
急	2162
救	2163
朽	2164
求	2165
汲	2166
泣	2167
灸	2168
球	2169

究 2170
窮 2171
笈 2172
級 2173
糾 2174
給 2175
旧 2176
牛 2177
去 2178
居 2179
巨 2180
拒 2181
拠 2182
挙 2183
渠 2184
虚 2185
許 2186
距 2187
鋸 2188
漁 2189
禦 2190
魚 2191
亨 2192
享 2193
京 2194

供 2201
侠 2202
僑 2203
兇 2204
競 2205
共 2206
凶 2207
協 2208
匡 2209
卿 2210
叫 2211
喬 2212
境 2213
峡 2214
強 2215
彊 2216
怯 2217
恐 2218
恭 2219
挟 2220
教 2221
橋 2222
況 2223
狂 2224
狭 2225
矯 2226
胸 2227
脅 2228
興 2229
蕎 2230
郷 2231
鏡 2232
響 2233
饗 2234
驚 2235
仰 2236
凝 2237
尭 2238
暁 2239
業 2240
局 2241
曲 2242
極 2243
玉 2244
桐 2245
粁 2246
僅 2247
勤 2248
均 2249
巾 2250
錦 2251
斤 2252
欣 2253
欽 2254
琴 2255
禁 2256
禽 2257
筋 2258
緊 2259
芹 2260
菌 2261
衿 2262
襟 2263
謹 2264
近 2265
金 2266
吟 2267
銀 2268

【く】

九 2269
倶 2270
句 2271
区 2272
狗 2273
玖 2274
矩 2275
苦 2276
躯 2277
駆 2278
駈 2279
駒 2280
具 2281
愚 2282
虞 2283
喰 2284
空 2285
偶 2286
寓 2287
遇 2288
隅 2289
串 2290
櫛 2291
釧 2292
屑 2293
屈 2294

掘 2301
窟 2302
沓 2303
靴 2304
轡 2305
窪 2306
熊 2307
隈 2308
粂 2309
栗 2310
繰 2311
桑 2312
鍬 2313
勲 2314
君 2315
薫 2316
訓 2317
群 2318
軍 2319
郡 2320

【け】

卦 2321
袈 2322
祁 2323
係 2324
傾 2325
刑 2326
兄 2327
啓 2328
圭 2329
珪 2330
型 2331
契 2332
形 2333
径 2334
恵 2335
慶 2336
慧 2337
憩 2338
掲 2339
携 2340
敬 2341
景 2342
桂 2343
渓 2344
畦 2345
稽 2346
系 2347
経 2348
継 2349
繋 2350
罫 2351
茎 2352
荊 2353
蛍 2354
計 2355
詣 2356
警 2357
軽 2358
頚 2359
鶏 2360
芸 2361
迎 2362
鯨 2363
劇 2364
戟 2365
撃 2366
激 2367
隙 2368
桁 2369
傑 2370
欠 2371
決 2372
潔 2373
穴 2374
結 2375
血 2376
訣 2377
月 2378
件 2379
倹 2380
倦 2381
健 2382
兼 2383
券 2384
剣 2385
喧 2386
圏 2387
堅 2388
嫌 2389
建 2390
憲 2391
懸 2392
拳 2393
捲 2394

検 2401
権 2402
牽 2403
犬 2404
献 2405
研 2406
硯 2407
絹 2408
県 2409
肩 2410
見 2411
謙 2412
賢 2413
軒 2414
遣 2415
鍵 2416
険 2417
顕 2418
験 2419
鹸 2420
元 2421
原 2422
厳 2423
幻 2424
弦 2425
減 2426
源 2427
玄 2428
現 2429
絃 2430
舷 2431
言 2432
諺 2433
限 2434

【こ】

乎 2435
個 2436
古 2437
呼 2438
固 2439
姑 2440
孤 2441
己 2442
庫 2443
弧 2444
戸 2445
故 2446
枯 2447
湖 2448
狐 2449
糊 2450
袴 2451
股 2452
胡 2453
菰 2454
虎 2455
誇 2456
跨 2457
鈷 2458
雇 2459
顧 2460
鼓 2461
五 2462
互 2463
伍 2464
午 2465
呉 2466
吾 2467
娯 2468
後 2469
御 2470
悟 2471
梧 2472
檎 2473
瑚 2474
碁 2475
語 2476
誤 2477
護 2478
醐 2479
乞 2480
鯉 2481
交 2482
佼 2483
侯 2484
候 2485
倖 2486
光 2487
公 2488
功 2489
効 2490
勾 2491
厚 2492
口 2493
向 2494

后 2501
喉 2502
坑 2503
垢 2504
好 2505
孔 2506
孝 2507
宏 2508
工 2509
巧 2510
巷 2511
幸 2512
広 2513
庚 2514
康 2515
弘 2516
恒 2517
慌 2518
抗 2519
拘 2520
控 2521
攻 2522
昂 2523
晃 2524
更 2525
杭 2526
校 2527
梗 2528
構 2529
江 2530
洪 2531
浩 2532
港 2533
溝 2534
甲 2535
皇 2536
硬 2537
稿 2538
糠 2539
紅 2540
紘 2541
絞 2542
綱 2543
耕 2544
考 2545
肯 2546
肱 2547
腔 2548
膏 2549
航 2550
荒 2551
行 2552
衡 2553
講 2554
貢 2555
購 2556
郊 2557
酵 2558
鉱 2559
砿 2560
鋼 2561
閤 2562
降 2563
項 2564
香 2565
高 2566
鴻 2567
剛 2568
劫 2569
号 2570
合 2571
壕 2572
拷 2573
濠 2574
豪 2575
轟 2576
麹 2577
克 2578
刻 2579
告 2580
国 2581
穀 2582
酷 2583

鵠	2584	催	2637	索	2687	使	2740	字	2790	射	2845	――		述	2950
黒	2585	再	2638	錯	2688	刺	2741	寺	2791	捨	2846	宗	2901	俊	2951
獄	2586	最	2639	桜	2689	司	2742	慈	2792	赦	2847	就	2902	峻	2952
漉	2587	哉	2640	鮭	2690	史	2743	持	2793	斜	2848	州	2903	春	2953
腰	2588	塞	2641	笹	2691	嗣	2744	時	2794	煮	2849	修	2904	瞬	2954
甑	2589	妻	2642	匙	2692	四	2745	――		社	2850	愁	2905	竣	2955
忽	2590	宰	2643	冊	2693	士	2746	次	2801	紗	2851	拾	2906	舜	2956
惚	2591	彩	2644	刷	2694	始	2747	滋	2802	者	2852	洲	2907	駿	2957
骨	2592	才	2645	――		姉	2748	治	2803	謝	2853	秀	2908	准	2958
狛	2593	採	2646	察	2701	姿	2749	爾	2804	車	2854	秋	2909	循	2959
込	2594	栽	2647	拶	2702	子	2750	璽	2805	遮	2855	終	2910	旬	2960
――		歳	2648	撮	2703	屍	2751	痔	2806	蛇	2856	繍	2911	楯	2961
此	2601	済	2649	擦	2704	市	2752	磁	2807	邪	2857	習	2912	殉	2962
頃	2602	災	2650	札	2705	師	2753	示	2808	借	2858	臭	2913	淳	2963
今	2603	采	2651	殺	2706	志	2754	而	2809	勺	2859	舟	2914	準	2964
困	2604	犀	2652	薩	2707	思	2755	耳	2810	尺	2860	蒐	2915	潤	2965
坤	2605	砕	2653	雑	2708	指	2756	自	2811	杓	2861	衆	2916	盾	2966
墾	2606	砦	2654	皐	2709	支	2757	蒔	2812	灼	2862	襲	2917	純	2967
婚	2607	祭	2655	鯖	2710	孜	2758	辞	2813	爵	2863	讐	2918	巡	2968
恨	2608	斎	2656	捌	2711	斯	2759	汐	2814	酌	2864	蹴	2919	遵	2969
懇	2609	細	2657	錆	2712	施	2760	鹿	2815	釈	2865	輯	2920	醇	2970
昏	2610	菜	2658	鮫	2713	旨	2761	式	2816	錫	2866	週	2921	順	2971
昆	2611	裁	2659	皿	2714	枝	2762	識	2817	若	2867	酋	2922	処	2972
根	2612	載	2660	晒	2715	止	2763	鴫	2818	寂	2868	酬	2923	初	2973
梱	2613	際	2661	三	2716	死	2764	竺	2819	弱	2869	集	2924	所	2974
混	2614	剤	2662	傘	2717	氏	2765	軸	2820	惹	2870	醜	2925	暑	2975
痕	2615	在	2663	参	2718	獅	2766	宍	2821	主	2871	什	2926	曙	2976
紺	2616	材	2664	山	2719	祉	2767	雫	2822	取	2872	住	2927	渚	2977
艮	2617	罪	2665	惨	2720	私	2768	七	2823	守	2873	充	2928	庶	2978
魂	2618	財	2666	撒	2721	糸	2769	叱	2824	手	2874	十	2929	緒	2979
		冴	2667	散	2722	紙	2770	執	2825	朱	2875	従	2930	署	2980
【さ】		坂	2668	桟	2723	紫	2771	失	2826	殊	2876	戎	2931	書	2981
些	2619	阪	2669	燦	2724	肢	2772	嫉	2827	狩	2877	柔	2932	薯	2982
佐	2620	堺	2670	珊	2725	脂	2773	室	2828	珠	2878	汁	2933	藷	2983
叉	2621	榊	2671	産	2726	至	2774	悉	2829	種	2879	渋	2934	諸	2984
唆	2622	肴	2672	算	2727	視	2775	湿	2830	腫	2880	獣	2935	助	2985
嵯	2623	咲	2673	纂	2728	詞	2776	漆	2831	趣	2881	縦	2936	叙	2986
左	2624	崎	2674	蚕	2729	詩	2777	疾	2832	酒	2882	重	2937	女	2987
差	2625	埼	2675	讃	2730	試	2778	質	2833	首	2883	銃	2938	序	2988
査	2626	碕	2676	賛	2731	誌	2779	実	2834	儒	2884	叔	2939	徐	2989
沙	2627	鷺	2677	酸	2732	諮	2780	蔀	2835	受	2885	夙	2940	恕	2990
瑳	2628	作	2678	餐	2733	資	2781	篠	2836	呪	2886	宿	2941	鋤	2991
砂	2629	削	2679	斬	2734	賜	2782	偲	2837	寿	2887	淑	2942	除	2992
詐	2630	咋	2680	暫	2735	雌	2783	柴	2838	授	2888	祝	2943	傷	2993
鎖	2631	搾	2681	残	2736	飼	2784	芝	2839	樹	2889	縮	2944	償	2994
裟	2632	昨	2682			歯	2785	屡	2840	綬	2890	粛	2945	――	
坐	2633	朔	2683	【し】		事	2786	蕊	2841	需	2891	塾	2946	勝	3001
座	2634	柵	2684	仕	2737	似	2787	縞	2842	囚	2892	熟	2947	匠	3002
挫	2635	窄	2685	仔	2738	侍	2788	舎	2843	収	2893	出	2948	升	3003
債	2636	策	2686	伺	2739	児	2789	写	2844	周	2894	術	2949	召	3004

漢字	コード
哨	3005
商	3006
唱	3007
嘗	3008
奨	3009
妾	3010
娼	3011
宵	3012
将	3013
小	3014
少	3015
尚	3016
庄	3017
床	3018
廠	3019
彰	3020
承	3021
抄	3022
招	3023
掌	3024
捷	3025
昇	3026
昌	3027
昭	3028
晶	3029
松	3030
梢	3031
樟	3032
樵	3033
沼	3034
消	3035
渉	3036
湘	3037
焼	3038
焦	3039
照	3040
症	3041
省	3042
硝	3043
礁	3044
祥	3045
称	3046
章	3047
笑	3048
粧	3049
紹	3050
肖	3051
菖	3052
蒋	3053
蕉	3054
衝	3055
裳	3056
訟	3057
証	3058
詔	3059
詳	3060
象	3061
賞	3062
醤	3063
鉦	3064
鍾	3065
鐘	3066
障	3067
鞘	3068
上	3069
丈	3070
丞	3071
乗	3072
冗	3073
剰	3074
城	3075
場	3076
壌	3077
嬢	3078
常	3079
情	3080
擾	3081
条	3082
杖	3083
浄	3084
状	3085
畳	3086
穣	3087
蒸	3088
譲	3089
醸	3090
錠	3091
嘱	3092
埴	3093
飾	3094
拭	3101
植	3102
殖	3103
燭	3104
織	3105
職	3106
色	3107
触	3108
食	3109
蝕	3110
辱	3111
尻	3112
伸	3113
信	3114
侵	3115
唇	3116
娠	3117
寝	3118
審	3119
心	3120
慎	3121
振	3122
新	3123
晋	3124
森	3125
榛	3126
浸	3127
深	3128
申	3129
疹	3130
真	3131
神	3132
秦	3133
紳	3134
臣	3135
芯	3136
薪	3137
親	3138
診	3139
身	3140
辛	3141
進	3142
針	3143
震	3144
人	3145
仁	3146
刃	3147
塵	3148
壬	3149
尋	3150
甚	3151
尽	3152
腎	3153
訊	3154
迅	3155
陣	3156
靭	3157

【す】

漢字	コード
笥	3158
諏	3159
須	3160
酢	3161
図	3162
厨	3163
逗	3164
吹	3165
垂	3166
帥	3167
推	3168
水	3169
炊	3170
睡	3171
粋	3172
翠	3173
衰	3174
遂	3175
酔	3176
錐	3177
錘	3178
随	3179
瑞	3180
髄	3181
崇	3182
嵩	3183
数	3184
枢	3185
趨	3186
雛	3187
据	3188
杉	3189
椙	3190
菅	3191
頗	3192
雀	3193
裾	3194
澄	3201
摺	3202
寸	3203

【せ】

漢字	コード
世	3204
瀬	3205
畝	3206
是	3207
凄	3208
制	3209
勢	3210
姓	3211
征	3212
性	3213
成	3214
政	3215
整	3216
星	3217
晴	3218
棲	3219
栖	3220
正	3221
清	3222
牲	3223
生	3224
盛	3225
精	3226
聖	3227
声	3228
製	3229
西	3230
誠	3231
誓	3232
請	3233
逝	3234
醒	3235
青	3236
静	3237
斉	3238
税	3239
脆	3240
隻	3241
席	3242
惜	3243
戚	3244
斥	3245
昔	3246
析	3247
石	3248
積	3249
籍	3250
績	3251
脊	3252
責	3253
赤	3254
跡	3255
蹟	3256
碩	3257
切	3258
拙	3259
接	3260
摂	3261
折	3262
設	3263
窃	3264
節	3265
説	3266
雪	3267
絶	3268
舌	3269
蝉	3270
仙	3271
先	3272
千	3273
占	3274
宣	3275
専	3276
尖	3277
川	3278
戦	3279
扇	3280
撰	3281
栓	3282
栴	3283
泉	3284
浅	3285
洗	3286
染	3287
潜	3288
煎	3289
煽	3290
旋	3291
穿	3292
箭	3293
線	3294
繊	3301
羨	3302
腺	3303
舛	3304
船	3305
薦	3306
詮	3307
賎	3308
践	3309
選	3310
遷	3311
銭	3312
銑	3313
閃	3314
鮮	3315
前	3316
善	3317
漸	3318
然	3319
全	3320
禅	3321
繕	3322
膳	3323
糎	3324

【そ】

漢字	コード
噌	3325
塑	3326
岨	3327
措	3328
曾	3329
曽	3330
楚	3331
狙	3332
疏	3333
疎	3334
礎	3335
祖	3336
租	3337
粗	3338
素	3339
組	3340
蘇	3341
訴	3342
阻	3343
遡	3344
鼠	3345
僧	3346
創	3347
双	3348
叢	3349
倉	3350
喪	3351
壮	3352
奏	3353
爽	3354
宋	3355
層	3356
匝	3357
惣	3358
想	3359
捜	3360
掃	3361
挿	3362
掻	3363
操	3364
早	3365
曹	3366
巣	3367
槍	3368
槽	3369
漕	3370
燥	3371
争	3372
痩	3373
相	3374
窓	3375
糟	3376
総	3377
綜	3378
聡	3379
草	3380
荘	3381
葬	3382
蒼	3383
藻	3384
装	3385
走	3386
送	3387
遭	3388
鎗	3389
霜	3390
騒	3391
像	3392
増	3393
憎	3394
臓	3401
蔵	3402
贈	3403
造	3404
促	3405
側	3406
則	3407
即	3408
息	3409
捉	3410
束	3411
測	3412
足	3413
速	3414
俗	3415
属	3416
賊	3417
族	3418

続 3419
卒 3420
袖 3421
其 3422
揃 3423
存 3424
孫 3425
尊 3426
損 3427
村 3428
遜 3429

【た】

他 3430
多 3431
太 3432
汰 3433
詑 3434
唾 3435
堕 3436
妥 3437
惰 3438
打 3439
柁 3440
舵 3441
楕 3442
陀 3443
駄 3444
騨 3445
体 3446
堆 3447
対 3448
耐 3449
岱 3450
帯 3451
待 3452
怠 3453
態 3454
戴 3455
替 3456
泰 3457
滞 3458
胎 3459
腿 3460
苔 3461
袋 3462
貸 3463
退 3464
逮 3465
隊 3466
黛 3467
鯛 3468
代 3469
台 3470
大 3471
第 3472
醍 3473
題 3474
鷹 3475
滝 3476
瀧 3477
卓 3478
啄 3479
宅 3480
托 3481
択 3482
拓 3483
沢 3484
濯 3485
琢 3486
託 3487
鐸 3488
濁 3489
諾 3490
茸 3491
凧 3492
蛸 3493
只 3494

叩 3501
但 3502
達 3503
辰 3504
奪 3505
脱 3506
巽 3507
竪 3508
辿 3509
棚 3510
谷 3511
狸 3512
鱈 3513
樽 3514
誰 3515
丹 3516
単 3517
嘆 3518
坦 3519
担 3520
探 3521
旦 3522
歎 3523
淡 3524
湛 3525
炭 3526
短 3527
端 3528
箪 3529
綻 3530
耽 3531
胆 3532
蛋 3533
誕 3534
鍛 3535
団 3536
壇 3537
弾 3538
断 3539
暖 3540
檀 3541
段 3542
男 3543
談 3544

【ち】

値 3545
知 3546
地 3547
弛 3548
恥 3549
智 3550
池 3551
痴 3552
稚 3553
置 3554
致 3555
蜘 3556
遅 3557
馳 3558
築 3559
畜 3560
竹 3561
筑 3562
蓄 3563
逐 3564
秩 3565
窒 3566
茶 3567
嫡 3568
着 3569
中 3570
仲 3571
宙 3572
忠 3573
抽 3574
昼 3575
柱 3576
注 3577
虫 3578
衷 3579
註 3580
酎 3581
鋳 3582
駐 3583
樗 3584
瀦 3585
猪 3586
苧 3587
著 3588
貯 3589
丁 3590
兆 3591
凋 3592
喋 3593
寵 3594

帖 3601
帳 3602
庁 3603
弔 3604
張 3605
彫 3606
徴 3607
懲 3608
挑 3609
暢 3610
朝 3611
潮 3612
牒 3613
町 3614
眺 3615
聴 3616
脹 3617
腸 3618
蝶 3619
調 3620
諜 3621
超 3622
跳 3623
銚 3624
長 3625
頂 3626
鳥 3627
勅 3628
捗 3629
直 3630
朕 3631
沈 3632
珍 3633
賃 3634
鎮 3635
陳 3636

【つ】

津 3637
墜 3638
椎 3639
槌 3640
追 3641
鎚 3642
痛 3643
通 3644
塚 3645
栂 3646
掴 3647
槻 3648
佃 3649
漬 3650
柘 3651
辻 3652
蔦 3653
綴 3654
鍔 3655
椿 3656
潰 3657
坪 3658
壷 3659
嬬 3660
紬 3661
爪 3662
吊 3663
釣 3664
鶴 3665

【て】

亭 3666
低 3667
停 3668
偵 3669
剃 3670
貞 3671
呈 3672
堤 3673
定 3674
帝 3675
底 3676
庭 3677
廷 3678
弟 3679
悌 3680
抵 3681
挺 3682
提 3683
梯 3684
汀 3685
碇 3686
禎 3687
程 3688
締 3689
艇 3690
訂 3691
諦 3692
蹄 3693
逓 3694

邸 3701
鄭 3702
釘 3703
鼎 3704
泥 3705
摘 3706
擢 3707
敵 3708
滴 3709
的 3710
笛 3711
適 3712
鏑 3713
溺 3714
哲 3715
徹 3716
撤 3717
轍 3718
迭 3719
鉄 3720
典 3721
填 3722
天 3723
展 3724
店 3725
添 3726
纏 3727
甜 3728
貼 3729
転 3730
顛 3731
点 3732
伝 3733
殿 3734
澱 3735
田 3736
電 3737

【と】

兎 3738
吐 3739
堵 3740
塗 3741
妬 3742
屠 3743
徒 3744
斗 3745
杜 3746
渡 3747
登 3748
菟 3749
賭 3750
途 3751
都 3752
鍍 3753
砥 3754
砺 3755
努 3756
度 3757
土 3758
奴 3759
怒 3760
倒 3761
党 3762
冬 3763
凍 3764
刀 3765
唐 3766
塔 3767
塘 3768
套 3769
宕 3770
島 3771
嶋 3772
悼 3773
投 3774
搭 3775
東 3776
桃 3777
梼 3778
棟 3779
盗 3780
淘 3781
湯 3782
涛 3783
灯 3784
燈 3785
当 3786
痘 3787
祷 3788
等 3789
答 3790
筒 3791
糖 3792
統 3793
到 3794

董 3801
蕩 3802
藤 3803
討 3804
謄 3805
豆 3806
踏 3807
逃 3808
透 3809
鐙 3810
陶 3811
頭 3812
騰 3813
闘 3814
働 3815
動 3816
同 3817
堂 3818
導 3819
憧 3820
撞 3821
洞 3822
瞳 3823
童 3824
胴 3825
萄 3826
道 3827
銅 3828

峠	3829	畷	3877	埜	3924	蝿	3972	隼	4027	秘	4075	評	4130	侮	4178
鴇	3830	南	3878	嚢	3925	秤	3973	伴	4028	緋	4076	豹	4131	撫	4179
匿	3831	楠	3879	悩	3926	矧	3974	判	4029	罷	4077	廟	4132	武	4180
得	3832	軟	3880	濃	3927	萩	3975	半	4030	肥	4078	描	4133	舞	4181
徳	3833	難	3881	納	3928	伯	3976	反	4031	被	4079	病	4134	葡	4182
涜	3834	汝	3882	能	3929	剥	3977	叛	4032	誹	4080	秒	4135	蕪	4183
特	3835			脳	3930	博	3978	帆	4033	費	4081	苗	4136	部	4184
督	3836	【に】		膿	3931	拍	3979	搬	4034	避	4082	錨	4137	封	4185
禿	3837	二	3883	農	3932	柏	3980	斑	4035	非	4083	鋲	4138	楓	4186
篤	3838	尼	3884	覗	3933	泊	3981	板	4036	飛	4084	蒜	4139	風	4187
毒	3839	弐	3885	蚤	3934	白	3982	氾	4037	樋	4085	蛭	4140	葺	4188
独	3840	迩	3886			箔	3983	汎	4038	簸	4086	鰭	4141	蕗	4189
読	3841	匂	3887	【は】		粕	3984	版	4039	備	4087	品	4142	伏	4190
栃	3842	賑	3888	巴	3935	舶	3985	犯	4040	尾	4088	彬	4143	副	4191
橡	3843	肉	3889	把	3936	薄	3986	班	4041	微	4089	斌	4144	復	4192
凸	3844	虹	3890	播	3937	迫	3987	畔	4042	枇	4090	浜	4145	幅	4193
突	3845	廿	3891	覇	3938	曝	3988	繁	4043	毘	4091	瀕	4146	服	4194
椴	3846	日	3892	杷	3939	漠	3989	般	4044	琵	4092	貧	4147	—	
届	3847	乳	3893	波	3940	爆	3990	藩	4045	眉	4093	賓	4148	福	4201
鳶	3848	入	3894	派	3941	縛	3991	販	4046	美	4094	頻	4149	腹	4202
苫	3849	—		琶	3942	莫	3992	範	4047	—		敏	4150	複	4203
寅	3850	如	3901	破	3943	駁	3993	釆	4048	鼻	4101	瓶	4151	覆	4204
酉	3851	尿	3902	婆	3944	麦	3994	煩	4049	柊	4102			淵	4205
瀞	3852	韮	3903	罵	3945	—		頒	4050	稗	4103	【ふ】		弗	4206
噸	3853	任	3904	芭	3946	函	4001	飯	4051	匹	4104	不	4152	払	4207
屯	3854	妊	3905	馬	3947	箱	4002	挽	4052	疋	4105	付	4153	沸	4208
惇	3855	忍	3906	俳	3948	硲	4003	晩	4053	髭	4106	埠	4154	仏	4209
敦	3856	認	3907	廃	3949	箸	4004	番	4054	彦	4107	夫	4155	物	4210
沌	3857			拝	3950	肇	4005	盤	4055	膝	4108	婦	4156	鮒	4211
豚	3858	【ぬ】		排	3951	筈	4006	磐	4056	菱	4109	富	4157	分	4212
遁	3859	濡	3908	敗	3952	櫨	4007	蕃	4057	肘	4110	冨	4158	吻	4213
頓	3860			杯	3953	幡	4008	蛮	4058	弼	4111	布	4159	噴	4214
呑	3861	【ね】		盃	3954	肌	4009			必	4112	府	4160	墳	4215
曇	3862	禰	3909	牌	3955	畑	4010	【ひ】		畢	4113	怖	4161	憤	4216
鈍	3863	祢	3910	背	3956	畠	4011	匪	4059	筆	4114	扶	4162	扮	4217
		寧	3911	肺	3957	八	4012	卑	4060	逼	4115	敷	4163	焚	4218
【な】		葱	3912	輩	3958	鉢	4013	否	4061	桧	4116	斧	4164	奮	4219
奈	3864	猫	3913	配	3959	溌	4014	妃	4062	姫	4117	普	4165	粉	4220
那	3865	熱	3914	倍	3960	発	4015	庇	4063	媛	4118	浮	4166	糞	4221
内	3866	年	3915	培	3961	醗	4016	彼	4064	紐	4119	父	4167	紛	4222
乍	3867	念	3916	媒	3962	髪	4017	悲	4065	百	4120	符	4168	雰	4223
凪	3868	捻	3917	梅	3963	伐	4018	扉	4066	謬	4121	腐	4169	文	4224
薙	3869	撚	3918	楳	3964	罰	4019	批	4067	俵	4122	膚	4170	聞	4225
謎	3870	燃	3919	煤	3965	抜	4020	披	4068	彪	4123	芙	4171		
灘	3871	粘	3920	狽	3966	筏	4021	斐	4069	標	4124	譜	4172	【へ】	
捺	3872			買	3967	閥	4022	比	4070	氷	4125	負	4173	丙	4226
鍋	3873	【の】		売	3968	鳩	4023	泌	4071	漂	4126	賦	4174	併	4227
楢	3874	乃	3921	賠	3969	噺	4024	疲	4072	瓢	4127	赴	4175	兵	4228
馴	3875	廼	3922	陪	3970	塙	4025	皮	4073	票	4128	阜	4176	塀	4229
縄	3876	之	3923	這	3971	蛤	4026	碑	4074	表	4129	附	4177	幣	4230

平	4231	倣	4279	紡	4334	亦	4382	命	4431	耶	4477	【よ】		洛	4576
弊	4232	俸	4280	肪	4335	俣	4383	明	4432	野	4478	予	4529	絡	4577
柄	4233	包	4281	膨	4336	又	4384	盟	4433	弥	4479	余	4530	落	4578
並	4234	呆	4282	謀	4337	抹	4385	迷	4434	矢	4480	与	4531	酪	4579
蔽	4235	報	4283	貌	4338	末	4386	銘	4435	厄	4481	誉	4532	乱	4580
閉	4236	奉	4284	貿	4339	沫	4387	鳴	4436	役	4482	輿	4533	卵	4581
陛	4237	宝	4285	鉾	4340	迄	4388	姪	4437	約	4483	預	4534	嵐	4582
米	4238	峰	4286	防	4341	侭	4389	牝	4438	薬	4484	傭	4535	欄	4583
頁	4239	峯	4287	吠	4342	繭	4390	滅	4439	訳	4485	幼	4536	濫	4584
僻	4240	崩	4288	頬	4343	麿	4391	免	4440	躍	4486	妖	4537	藍	4585
壁	4241	庖	4289	北	4344	万	4392	棉	4441	靖	4487	容	4538	蘭	4586
癖	4242	抱	4290	僕	4345	慢	4393	綿	4442	柳	4488	庸	4539	覧	4587
碧	4243	捧	4291	卜	4346	満	4394	緬	4443	薮	4489	揚	4540		
別	4244	放	4292	墨	4347			面	4444	鑓	4490	揺	4541	【り】	
瞥	4245	方	4293	撲	4348	漫	4401	麺	4445			擁	4542	利	4588
蔑	4246	朋	4294	朴	4349	蔓	4402			【ゆ】		曜	4543	吏	4589
箆	4247			牧	4350			【も】		愉	4491	楊	4544	履	4590
偏	4248	法	4301	睦	4351	【み】		摸	4446	愈	4492	様	4545	李	4591
変	4249	泡	4302	穆	4352	味	4403	模	4447	油	4493	洋	4546	梨	4592
片	4250	烹	4303	釦	4353	未	4404	茂	4448	癒	4494	溶	4547	理	4593
篇	4251	砲	4304	勃	4354	魅	4405	妄	4449			熔	4548	璃	4594
編	4252	縫	4305	没	4355	巳	4406	孟	4450	諭	4501	用	4549		
辺	4253	胞	4306	殆	4356	箕	4407	毛	4451	輸	4502	窯	4550	痢	4601
返	4254	芳	4307	堀	4357	岬	4408	猛	4452	唯	4503	羊	4551	裏	4602
遍	4255	萌	4308	幌	4358	密	4409	盲	4453	佑	4504	耀	4552	裡	4603
便	4256	蓬	4309	奔	4359	蜜	4410	網	4454	優	4505	葉	4553	里	4604
勉	4257	蜂	4310	本	4360	湊	4411	耗	4455	勇	4506	蓉	4554	離	4605
娩	4258	褒	4311	翻	4361	蓑	4412	蒙	4456	友	4507	要	4555	陸	4606
弁	4259	訪	4312	凡	4362	稔	4413	儲	4457	宥	4508	謡	4556	律	4607
鞭	4260	豊	4313	盆	4363	脈	4414	木	4458	幽	4509	踊	4557	率	4608
		邦	4314			妙	4415	黙	4459	悠	4510	遥	4558	立	4609
【ほ】		鋒	4315	【ま】		粍	4416	目	4460	憂	4511	陽	4559	葎	4610
保	4261	飽	4316	摩	4364	民	4417	杢	4461	揖	4512	養	4560	掠	4611
舗	4262	鳳	4317	磨	4365	眠	4418	勿	4462	有	4513	慾	4561	略	4612
鋪	4263	鵬	4318	魔	4366			餅	4463	柚	4514	抑	4562	劉	4613
圃	4264	乏	4319	麻	4367	【む】		尤	4464	湧	4515	欲	4563	流	4614
捕	4265	亡	4320	埋	4368	務	4419	戻	4465	涌	4516	沃	4564	溜	4615
歩	4266	傍	4321	妹	4369	夢	4420	籾	4466	猶	4517	浴	4565	琉	4616
甫	4267	剖	4322	昧	4370	無	4421	貰	4467	猷	4518	翌	4566	留	4617
補	4268	坊	4323	枚	4371	牟	4422	問	4468	由	4519	翼	4567	硫	4618
輔	4269	妨	4324	毎	4372	矛	4423	悶	4469	祐	4520	淀	4568	粒	4619
穂	4270	帽	4325	哩	4373	霧	4424	紋	4470	裕	4521			隆	4620
募	4271	忘	4326	槙	4374	鵡	4425	門	4471	誘	4522	【ら】		竜	4621
墓	4272	忙	4327	幕	4375	椋	4426	匁	4472	遊	4523	羅	4569	龍	4622
慕	4273	房	4328	膜	4376	婿	4427			邑	4524	螺	4570	侶	4623
戊	4274	暴	4329	枕	4377	娘	4428	【や】		郵	4525	裸	4571	慮	4624
暮	4275	望	4330	鮪	4378			也	4473	雄	4526	来	4572	旅	4625
母	4276	某	4331	柾	4379	【め】		冶	4474	融	4527	莱	4573	虜	4626
簿	4277	棒	4332	鱒	4380	冥	4429	夜	4475	夕	4528	頼	4574	了	4627
菩	4278	冒	4333	桝	4381	名	4430	爺	4476			雷	4575	亮	4628

僚	4629	鈴	4675	麓	4728	亳	4824	倩	4874	兔	4929	剌	4979	丗	5034
両	4630	隷	4676	禄	4729	亶	4825	倬	4875	兢	4930	剞	4980	卉	5035
凌	4631	零	4677	肋	4730	从	4826	俾	4876	竸	4931	剔	4981	卍	5036
寮	4632	霊	4678	録	4731	仍	4827	俯	4877	兩	4932	剪	4982	凖	5037
料	4633	麗	4679	論	4732	仄	4828	們	4878	兪	4933	剴	4983	卞	5038
梁	4634	齢	4680			仆	4829	倆	4879	兮	4934	剩	4984	卩	5039
涼	4635	暦	4681	【わ】		仂	4830	偃	4880	冀	4935	剳	4985	卮	5040
猟	4636	歴	4682	倭	4733	仗	4831	假	4881	冂	4936	剿	4986	夘	5041
療	4637	列	4683	和	4734	仞	4832	會	4882	囘	4937	剽	4987	卻	5042
瞭	4638	劣	4684	話	4735	仭	4833	偕	4883	册	4938	劍	4988	卷	5043
稜	4639	烈	4685	歪	4736	仟	4834	偐	4884	冉	4939	劔	4989	厂	5044
糧	4640	裂	4686	賄	4737	价	4835	偈	4885	冏	4940	劒	4990	厖	5045
良	4641	廉	4687	脇	4738	伉	4836	做	4886	冑	4941	剱	4991	厠	5046
諒	4642	恋	4688	惑	4739	佚	4837	偖	4887	冓	4942	劈	4992	厦	5047
遼	4643	憐	4689	枠	4740	估	4838	偬	4888	冕	4943	劑	4993	厥	5048
量	4644	漣	4690	鷲	4741	佛	4839	偸	4889	冖	4944	辨	4994	厮	5049
陵	4645	煉	4691	亙	4742	佝	4840	傀	4890	冤	4945			厰	5050
領	4646	簾	4692	亘	4743	佗	4841	傚	4891	冦	4946	辧	5001	厶	5051
力	4647	練	4693	鰐	4744	佇	4842	傅	4892	冢	4947	劬	5002	參	5052
緑	4648	聯	4694	詫	4745	佶	4843	傴	4893	冩	4948	劭	5003	簒	5053
倫	4649			藁	4746	侈	4844	傲	4894	冪	4949	劼	5004	雙	5054
厘	4650	蓮	4701	蕨	4747	侏	4845			冫	4950	劵	5005	叟	5055
林	4651	連	4702	椀	4748	侘	4846	僉	4901	决	4951	勁	5006	曼	5056
淋	4652	錬	4703	湾	4749	佻	4847	僊	4902	冱	4952	勍	5007	燮	5057
燐	4653			碗	4750	佩	4848	傳	4903	冲	4953	勗	5008	叮	5058
琳	4654	【ろ】		腕	4751	佰	4849	僂	4904	冰	4954	勞	5009	叨	5059
臨	4655	呂	4704			侑	4850	僖	4905	况	4955	勣	5010	叭	5060
輪	4656	魯	4705	弌	4801	佯	4851	僞	4906	冽	4956	勦	5011	叺	5061
隣	4657	櫓	4706	丐	4802	來	4852	僥	4907	凅	4957	飭	5012	吁	5062
鱗	4658	炉	4707	丕	4803	侖	4853	僭	4908	凉	4958	勠	5013	吽	5063
麟	4659	賂	4708	个	4804	儘	4854	僣	4909	凛	4959	勳	5014	呀	5064
		路	4709	丱	4805	俔	4855	僮	4910	几	4960	勵	5015	听	5065
【る】		露	4710	丶	4806	俟	4856	價	4911	處	4961	勸	5016	吭	5066
瑠	4660	労	4711	丼	4807	俎	4857	僵	4912	凩	4962	勹	5017	吼	5067
塁	4661	婁	4712	丿	4808	俘	4858	儉	4913	凭	4963	匆	5018	吮	5068
涙	4662	廊	4713	乂	4809	俛	4859	儁	4914	凰	4964	匈	5019	吶	5069
累	4663	弄	4714	乖	4810	俑	4860	儂	4915	凵	4965	甸	5020	吩	5070
類	4664	朗	4715	乘	4811	俚	4861	儖	4916	凾	4966	匍	5021	吝	5071
		楼	4716	亂	4812	俐	4862	儕	4917	刄	4967	匐	5022	呎	5072
【れ】		榔	4717	亅	4813	俤	4863	儔	4918	刋	4968	匏	5023	咏	5073
令	4665	浪	4718	豫	4814	俥	4864	儚	4919	刔	4969	匕	5024	呵	5074
伶	4666	漏	4719	亊	4815	倚	4865	儡	4920	刎	4970	匚	5025	咎	5075
例	4667	牢	4720	舒	4816	倨	4866	儺	4921	刧	4971	匣	5026	呟	5076
冷	4668	狼	4721	弍	4817	倔	4867	儷	4922	刪	4972	匯	5027	呱	5077
励	4669	篭	4722	于	4818	倪	4868	儼	4923	刮	4973	匱	5028	呷	5078
嶺	4670	老	4723	亞	4819	倥	4869	儻	4924	刳	4974	匳	5029	呰	5079
怜	4671	聾	4724	亟	4820	倅	4870	儿	4925	刹	4975	匸	5030	咒	5080
玲	4672	蝋	4725	亠	4821	伜	4871	兀	4926	剏	4976	區	5031	呻	5081
礼	4673	郎	4726	亢	4822	俶	4872	兒	4927	剄	4977	卆	5032	咀	5082
苓	4674	六	4727	亰	4823	倡	4873	兌	4928	剋	4978	卅	5033	呶	5083

咄	5084	喃	5139	囮	5189	毀	5244	奩	5294	孅	5349	屬	5404	嶽	5454
咐	5085	喩	5140	囹	5190	塒	5245			孀	5350	屮	5405	嶐	5455
咆	5086	喇	5141	圀	5191	堽	5246	奸	5301	孑	5351	乢	5406	嶷	5456
哇	5087	喨	5142	囿	5192	塹	5247	妁	5302	孕	5352	屶	5407	嶼	5457
咢	5088	嗚	5143	圄	5193	墅	5248	妝	5303	孚	5353	屹	5408	巉	5458
咸	5089	嗅	5144	圉	5194	墹	5249	佞	5304	孛	5354	岌	5409	巍	5459
咥	5090	嗟	5145			墟	5250	侫	5305	孥	5355	岑	5410	巓	5460
咬	5091	嗄	5146	圈	5201	墫	5251	妣	5306	孩	5356	岔	5411	巒	5461
哄	5092	嗜	5147	國	5202	墺	5252	妲	5307	孰	5357	妛	5412	巖	5462
哈	5093	嗤	5148	圍	5203	壞	5253	姆	5308	孳	5358	岫	5413	巛	5463
咨	5094	嗔	5149	圓	5204	墻	5254	姨	5309	孵	5359	岻	5414	巫	5464
		嘔	5150	團	5205	墸	5255	姜	5310	學	5360	岶	5415	已	5465
咫	5101	嗷	5151	圖	5206	墮	5256	妍	5311	斈	5361	岼	5416	巵	5466
哂	5102	嘖	5152	嗇	5207	壅	5257	姙	5312	孺	5362	岷	5417	帋	5467
咤	5103	嗾	5153	圜	5208	壓	5258	姚	5313	宀	5363	峅	5418	帚	5468
咾	5104	嗽	5154	圦	5209	壑	5259	娥	5314	它	5364	岾	5419	帙	5469
咼	5105	嘛	5155	圷	5210	壗	5260	娟	5315	宦	5365	峇	5420	帑	5470
哘	5106	嗹	5156	圸	5211	壙	5261	娑	5316	宸	5366	峙	5421	帛	5471
哥	5107	噎	5157	坎	5212	壘	5262	娜	5317	寃	5367	峩	5422	帶	5472
哦	5108	噐	5158	圻	5213	壥	5263	娉	5318	寇	5368	峽	5423	帷	5473
唏	5109	營	5159	址	5214	壜	5264	娚	5319	寉	5369	峺	5424	幄	5474
唔	5110	嘴	5160	坏	5215	壤	5265	婀	5320	寔	5370	峭	5425	幃	5475
哽	5111	嘶	5161	坩	5216	壟	5266	婬	5321	寐	5371	嶌	5426	幀	5476
哮	5112	嘲	5162	埀	5217	壯	5267	婉	5322	寤	5372	峪	5427	幎	5477
哭	5113	嘸	5163	垈	5218	壺	5268	娵	5323	實	5373	崋	5428	幗	5478
哺	5114	噫	5164	坡	5219	壹	5269	娶	5324	寢	5374	崕	5429	幔	5479
哢	5115	噤	5165	坿	5220	壻	5270	婢	5325	寞	5375	崗	5430	幟	5480
唹	5116	嘯	5166	垉	5221	壼	5271	婪	5326	寥	5376	嵜	5431	幢	5481
啀	5117	噬	5167	垓	5222	壽	5272	媚	5327	寫	5377	崟	5432	幤	5482
啣	5118	噪	5168	垠	5223	夂	5273	媼	5328	寰	5378	崛	5433	幇	5483
啌	5119	嚆	5169	垳	5224	夊	5274	媾	5329	寶	5379	崑	5434	幵	5484
售	5120	嚀	5170	垤	5225	夐	5275	嫋	5330	寳	5380	崔	5435	并	5485
啜	5121	嚊	5171	垪	5226	夛	5276	嫂	5331	尅	5381	崢	5436	幺	5486
啅	5122	嚠	5172	垰	5227	梦	5277	媽	5332	將	5382	崚	5437	麼	5487
啖	5123	嚔	5173	埃	5228	夥	5278	嫣	5333	專	5383	崙	5438	广	5488
啗	5124	嚏	5174	埆	5229	夬	5279	嫗	5334	對	5384	崘	5439	庠	5489
唸	5125	嚥	5175	埔	5230	夭	5280	嫦	5335	尓	5385	嵌	5440	廁	5490
唳	5126	嚮	5176	埒	5231	夲	5281	嫩	5336	尠	5386	嵒	5441	廂	5491
啝	5127	嚶	5177	埓	5232	夸	5282	嫖	5337	尢	5387	嵎	5442	廈	5492
喙	5128	嚴	5178	堊	5233	夾	5283	嫺	5338	尨	5388	嵋	5443	廐	5493
喀	5129	囂	5179	埖	5234	竒	5284	嫻	5339	尸	5389	嵬	5444	廏	5494
咯	5130	嚼	5180	埣	5235	奕	5285	嬌	5340	尹	5390	嵳	5445		
喊	5131	囁	5181	堋	5236	奐	5286	嬋	5341	屁	5391	嵶	5446	廖	5501
喟	5132	囃	5182	堙	5237	奎	5287	嬖	5342	屆	5392	嶇	5447	廣	5502
啻	5133	囀	5183	堝	5238	奚	5288	嬲	5343	屎	5393	嶄	5448	廝	5503
啾	5134	囈	5184	塲	5239	奘	5289	嫐	5344	屓	5394	嶂	5449	廚	5504
喘	5135	囎	5185	堡	5240	奢	5290	嬪	5345			嶢	5450	廛	5505
喞	5136	囑	5186	塢	5241	奠	5291	嬶	5346	屐	5401	嶝	5451	廢	5506
單	5137	囓	5187	塋	5242	奧	5292	嬾	5347	屏	5402	嶬	5452	廡	5507
啼	5138	囗	5188	塰	5243	奬	5293	孃	5348	孱	5403	嶮	5453	廨	5508

廩	5509	忝	5559	悽	5614	懍	5664	抒	5719	揣	5769	攜	5824	晁	5874
廬	5510	悳	5560	惆	5615	憑	5665	抓	5720	揉	5770	攅	5825	晞	5875
廱	5511	忿	5561	悵	5616	憫	5666	抖	5721	插	5771	攤	5826	晝	5876
廳	5512	怡	5562	惘	5617	憮	5667	拔	5722	揶	5772	攣	5827	晤	5877
廰	5513	恠	5563	慍	5618	懌	5668	抃	5723	揄	5773	攫	5828	晧	5878
廴	5514	怙	5564	愕	5619	懊	5669	抔	5724	搖	5774	攴	5829	晨	5879
廸	5515	怐	5565	愆	5620	應	5670	拗	5725	搴	5775	攵	5830	晟	5880
廾	5516	怩	5566	惶	5621	懷	5671	拑	5726	搆	5776	攷	5831	晢	5881
弃	5517	怎	5567	惷	5622	懈	5672	抻	5727	搓	5777	收	5832	晰	5882
弉	5518	怱	5568	愀	5623	懃	5673	拏	5728	搦	5778	攸	5833	暃	5883
彝	5519	怛	5569	惴	5624	懆	5674	拿	5729	搶	5779	畋	5834	暈	5884
彜	5520	怕	5570	惺	5625	憺	5675	拆	5730	攝	5780	效	5835	暎	5885
弋	5521	怫	5571	愃	5626	懋	5676	擔	5731	搗	5781	敖	5836	暉	5886
弑	5522	怦	5572	愡	5627	罹	5677	拈	5732	搨	5782	敕	5837	暄	5887
弖	5523	怏	5573	惻	5628	懍	5678	拜	5733	搏	5783	敍	5838	暘	5888
弩	5524	怺	5574	惱	5629	懦	5679	拌	5734	摧	5784	敘	5839	暝	5889
弭	5525	恚	5575	愍	5630	懣	5680	拊	5735	摯	5785	敞	5840	曁	5890
弸	5526	恁	5576	愎	5631	懶	5681	拂	5736	摶	5786	敝	5841	暹	5891
彁	5527	恪	5577	慇	5632	懺	5682	拇	5737	摎	5787	敲	5842	曉	5892
彈	5528	恷	5578	愾	5633	懴	5683	抛	5738	攪	5788	數	5843	暾	5893
彌	5529	恟	5579	愨	5634	懿	5684	拉	5739	撕	5789	斂	5844	暼	5894
彎	5530	恊	5580	愧	5635	懽	5685	挌	5740	撓	5790	斃	5845	―――	
弯	5531	恆	5581	慊	5636	懼	5686	拮	5741	撥	5791	變	5846	曄	5901
彑	5532	恍	5582	愿	5637	懾	5687	拱	5742	撩	5792	斛	5847	暸	5902
彖	5533	恣	5583	愼	5638	戀	5688	挧	5743	撈	5793	斟	5848	曖	5903
彗	5534	恃	5584	愬	5639	戈	5689	挂	5744	撼	5794	斫	5849	曚	5904
彙	5535	恤	5585	愴	5640	戉	5690	挈	5745	―――		斷	5850	曠	5905
彡	5536	恂	5586	愽	5641	戍	5691	拯	5746	據	5801	旃	5851	昿	5906
彭	5537	恬	5587	慂	5642	戌	5692	拵	5747	擒	5802	旆	5852	曦	5907
彳	5538	恫	5588	慄	5643	戔	5693	捐	5748	擅	5803	旁	5853	曩	5908
彷	5539	恙	5589	慳	5644	戛	5694	挾	5749	擇	5804	旄	5854	曰	5909
徃	5540	悁	5590	慷	5645	―――		捍	5750	撻	5805	旌	5855	曵	5910
徂	5541	悍	5591	慘	5646	戞	5701	搜	5751	擘	5806	旒	5856	曷	5911
彿	5542	惧	5592	慙	5647	戡	5702	捏	5752	擂	5807	旛	5857	朏	5912
徊	5543	悃	5593	慚	5648	截	5703	掖	5753	擱	5808	旙	5858	朖	5913
很	5544	悚	5594	慫	5649	戮	5704	掎	5754	擧	5809	无	5859	朞	5914
徑	5545	―――		慴	5650	戰	5705	掀	5755	舉	5810	旡	5860	朦	5915
徇	5546	悄	5601	慯	5651	戲	5706	掫	5756	擠	5811	旱	5861	朧	5916
從	5547	悛	5602	慥	5652	戳	5707	捶	5757	擡	5812	杲	5862	霸	5917
徙	5548	悖	5603	慱	5653	扁	5708	掣	5758	抬	5813	昊	5863	朮	5918
徘	5549	悗	5604	慟	5654	扎	5709	掏	5759	擣	5814	昃	5864	朿	5919
徠	5550	悒	5605	慝	5655	扞	5710	掉	5760	擯	5815	旻	5865	朶	5920
徨	5551	悧	5606	慓	5656	扣	5711	掟	5761	攬	5816	杳	5866	杁	5921
徭	5552	悋	5607	慵	5657	扛	5712	掵	5762	擶	5817	昵	5867	朸	5922
徼	5553	惡	5608	憙	5658	扠	5713	捫	5763	擴	5818	昶	5868	朷	5923
忖	5554	悸	5609	憖	5659	扨	5714	捩	5764	擲	5819	昴	5869	杆	5924
忻	5555	惠	5610	憇	5660	扼	5715	掾	5765	擺	5820	昜	5870	杞	5925
忤	5556	惓	5611	憬	5661	抂	5716	揩	5766	攀	5821	晏	5871	杠	5926
忸	5557	悴	5612	憔	5662	抉	5717	揀	5767	擽	5822	晄	5872	杙	5927
忱	5558	忰	5613	憚	5663	找	5718	揆	5768	攘	5823	晉	5873	杣	5928

杤	5929	桴	5979	楝	6034	橙	6084	歿	6139	泗	6189	淕	6244	滌	6294
枉	5930	梵	5980	榁	6035	橦	6085	殀	6140	泅	6190	淪	6245		
杰	5931	梠	5981	楪	6036	橈	6086	殄	6141	泝	6191	淮	6246	漾	6301
枩	5932	梺	5982	榲	6037	樸	6087	殃	6142	沮	6192	渭	6247	漓	6302
杼	5933	椏	5983	榮	6038	樢	6088	殍	6143	沱	6193	湮	6248	滷	6303
杪	5934	梍	5984	槐	6039	檐	6089	殘	6144	沾	6194	渮	6249	澆	6304
枌	5935	桾	5985	榿	6040	檍	6090	殕	6145			渙	6250	潺	6305
枋	5936	椁	5986	槁	6041	檠	6091	殞	6146	沺	6201	湲	6251	潸	6306
枦	5937	棊	5987	槓	6042	檄	6092	殤	6147	泛	6202	湟	6252	澁	6307
枡	5938	椈	5988	榾	6043	檢	6093	殪	6148	泯	6203	渾	6253	澀	6308
枅	5939	棘	5989	槎	6044	檣	6094	殫	6149	泙	6204	渣	6254	潯	6309
枷	5940	椢	5990	寨	6045			殯	6150	泪	6205	湫	6255	潛	6310
柯	5941	椦	5991	槊	6046	檗	6101	殲	6151	洟	6206	渫	6256	濳	6311
枴	5942	棡	5992	槝	6047	蘗	6102	殱	6152	衍	6207	湶	6257	潭	6312
柬	5943	椌	5993	榻	6048	檻	6103	殳	6153	洶	6208	湍	6258	澂	6313
枳	5944	棍	5994	槃	6049	櫃	6104	殷	6154	洫	6209	渟	6259	潼	6314
柩	5945			榧	6050	櫂	6105	殼	6155	洽	6210	湃	6260	潘	6315
枸	5946	棔	6001	樮	6051	檸	6106	毆	6156	洸	6211	渺	6261	澎	6316
柤	5947	棧	6002	榑	6052	檳	6107	毋	6157	洙	6212	湎	6262	澑	6317
柞	5948	棕	6003	榠	6053	檬	6108	毓	6158	洵	6213	渤	6263	濂	6318
柝	5949	椶	6004	榜	6054	櫞	6109	毟	6159	洳	6214	滿	6264	潦	6319
柢	5950	椒	6005	榕	6055	櫑	6110	毬	6160	洒	6215	渝	6265	澳	6320
柮	5951	椄	6006	榴	6056	櫟	6111	毫	6161	洌	6216	游	6266	澣	6321
枹	5952	棗	6007	槞	6057	檪	6112	毳	6162	浣	6217	溂	6267	澡	6322
柎	5953	棣	6008	槨	6058	櫚	6113	毯	6163	涓	6218	溪	6268	澤	6323
柆	5954	椥	6009	樂	6059	櫪	6114	麾	6164	浤	6219	溘	6269	澹	6324
柧	5955	棹	6010	樛	6060	櫻	6115	氈	6165	浚	6220	滉	6270	濆	6325
檜	5956	棠	6011	槿	6061	欅	6116	氓	6166	浹	6221	溷	6271	澪	6326
栞	5957	棯	6012	權	6062	蘖	6117	气	6167	浙	6222	滓	6272	濟	6327
框	5958	椨	6013	槹	6063	櫺	6118	氛	6168	涎	6223	溽	6273	濕	6328
栩	5959	椪	6014	槲	6064	欒	6119	氤	6169	涕	6224	溯	6274	濬	6329
桀	5960	椚	6015	槧	6065	欖	6120	氣	6170	濤	6225	滄	6275	濔	6330
桍	5961	椣	6016	樅	6066	鬱	6121	汞	6171	涅	6226	溲	6276	濘	6331
栲	5962	椡	6017	榱	6067	欟	6122	汕	6172	淹	6227	滔	6277	濱	6332
桎	5963	棆	6018	樞	6068	欸	6123	汢	6173	渕	6228	滕	6278	濮	6333
梳	5964	楹	6019	槭	6069	欷	6124	汪	6174	渊	6229	溏	6279	濛	6334
栫	5965	楷	6020	樔	6070	盜	6125	沂	6175	涵	6230	溥	6280	瀉	6335
桙	5966	楜	6021	槫	6071	欹	6126	沍	6176	淇	6231	滂	6281	瀋	6336
档	5967	楸	6022	樊	6072	飮	6127	沚	6177	淦	6232	溟	6282	濺	6337
桷	5968	楫	6023	樒	6073	歇	6128	沁	6178	涸	6233	潁	6283	瀑	6338
桿	5969	楔	6024	櫁	6074	歃	6129	沛	6179	淆	6234	漑	6284	瀁	6339
梟	5970	楾	6025	樣	6075	歉	6130	汾	6180	淬	6235	灌	6285	瀏	6340
梏	5971	楮	6026	樓	6076	歐	6131	汨	6181	淞	6236	滬	6286	濾	6341
梭	5972	椹	6027	橄	6077	歙	6132	汳	6182	淌	6237	滸	6287	瀛	6342
梔	5973	楴	6028	樌	6078	歔	6133	沒	6183	淨	6238	滾	6288	瀚	6343
條	5974	椽	6029	橲	6079	歛	6134	沐	6184	淒	6239	漿	6289	潴	6344
梛	5975	楙	6030	樶	6080	歟	6135	泄	6185	淅	6240	滲	6290	瀝	6345
梃	5976	椰	6031	橸	6081	歡	6136	泱	6186	淺	6241	漱	6291	瀘	6346
檮	5977	楡	6032	橇	6082	歸	6137	泓	6187	淙	6242	滯	6292	瀟	6347
梹	5978	楞	6033	橢	6083	歹	6138	沽	6188	淤	6243	漲	6293	瀰	6348

瀾	6349	爐	6404	獪	6454	瓸	6509	痙	6559	皰	6614	矗	6664	祿	6719
瀲	6350	爛	6405	獨	6455	瓷	6510	痣	6560	皴	6615	矚	6665	禊	6720
灑	6351	爨	6406	獰	6456	甄	6511	痞	6561	皸	6616	矜	6666	禝	6721
灣	6352	爭	6407	獸	6457	甃	6512	痾	6562	皹	6617	矣	6667	禧	6722
炙	6353	爬	6408	獵	6458	甅	6513	痿	6563	皺	6618	矮	6668	齋	6723
炒	6354	爰	6409	獻	6459	甌	6514	痼	6564	盂	6619	矼	6669	禪	6724
炯	6355	爲	6410	獺	6460	甎	6515	瘁	6565	盍	6620	砌	6670	禮	6725
烱	6356	爻	6411	珈	6461	甍	6516	痰	6566	盖	6621	砒	6671	禳	6726
炬	6357	爼	6412	玳	6462	甕	6517	痺	6567	盒	6622	礦	6672	禹	6727
炸	6358	爿	6413	珎	6463	甓	6518	痲	6568	盞	6623	砠	6673	禺	6728
炳	6359	牀	6414	玻	6464	甞	6519	痳	6569	盡	6624	礪	6674	秉	6729
炮	6360	牆	6415	珀	6465	甦	6520	瘋	6570	盥	6625	硅	6675	秕	6730
烟	6361	牋	6416	珥	6466	甬	6521	瘍	6571	盧	6626	碎	6676	秧	6731
烋	6362	牘	6417	珮	6467	甼	6522	瘉	6572	盪	6627	硴	6677	秬	6732
烝	6363	牴	6418	珞	6468	畄	6523	瘟	6573	蘯	6628	碆	6678	秡	6733
烙	6364	牾	6419	璢	6469	畍	6524	瘧	6574	盻	6629	硼	6679	秣	6734
焉	6365	犂	6420	琅	6470	畊	6525	瘠	6575	眈	6630	碚	6680	稈	6735
烽	6366	犁	6421	瑯	6471	畉	6526	瘡	6576	眇	6631	碌	6681	稍	6736
焜	6367	犇	6422	琥	6472	畛	6527	瘢	6577	眄	6632	碣	6682	稘	6737
焙	6368	犒	6423	珸	6473	畆	6528	瘤	6578	眩	6633	碵	6683	稙	6738
煥	6369	犖	6424	琲	6474	畚	6529	瘴	6579	眤	6634	碪	6684	稠	6739
煕	6370	犢	6425	琺	6475	畩	6530	瘰	6580	眞	6635	碯	6685	稟	6740
熈	6371	犧	6426	瑕	6476	畤	6531	瘻	6581	眥	6636	磑	6686	禀	6741
煦	6372	犹	6427	琿	6477	畧	6532	癇	6582	眦	6637	磆	6687	稱	6742
煢	6373	犲	6428	瑟	6478	畫	6533	癈	6583	眛	6638	磋	6688	稻	6743
煌	6374	狃	6429	瑙	6479	畭	6534	癆	6584	眷	6639	磔	6689	稾	6744
煖	6375	狆	6430	瑁	6480	畸	6535	癜	6585	眸	6640	碾	6690	稷	6745
煬	6376	狄	6431	瑜	6481	當	6536	癘	6586	睇	6641	碼	6691	穃	6746
熏	6377	狎	6432	瑩	6482	疆	6537	癡	6587	睚	6642	磅	6692	穗	6747
燻	6378	狒	6433	瑰	6483	疇	6538	癢	6588	睨	6643	磊	6693	穉	6748
熄	6379	狢	6434	瑣	6484	畴	6539	癨	6589	睫	6644	磬	6694	穡	6749
熕	6380	狠	6435	瑪	6485	疊	6540	癩	6590	睛	6645	—		穢	6750
熨	6381	狡	6436	瑶	6486	疉	6541	癪	6591	睥	6646	磧	6701	穩	6751
熬	6382	狹	6437	瑾	6487	疂	6542	癧	6592	睿	6647	磚	6702	龝	6752
燗	6383	狷	6438	璋	6488	疔	6543	癬	6593	睾	6648	磽	6703	穰	6753
熹	6384	倏	6439	璞	6489	疚	6544	癰	6594	睹	6649	磴	6704	穹	6754
熾	6385	猗	6440	璧	6490	疝	6545	—		瞎	6650	礇	6705	穽	6755
燒	6386	猊	6441	瓊	6491	疥	6546	癲	6601	瞋	6651	礒	6706	窈	6756
燉	6387	猜	6442	瓏	6492	疣	6547	癶	6602	瞑	6652	礑	6707	窗	6757
燔	6388	猖	6443	瓔	6493	痂	6548	癸	6603	瞠	6653	礙	6708	窕	6758
燎	6389	猝	6444	珱	6494	疳	6549	發	6604	瞞	6654	礬	6709	窘	6759
燠	6390	猴	6445	—		痃	6550	皀	6605	瞰	6655	礫	6710	窖	6760
燬	6391	猯	6446	瓠	6501	疵	6551	皃	6606	瞶	6656	祀	6711	窩	6761
燧	6392	猩	6447	瓣	6502	疽	6552	皈	6607	瞹	6657	祠	6712	竈	6762
燵	6393	猥	6448	瓧	6503	疸	6553	皋	6608	瞿	6658	祗	6713	窰	6763
燼	6394	猾	6449	瓩	6504	疼	6554	皎	6609	瞼	6659	祟	6714	窶	6764
—		獎	6450	瓮	6505	疱	6555	皖	6610	瞽	6660	祚	6715	竅	6765
燹	6401	獏	6451	瓲	6506	痍	6556	皓	6611	瞻	6661	祕	6716	竄	6766
燿	6402	默	6452	瓰	6507	痊	6557	皙	6612	矇	6662	祓	6717	窿	6767
爍	6403	獗	6453	瓱	6508	痒	6558	皚	6613	矍	6663	祺	6718	邃	6768

竇	6769	筝	6824	粨	6874	綵	6929	繽	6979	翅	7034	胄	7084	臟	7139
竊	6770	箙	6825	粳	6875	緇	6930	辮	6980	翆	7035	胚	7085	臠	7140
竍	6771	篋	6826	粲	6876	綽	6931	繿	6981	翊	7036	胖	7086	臧	7141
竏	6772	篁	6827	粱	6877	綫	6932	纈	6982	翕	7037	脉	7087	臺	7142
竕	6773	篌	6828	粮	6878	總	6933	纉	6983	翔	7038	胯	7088	臻	7143
竓	6774	篏	6829	粹	6879	綢	6934	續	6984	翡	7039	胱	7089	臾	7144
站	6775	箴	6830	粽	6880	綯	6935	纒	6985	翦	7040	脛	7090	舁	7145
竚	6776	篆	6831	糀	6881	緜	6936	纐	6986	翩	7041	脩	7091	舂	7146
竝	6777	篝	6832	糅	6882	綸	6937	纓	6987	翳	7042	脣	7092	舅	7147
竡	6778	篩	6833	糂	6883	綟	6938	纔	6988	翹	7043	脯	7093	與	7148
竢	6779	簑	6834	糘	6884	綰	6939	纖	6989	飜	7044	腋	7094	舊	7149
竦	6780	簔	6835	糒	6885	緘	6940	纎	6990	耆	7045	―	―	舍	7150
竭	6781	篦	6836	糜	6886	緝	6941	纛	6991	耄	7046	隋	7101	舐	7151
竰	6782	篥	6837	糢	6887	緤	6942	纜	6992	耋	7047	腆	7102	舖	7152
笂	6783	籠	6838	鬻	6888	緞	6943	缸	6993	耒	7048	脾	7103	舩	7153
笏	6784	簀	6839	糯	6889	緻	6944	缺	6994	耘	7049	腓	7104	舫	7154
笊	6785	簇	6840	糲	6890	緲	6945	―	―	耙	7050	腑	7105	舸	7155
笆	6786	簓	6841	糴	6891	緡	6946	罅	7001	耜	7051	胼	7106	舳	7156
笳	6787	篳	6842	糶	6892	縅	6947	罌	7002	耡	7052	腱	7107	艀	7157
笘	6788	篷	6843	糺	6893	縊	6948	罍	7003	耨	7053	腮	7108	艙	7158
笙	6789	簗	6844	紆	6894	縣	6949	罎	7004	耿	7054	腥	7109	艘	7159
笞	6790	簍	6845	―	―	縡	6950	罐	7005	耻	7055	腦	7110	艝	7160
笵	6791	篶	6846	紂	6901	縒	6951	网	7006	聊	7056	腴	7111	艚	7161
笨	6792	簣	6847	紜	6902	縱	6952	罕	7007	聆	7057	膃	7112	艟	7162
笶	6793	簧	6848	紕	6903	縟	6953	罔	7008	聒	7058	膈	7113	艤	7163
筐	6794	簪	6849	紊	6904	縉	6954	罘	7009	聘	7059	膊	7114	艢	7164
―	―	簟	6850	絅	6905	縋	6955	罟	7010	聚	7060	膀	7115	艨	7165
筺	6801	簷	6851	絋	6906	縢	6956	罠	7011	聟	7061	膂	7116	艪	7166
笄	6802	簫	6852	紮	6907	繆	6957	罨	7012	聢	7062	膠	7117	艫	7167
筍	6803	簽	6853	紲	6908	繦	6958	罩	7013	聨	7063	膕	7118	舮	7168
笋	6804	籌	6854	紿	6909	縻	6959	罧	7014	聳	7064	膤	7119	艱	7169
筌	6805	籃	6855	紵	6910	縵	6960	罸	7015	聲	7065	膣	7120	艷	7170
筅	6806	籔	6856	絆	6911	縹	6961	羂	7016	聰	7066	腟	7121	艸	7171
筵	6807	籏	6857	絳	6912	繃	6962	羆	7017	聶	7067	膓	7122	艾	7172
筥	6808	籀	6858	絖	6913	縷	6963	羃	7018	聹	7068	膩	7123	芍	7173
筴	6809	籐	6859	絎	6914	縲	6964	羈	7019	聽	7069	膰	7124	芒	7174
筧	6810	籘	6860	絲	6915	縺	6965	羇	7020	聿	7070	膵	7125	芫	7175
筰	6811	籟	6861	絨	6916	繧	6966	羌	7021	肄	7071	膾	7126	芟	7176
筱	6812	籤	6862	絮	6917	繝	6967	羔	7022	肆	7072	膸	7127	芻	7177
筬	6813	籖	6863	絏	6918	繖	6968	羞	7023	肅	7073	膽	7128	芬	7178
筮	6814	籥	6864	絣	6919	繞	6969	羝	7024	肛	7074	臀	7129	苡	7179
箝	6815	籬	6865	經	6920	繙	6970	羚	7025	肓	7075	臂	7130	苣	7180
箘	6816	籵	6866	綉	6921	繚	6971	羣	7026	肚	7076	膺	7131	苟	7181
箟	6817	粃	6867	絛	6922	繹	6972	羯	7027	肭	7077	臉	7132	苒	7182
箍	6818	粐	6868	綏	6923	繪	6973	羲	7028	冐	7078	臍	7133	苴	7183
箜	6819	粤	6869	絽	6924	繩	6974	羹	7029	肬	7079	臑	7134	苳	7184
箚	6820	粭	6870	綛	6925	繼	6975	羮	7030	胛	7080	臙	7135	苺	7185
箋	6821	粢	6871	綺	6926	繻	6976	羶	7031	胥	7081	臘	7136	莓	7186
箒	6822	粫	6872	綮	6927	纃	6977	羸	7032	胙	7082	臈	7137	范	7187
箏	6823	粡	6873	綣	6928	緕	6978	譱	7033	胝	7083	臚	7138	苻	7188

苹	7189	萍	7244	蕈	7294	蚪	7349	蠅	7404	袂	7454	覃	7509	諂	7559
苞	7190	萢	7245	—		蚋	7350	螢	7405	袗	7455	覈	7510	諚	7560
茆	7191	萠	7246	蕁	7301	蚌	7351	螟	7406	袒	7456	覊	7511	諫	7561
苜	7192	莽	7247	蘂	7302	蚶	7352	螂	7407	袮	7457	覓	7512	諳	7562
茉	7193	萸	7248	蕋	7303	蚯	7353	螯	7408	袙	7458	覘	7513	諧	7563
苙	7194	蔆	7249	蕕	7304	蛄	7354	蟋	7409	袢	7459	覡	7514	諤	7564
—		菻	7250	薀	7305	蛆	7355	螽	7410	袍	7460	覩	7515	諱	7565
茵	7201	葭	7251	薤	7306	蚰	7356	蟀	7411	袤	7461	覦	7516	謔	7566
茴	7202	萪	7252	薈	7307	蛉	7357	蟐	7412	袰	7462	覬	7517	諠	7567
茖	7203	萼	7253	薑	7308	蠣	7358	雖	7413	袿	7463	覯	7518	諢	7568
茲	7204	蕚	7254	薊	7309	蚫	7359	螫	7414	袱	7464	覲	7519	諷	7569
茱	7205	蒄	7255	薨	7310	蛔	7360	蟄	7415	裃	7465	覺	7520	諞	7570
荀	7206	葷	7256	蕭	7311	蛞	7361	螳	7416	裄	7466	覽	7521	諛	7571
茹	7207	葫	7257	薔	7312	蛩	7362	蟇	7417	裔	7467	覿	7522	謌	7572
荐	7208	蒭	7258	薛	7313	蛬	7363	蟆	7418	裘	7468	觀	7523	謇	7573
荅	7209	葮	7259	藪	7314	蛟	7364	螻	7419	裙	7469	觚	7524	謚	7574
茯	7210	蒂	7260	薇	7315	蛛	7365	蟯	7420	裝	7470	觜	7525	諡	7575
茫	7211	葩	7261	薜	7316	蛯	7366	蟲	7421	裹	7471	觝	7526	謖	7576
茗	7212	葆	7262	蕷	7317	蜒	7367	蟠	7422	褂	7472	觧	7527	謐	7577
茘	7213	萬	7263	蕾	7318	蜆	7368	蠏	7423	裼	7473	觴	7528	謗	7578
莅	7214	葯	7264	薐	7319	蜈	7369	蠍	7424	裴	7474	觸	7529	謠	7579
莚	7215	葹	7265	藉	7320	蜀	7370	蟾	7425	裨	7475	訃	7530	謳	7580
莪	7216	萵	7266	薺	7321	蜃	7371	蟶	7426	裲	7476	訖	7531	鞫	7581
莟	7217	蓊	7267	藏	7322	蛻	7372	蟷	7427	褄	7477	訐	7532	謦	7582
莢	7218	葢	7268	薹	7323	蜑	7373	蠎	7428	褌	7478	訌	7533	謫	7583
莖	7219	蒹	7269	藐	7324	蜉	7374	蟒	7429	褊	7479	訛	7534	謾	7584
茣	7220	蒿	7270	藕	7325	蜍	7375	蠑	7430	褓	7480	訝	7535	謨	7585
莎	7221	蒟	7271	藝	7326	蛹	7376	蠖	7431	襃	7481	訥	7536	譁	7586
莇	7222	蓙	7272	藥	7327	蜊	7377	蠕	7432	褞	7482	訶	7537	譌	7587
莊	7223	蓍	7273	藜	7328	蜴	7378	蠢	7433	褥	7483	詁	7538	譏	7588
荼	7224	蒻	7274	藹	7329	蜿	7379	蠡	7434	褪	7484	詛	7539	譎	7589
莵	7225	蓚	7275	蘊	7330	蜷	7380	蠱	7435	褫	7485	詒	7540	證	7590
荳	7226	蓐	7276	蘓	7331	蜻	7381	蠶	7436	襁	7486	詆	7541	譖	7591
荵	7227	蓁	7277	蘋	7332	蜥	7382	蠹	7437	襄	7487	詈	7542	譛	7592
莠	7228	蓆	7278	藾	7333	蜩	7383	蠧	7438	褻	7488	詼	7543	譚	7593
莉	7229	蓖	7279	藺	7334	蜚	7384	蠻	7439	褶	7489	詭	7544	譫	7594
莨	7230	蒡	7280	蘆	7335	蝠	7385	衄	7440	褸	7490	詬	7545	—	
菴	7231	蔡	7281	蘢	7336	蝟	7386	衂	7441	襌	7491	詢	7546	譟	7601
萓	7232	蓿	7282	蘚	7337	蝸	7387	衒	7442	褝	7492	誅	7547	譬	7602
菫	7233	蓴	7283	蘰	7338	蝌	7388	衙	7443	襠	7493	誂	7548	譯	7603
菎	7234	蔗	7284	蘿	7339	蝎	7389	衞	7444	襞	7494	誄	7549	譴	7604
菽	7235	蔘	7285	虍	7340	蝴	7390	衢	7445	—		誨	7550	譽	7605
萃	7236	蔬	7286	乕	7341	蝗	7391	衫	7446	襦	7501	誡	7551	讀	7606
菘	7237	蔟	7287	虔	7342	蝨	7392	袁	7447	襤	7502	誑	7552	讌	7607
萋	7238	蔕	7288	號	7343	蝮	7393	衾	7448	襭	7503	誥	7553	讎	7608
菁	7239	蔔	7289	虧	7344	蝙	7394	袞	7449	襪	7504	誦	7554	讒	7609
菷	7240	蓼	7290	虱	7345	—		衵	7450	襯	7505	誚	7555	讓	7610
萇	7241	蕀	7291	蚓	7346	蝓	7401	衽	7451	襴	7506	誣	7556	讖	7611
菠	7242	蕣	7292	蚣	7347	蝣	7402	袵	7452	襷	7507	諄	7557	讙	7612
菲	7243	蕘	7293	蚩	7348	蝪	7403	衲	7453	襾	7508	諍	7558	讚	7613

谺	7614	赭	7664	躋	7719	辣	7769	邯	7824	鉅	7874	鐔	7929	闖	7979
豁	7615	赱	7665	躊	7720	辭	7770	邱	7825	鉉	7875	鐓	7930	關	7980
谿	7616	赳	7666	躓	7721	辯	7771	邵	7826	鉤	7876	鐃	7931	闡	7981
豈	7617	趁	7667	躑	7722	辷	7772	郢	7827	鉈	7877	鐇	7932	闥	7982
豌	7618	趙	7668	躔	7723	迚	7773	郤	7828	銕	7878	鐐	7933	闢	7983
豎	7619	跂	7669	躙	7724	迥	7774	扈	7829	鈿	7879	鐶	7934	阡	7984
豐	7620	趾	7670	躪	7725	迢	7775	郛	7830	鉋	7880	鐫	7935	阨	7985
豕	7621	趺	7671	躡	7726	迪	7776	鄂	7831	鉐	7881	鐵	7936	阮	7986
豢	7622	跏	7672	躬	7727	迯	7777	鄒	7832	銜	7882	鐡	7937	阯	7987
豬	7623	跚	7673	躰	7728	邇	7778	鄙	7833	銖	7883	鐺	7938	陂	7988
豸	7624	跖	7674	軆	7729	迴	7779	鄲	7834	銓	7884	鑁	7939	陌	7989
豺	7625	跌	7675	躱	7730	逅	7780	鄰	7835	銛	7885	鑒	7940	陏	7990
貂	7626	跛	7676	躾	7731	迹	7781	酊	7836	鉚	7886	鑄	7941	陋	7991
貉	7627	跋	7677	軅	7732	迺	7782	酖	7837	鋏	7887	鑛	7942	陷	7992
貅	7628	跪	7678	軈	7733	逑	7783	酘	7838	銹	7888	鑠	7943	陜	7993
貊	7629	跫	7679	軋	7734	逕	7784	酣	7839	銷	7889	鑢	7944	陞	7994
貍	7630	跟	7680	軛	7735	逡	7785	酥	7840	鋩	7890	鑞	7945		
貎	7631	跣	7681	軣	7736	逍	7786	酩	7841	錏	7891	鑪	7946	陝	8001
貔	7632	跼	7682	軼	7737	逞	7787	酳	7842	鋺	7892	鈩	7947	陟	8002
豼	7633	踈	7683	軻	7738	逖	7788	酲	7843	鍄	7893	鑰	7948	陦	8003
貘	7634	踉	7684	軫	7739	逋	7789	醋	7844	錮	7894	鑵	7949	陲	8004
戝	7635	跿	7685	軾	7740	逧	7790	醉	7845			鑷	7950	陬	8005
貭	7636	踝	7686	輊	7741	逶	7791	醂	7846	錙	7901	鑽	7951	隍	8006
貪	7637	踞	7687	輅	7742	逵	7792	醢	7847	錢	7902	鑚	7952	隘	8007
貽	7638	踐	7688	輕	7743	逹	7793	醫	7848	錚	7903	鑼	7953	隕	8008
貲	7639	踟	7689	輒	7744	迸	7794	醯	7849	錣	7904	鑾	7954	隗	8009
貳	7640	蹂	7690	輙	7745			醪	7850	錺	7905	钁	7955	險	8010
貮	7641	踵	7691	輓	7746	遏	7801	醵	7851	錵	7906	鑿	7956	隧	8011
貶	7642	踰	7692	輜	7747	遐	7802	醴	7852	錻	7907	閂	7957	隱	8012
賈	7643	踴	7693	輟	7748	遑	7803	醺	7853	鍜	7908	閇	7958	隲	8013
賁	7644	蹊	7694	輛	7749	遒	7804	釀	7854	鍠	7909	閊	7959	隰	8014
賤	7645			輌	7750	逎	7805	釁	7855	鍼	7910	閔	7960	隴	8015
賣	7646	蹇	7701	輦	7751	遉	7806	釉	7856	鍮	7911	閖	7961	隶	8016
賚	7647	蹉	7702	輳	7752	逾	7807	釋	7857	鍖	7912	閘	7962	隸	8017
賽	7648	蹌	7703	輻	7753	遖	7808	釐	7858	鎰	7913	閙	7963	隹	8018
賺	7649	蹐	7704	輹	7754	遘	7809	釖	7859	鎬	7914	閠	7964	雎	8019
賻	7650	蹈	7705	轅	7755	遞	7810	釟	7860	鎭	7915	閨	7965	雋	8020
贄	7651	蹙	7706	轂	7756	遨	7811	釡	7861	鎔	7916	閧	7966	雉	8021
贅	7652	蹤	7707	輾	7757	遯	7812	釛	7862	鎹	7917	閭	7967	雍	8022
贊	7653	蹠	7708	轌	7758	遶	7813	釼	7863	鏖	7918	閼	7968	襍	8023
贇	7654	踪	7709	轉	7759	隨	7814	釵	7864	鏗	7919	閻	7969	雜	8024
贏	7655	蹣	7710	轆	7760	遲	7815	釶	7865	鏨	7920	閹	7970	霍	8025
贍	7656	蹕	7711	轎	7761	邂	7816	鈞	7866	鏥	7921	閾	7971	雕	8026
贐	7657	蹶	7712	轗	7762	遽	7817	釿	7867	鏘	7922	闊	7972	雹	8027
齎	7658	蹲	7713	轜	7763	邁	7818	鈔	7868	鏃	7923	濶	7973	霄	8028
贓	7659	蹼	7714	轢	7764	邀	7819	鈬	7869	鏝	7924	闃	7974	霆	8029
賍	7660	躁	7715	轣	7765	邊	7820	鈕	7870	鏐	7925	闍	7975	霈	8030
贔	7661	躇	7716	轤	7766	邉	7821	鈑	7871	鏈	7926	闌	7976	霓	8031
贖	7662	躅	7717	辜	7767	邏	7822	鉞	7872	鏤	7927	闕	7977	霎	8032
赧	7663	躄	7718	辟	7768	邨	7823	鉗	7873	鐚	7928	闔	7978	霑	8033

霏	8034	頸	8084	馭	8139	髯	8189	鯡	8244	鵈	8294	麪	8349	瑤	8404
霖	8035	頤	8085	馮	8140	髫	8190	鰺	8245	―		麭	8350	凜	8405
霙	8036	頡	8086	馼	8141	髮	8191	鯲	8246	鵝	8301	靡	8351	熙	8406
霤	8037	頷	8087	駟	8142	髴	8192	鯱	8247	鵞	8302	黌	8352		
霪	8038	頽	8088	駛	8143	髱	8193	鯰	8248	鵤	8303	黎	8353		
霰	8039	顆	8089	駝	8144	髷	8194	鰕	8249	鵑	8304	黏	8354		
霹	8040	顏	8090	駘	8145	―		鰔	8250	鵐	8305	黐	8355		
霽	8041	顋	8091	駑	8146	髻	8201	鰉	8251	鵙	8306	黔	8356		
霾	8042	顫	8092	駭	8147	鬆	8202	鰓	8252	鵲	8307	黜	8357		
靄	8043	顯	8093	駮	8148	鬘	8203	鰌	8253	鶉	8308	點	8358		
靆	8044	顰	8094	駱	8149	鬚	8204	鰆	8254	鶇	8309	黝	8359		
靈	8045	―		駲	8150	鬟	8205	鰈	8255	鶫	8310	黠	8360		
靂	8046	顱	8101	駻	8151	鬢	8206	鰒	8256	鵯	8311	黥	8361		
靉	8047	顴	8102	駸	8152	鬣	8207	鰊	8257	鵺	8312	黨	8362		
靜	8048	顳	8103	騁	8153	鬥	8208	鰄	8258	鶚	8313	黯	8363		
靠	8049	颪	8104	騏	8154	鬧	8209	鰮	8259	鶤	8314	黴	8364		
靤	8050	颯	8105	騅	8155	鬨	8210	鰛	8260	鶩	8315	黶	8365		
靦	8051	颱	8106	駢	8156	鬩	8211	鰥	8261	鶲	8316	黷	8366		
靨	8052	颶	8107	騙	8157	鬪	8212	鰤	8262	鷄	8317	黹	8367		
勒	8053	飄	8108	騫	8158	鬮	8213	鰡	8263	鷁	8318	黻	8368		
靫	8054	飃	8109	騷	8159	鬯	8214	鰰	8264	鶻	8319	黼	8369		
靱	8055	飆	8110	驅	8160	鬲	8215	鱇	8265	鶸	8320	黽	8370		
靹	8056	飩	8111	驂	8161	魄	8216	鰲	8266	鶺	8321	鼇	8371		
鞅	8057	飫	8112	驀	8162	魃	8217	鱆	8267	鷆	8322	鼈	8372		
靼	8058	餃	8113	驃	8163	魏	8218	鰾	8268	鷏	8323	皷	8373		
鞁	8059	餉	8114	騾	8164	魍	8219	鱚	8269	鷂	8324	鼕	8374		
靺	8060	餒	8115	驕	8165	魎	8220	鱠	8270	鷙	8325	鼡	8375		
鞆	8061	餔	8116	驍	8166	魑	8221	鱧	8271	鷓	8326	鼬	8376		
鞋	8062	餘	8117	驛	8167	魘	8222	鱶	8272	鷸	8327	鼾	8377		
鞏	8063	餡	8118	驗	8168	魴	8223	鱸	8273	鷦	8328	齊	8378		
鞐	8064	餝	8119	驟	8169	鮓	8224	鳧	8274	鷭	8329	齒	8379		
鞜	8065	餞	8120	驢	8170	鮃	8225	鳬	8275	鷯	8330	齔	8380		
鞨	8066	餤	8121	驥	8171	鮑	8226	鳰	8276	鷽	8331	齣	8381		
鞦	8067	餠	8122	驤	8172	鮖	8227	鴉	8277	鸚	8332	齟	8382		
鞣	8068	餬	8123	驩	8173	鮗	8228	鴈	8278	鸛	8333	齠	8383		
鞳	8069	餮	8124	驫	8174	鮟	8229	鳫	8279	鸞	8334	齡	8384		
鞴	8070	餽	8125	驪	8175	鮠	8230	鴃	8280	鹵	8335	齦	8385		
韃	8071	餾	8126	骭	8176	鮨	8231	鴆	8281	鹹	8336	齧	8386		
韆	8072	饂	8127	骰	8177	鮴	8232	鴪	8282	鹽	8337	齬	8387		
韈	8073	饉	8128	骼	8178	鯀	8233	鴦	8283	麁	8338	齪	8388		
韋	8074	饅	8129	髀	8179	鯊	8234	鶯	8284	麈	8339	齷	8389		
韜	8075	饐	8130	髏	8180	鮹	8235	鴣	8285	麋	8340	齲	8390		
韭	8076	饋	8131	髑	8181	鯆	8236	鴟	8286	麌	8341	齶	8391		
齏	8077	饑	8132	髓	8182	鯏	8237	鵄	8287	麒	8342	龕	8392		
韲	8078	饒	8133	體	8183	鯑	8238	鴕	8288	麕	8343	龜	8393		
竟	8079	饌	8134	髞	8184	鯒	8239	鴒	8289	麑	8344	龠	8394		
韶	8080	饕	8135	髟	8185	鯣	8240	鵁	8290	麝	8345	―			
韵	8081	馗	8136	髢	8186	鯢	8241	鴿	8291	麥	8346	堯	8401		
頏	8082	馘	8137	髣	8187	鯤	8242	鴾	8292	麩	8347	槇	8402		
頌	8083	馥	8138	髦	8188	鯔	8243	鵆	8293	麸	8348	遙	8403		

索 引

数字

アルファベット

A

B

C

E

F

G

H

J

M

P

S

T

U

V

W

かな

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

お問い合わせ窓口

以下のような内容は、ウィルコムサービスセンターにお問い合わせください。

- ご契約内容（加入・変更・引越等）
- 基本料金・通話料等
- オプションサービス
- サービスエリア
- 本電話機の修理
- 本電話機の紛失
- その他、通信サービスについて

■ウィルコムサービスセンター

受付時間（土・日・祝日を除く）：10:00 ～ 18:00

▶ 本電話機から

局番なしの116（無料）

▶ 一般加入電話・公衆電話から

0120-921-156（無料）
（携帯電話・PHSからもかけられます）

■ウィルコムのデータ通信に関してのお問い合わせ窓口

受付時間（土・日・祝日を除く）：10:00 ～ 18:00

▶ 本電話機から

局番なしの157（無料）

▶ 一般加入電話・公衆電話から

0120-921-157（無料）
（携帯電話・PHSからもかけられます）

本電話機に関するご相談

■ご相談窓口（JRCサポートセンター）

受付時間：平日のみ 9:00 ～ 17:00

▶ **本電話機・携帯電話から**

0422-45-7772

▶ **一般加入電話・公衆電話から**

0570-003899（ナビダイヤル）

▶ **サポートWebサイト**

http://www.jrcphs.jp/

ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

ご相談窓口でお受けした、お客様のお名前、ご住所、お電話番号などの個人情報は適切に管理いたします。
また、お客様の同意がない限り、業務委託の場合および法令に基づき必要と判断される場合を除き、第三者への開示は行いません。

<利用目的>

ご相談窓口でお受けした個人情報は、本電話機に関するご相談、お問い合わせおよび修理の対応のみを目的として用います。

■保証書

保証書は本取扱説明書の裏表紙についています。
お買い上げ日・販売店名などの記入をご確認のうえ、お買い上げの販売店からお受け取りください。
内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。
保証期間はお買い上げ日より１年間です。
なお、保証期間中でも有料となることがあります。保証書の記載内容をご確認ください。

■修理を依頼されるときは

修理を依頼される前に、「故障かな？ちょっと確認してください」（☞14-2ページ）をお読みのうえご確認ください。
それでも異常が認められる場合には、使用を中止し、ウィルコムサービスセンターにご相談ください。

◎保証期間中の修理は

ウィルコムサービスセンターにお問い合わせください。保証書の記載内容により、無料修理いたします。

◎保証期間を過ぎているとき

修理によって機能が回復可能でお客様がご希望の場合は、有料で修理を承ります。

◎連絡していただきたいこと

- 製品名、お買い上げ年月日
- 故障または異常の状況を具体的に、できるだけ詳しく
- お客様のご氏名、ご住所、お電話番号

■補修用性能部品の最低保有年数について

当社では、本製品の性能を維持するために必要な補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後７年保有しています。

ご注意

- この電話機は、容易に開けられない構造となっております。むやみに中を開けて改造すると電波法に触れます。また、改造されますと修理をお引き受けできませんのでご注意ください。
- 修理内容により、電話帳の内容、受信メール、送信メール、録音データ、サイトからダウンロードした画像やメロディなどのお客様が登録・保存されたデータが消失する場合があります。大切な情報はあらかじめメモに控えたり、外部の記録媒体等にデータを保管してください。
- 商品の故障・誤動作・電池の消耗、または停電などの外部要因で本電話機が使用できなかったことによる、通話および通話料金などの間接的損害または付随的補償については、当社は責任を負えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。

JRC 保証書

持込修理

型番	WX220J
★お買い上げ日	年　月　日
保証期間	お買い上げ日より1年間
★お客様	お名前 ご住所　〒 電話番号（　　）　－
★販売店	店名･住所･電話番号

★印のついた欄に記入のない場合は無効となりますので必ずご確認ください。

＜無料修理規定＞

1. 取扱説明書や本体、卓上充電器の警告表示などの注意事項に従った正常な使用状態で、保証期間内に故障した場合には、無料修理させていただきます。修理の際には、商品に本書を添えていただきお買い上げの販売店にお申しつけください。
2. 保証期間内でも次の場合は有料修理とさせていただきます。
   - イ. 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障や損傷
   - ロ. お買い上げ後の輸送、落下、水濡れなどによる故障や損傷
   - ハ. 公害や火災、地震、雷、風水害、その他の天災地変など、あるいは異常電圧、指定外の電源（電圧、周波数）使用等による故障や損傷
   - ニ. 本製品に接続した当社指定以外の機器および消耗品（電池パック等）に起因する故障や損傷
   - ホ. 本書のご提示がない場合
   - ヘ. 本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
   - ト. 消耗部品（電池パック等）などが消耗し取り替えを要する場合
   - チ. 電池パック等の液漏れによる故障、損傷
3. 本製品の故障に起因する付随的損害については責任を負いかねますのでご了承ください。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。
   This warranty is valid only in Japan.
5. 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

日本無線株式会社
〒167-8540　東京都杉並区荻窪4丁目30番16号　藤澤ビル
電話（JRCサポートセンター）：0570-003899（一般加入電話･公衆電話から）
0422-45-7772（本電話機･携帯電話から）

製造元：JRC 日本無線株式會社
〒167-8540　東京都杉並区荻窪4丁目30番16号　藤澤ビル
ホームページアドレス：http://www.jrc.co.jp/

本取扱説明書の内容は2007年1月現在のものです。

この「取扱説明書」は環境にやさしい大豆油インキを使用しております

7ZPAN0149B
2009.09　第1.2版